公営住宅　2種中耐平和団地
10号棟新築工事

図　面　目　録

意　匠　図

図面番号	図面名称	縮尺
A－1	表紙	—
2	図面目録	—
3	特記仕様書 (1)	—
4	特記仕様書 (2)	—
5	特記仕様書 (3)	—
6	全体配置図，附近見取図	1:500,1:1000
7	配置図，仮囲い図	1：300
8	面積表 (1)	—
9	面積表 (2)	—
10	面積表 (3)	—
11	構造概要外部内部仕上表	—
12	平面図 (1)	1:100
13	平面図 (2)	1:100
14	平面図・屋根伏図 (3)	1:100
15	立面図 (1)	1:100
16	立面図 断面図 (2)	1:100
17	平面詳細図　3DK－A	1：30
18	平面詳細図　3DK－C	1:30
19	平面詳細図　3DK－E	1:30
20	平面詳細図　3DK－B	1:30
21	平面詳細図　3DK－D	1:30
22	平面詳細図　3DK－F	1:30
23	断面詳細図　(1)	1:30
24	断面詳細図　(2)	1:30
25	断面詳細図　(3)	1:30
26	断面詳細図　(4)	1:30
27	断面詳細図　(5)	1:30
28	断面詳細図　(6)	1:30
29	断面詳細図　(7)	1:30
30	断面詳細図　(8)	1:30
31	展開図　3DK－A，C (1)	1：50
32	展開図　3DK－A，C (2)	1:50
33	展開図　3DK－E	1:50
34	展開図　3DK－B，D (1)	1:50
35	展開図　3DK－B，D (2)	1:50

図面番号	図面名称	縮尺
A－36	展開図　3DK－F	1：50
37	床伏図天井伏図　3DK－A	1：50
38	床伏図天井伏図　3DK－C	1:50
39	床伏図天井伏図　3DK－E	1:50
40	床伏図天井伏図　3DK－B	1:50
41	床伏図天井伏図　3DK－D	1:50
42	床伏図天井伏図　3DK－F	1:50
43	階段平面詳細図　[1－αタイプ]	1:50
44	階段断面詳細図　[1－αタイプ]	1:50
45	階段平面詳細図　[Fタイプ]	1:50
46	階段断面詳細図　[Fタイプ]	1:50
47	建具姿内戸	
48	建具数量表	—
49	建具表 (1)	1:50
50	建具表 (2)	1:50
51	特殊詳細図　(1)	図示
52	特殊詳細図　(2)	〃
53	特殊詳細図　(3)	〃
54	特殊詳細図　(4)	〃
55	特殊詳細図　(5)	〃
56	特殊詳細図　(6)	〃
57	特殊詳細図　(7)	〃
58	特殊詳細図　(8)	〃
59	特殊詳細図　(9)	〃
60	特殊詳細図　(10)	〃
61	枠廻り詳細図	
62	パネル伏図　3DK－A (1)	1:50
63	パネル伏図　3DK－A (2)	1:50
64	パネル伏図　3DK－C (1)	1:50
65	パネル伏図　3DK－C (2)	1:50
66	パネル伏図　3DK－E (1)	1:50
67	パネル伏図　3DK－E (2)	1:50
68	パネル伏図　3DK－B (1)	1:50
69	パネル伏図　3DK－B (2)	1:50

図面番号	図面名称	縮尺
A－70	パネル伏図　3DK－B (3)	1:50
71	パネル伏図　3DK－D (1)	1:50
72	パネル伏図　3DK－D (2)	1:50
73	パネル伏図　3DK－D (3)	1:50
74	パネル伏図　3DK－F (1)	1:50
75	パネル伏図　3DK－F (2)	1:50
76	パネル伏図　3DK－F (3)	1:50
77	参考図〔浴室ユニット〕(1)	図示
78	参考図〔浴室ユニット〕(2)	〃
79	参考図〔浴室ユニット〕(3)	〃
80	参考図〔浴室ユニット〕(4)	〃
81	参考図〔浴室ユニット〕(5)	〃
82	参考図〔浴室ユニット〕(6)	〃
83	地中梁スリーブ図	1:100

構　造　図

図面番号	図面名称	縮尺
S－1	一般共通事項	—
2	ボーリング柱状図	—
3	杭基礎伏図	1:100
4	2.3階床伏図	1:100
5	4.5階床伏図	1:100
6	屋根伏図	1:100
7	基礎配筋図	1:40
8	床版配筋リスト，雑詳細図	1:40
9	床版配筋詳細図	1:40
10	壁平面配筋図 (1)	1:40
11	壁平面配筋図 (2)	1:40
12	壁平面配筋図 (3)	1:40
13	壁平面配筋図 (4)	1:40
14	壁平面配筋図 (5)	1:40
15	壁平面配筋図 (6)	1:40
16	壁配筋詳細図 (1)	1:40
17	壁配筋詳細図 (2)	1:40
18	壁配筋詳細図 (3)	1:40
19	壁配筋詳細図 (4)	1:40
20	壁配筋詳細図 (5)	1:40
21	壁配筋詳細図 (6)	1:40
22	壁配筋詳細図 (7)	1:40
23	壁配筋詳細図 (8)	1:40
24	壁配筋詳細図 (9)	1:40
25	壁配筋詳細図 (10)	1:40
26	壁配筋詳細図 (11)	1:40
27	階段配筋詳細図 (1)	1:40
28	階段配筋詳細図 (2)	1:40

工事仕様書

1．建築工事の仕様書は公共住宅建設工事共通仕様書（昭和57年度版）の該当個所及び建築部を適用する。
2．共通仕様書のうち，特記によるものと，その他必要な事項を特記事項とする。
3．特記事項を適用するもの。　※昭和60年度版 公共住宅建設工事共通仕様書を適用する
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は，◎印のついたものを適用する。
　◎印Aと◎印Bの場合は両者を適用する。
　◎印Aと◎印Bのみの場合は共に適用する。
(3) 施工図説書，施工図，竣工通孔の補強図は係員の指示による。
4．前金払
　契約金額 100万円以上の工事にあっては，10分の4を越えない範囲内に限り前金払を請求することができる。
5．部分払
　本工事で前金払を行ったものについては部分払は1回，前金払がなされていないものは2回を越えて部分払をすることは出来ないものとする。
6．部分払対象品目
　工事現場に搬入した工事材料のうち次のものは部分払の対象とする。（ただし，監督職員の検査に合格したものであって，確認写真及び出来高等の確認があるものに限る。）
　1．仮設工事　2．土工事　3．地盤工事　4．コンクリート工事　5．型枠工事　6．鉄筋工事　7．鉄骨工事　8．鉄筋コンクリート工事　9．石工事　10．石工事　11．タイル工事　12．木工事　13．金属工事　14．左官工事　15．建具工事　16．塗装工事　17．内外装工事　18．仕上げユニット，その他工事　19．PC工法による工事　20．外構整備工事
　7．工事着手から工事完成まで大気開放に加入すること。

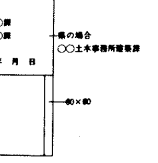
章	項目	特記事項（説明欄）
1 一般共通事項		**1節 一 般 事 項**
	① 1．1．2 設計図書の取扱い	設計図書の優先順位：現場説明書，特記仕様書，設計図（図面以外のもの），設計図（標準図），設計書，仕様書
		3節 仮設物その他
	② 1．3．1 足場・その他	2．足場，残材，リフトなどの設置：※協議工事
	③ 1．3．4 監督員事務所	監督員事務所の規模，仕上げ，備品など：・1号（10㎡程度）・2号（20㎡程度）○3号（35㎡程度）・4号（65㎡程度）・設けない

名称	仕上げその他
床	板張り又はビニル床タイル張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り，合成樹脂エマルジョンペイント塗り
扉	着色合板又は鉄板張り調合ペイント塗り
休憩室	畳敷き

監督員事務所には，監督員の指示を受け，電灯，給排水その他設備を設け，必要に応じて下記の備品などを置く。
・机・いす・書だな・黒板・個図板・掛時計・事嘱計
・ゴム長ぐつ・雨がっぱ・保護帽・懐中電灯
・加入電話の付属電話機（監負者が，本電話線を設置する場合）
・表札ロッカ・暖房器・消火器・踏鳴具・掃除具

④ 1．3．5 調負者事務所その他

3．表示板の大きさと（色・書体）：



7節 記 錄

⑤ 1．7．1 記 錄

3．工事記録写真の撮影時期，箇所など：下記のものを監督員に提出する。

区分	分類・規格	部数	部数の大きさ（cm）
着工前及び工事中	モノクロームサービス版	1部	24×36以上
完成時	・手札版	・2部・3部	
	・キャビネ版	・2部・3部	・90×120以上
	◎カラー ◎サービス版	・2部・3部	・24×36以上
	・4つ切	・2部・3部	・45×60以上
	カラースライド	1部	24×36以上

章	項目	特記事項（説明欄）
	④ 1．7．2 しゅん工図その他	◎表，柱，梁配筋等の拡大写真は全景を撮影し，拡大写真の位置が明記できるものとする。 ◎拡大写真は寸法の確認を容易にするため，幅，鏡及び高さの寸法が1枚の写真で判定できるようスケールを添え，明瞭に撮影する。 ◎配筋の拡大写真は鉄筋の被覆を確保したのち撮影する。 ◎部分払い請求の場合，出来形写真（外部2面，内部 面）を提出すること。 ◎完成写真は全景を2面（南東，北東）撮影し，カラー写真（75×110） ◎完成写真の室内写真は各室内を（ 面）撮影し，カラー写真（サービス版）を提出する。 ◎特例加算実績報告用は対称物の全景を撮影し，カラー写真（75×110）を2部提出する。 ◎鉄筋工事の工事写真は各工事場所毎に撮影（箇地名，個水名，寸法を表示）し，カラー写真（サービス版）をアルバム作成の上，1部提出する。[illegible] ◎鉄筋工事の工事写真は各工事場所毎に撮影（箇地名，個水名，寸法を表示）し，カラー写真（サービス版）を各個ごと2面程度を1部提出する。 しゅん工図の内容：※必要 ・不要 しゅん工図の個数：・配置図 ・屋外附帯図 ・全体配置 ・平面図 ・給排水衛生ガス設備図 ・電気設備図 ・ 図面作成：・監督員の指示を受け，指定された用紙に書き，原図を提出する。 ・
1 一般共通事項		**1節 一 般 事 項**
	① 1．1．2 関連工事との取合い	建築工事，電気設備工事，機械設備工事などが別発注の場合の工事区分 設備工事との取合 施工範囲（下記の通り） ※鉄筋コンクリート部の貫通孔，開口部の型わく，及びスリーブ ※雨樋，天井の吊込金所の下地材 これらの設備は，都市詳細図などのとおりとし本工事とする。なお，細部については監督員の指示による。
2 仮設工事	① 2．2．2 ベンチマーク	**2節 掘削り，やり方，足場その他** ベンチマークの設置方法：※コンクリート杭 ・固定物 ・
	② 2．2．4 仮設物その他	適用個1章3節による。
	③ 工事用水	個内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ・利用できない
	④ 工事用電力	個内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ・利用できない
	⑤ 仮設電話	○要 ・不要
	⑥ 仮囲い，さく塀	○要 ・不要
	⑦ 保護ネット，シート	○要 ・不要
3 土工事	① 3．2．3 掘 削	**2節 掘切り及び埋戻し** 1．1階床下の盛土：※掘切り発生土 ⑦ ・真砂土⑦
	② 3．2．6 不用土処分	地下室などの埋戻し土：※掘切り発生土 ・真砂土 不用土処分：※監督員と協議し，敷地内に処分 ・場外自由処分 ・場外指定地処分
4 地盤工事	① 4．1．1 地 業	**1節 一 般 事 項** 4．試験杭：※打込み杭の最初の1本は試験杭と管用 図示による ・国示の ≦ 本，L＝ 21 m，φ＝ 300 ㎜ プレボーリング掘削深さ GL－ m 試験掘削の適用：・する ○しない 載荷試験の適用：・する ○しない
	② 4．2．2 一般事項	**2節 打込み杭地業** 2．国示の 100 本，L＝ 17.0 m，φ＝ 300 ㎜ プレボーリング掘削深さ GL－ m
	③ 4．2．4 材 料	

くいの種類	規格・材質など	長さ(m)	断面寸法(㎜)	長期設計支持力 t/本	継手及び端手形状	先端部形状及び補強
・遠心力鉄筋コンクリートくい	JIS規格品 ※1種・2種				◎なし ○あり	※継ぎくず ・（ ）
◎プレストレストコンクリートくい	JIS規格品 ※A種・B種・C種	19.0	300φ	36t/本	※溶接式 ・（ ）	
・高強度プレストレストコンクリートくい	プレストレスト量 （ ）					※継ぎくず等た入形 ・（ ）
・鋼管ぐい	※2種(STK41) ・（ ）				※あり（4.2.1項，2.2.2項による） ・なし	※開放管（4.2.1項及び4.2.1表による） ・（ ）
・H形鋼ぐい	※2種（SS41） ・（ ）				※あり ・なし	

① 試験杭の位置，杭の種類，寸法：※図面による ・

支持力の算定：※昭和46年1月29日建設省告示第 1111号

(1)施工法の種類：　○既打工法　・プレボーリング併用工法
　プレボーリングの深さ：・GL－　m（オーガー径　㎜）
(2) ハンマーの種別，容量：※ジーゼルハンマー ・13型 ・22型 ・25型 ・
　やぐら：※3点支持フローラークレーン ・
① 杭の継手の工法：※アーク溶接による溶接継手
5．個杭の現場継手の形状：個管杭の場合 ※4．2．2図及び4．2．2表 ・
　施工個所：[illegible]
　図示による

章	項目	特記事項（説明欄）
4 地盤工事	④ 4．2．5 杭打ち試験	
	⑤ 4．2．6 支持力の算定	
	⑥ 4．2．7 工 法	
	⑦ 4．2．8 継 手	
	⑧ 4．2．10 施工個所	
	⑨ その他工法	
	⑩ 4．3．3 材 料	**3節 場込み杭（セメントミルク工法）地業** 1．杭 材：[illegible] ◎杭による。
	⑪ 4．3．4 試験個個及び支持地盤の確認	2．セメント：[illegible] ◎個杭による。 3．試験掘削：[illegible] ◎行なわない（※杭頭処理は本杭先端+2d以上）
	⑫ 4．3．5 工 法	(1) 施工者名：・
	⑬ 4．3．7 継 手	※4．2．8による
	⑭ 施工個所	※4．2．10による
	⑮ 4．4．4 材料その他	**4節 場所打ちコンクリート杭地業** 1．鉄 筋 (1) 異形鉄筋の種別：※SD 30 ・SD 35 2．コンクリート (1) (2) 水セメント比などの種別：・A種 ・B種 遅硬工法の場合の水セメント比などの種別：・A種 ・B種
	⑯ 4．4．6 土 任	掘削の工法：・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・深礎工法
	⑰ その他	掘所深さ（m） ・ 断面寸法（m） ・ 長期設計支持力（t／本） ・
	⑱ 4．4．8 施工個所	4．2．10による。
	⑲ 4．5．2 一般事項	**5節 杭の載荷試験** 2．載荷量（最大荷重） ・ 載荷方法 ・ サイクル数 ・ 3．試験杭の位置 ・図面による 放置期間 ※放置期間は(1)，(2)，(3) ・
	⑳ 4．8．1 材 料	**8節 捨てコンクリート地業** 1．コンクリートの種別：・A種 ※B種 ・135kg／㎠ 5．9．1表 2．コンクリートの厚さ：※60㎜ ○（ ちご ）
	㉑ 4．9．1 材 料	**9節 玉石，割り石コンクリート地業** 2．・A種 ※B種
5 コンクリート工事	① 5．1．2 設計基準強度	**1節 一 般 事 項** 普通コンクリート

設計基準強度Fc（kg／㎠）	適用箇所
※ 210	
・ 180	
・	

② 5．1．3 コンクリートの製造個別 — 製造個別：※1個 ・2個 — 5．1．1表

③ 5．1．4 軽量コンクリートの種別 — 軽量コンクリートの種別：※1個 ・2個
設計基準強度Fc（kg／㎠）：※150 ・180 ・210
所要気乾単位容積重量：・

2節 材 料

④ 5．2．1 セメント — セメント：※普通ポルトランドセメント ・混合セメントのA種 ・早強ポルトランドセメント

⑤ 5．2．2 骨 材 — 2．骨材の品質
(6) 細骨材の塩分含有量の限度：※0.04%以下 ・0.04を越え 0.1%以下のものは監督員の承諾を得て使用できる。

⑥ 5．2．4 混和材料 — 混和剤：※コンクリート製造所の仕様
AE剤又はAE減水剤標準形
・AE剤 ・遅延剤 竹本油脂（チューポールC）山宗化学KK（ヴィンソル）
・AE減水剤 ・ 山陽国策パルプKK（サンアーK）日本シーカKK（プラストクリートNC）日曹マスターピルダーズKK（ポゾリスNo.70）藤沢薬品工業KK（パリックS）竹本油脂（チューポールEX）

⑦ 防錆剤 — 混和材：※フライアッシュ（JIS A 6201） ・（ ）
・使う ○使わない
製造所

3節 調合一般

⑧ 5．3．2 単位セメント量など — 3．混和剤の種類：※3の(1)，(2) ・

⑨ 5．3．4 空気量 — 所要空気量：※普通コンクリートは4％ ・
※軽量コンクリートは5％ ・

⑩ 温度補正 — ※要 ・不要。

⑪ 5．4．3 レデーミクストコンクリートの呼び強度の選定 — **4節 レデーミクストコンクリート**
1．レデーミクストコンクリートの種別：※JIS A 5308の標準品 ○特注品

⑫ 5．8．1 施工個所 — **8節 寒中コンクリート**
2．寒中コンクリートの適用：

⑬ 5．8．6 養生 — 3．初期養生
(1)初期養生期間：※5.8.2 表により定め，養生打切りは，5.8.5 の1による試験を行って…

⑭ 5．9．2 材料 — **9節 無筋コンクリート**
1．捨てコンクリート，防水押えコンクリートの粗骨材の最大寸法：※25㎜

⑮ 5．9．3 設計基準強度 — 2．設計基準強度：

種別	設計基準強度Fc（kg／㎠）	適用箇所
◎A種	180	土間，階石，個掘，個掘石個みの基礎
◎B種	150	捨てコンクリート，配管埋設用コンクリート，防水押えコンクリート

○ ⑯ 5．11．5 塗装，吹付け及び塗装張り下地 — **11節 コンクリート仕上げなど**
1．コンクリート面の処置：※5.11.2表

6 鉄筋 ① 6．2．1 型枠及びせき板 — **2節 材料及び構造**
2．せき板の個別：・A種 ※B種 6．2．1表

章	項目	特記事項（説明欄）
型枠工事	② 6．2．2 組 立 て	8．打放しコンクリートの出隅部分の面取り材の形状：※個管員の指示
	○	**3節 型枠の存置期間**
	③ 6．3．1 型枠の取外し	2．型枠の最小存置期間：※6.3.1表及び6.3.2表
	④ 6．3．2 支柱の盛りかえ	1．支柱の盛りかえ：※最上階において，床版下及び小梁下の支柱に適用する
7 鉄筋工事	① 7．1．1 異形鉄筋	**1節 材 料**

種類	種別	径（㎜）及び使用箇所
異形鉄筋	※SD30	D10～D19
	・SD35	
	・	

7．1．1表

② 7．1．2 丸 鋼

種類	種別	径（㎜）及び使用箇所
丸鋼	※A種	
	・B種	

③ 7．1．3 溶接金網

形状	○正方形 ・長方形
寸法	・50 ・75 ・100 ・150 ・
鉄線の径	・2.6 ・3.2 ・4.0 ・5.0 ○6.0 ・

2節 加工及び組立て

④ 7．2．1 継 手 — 4．鉄筋の継手：※重ね継手 ・ガス圧接（径 19㎜以上）
作業者の技能資格，・NAK1種，※NAK2種，・NAK3種

⑤ 7．2．2 鉄筋のかぶり及び間隔 — 2．7.2.5 表以外で個人上不利な箇所及びその他小かぶり厚さ：・

⑥ 7．2．3 柱 — 3．塩分を含む骨材を使用する場合のかぶり厚さ：・ 2年間 4cm

⑦ 7．2．4 大 梁 — 2．梁筋

(1) 帯筋：・

(2) 帯筋の組立ての形の種別：※(1)，(2)，(3)

1．大梁筋の継手及び定着

(1) 一般事項

(2) 梁にハンチをつける場合の傾斜：※1：4

2．あばら筋，腹筋及び幅止め筋

(1) あばら筋：・

4．壁開口部の補強

(1) 壁開口部の補強：※7.2.7 表A形…

⑧ 7．2．8 壁 — 3．はね出し床版の場合の配筋：※(1)，(2)，(3)

⑨ 7．2．9 床 版 — (1) 一般部分の主筋の径，本数：・

(2) 出隅部分の主筋の径，本数：○ 上ぢから…下

5．その他の補強

(3) 土間コンクリートに補強筋を入れる場合の形：・A型

⑩ 7．2．10 竣貫通孔の補強 — 竣貫通孔の補強：・図示による。

章	項目	特記事項（説明欄）
8 鉄骨工事	① 8．1．4 施工個所	**1節 一 般 事 項** 施工精度：※日本建築学会制定の「鉄骨工事精度標準」による
	② 8．2．1 鋼 材	**2節 材 料** 1．鋼材の材質，JIS マーク表示品の指定：

材質	※SS41 ・ ・
規格	※JIS規格品 ・JIS規格適合品（※試験を行う ・試験を行わない）

③ 8．2．2 高力ボルト — 3．特殊高力ボルト
(1) 特殊高力ボルトの種別：・（ ）
セットの種類など：※JIS型の2種同等（F10T）

④ 8．2．3 溶接材料 — 2．鋼材とスタッドの製造所：

⑤ 8．2．6 チャンバクル — 1．チャンバクルの個：※JIS A 5541の1種 ・2種

⑥ 8．5．9 溶接完了後の検査 — **5節 溶 接 接 合**
1．
(4) 放射線試験，マクロ試験：※行わない ・行う
(5)
(c) 超音波探傷試験：※行わない ・行う
(d) 抜取率，抜取方法：※(1)，(2)として標準仕様 ・

⑦ 8．7．2 ボルトの保持及び埋込み — **7節 アンカーボルト**
2．ボルトの保持及び埋込み工法：・A種 ※B種 ・C種 8．7．1表

⑧ 8．7．4 柱底ならし仕上げ — 3．柱底モルタルを個収縮モルタルとする場合の無収縮モルタルの製造所：
4．ならしモルタル工法：・A種 ※B種 8．7．2表

9節 軽量形鋼構造

⑨ 8．9．2 材 料 — 1．個 材

⑩ — (2) 丸 個：※A種 ・B種 7．1．1表

章	項目	特記事項（説明欄）
9 鉄筋コンクリート	① 9．1．2 材 料	**1節 補強コンクリートブロック積み（個壁）** 1．ブロック

種類	◎C種個所品 ・C種適合品
厚さ（㎜）	◎ 100 ・ 120 ・ 150 ・ 190

② 9．1．5 コンクリートの調合 — 3．鉄筋：※異形鉄筋のSD30 ・SR24 ・
2．設計基準強度（Fc）：※180kg／㎠

③ 9．1．6 配 筋 — 2．各個の配筋
(1) 壁の配筋：※9．1．4表

2節　鉄筋コンクリートブロック積み（耐力壁）

ブロックの厚さ（㎜）：　・C種 150　・C種 190　・

3．各部の配筋
(1) 壁の配筋：　※9．1．4表
(2) 交差部，隅部（開口部を含む）の配筋，取合い部：　※9．2．1図
4．まぐさの配筋：　※9．1．3図，9．1．3図

2節　アスファルト防水

種別：　・密着工法）　・絶縁工法）　・露出防水層（絶縁工法－1）　・露出防水層（絶縁工法－2）　・複合防水工法

2．アスファルトフェルト：　※300g品　・400g品
　アスファルトルーフィング：　※35kg品　・45kg品
6．アスファルト：　※露出防水は3種，密着防水は1種又は3種　・
8．砂付きルーフィング：　※ＪＩＳＡ6007の400g品
　屋根が勾配壁の砂付きルーフィング：
　屋根が金属製瓦の砂付きルーフィング：

1．押さえコンクリート
(1) コンクリートの種別：　・A種　※B種　5．9．1表
2．伸縮目地
(2) 伸縮目地の間隔：　※縦25mmの合成樹脂発泡材の目地板…　・

1．材料
(1) 断熱材の厚さ，熱伝導抵抗値，含水率など：
　別に定める試験の適用：　・付則－1の試験を適用する　・適用しない
(2) 伸縮目地材：　※メーカー仕様　・
5　保証書及び期間
防水工事の施工については，10年間の保証書を提出すること。ただし，保証は天端仕上げ面及び施工者の過失とする。

3節　塗　膜　防　水

1．主材料

4節　合成高分子ルーフィング防水

1．ルーフィング
(1) ルーフィングの種別：
(2) ルーフィングの種別，厚さ：　・

5節　シーリング材

3．シーリング用材料の種別，目地寸法：　・A種　・B種　◎C種（各所使用ﾌｧｽﾄ通り）
　材　料　※D種　・E種　・F種　10．5．1表
4．接着性試験の適用：　・する　・しない

2節　テラゾブロック張り

1．張石の種別，大きさ：　※大理石の張で12mm以下，花こう岩で6mm以下…　・
　張場所

3節　張　石　張　り

1．張石の厚さ仕上げ：　※縦挽き（荒ずり）…　・
3．コンクリート
(2) 裏面等に使用する張石の種類：　※花こう岩で大きさ6mm以下　・

4節　張石及び階段石

1．石の品質：　・1等品　※2等品　・3等品
2．仕上げの種類：　※縦挽き　・

5節　テラゾタイル張り

テラゾタイルの種類，形状，寸法：　・300形（　石）　・400形（　石）

1節　一　般　事　項

工法の種別：

工法の種別		
壁	屋外	・密着張り
		・圧着張り
		・改良積上げ張り
		ユニット　・圧着張り
		タイル張り　・改良積上げ張り
		・接着剤張り
	屋内	・圧着張り
		・積上げ張り
		ユニット　・圧着張り
		タイル張り　・改良積上げ張り
		・接着剤張り
床		・ドライタイプ(クリンカータイル…)
		◎ウェットタイプ(一般タイル…)

2節　陶磁器質タイル張り

1．タイルの形状，寸法：

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ	うわぐすり	その他
	・25×25	磁器質	無	物
外壁	◎105×60	磁器質		ﾌﾗｲｽﾛｯﾌﾟ
床	◎100×100	磁器質		
	・			
	・100×100	陶器質	施	釉
	・			
	・			

2．使物の使用：
使物使用か所

内　側	※出隅　天端のみ使用
外　側	※使用しない　・使用する

3　12．2．3．
　工　法

4　12．3．2．
タイル製神先付けの箇所
5　12．3．3．
　材　料

6　12．3．5
　工　法

7　12．4．1
　材　料
8　12．4．3
　工　法

6．神，器具取合部，伸縮目地のシーリング用材料：　・A種　・B種　・C種
　※D種　・E種　・F種
7．張付け用材料　10．5．1表
(2) 張付けモルタルの接木剤の製造所：　・信越化学工業㈱（ｈｉメトローズ）
　・松本油脂製薬㈱（ニューマーポローズ）
(3) 接着剤：　※エポキシ系
　別に定める品質試験の適用：　※しない　・する
1．伸縮目地
(1) 伸縮目地の位置：　※表面積適度部の取合い部，構造上の要所及び図示による　・
(2) 伸縮目地の寸法：　※縦10mm以上×巾7mm以上　・
4．張タイル
(9) 直張り
　1/4　タイルの張付けモルタル：　※プレミックス（既調合）モルタル　・
　(1) 試験張り，接着力試験，抽取り検査：　※しない　・する

3節　陶磁器質タイル型神先付け

種別：　・タイルシート法　・目地まず法　・性木法

1．タイルのきじ質：　・磁器質　・せっ器質
3．タイル
(4) 吸物：　・使う　・使わない
(7) せき板の種類：　※6．2．1．表のB種又は金属製タイル先付け用パネル　・
(8) 伸縮（調整，B調節）目地のシーリング用材料：（10．5．1表のC種）　・A種
　・B種　※C種　・D種　・E種　・F種　10．5．1表
1．目地張り及び伸縮目地
(1) 伸縮目地の位置：　※12．3．3表…　・図示による
(2) 伸縮目地用シーリングの目地寸法：　※縦20mm以上，巾10mm以上　・

4節　れ　ん　が　積　み

普通れんがの種類：　※1種　・2種　・3種

2．普通れんが積み
(1) れんが積み：　※半枚積み　・

1節　一　般　事　項

1．13．1．1表　種類及び品等：　※各部の規定　◎瓶焼材：旭（長香材）
　13．1．2表　種応規格，化粧規格：　※ヘムロック，シトカスプールスの無節　・
2．種類の代用を認止する場合13．1．3表：　・
※見え掛り化粧材は仕上がり寸法とする。
13．1．4表の種類付け金物の接着用：　※エポキシ樹脂系のもので，次の(1)，(2)…　・

防あり処理：　・する　・しない
薬剤種適所：
白あり防除工事については，5年間の保証書を提出すること。

11節　屋根野地，軒回りその他

13．11．1表の（注）野地板に合板を用いる場合の材料：　※コンクリート型枠用合板（ＪＡＳの2種）　・

2節　表　面　処　理

3．鉄の亜鉛めっきの種別等

施工箇所	亜鉛めっきの種別	付着量の種別
	◎A種	◎A種　※B種（一面の付着量）
	・B種	・A種　※B種　・C種
	・C種	亜鉛付着量(片面g／㎡)　・20・30・40・50

(3) 表面処理亜鉛めっき鉄板
(4) 亜鉛の最少付着量：　・
5　亜鉛めっき鉄の試験の適用：　・する　・しない

3節　長尺亜鉛鉄板ぶき

1．屋根ふき形式：　・瓦棒葺（心木なし）　・平葺　・
2．屋根ふき工法を定める専門業者：　・三晃金属工業㈱　・富士塗工㈱　・大興建材㈱
1．長尺亜鉛鉄板：　※着色亜鉛鉄板のコイル　・片面着色亜鉛鉄板　・両面着色亜鉛鉄板
　・亜鉛鉄板
2．長尺亜鉛鉄板の厚さ：　・0．27　・0．3　・0．35　※0．4　・0．5　・0．6
5．下ふき材料（アスファルトルーフィングkg／2in）：　※22kg品　・35kg品　・45kg品
　所属：　形状，所属の高さ（　）
　　材　種：　※片面着色亜鉛鉄板　・両面着色亜鉛鉄板　・亜鉛鉄板
　　亜鉛鉄板の厚さ（㎜）：　・0．8　・1．0　・1．2　・1．6
　　折 先 面 戸：　※あり　・なし
　　折先フレーム：　※あり　・なし

4節　と　い

1．といの品の材種　・配管用鋼管　※硬質塩化ビニール管(VP)
　・硬質塩化ビニール管(VU)　14．4．1表
2．とい受け金物：　亜鉛めっきを行った鋼製とし，14．4．2表及び14．4．3表　※ステンレス製
1．樋どい受け金物の形式：　丁番作り…　・ステンレス　SUS304

1．樋手：　※冷間接合，接着剤を用いる

2．防　錆
(1) 防　錆：　※14．4．4表
(2) 錆止塗の厚さ：　※20㎛
排除口の位置：　・はり下　※壁付き（図示）

小特締器㎜　ホキソウ㎜　㎜興戸製作所　黒一鋼材㎜　㎜長谷川鋼工所　福西鋼機㎜
注)VP管もセキスイ(化学(株))かカラーVP管(クラレ)の同等品とする。

5節　雨量鉄骨天井下地

2．スタッド，ランナーの種類：　※14．5．1表　・

6節　雨量鉄骨天井下地

2．野縁などの種類：　※14．6．1表の屋内は19形，屋外は25形　・

7節　雑　金　物

2．材料及び工法
(1) 材料の種別，寸法形状，表面処理：　◎アルミ合金製
※ＢＬ製品，及びＢＬ製品以外，共に固定はアンカー方式とし，監督員の承認を得ること。
材料及び工法
(1) 材料の種別：　※ステンレス鋼　・鋼　SUS304
(2) 表面処理　：　・Ａ種　・Ｂ種　14．2．1表
1．材種，形状，寸法など：　◎ステンレス鋼（SUS－304）　・
　・ビニールタイヤ又は合成ゴム入り　・タイヤなし　・
　・巾
1．材料，形状，寸法：　※ステンレス目地棒4㎜×12㎜1尾付）　・

材質，寸法，形状，施工箇所：　※ステンレス鋼　・アルミニューム　・
　高さ：　※1800まで　・天井まで
材質：　※アルミ鋼　・アルミダイキャスト製　・
形式：　◎袖在型物干金物（可動式）
　・固定型物干金物　（固定式）

2節　モルタル塗り

4．混合含有量：　※0．04%以下　・
6．保水剤は，12．2．1の7の2)による。
2．防水剤の製造所：　石原産業ＫＫ（石原）ＫＫ日本セメント防水剤製造所（ウォーテイトＢ号）
　ベストンＫＫ（ベストンＢ）マグナ工業ＫＫ（マグナー盛２号）ＫＫ油脂
　化工社（マノール防水用）ＫＫイノウエポンド（防ジストン）大阪防水
防水モルタル塗りについては，元請業者と工事保証書書等による10年間の保証書を提出すること。

5節　人造石塗り

2．張石の種類：

仕上げの種類	張石の種別	施工箇所
・とが出し	カナリヤ，琴水，能文…	
・洗出し	・	
・小たたき風	・	

5．目地の有無：　・あり　・なし

6節　現場テラゾ塗り

※15．5．1による。

7節　各種吹付け

3．縁端シーリング用材料：　・A種　・B種　・C種　※D種　・E種　10．5．1表

ＪＩＳＡ6915規格品

塗付工法	厚さ（mm）	模様の種類	上塗材
※吹付工法	※5・	・吹放し　・凸部処理	・光沢　・つや消し
・こて塗り工法	※6・	・ひき起し　・凸部処理	・光沢　・つや消し

2．材料
(1) 種別：外部用　◎A種　・B種
　内部用　・A種　・B種

2．材料
種類：　・E　・RE　・C　・RS　15．7．8表
3．仕上げなど
仕上げ材塗りの種別：　・メタリック　・光沢　・つや消し
1．適用箇所
(2) 種類及び吹付け厚さ：　※吹付け厚さ5㎜
　・セメント系　・粘結材系　・合成樹脂エマルジョン系

2節　塗地ごしらえ

鉄面の素地ごしらえ：　◎A種　※B種

4節　合成樹脂調合ペイント塗り(S,O,P塗り)

亜鉛めっき面の塗り工程　16．4．3表
(注) 1．工程２の種別：　◎A種　・B種（・船舟さび止めペイント
　・亜鉛化鉛さび止めペイント
　・亜酸性クロム酸鉛さび止めペイント
　・シアナミド鉛さび止めペイント）

鉄部の塗り工程：　16．4．2表

塗料	摘要
・船舟さび止めペイント（・1回，・2回） ・亜鉛化鉛さび止めペイント（・1回，・2回） ・亜酸性クロム酸鉛さび止めペイント（・1回，・2回） ・シアナミド鉛さび止めペイント（・1回，・2回）	鉄骨構造物，屋外階段，さく，手すり，タンクの類

5節　クリヤラッカー塗り(L,C塗り)

塗り工程：　・A種　※B種　16．5．1表

7節　油脂形ビニル系塗料塗り(V,E塗り，A,E塗り)

2．塩化ビニル樹脂エナメル：　※ＪＩＳＫ5582の1種　・2種　・3種

10節　有光沢合成樹脂エマルションペイント塗り(G,P塗り)

材料の製造所：(株)相和化学その同等以上とする。

11節　マスチック塗材ローラ塗り

2．材料の製造所：

1．

種別	・A種　・B種　・C種
工種3の仕上材の種類	・織内形　・エマルジョン形
凸部処理	・凸部処理をする　・しない

1節　一　般　事　項

1．防火戸の指定：　・

2節　アルミニウム合金製建具

2．アルミニウム合金製建具：　※ＢＬマーク表示品　◎ＢＬ製品とする

1．17．2．1表中の他の材料
　小ねじ：　※ＪＩＳＧ4303のＳＵＳ305
　木ねじ，ナット，リベットの脚：　※ＪＩＳＧ4308のＳＵＳ305
1．性能の種別の区分：　17．2．3表

強さ(kg／㎡)	・A(160)	・B(200)	・C(240)	◎D(280)	・E(360)
気密(㎥／㎡h)	・N	・A(120)	・B(30)	◎C(8)	・D(2)
水密(kg／㎡)	・N	・A(10)	・B(15)	・C(25)	◎D(35) ◎E(50)
断音	・N	・A(25)	・B(30)	・C(35)	・D(40)
防火	・N	・A	・B		

8．水切り板の有無：　・有　・無
1．取付け
(2) 取付け方法：　※現場締付け　・工場製作板先付け
3．網戸の使用方法による区分：　※外張網りの可動式　・
4．網の材質：　◎合成樹脂製　◎ステンレス製　・ガラス繊維入り合成樹脂製

3節　鋼製建具

2．鋼製建具（ＢＬ認定のあるものについて）：　※ＢＬマーク表示品　・

6．防せい処理：　※14．2．1表のC種，亜鉛付着量は両面で120g／㎡以上…　・

4節　木製建具

2．合　板
(1)

側	種	・ラワン	・国内産樹種　・
品	等	※17．4．2表	

6．張ふすま紙
(1) 在来ふすまの間調紙の仕上げ：　※17．4．5表のA種　・B種　・C種
　17．4．5表
　周囲寸の寸法：　・16．5×21（㎝）
　中骨の種子の寸法：　・12×13．5（㎝）
　引手受，縁子の寸法：・12×13．5　※3本（中1本は引き手上）（21×13．5（㎝）
　引手受板の寸法：　・板材13．5（㎝）

5節　シャッター

開閉機械による種類：　・上部電動式（手動併用）　※手動式
強度による種類：　・50　※65　・80
シャッターケース：　・露出する　・露出しない
ガイドレール　ステンレス鋼厚さ1．5㎜(中柱は除く)
中柱(鋼製)内法高2．5m以上補強型
座板(外部)ステンレス鋼　ＬＬ－3×40×40
塗装：　※鋼材塗装　・電蝕塗装
操作スイッチ及び2次側配線は本工事に含む
強度による種類：　・30　※80　・
機能による種類：　・防火シャッター　・防煙シャッター
防煙シャッターは，自動閉鎖装置及び開時煙感知器付とし，連動制御盤及び煙感知器は別途とする。
シャッターケース（防火，防煙以外の場合）：　・露出する　・露出しない
開閉機能による種類：　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　・下部手動式
操作スイッチ及び2次側配線は本工事に含む（電設標告示2543号による）
8．材　料
(2)
ガイドレール：　・
まぐさ：　・
座板又は座板の覆み板：　・
開閉機（下部手動式）のカバー：　・
スイッチボックス箱の材質：　・
電動シャッター，自動扉の施工範囲は下記による。
自動扉の電源スイッチ以降の配線工事（配管及び位置ボックスは別途工事とする）
電動シャッターの操作スイッチ以降，シャッター制御盤までの配線工事（配管及び位置ボックスは別途とする。）
機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサーを設置。

6節　建具用金物

5．丁番の寸法：　・図面による
7．マスターキー：　・不要　※要　　ヶ所　・
　コンストラクションキー：　※不要　・要　　ヶ所　・
1．丁番：　※ＪＩＳ　Ａ　5501の厚ロステンレスヘアライン仕上げ…　・
　寸法：　※図面による
2．ドアクローザ：　※ＢＬマーク表示品（・1set　・2set）　・

建具金物
　ドアチェック：　※面付き型　・埋込型
　　◎ストップ付き　※ストップなし
　ピボットヒンジ：　※わく付き　・床付き

・ＢＬ製品

7節　ガ　ラ　ス

1．ガラスの厚さ：　※図面による

建具の種類	材種
網戸	・パテ（※1種・2種）シーリング材C種
アルミニウム製	・ガスケット　※シーリング材C種　・パテ（・1種　※2種）
ステンレス製	・シーリング材C種　・パテ（※1種　・2種）
木製	※パテ（木製建具，鏡具用ガラスパテ）

1節　一　般　事　項

1．一般事項
(6) 塗付け時の室温が低い場合の施工：　※製造所の仕様による

外装工事

2節　造形石膏スレートぶき(外壁を含む)

1．スレート
(1)種類：厚板　・大波　・中波　・小波　・リブ板
　　薄　　・大波　・中波　・小波　・リブ板
2．施工地域：　・積雪地域(通常寒冷地域)
　　　　　　・多雪地域(ボルト締めの工法は特殊フックとする。)　(適用：北部地域)
3．出　隅：　・

3節　壁　　張　　(型枠工事)

1．壁のJIS A 5902の等級：　※ヘり付き、2級　・
2．(3)　断熱施工法の場所：　※18．3．1表　・
・壁は完成検査から1年以内に結露、ダニ目(通称ヌケ・ダニ)等発生した場合は直ちに防滅処理する。

4節　フローリングボード張り

2．種類、等級、寸法：　※18．4．1表　・
4．塗装：　※オイルステイン着色のうえウレタン塗り　・

5節　複合フローリング張り

1．天然木化粧複合フローリング：　※2の標準仕様　・
　特殊加工化粧複合フローリング：　※3の標準仕様　・4の標準仕様　・

6節　ビニル床シート張り

種　別	厚　さ (mm)	色　柄
ビニール床シート　※住宅用 ・　　・一般用	・1.5　・2.0　※2.5　・3.0	※無地 ・模様

7節　合成樹脂系複合床材張り

1．塗布量：　・A種　※B種

8節　ビニル床タイル張り

1．ビニル床タイル
(2)

種別その他	厚　さ (mm)
※ビニル床タイル (半硬質)	※2　・3
ビニル床タイル (軟　質)	※2　・3

2．ビニル巾木：

材　質	厚　さ (mm)	高　さ (mm)
※軟質　・硬質	※2　・	・60　※75　・100

9節　合成樹脂塗り床

1．・弾性ウレタン塗り床　厚さ (mm)：　※2　・　　18．9．1表
　　表面仕上：　※平滑仕上　・防滑仕上　・つや消し仕上げ
　　製造所：
2．エポキシ樹脂塗り床　厚さ (mm)：　・
　　表面仕上：　※防滑仕上　・遮し製べた仕上げ　・レジンモルタル仕上げ
　　製造所：
(3)　補強ガラスクロス：　※種類EP－21A，補強量は1層　・

10節　石こうボード、その他のボード及び合板張り

3．普通合板
5．種類合板

材　種	種類など	厚　さ	工　法
合　板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ※ラワン・(　　)	・2.7　・3 ・4　・5.5　・9　・12	・A種 ※B種
	不透明塗料塗りの場合、押入床 ・しな　・(　　)	・4 ・6　・9　・12	※A種 ・B種

4．特殊加工化粧合板

工　法	施　工　所	タイプ、厚　さ
※A種　・B種		・W・※W・・3.7・3・3.2 ・4・4.2・4.8・5・5.5・6
※A種　・B種		・　　・

6．化粧石こうボードの止付け：　※カラー釘　※ステンレス釘
・石綿けい酸カルシウム板の止付け：　・
・水モ板の止付け：　・
4．ボード類、合板などの張付け　　18．10．5表
(2)

材　種	施工箇所	張り方	厚　さ (mm)	工　法
せっこうボード	壁	・下張り　※突付け	・9　・12	・A種※B種
		・上張り　・突付け	・9　※12　・	・A種※B種
		・目違し		
		・面引処理	テーパー付　・9　※12	
	天　井	・下張り　※突付け	※9　・12	・A種※B種
		・上張り　・突付け	※9　・12	・A種※B種
		※目違し		
		・面引処理	テーパー付　※9　・12	
化　粧 せっこうボード		・突付け ・目違し	※9	・A種※B種
石綿セメント板 (平　板)			・5　・6	・A種※B種
石綿セメント板 (フレキシブル板)			・3　※4　・6　・8	・A種※B種
石綿けい酸 カルシウム板			・4・5※6・8・10・12	・A種※B種
水モセメント板			中間 ・20　・25　・30	
パーティクルボード			・10・12・15・18・20	
硬質繊維板			・3.5・5・7・9・12・15	

17　真　井　目　地　　※目地巾4～6mm、目地底紙テープ張　・

11節　壁　紙　張　り

1．

施工箇所	品　質	規　格	防火性能の識別
浴室壁 天井 便所、押入、T.I.P.-A-6491	ビニルクロス		・1級　※2級　・4級
玄関 廊下 階段			・1級　・2級　・4級
			・1級　・2級　・4級
			・1級　・2級　・4級

18　18．11．1　材　　料　　施工箇所：　※標準仕様　・
　　製造所：
19　18．11．2　下　地　処　置　2．合板張り、石こうボードなどの面目の処理：　※セメントフィラー　・
20　18．12．3　クロス直貼工法　・壁等　・型ビ発泡クロス　・貴任施工とする
　　製造所：

13節　カーペット敷き

21　18．13．2　材　　料　3．タフテッドカーペットの敷例：　・A種　・B種
　　7．下敷き材：　・
22　18．13．3　工　　法　1．敷込み工法：　※グリッパー工法　・全面接着工法

14節　断熱及び防露工法

23　18．14．2　材　　料　材料種別

材　料　種　別	厚　さ (mm)	備考
(5)　フォームポリスチレンボードの種類：※JIS A 9511の1号…2号・3号・4号	※25・35・50	
(6)　グラスウール保温板の種類：※2号8K (96kg/m³)	・25・40・50	
(7)　グラスウールマットの区分：※外張区分U	・50	
(8)　ポリエチレンフィルム　：※1種 (厚0.1mm)	・	

24　18．14．3　工　　法　1．壁の工法：　・
　　3．工　法：　※標準(1)～(4)　・

15節　壁　下　パ　ネ　ル

25　18．15．2　材　　料　1．水モセメント板厚：　※標準寸法、重量　・
　　2．木片セメント板厚：　※同上　・
　　3．発泡プラスチック系の製造所：

16節　内装プレハブ工法

26　18．16．3　材　　料　7．金属材料
　　(3)　鋼板の表面処理：　※ＪＩＳＨ8610の2種3級
27　18．16．4　製作、組立て及び工法　製造所：

19　仕上げユニット・その他工事

1節　浴室ユニット

1　19．1．1　総　　例　2．浴室ユニットの製造所：　※BLマーク表示品　(本種、ETP製品を含む)

タイプ	呼　　称	
・A	※1116	・1117　・1216
・B	・1116	・1117　・1216

2　19．1．2　防　水　試　験　試験の適用：　・する　・しない
3　19．1．3　漏　水　試　験　試験の適用：　※する　・しない
○　実測で3.2がある　浴室内積層畳寸法(ジャストなし)(畳割及び畳敷替は設備工事による)
4　19．2．1　材　料　そ　の　他

2節　カーテンレール

1．カーテンレール　材質：・アルミニウム　※ステンレス鋼　SUS430
　　形状：※C型　又は　※D型　・I型

3節　そ　の　他

5　19．3．1　流し台、コンロ台、つり戸棚、キッチンキャビネット：　※BLマーク表示品　・
6　19．3．2　キッチンキャビネット
7　19．3．3　集合郵便受箱：　※BLマーク表示品(　B等 5A等　)　SUS304
　　表札及び掲示板その他

表名札、掲示板：

品　目	材　質	寸　法	形状その他
※表　名　札	プラスチック	270×130	公共住宅型　プラスチック SK402－P型　数字のり付
※掲　示　板	枠ステンレス 合板ラシャ貼又はOP塗	550×410	公共住宅型 SK 401型
・黒　　板	木製、枠・		下枠付、色1ドリ
※階数表示板	~~プラスチック~~ (国交による)	~~180φ~~	公共住宅型 SK401型にする予定
◎階段親子スチール網戸	スチール網、ステンレス、 (国家検定合格品)	600×800	(親戸ハンドル)　(親子)　収納型
◎タオル掛	ステンレスパイプ	・~~220φ~~ ・~~300~~ 134 ・300 9.5φ	ブケット(ABS樹脂)付 SUS430
◎水　切　棚	ステンレスパイプ	・d=900　2段用 ・d=1200　3段用	SUS304
◎湯沸器取付板	木製	・図示による	OP
・洗面所棚板	プラケットスチール製	300×150	ステンレスビス止め
◎神　　棚	(カシキ製神) (バランス型神)	プレキャスト 250×250 365×235	
・点　検　ノ　口	鉄：ブリキ張	※450×450 ・600×600	UR仕様のみ
・屋上点検ノ口	・ステンレス製	・公開 ※非開 ※非開(PB500×500)	
・バルコニー手摺 ・隣戸境界上部	・鋼板製	・~~400~~(パルコニー) ・450(隣戸境)	~~H=400~~ (H=400+30) (H=500+30)
◎棚　番　号	図示による。		
・　　・	モザイクタイル(陶器)	・図示による	壁面にミ幼タイル貼
◎表札基礎台		・100φ	基礎製作時(RC) H=300 H=350 H=400
◎ラジエーター		・100φ	
◎側溝蓋		・200×300	※ステンレス製又は同等品以上

20　PC工法による工事

4節　貫通孔その他

8　19．4．3　材　　料　スリーブの材質：　・鋼管　・硬質塩化ビニール管　・低配鉄板　・つば付き鋼管
※鉄チューブ

1節　一　般　事　項

1　20．1．2　関連設備工事　別例的工事の場合の工事区分：　※(1)表(2)3種等　・
(2)　穴埋め：　・

2節　PC板製作に使用する材料及び部品

2　20．2．2　鋼　　材　3．鋼材の材質：　・

3節　P　C　板　の　製　作

3　20．3．8　表面仕上げ　2．タイル張り仕上げ
(2)　製造方法：　※先付け工法

5節　PC板の運搬及び組立て

4　20．5．6　PC板組立て時の検査　2．PC板の8箇及び鋼板の検査時の判定基げに関係方法：　・

6節　溶　接　接　合

5　20．6．6　添えプレート　鋼板の水平ドライジョイントに用いる添えプレートの材質：　・
6　20．6．7　溶　接　施　工　11．フレアグルーブ溶接の余盛：　・
13．超音波探傷試験
(1)　試験の適用：　・

7節　ジョイント用コンクリート

7　20．7．1　調合及び管理　1．設計基準強度：　※210kg／㎠　・

8節　防　水　処　理

8　20．8．2　材料及び工法　(1)　ジョイント用テープ状シールの製造所：　・
(2)　帯状シール材の製造所：　・

21　外構整備工事

2節　舗　装　工　事

1　21．2．2　路　　床　1．材　料
(1)　路盤層に用いる材料：　※川砂又は海砂
(2)　表上断面に用いる材料：　・
2．工　法　・　/
(3)　盛土材料：　・
3．支持力比(CBR)試験の適用：　・する　※しない
2　21．2．3　路　　盤　1．材料の銘例、呼び名：　※21．2．1表のクラッシャーランのC－40又はクラッシャーランスラグのCS－40
4．支持力係数試験
(1)　支持力係数試験を行う場合　所要指示力係数：　・
(2)　支持力係数試験を行う場合、試験箇所数：　・
3　21．2．4　コンクリート舗装　1．材　料
(2)　冬季に施工する場合で早強セメントを用いる場合：　※使用しない　・
(5)　強度金額の銘目

形　状	・正方形	・長方形
寸　法	・50　・75　・100　・150	
鉄線の径	・2.6　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0	

4　21．2．5　アスファルト舗装　2．配合その他
(1)　加熱混合物の種類：　※密粒度アスファルト混合物(13)
　　・細粒度アスファルト混合物(13)
3．工　法
(3)　シールコートの適用：　※する　・しない
4．切取り検査
(1)　コアの採取数：　・
(2)　アスファルト混合物の抽出試験：　※しない　・
5　21．2．6　平　板　舗　装　1．

種　類	・コンクリート平板	・カ　ラ　ー　平　板	・人　と　ド　平　板	・洗出し平板
寸　法				

2．工　法
(2)　平板敷き
(4)　敷込み工法：　※砂で敷込む工法　・
6　21．2．7　敷きよ、縁石及び側溝　1．材　料
(1)

種　別	形　状	呼					
・側　溝	U　型	・150	・180	・240	・300A ・300B ・300C	・360A ・360B	・450　・600
・　　・	L　型	・250B	・300	・350			
・　　・	V　型						
・コンクリートBS		※参考境界ブロック	・A	・B	・C		
・　　・		・地先境界ブロック	・A	・B	・C		

(2)　コンクリートの設計基準強度：　※5．9．1表の A種　・B種
(3)　地盤の材料：　※4．7．1項り込み砂利又は砕り込み砕石　・
JIS K 5665トラフィックペイント溶着(ガラスビーズ15%混入)　線巾150　厚1.5mm
7　白　線　引　き
8　21．3．3　材　　料

3節　排　水　工　事

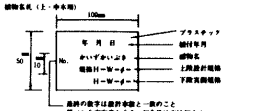
2．桝　　品：　・A種　※B種　　7．1．1表
4．排水管、その他：
・遠心力鉄筋コンクリート管　φ
・鉄筋コンクリート管　φ
・陶　管　φ
・硬質塩化ビニール管　φ
・陶　管　φ
・遠心力鉄筋コンクリート管の継手　・カラー接合　※ソケット接合
6．側溝の形状、寸法：　・
7．排水ます、ふたの銘柄

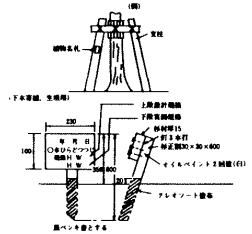
種　別	・排水ます・集水桝・現場打	・コンクリート製蓋	・グレーチング蓋	・鋳鉄製蓋	・
寸　法					

9　植　　例　8．地表の材料：　※4．7．1項り込み砂利又は砕込み砕石
※タイヤスの深さは図示または現場に合せる。土留壁さは水下管底より100とする。
10　21．3．4　工　　法　1．一般事項
(4)　種質土主：　※植栽り土の中の良質土　・

4節　植　栽　工　事

11　21．4．1　植　　栽　1．材　料
(5)　植込み用土：　※現場発生土の良質土　・
2．工　法
(3)　支　柱
(4)　竹　類：　・三脚　・四脚　・鳥居形　・布掛け　・
(5)　防雪処理：　※防雪用縄り　・縄丸太
3．樹木の移植
(2)　植管等：　・
4．補植規定
(1)　補植期間：　※引渡しの日から1年　・
　　見証書　・提出する
12　21．4．2　芝張り、吹付けは植その他　1．材　料
(1)　芝
(4)　芝の種類：　※こうらい芝　・野芝
(6)　土壌改良等補例及び適用：　※する(　　)　・しない
2．工　法
(1)　芝張り
(4)　工法：　※平地は目地張り、張り土のり面はべた張り、盛土の与面は筋芝張り
(5)　客土：　※する(厚100)　・しない
(2)　吹付けは種
(4)　播性及び種度の調定：　・する　・しない
(5)　種子の量：　・　　g／㎡
(6)　保護養生：　※する　・しない
13　水　路　・植栽にあたって、品質、寸法、形状及びに植栽位置は監督員の承認を受けて施工する。
14　雨　水　・雨水路上等に指定量の測定(測ゲ、育樹、物揚)を行う。
15　銘　板　・支柱のある場合には プラスチックプレート(白)に黒ペンキで樹木名を記入して釘止めのこと。
・支柱のない場合には上記プラスチックプレート(白)を杭に釘止めとする(下図参照のこと)





5節　開知石及びコンクリート開知ブロック積み

1．開知石の材種：　・老こう岩　・安山岩　・　　・35開知　・45開知
3．コンクリート開知ブロックの種類、重量区分：

形　状	高さ×巾×積え	kg／個	重量区分
※長方形			A
・正方形			A
・正六形			A

4．地盤の材料：　※4．6．1項り石　・玉石　・砕例
5．基礎コンクリート：　※A種　・B種　　5．9．1表
　　裏込めコンクリート：　・A種　※B種　　5．9．1表
16　21．5．2　材　　料
17　21．5．3　工　　法　3．
(2)　積み方：　※谷積み　・布積み　・　　・練り積み　・から積み
(3)　目地り：　・する　・しない
(1)　伸縮目地の材質：　・
　　厚さ：　・

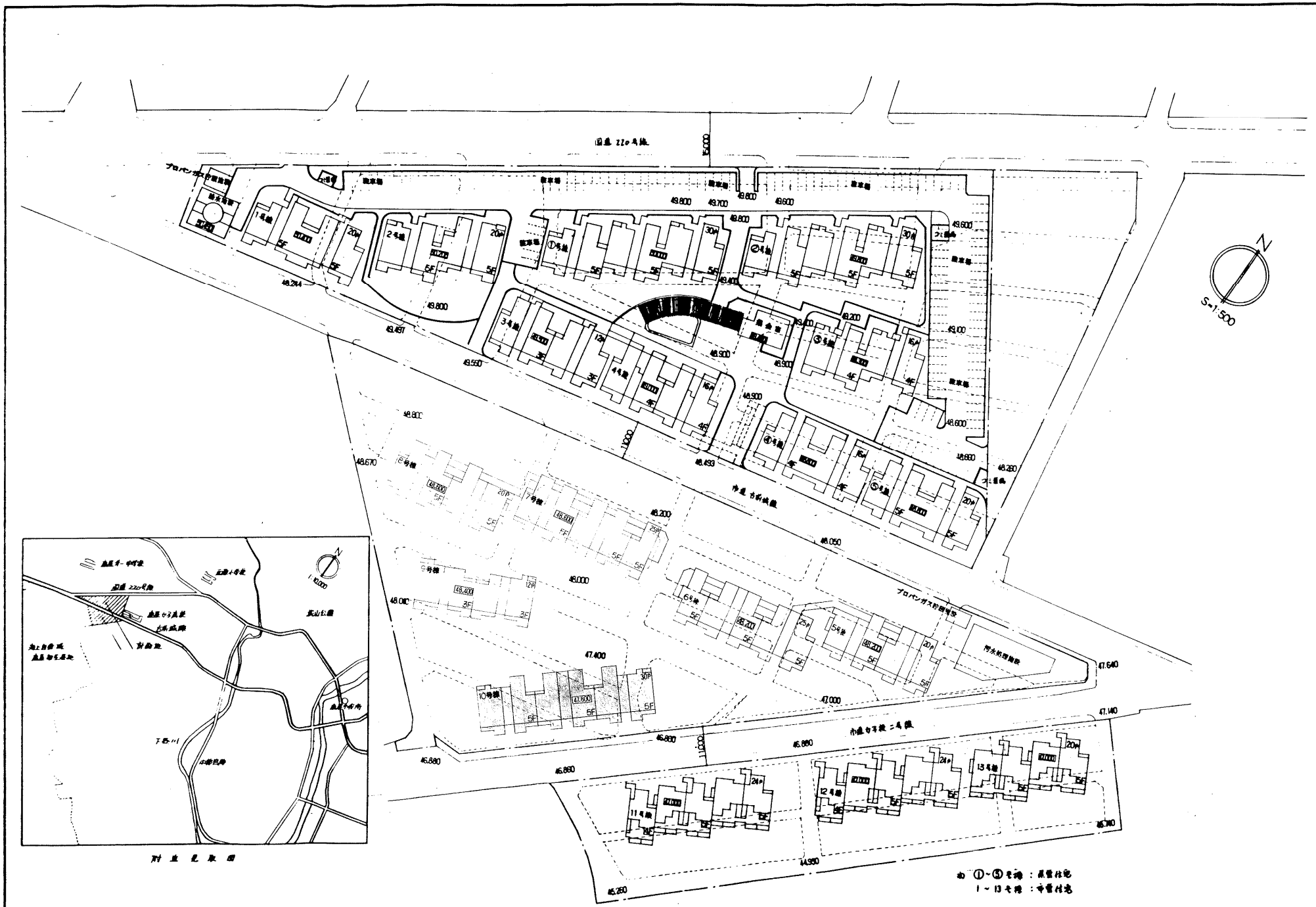
6節　砂　利　敷　き

18　21．6．1　材料及び種例　砂利敷きの種例：　道路　※A種　・B種
　　建物周囲その他　・A種　※B種　　21．6．1表

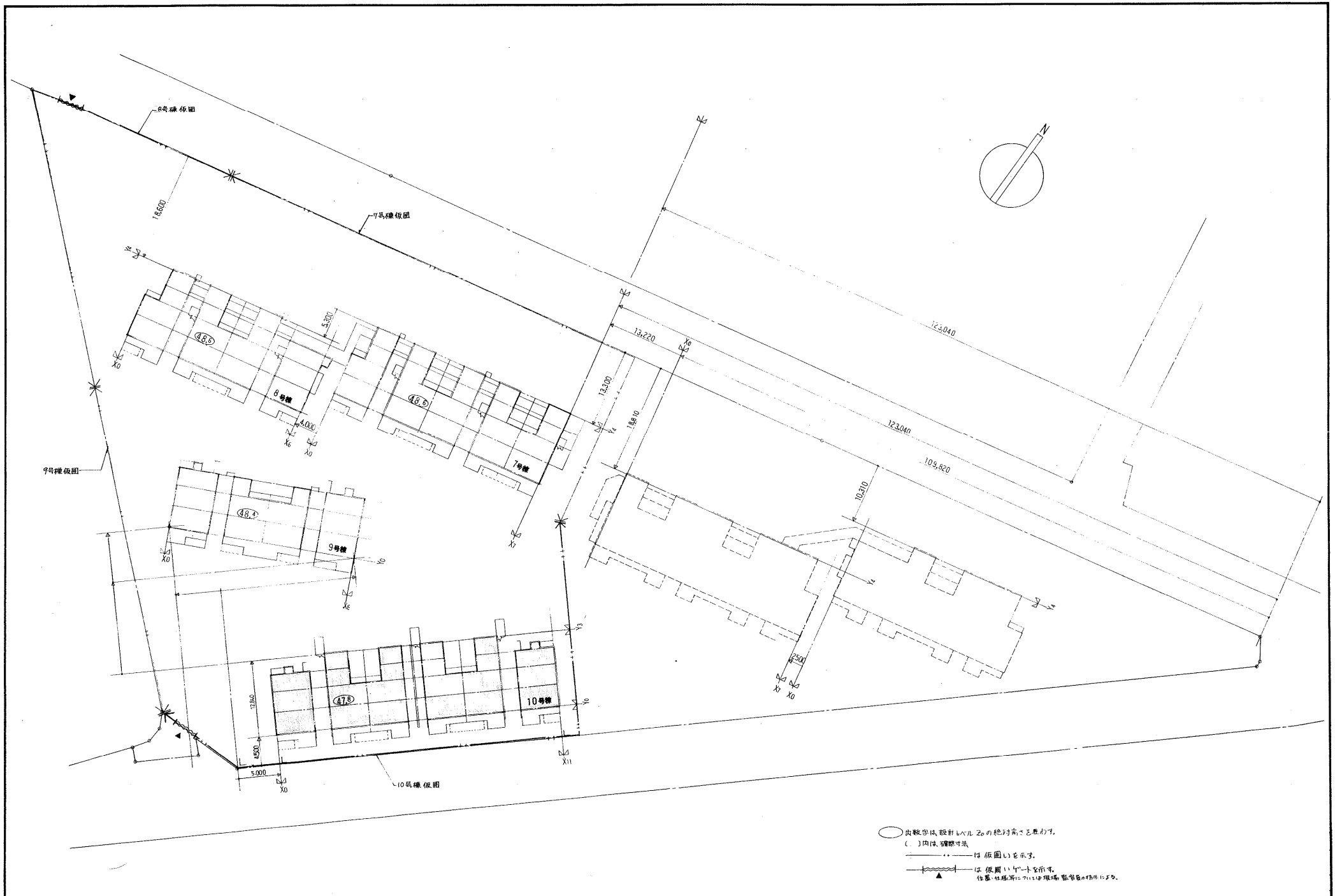
7節　境　地　境　界　石　標

19　21．7．1　材料及び工法　1．石標の種例：　※A種　・B種(　　)　　21．7．1表

項　目	特　記　付　加　事　項
承　認　事　項	・実施工程表　・下請業者名簿(主要材料共)　・現寸図(額材、サッシュ等)及び施工図 ・レディミクストコンクリート調合表　・アスファルト配合設計報告書　・仮設工事計画図(仮設建物)
材料承認及び検査	・木材、内外装材、左官材、木製建具(フスマ共)、器具金物、一般鋼金物、額子、吹付見本、塗装塗装量(板、巻、額)、縦し台
試験報告書各種検査用具	・鉄筋・レディミックスコンクリート・コンクリートブロック　・鉄打　・アスファルト現場検査 ・バケツ、懐中電灯、金槌、木槌、手鉄、鋸石、ハシゴ、ドライバー(＋、－)、チョーク、下げ振りレベル、スコップ、ツルハシ、スチールテープ30m以上(現場員の指示による)散水用ホース30m程度
工事廃棄発生材の処理	・引渡ししない(自由処分)　・引渡しを要するもの(場所　　)
杭の搬入	・試験杭打の結果により、監督員の指示に基づき、本杭を決定し搬入する。
消防設備等届出関出書	・施工者(有資格者)で届出すること。



附近見取図


8号棟仮囲
7号棟仮囲
9号棟仮囲
10号棟仮囲
18,600
125,040
123,040
109,820
13,220
13,300
18,810
10,310
5,300
4,000
5,000
4,500
12,850
2,500
(48.6)
8号棟
7号棟
(48.4)
9号棟
(47.8)
10号棟
N
○内数字は、設計レベル±0の絶対高さを表わす。
( )内は、確認対象
は仮囲いを示す。
は仮囲いゲートを示す。
位置・仕様等については現場監督員の指示による。

面積表

	10号棟
建築面積	586.8742
延べ面積（公住法）	2.399.0786
延べ面積（基準法）	2.504.9044

住戸タイプ別面積表

住戸タイプ	住棟番号	住戸専用部分	バルコニー部分		共用部分	公住法による合計	
3DK-A	10号棟	64.6645	4.5528		10.3767	79.5940	
3DK-B	10号棟	65.8840	4.6573	4.6265	10.3767	80.9180	80.8872
3DK-C	10号棟	64.4995	4.5528		10.3767	79.4290	
3DK-D	10号棟	65.4445	4.6573	4.6265	10.3767	80.4785	80.4477
3DK-E	10号棟	64.4321	3.1679		10.3767	77.9767	
3DK-F	10号棟	65.3771	3.2724		10.3767	79.0262	

階別面積表

		3A	3B	3C	3D	3E	3F		合計	住戸専用部分	バルコニー部分 公住法	バルコニー部分 基準法	共用部分 ホール	共用部分 P.S	共用部分 階段	共用部分 合計	合計 公住法	合計 基準法
10号棟	5F					2	4		6	390.3726	19.4254	24.8400	65.2302	1.9850	29.1646	96.3798	506.1778	511.5924
	4F			2	4				6	390.7770	27.6116	52.7760	14.4912	7.4250	62.1939	84.1101	502.4887	527.6631
	3F			2	4				6	390.7770	27.7248	52.7760	14.4912	7.4250	27.9241	49.8403	468.3521	493.3933
	2F	2	4						6	392.8650	27.6116	52.7760	13.3932	6.4350	36.1872	56.0154	476.4920	501.6564
	1F	2	4						6	392.8650	27.7248	52.7760	13.3932	6.4350	5.1300	24.9582	445.5380	470.5982
	合計	4	8	4	8	2	4		30	1.957.6666	130.1182	235.9440	120.9990	29.2050	161.0998	311.3038	2.399.0786	2.504.9044

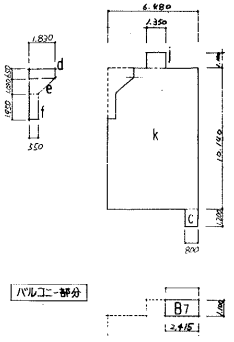
階別面積計算根拠

階	項目		計算根拠式
5F	住戸専用部分		2X⑨ + 4X⑫ = 2×64.4321 + 4×65.3771 = 390.3726
	バルコニー部分	公住法	2X[9] + 4X[10] = 2×3.1679 + 4×3.2724 = 19.4254
		基準法	2X[5] + 4X[11] = 2×2.1600 + 4×5.1300 = 24.8400
	ホール		2X⑩ + 4X⑩ = 2×10.8717 + 4×10.8717 = 65.2302
	P.S		2X⑪ + 4X⑪ = 2×0.24775 + 4×0.24775 = 1.4850
	階段		2X④ + ⑧ = 2×9.7632 + 10.1382 = 29.6646
4F	住戸専用部分		2X⑥ + 4X⑧ = 2×64.4995 + 4×64.4445 = 390.7770
	バルコニー部分	公住法	2X[6] + 4X[7] = 2×4.5528 + 4×4.6265 = 27.6116
		基準法	2X[3] + 4X[8] = 2×6.8160 + 4×9.7860 = 52.7760
	ホール		2X② + 4X② = 2×2.4152 + 4×2.4152 = 14.4912
	P.S		2X⑦ + 4X⑦ = 2×1.2375 + 4×1.2375 = 7.4250
	階段		2X© + ⑧ = 2×20.9088 + 20.9763 = 62.7939
3F	住戸専用部分		2X⑥ + 4X⑧ = 2×64.4995 + 4×64.4445 = 390.7770
	バルコニー部分	公住法	2X[6] + 4X[7] = 2×4.5528 + 4×4.6573 = 27.7248
		基準法	2X[3] + 4X[8] = 2×6.8160 + 4×9.7860 = 52.7760
	ホール		2X② + 4X② = 2×2.4152 + 4×2.4152 = 14.4912
	P.S		2X⑦ + 4X⑦ = 2×1.2375 + 4×1.2375 = 7.4250
	階段		2X⑥ + ⑧ = 2×9.1872 + 9.5497 = 27.9241
2F	住戸専用部分		2X① + 4X④ = 2×64.1645 + 4×65.8840 = 392.8650
	バルコニー部分	公住法	2X[6] + 4X[7] = 2×4.5528 + 4×4.6265 = 27.6116
		基準法	2X[3] + 4X[8] = 2×6.8160 + 4×9.7860 = 52.7760
	ホール		2X② + 4X⑤ = 2×2.4152 + 4×2.1607 = 13.3932
	P.S		2X③ + 4X③ = 2×1.0724 + 4×1.0725 = 6.4350
	階段		2X⑧ + ⑧ = 2×11.8224 + 12.5424 = 36.1872
1F	住戸専用部分		2X① + 4X④ = 2×64.1645 + 4×65.8840 = 392.8650
	バルコニー部分	公住法	2X[6] + 4X[7] = 2×4.5528 + 4×4.6573 = 27.7248
		基準法	2X[3] + 4X[8] = 2×6.8160 + 4×9.7860 = 52.7760
	ホール		2X② + 4X⑤ = 2×2.4152 + 4×2.1607 = 13.3932
	P.S		2X③ + 4X③ = 2×1.0725 + 4×1.0725 = 6.4350
	集合郵便箱		3X① = 3×1.7100 = 5.1300

住戸タイプ別 共用部分面積

311.3038 / 30 = 10.3767 93

3DK A



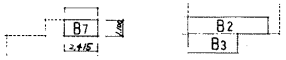
c = 1.200 × 0.800 = 0.9600
d = 0.650 × 1.830 = 1.1895
e = 1.080 × (1.830+0.550) × ½ = 1.2257
f = 1.950 × 0.550 = 1.0725
j = 1.100 × 1.350 = 1.4850
k = 10.140 × 6.480 = 65.7072

住戸専用部分
C + j + k − (d + e + f) = 64.6645 ――― ①

ポーチ部分
d + e = 2.4152 ――― ②

P.S. 部分
f = 1.0725 ――― ③

バルコニー部分

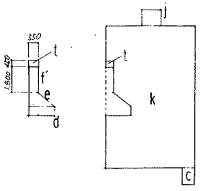


B7 1.10 × 2.415 = 2.6565
B2 = 6.816
B3 = 4.186

公住法による面積
(B7+B2+B3) × ⅓ = 13.6885 × ⅓
= 4.562833 ――― 6

基準法による面積（該当部分）
B2 = 6.816 ――― 3

3DK C



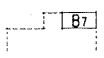
c = 0.9600
d = 1.1895
e = 1.2257
f' = 1.800 × 0.550 = 0.9900
j = 1.4850
k = 65.7072
t = 0.450 × 0.550 = 0.2475

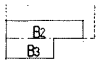
住戸専用部分
C + j + k − (d + e + f' + t) = 64.4995 ――― ⑥

ポーチ部分
d + e = 2.4152 ――― ②

P.S. 部分
f' + t = 1.2375 ――― ⑦

バルコニー部分



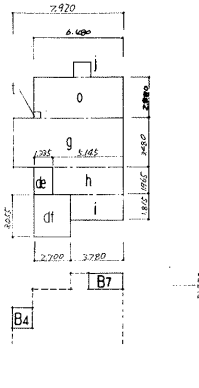


B7 = 2.6565
B2 = 6.816
B3 = 4.186

公住法による面積
(B7+B2+B3) × ⅓ = 4.552833 ――― 6

基準法による面積（該当部分）
B2 = 6.816 ――― 3

3DK E



g = 3.480 × 7.920 = 27.5616
h = 1.965 × 5.145 = 10.1099
i = 1.815 × 3.780 = 6.8607
j = 1.4850
o = 2.880 × 6.480 = 18.6624
t = 0.2475
de = 1.965 × 1.335 = 2.6232
df = 3.005 × 2.700 = 8.2485

住戸専用部分
g + h + i + j + o − t = 64.4321 ――― ⑨

ポーチ部分
de + df = 10.8717 ――― ⑩

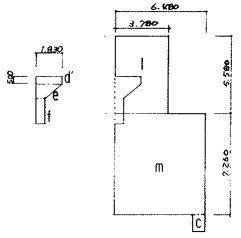
P.S. 部分
t = 0.2475 ――― ⑪

B4 = 2.16
B7 = 2.6565
B6 = 1.260 × 3.780 = 4.6872

基準法による面積（該当部分）
B4 = 2.16 ――― 5

公住法による面積
(B4+B7+B6) × ⅓
= 3.1679 ――― 9

3DK B



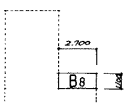
c = 0.9600
d' = 0.500 × 1.830 = 0.9150
e = 1.2257
f = 1.0725
l = 5.580 × 3.780 = 21.0924
m = 7.260 × 6.480 = 47.0448

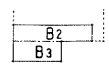
住戸専用部分
C + l + m − (d' + e + f) = 65.3840 ――― ④

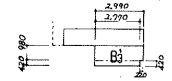
ポーチ部分
d' + e = 2.1407 ――― ⑤

P.S. 部分
f = 1.0725 ――― ③

バルコニー部分





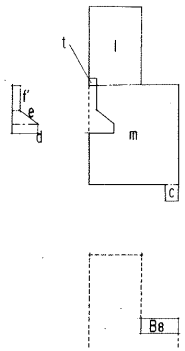


B8 1.1 × 2.7 = 2.97
B2 = 6.816
B3 = 4.186
B5 0.42 × 2.7 + 0.98 × 2.99 = 1.1634 + 2.9302 = 4.0936

公住法による面積
(B8+B2+B3) × ⅓ = 13.972 × ⅓ = 4.659333 ― 7
(B8+B2+B5) × ⅓ = 13.8746 × ⅓ = 4.624533 ― 7

基準法による面積（該当部分）
B8 + B2 = 9.786 ――― 8

3DK D

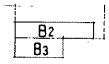


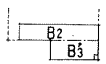
c = 0.9600
d = 1.1895
e = 1.2257
f' = 0.9900
l = 21.0924
m = 47.0448
t = 0.2475

住戸専用部分
C + l + m − (d + e + f' + t) = 65.4445 ――― ⑧

ポーチ部分
d + e = 2.4152 ――― ②

P.S. 部分
f' + t = 1.2375 ――― ⑦



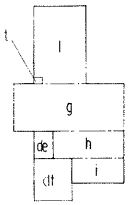


B8 = 2.97
B2 = 6.816
B3 = 4.186
B5 = 4.0936

公住法による面積
(B8+B2+B3) × ⅓
= 4.659333 ― 7
(B8 B2 B5) × ⅓
= 4.624533 ― 7

基準法による面積（該当部分）
B8 + B2 = 9.786 ――― 8

3DK F



g = 27.5616
h = 10.1099
i = 6.8607
l = 21.0924
t = 0.2475
de = 2.6232
df = 8.2485

住戸専用部分
g + h + i + l − t = 65.3771 ――― ⑫

ポーチ部分
de + df = 10.8717 ――― ⑩

P.S. 部分
t = 0.2475 ――― ⑪

B4 = 2.16
B8 = 2.97
B6 = 4.6872

公住法による面積
(B4 + B6 + B8) × ⅓ = 3.3224 ― 10

基準法による面積（該当部分）
B4 + B8 = 5.13 ――― 11

階段部分

階段 I-Qタイプ

2階

ア = 1.430 × 1.440 = 2.0592
イ = 6.780 × 1.440 = 9.7632
ア + イ = 11.8224 ——ⓐ

3階

ウ = 4.930 × 1.440 = 7.0992
エ = 1.450 × 1.440 = 2.0880
ウ + エ = 9.1872 ——ⓑ

4階

オ = 7.260 × 2.880 = 20.9088 ——ⓒ

5階

カ = 1.500 × 1.440 = 2.1600
キ = 5.280 × 1.440 = 7.6032
カ + キ = 9.7632 ——ⓓ

階段 Fタイプ

2階

ア = 3.900 × 1.440 = 5.6160
イ = 1.430 × 3.130 = 4.4759
ユ = 1.450 × 1.690 = 2.4505
ア + イ + ユ = 12.5424 ——ⓔ

3階

ウ = 7.0992
ユ = 2.4505
ウ + ユ = 9.5497 ——ⓕ

4階

キ = 6.510 × 3.130 = 20.3763 ——ⓖ

5階

キ = 7.6032
シ = 1.500 × 1.690 = 2.5350
キ + シ = 10.1382 ——ⓗ

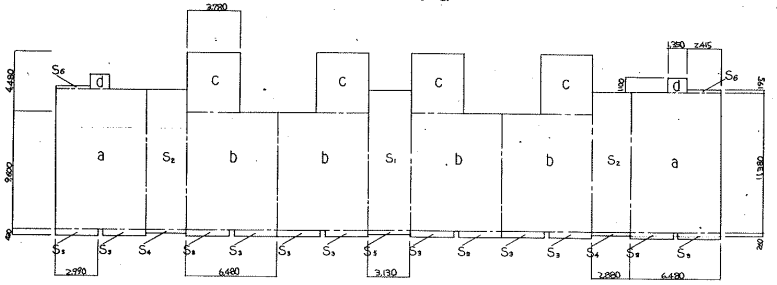
集合郵便受

ス = 1.90 × 0.99 = 1.8810 ——①

10号棟建築面積算定表

a	6.48 × 11.38 =	73.7424
b	6.48 × 9.60 =	62.2080
c	3.78 × 4.48 =	16.9344
d	1.35 × 1.10 =	1.4850
S_1	3.13 × 11.38 =	35.6194
S_2	2.88 × 11.36 =	32.7744
S_3	2.99 × 0.43 =	1.2857
S_4	2.88 × 0.26 =	0.7488
S_5	3.13 × 0.26 =	0.8138
S_6	2.415 × 0.195 =	0.4709

K_{10} = 2a + 4b + 4c + 2d + S_1 + 2S_2 + 12S_3 + 2S_4 + S_5 + 2S_6
= 2(73.7424) + 4(62.2080) + 4(16.9344) + 2(1.4850) + 35.6194 + 2(32.7744) + 12(1.2857) + 2(0.7488) + 0.8138 + 2(0.4709)
= 586.8742



10号棟	5 F	3E−2	3F−2	3F−2	3F−2	3F−2	3E−2
	4 F	3C−2	3D−2	3D−2	3D−2	3D−2	3C−2
	3 F	3C−2	3D−2	3D−2	3D−2	3D−2	3C−2
	2 F	3A−2	3B−2	3B−2	3B−2	3B−2	3A−2
	1 F	3A−2	3B−2	3B−2	3B−2	3B−2	3A−2
			階段 I-Q		階段F		階段 I-Q

機番	種別	住戸タイプ	戸当り延床面積	戸数	延床面積	備考 住戸専用部分	備考 バルコニー部分	計
10号棟	2種	3A	79.5940	4	318.3760	64.6645	4.5528	69.2173
		3B	80.9180	4	323.6720	65.8840	4.6573	70.5413
			80.8872	4	323.5488		4.6265	70.5105
		3C	79.4290	4	317.7160	64.4995	4.5528	69.0523
		3D	80.4785	4	321.9140	65.4445	4.6573	70.1018
			80.4477	4	321.7908		4.6265	70.0710
		3E	77.9767	2	155.9534	64.4321	3.1679	67.6000
		3F	79.0267	4	316.1048	65.3771	3.1679	68.5450
	小計							
合計				30	2,399.0758			

積層タイプ凡例

	⑦	①
5 F	3E	3F
4 F	3C	3D
3 F	3C	3D
2 F	3A	3B
1 F	3A	3B

構造概要

基礎	壁	床	屋根	備考
鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	

外部仕上表

腰	壁	屋根	庇、霧よけ庇	縁、飾り枠	玄関ポーチ	階段室、3階廊下	バルコニー	テラス	備考
コンクリート打放し H=500	コンクリート打放し上リシン吹付 一部コンクリート打放しGP	(ガルバリウム鋼板 t=0.8) 防水コンクリート(ノンスリップ)上葺き アクリル樹脂系塗装 吹付 軒部立上り: 立上り表:コンクリート打放しGP 立上り裏:コンクリート打押えGP 二重:コンクリート打押えGP 見上げ:コンクリート打放しGP 妻側:防水モルタル塗 軒先:コンクリート打放しGP	庇:現場打:現在 最上段:コンクリート打放しGP 一部石貼(のみ)下端@400GP 上面:コンクリート直均し仕上げGP 竪樋:VP13製 BL 面樋受:VP13製 BL	笠木:カラーUP 100°, つば 50° 幕板:防水モルタル塗 飾り枠: 笠部:防水モルタル塗 サ面:コンクリート打放しGP 下端:コンクリート打放しGP 上裏:コンクリート直均し仕上げGP ルーフドレイン:100°用 75°用 50°用 地下ドレイン:100°用, 75°用 ニードドレイン:50°用	床: 一階:モルタル塗 一部:防水モルタル塗 立上り下端が住戸内の場合は、塗膜防水とし、防水モルタル塗 ポーチ:段:モルタル塗 壁:コンクリート打放しの上リシン吹付 天井:コンクリート打放しの上GP 笠木:アルミ製 t=1.5 GP 庇:コンクリート打放しの上リシン吹付 3階廊下:床:コンクリート直均し仕上げ 笠木:アルミ製 t=1.5 GP 庇:コンクリート打放しの上リシン吹付	踏面:モルタル塗 蹴込:モルタル塗 段鼻:ステンレス製 W=90 壁:防水モルタル塗 手摺壁:コンクリート打放しの上GP 一部:塗膜防水とし、防水モルタル塗 パラペット:ステンレス製 W=90 天井:コンクリート打放しの上GP 床:コンクリート打放しの上リシン吹付	床:コンクリート直均し仕上げ(防水層:防水モルタル塗) 笠木:コンクリート打放し 手摺壁:コンクリート打放しの上GP一部リシン吹付 手摺天端:コンクリート直均し仕上げGP 手摺部:アルミ製 BL 天井:コンクリート打放しの上GP 壁面:コンクリート打放しの上リシン吹付 室外機置台ベース 物干金物 雨どい金具(塩ビ管) 1階住戸および階バルコニー:集水桝:格子蓋400付	床:コンクリート直均し仕上げ 一部:防水層(断熱化粧) 手摺壁:コンクリート打放しの上GP一部リシン吹付 手摺天端:コンクリート直均し仕上げGP 手摺部:アルミ製 BL 室外機:取付ベース 物干金物(塩ビ管)	手動表示板:陶板タイル300°(1階はなし) 名刺札 宅配補充箱 ごみ集合部便当箱 住棟番号 ピット点検用のフック 飾り枠 雪止兼横桟クラック 雨水管(硬質塩ビ管)、樋受パイプ 排水管(硬質塩ビ管)、樋受パイプ バルコニー排水 ラウバレスクリーン 避難用ハッチ 防犯用スリット 引戸レジスター アルミ製トップガード ごみ置場屋根 集水桝

内部仕上表

室名＼項目	下地材	床 1階 仕上	床 一般階 仕上	巾木 仕上	巾木 塗装	腰 仕上	腰 塗装	壁 仕上	壁 塗装	天井 一般階 仕上	天井 一般階 塗装	天井 最上階 仕上	天井 最上階 塗装	備考
玄関	木造			木製 H=55	SOP			集地パネル①の上	EP-Ⅱ					・MB化粧口(一部住戸のみ)
	RC造	モルタル塗ニ式 洗い出し 10°タイル貼	室内:防水の上防水モルタル塗の上接着剤張 10°タイル貼	磁器質100°タイル貼 H=45				モルタル塗②20の上	EP-Ⅰ	コンクリート打放しの上、樹脂系特殊吹付 (1P-クリヤ)		化粧パネル(シボトーン模様・断熱裏入)		
ホール・廊下 和室踏込	木造		下地パネル①の上 化粧合板	木製 H=55	SOP			集地パネル①の上 ビニールクロス	一部 EP-Ⅱ					
	RC造	発泡プラスチック系パネル貼 の上 化粧合板						モルタル塗②20の上 ビニールクロス	一部 EP-Ⅱ	コンクリート打放しの上 樹脂系特殊吹付 (1P-クリヤ)		化粧パネル(シボトーン模様) スロープ:化粧パネル(シボトーン模様 断熱裏入)		
台所食事室	木造		下地パネル①の上 化粧合板	木製 H=55	SOP			集地パネル①	EP-Ⅰ					・BL室浴ユニット(1階住戸 1/1500 2階住戸 1/1200 ユニットフレーム 型下取付 パンフレット付) 防水コンセント(1500 ハンドセット式) 内径100 L=1600 2階住戸 1:1000 浴槽給水栓付洗髪 高架蛇口付 洗うレジスター 1:20 ユニットバス(W) 石膏ボリュウム壁付 浄水器付ホース 排水ホース
	RC造	発泡プラスチック系パネル貼 の上 化粧合板						モルタル塗②20 一部 防傷壁②	GP	コンクリート打放しの上 樹脂系特殊吹付 (1P-クリヤ)		化粧パネル(シボトーン模様)		
和室	木造		下地パネル①の上 ラワン張	ラワン巾	集地			化粧パネル①	建具枠共 化粧合板					・カーテンレール(W) 設備用スリーブ 型枠用インサート ・一部付機居・自型レジスター100
	RC造	発泡プラスチック系パネル貼 の上 ラワン張						化粧パネル① 一部化粧パネル②		化粧パネル(杉柾模様)		化粧パネル(杉柾模様)		
洋室	木造		下地パネルの上 化粧合板	木製 H=55	SOP			化粧パネル①						・カーテンレール(W) 設備用スリーブ 型枠用インサート ・自型レジスター100
	RC造	発泡プラスチック系パネル貼 の上 化粧合板						化粧パネル① 一部化粧パネル②		コンクリート打放しの上 樹脂系特殊吹付 (1P-クリヤ)		化粧パネル(シボトーン模様)		
洗面所	木造	下地パネル①の上 化粧合板	下地パネルの上 化粧合板	木製 H=55	SOP			集地パネル①	EP-Ⅰ		EP-Ⅰ			・洗面器(別途) 洗濯用パン(別途) ・室下換気口 400φ (1階のみ) ・タオル掛 1式 ・ロッカー(S) (一部住戸はなし) ・ロッカー扉口(一部住戸のみ)
	RC造							モルタル塗②20 一部 防傷壁②		コンクリート打放し 一部住戸:コンクリート打放しの上 化粧パネル(シボトーン模様)		化粧パネル(シボトーン模様)		
便所	木造	下地パネル①の上 化粧合板	下地パネルの上 化粧合板	木製 H=55	SOP			集地パネル①	EP-Ⅰ					・タオル掛 1式300
	RC造							モルタル塗②20 一部 防傷壁②		コンクリート打放しの上 樹脂系特殊吹付(1P-クリヤ) 一部住戸:化粧パネル(シボトーン模様)		化粧パネル(シボトーン模様)		
浴室	木造													・BL型浴槽(FRP800型) フタ付 バランス管(排気筒および換気筒機種対応)
	RC造	BL浴室ユニット(1116型)	BL浴室ユニット(1116型)					BL浴室ユニット(1116型) 一部 防傷壁③		BL浴室ユニット(1116型)		BL浴室ユニット(1116型)		
押入(天袋)	木造	パネル③	パネル①	造作框	集地			集地パネル① 一部 集地パネル②		集地パネル 天袋:コンクリート打放し		集地パネル		・中棚、枕棚(パネル工事)
	RC造													
物入	木造	パネル③	パネル①	造作框	集地			集地パネル② 一部 集地パネル③				集地パネル		・可動棚一段(パネル工事)
	RC造									コンクリート打放し				
物入(外部)	木造													・中棚(パネル工事) ・自型レジスター
	RC造	防水モルタル塗	防水モルタル塗	コンクリート打放し				コンクリート打放し		コンクリート打放し		コンクリート打放し		
タンス置場	木造		畳ダタミ	造作框	集地			化粧パネル①						
	RC造							化粧パネル①一部化粧パネル②		化粧パネル(杉柾模様)		化粧パネル(杉柾模様)		
M.B.P.S.	木造							一切、集地パネル①						
	RC	モルタル塗	防水モルタル塗					コンクリート打放し		コンクリート打放し		コンクリート打放し		

凡例
- 改付:合成樹脂エマルション 2回 水改付(外壁用)
- 樹塗仕:樹塗仕上とする
- GP:ビニル合成樹脂 エマルションペイント
- SOP:合成樹脂合成ペイント
- FPB:ポリオレフィンボード

床)
- 発泡プラスチック系パネル①:洋室用(箱入付) ② 65(内装断品)
- 発泡プラスチック系パネル②:和室用 ② 80(内装断品)
- 下地パネル①:洋室用 コンパネ
- 下地パネル②:和室用 カンバツ材
- 下地パネル③:1戸(断熱数入) フリーフロア 断熱特張り
- パネル ①:② 35
- パネル ②:(断熱数入) ② 35

★発泡プラスチック系パネル①、③はモルタルダンコにてレベル調整を行なう(調整高さ)

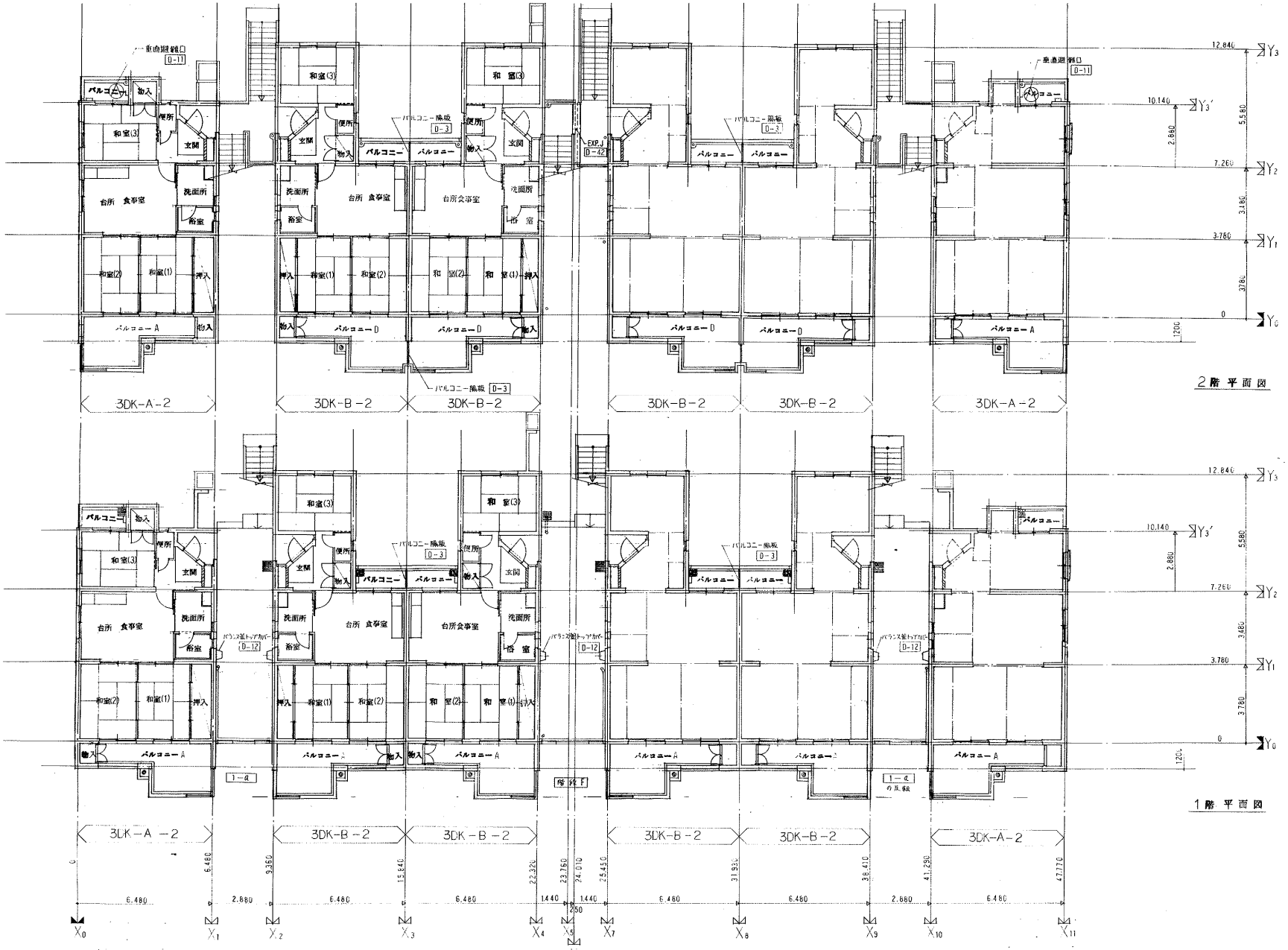
壁)
- 化粧パネル① ビニールクロス化粧合板 ② 2.5
- 化粧パネル② ビニールクロス化粧合板 ② 2.5 (内装パネル)
- 集地パネル①(張り下:フルモクボード 9.5t 下地下:キ)
  ②(防傷パネル)
- 防傷壁 ② 台所用 ガラスセンイ補入石こうボード⑤+5+断熱材 ②20
  ③ 浴室用・便所用 合板 ② 2.5 + 断熱材 ② 20
  ③ 浴室用:台所・食事室・和室用 洗い場用(外壁に面する部分のみ) 断熱材 ②20

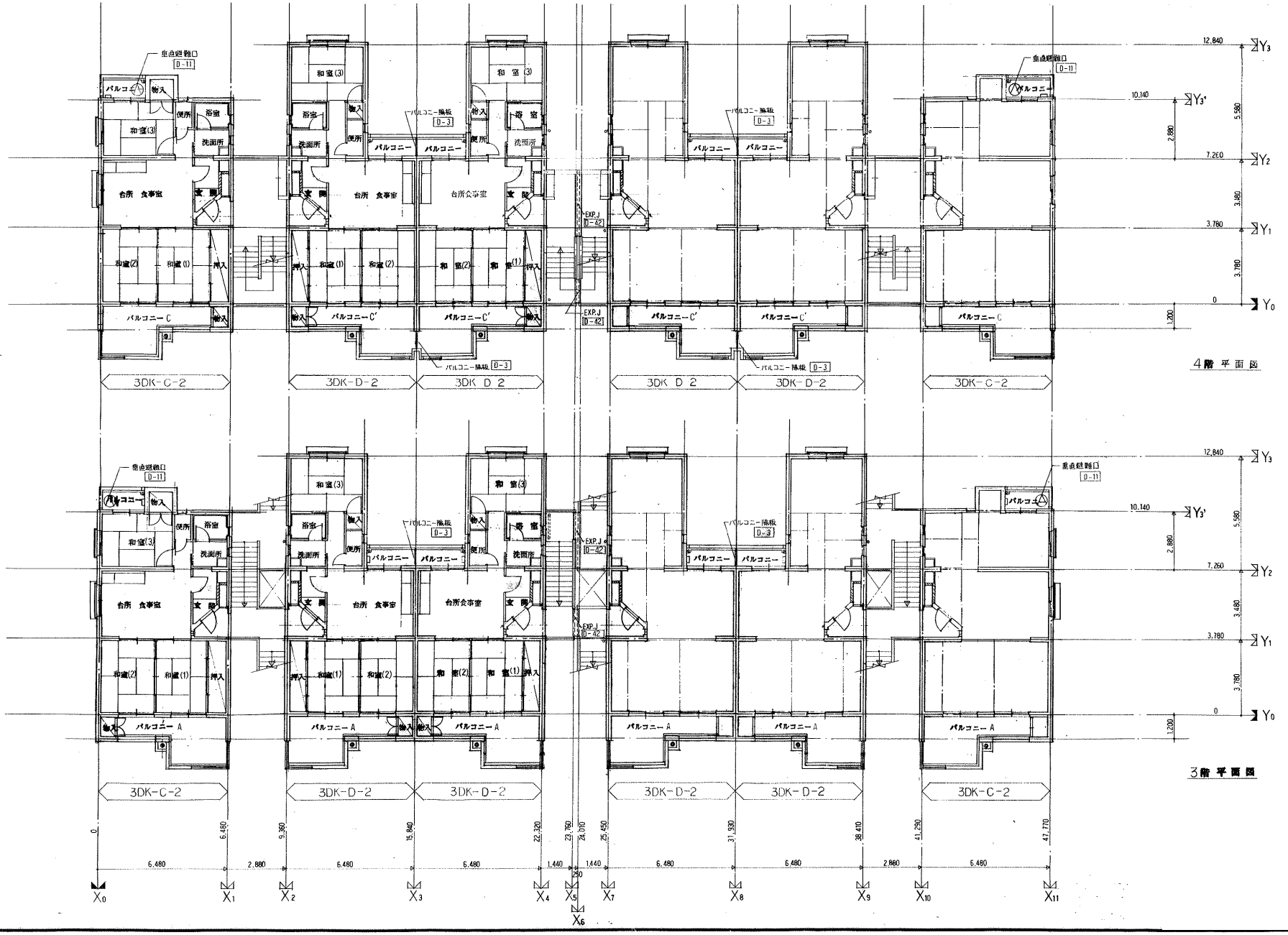
★防傷壁①、②はモルタルなどで下地調整をおこなう。調整代は防傷壁①もっとも厚い⑥で、②については②で7.5とする。

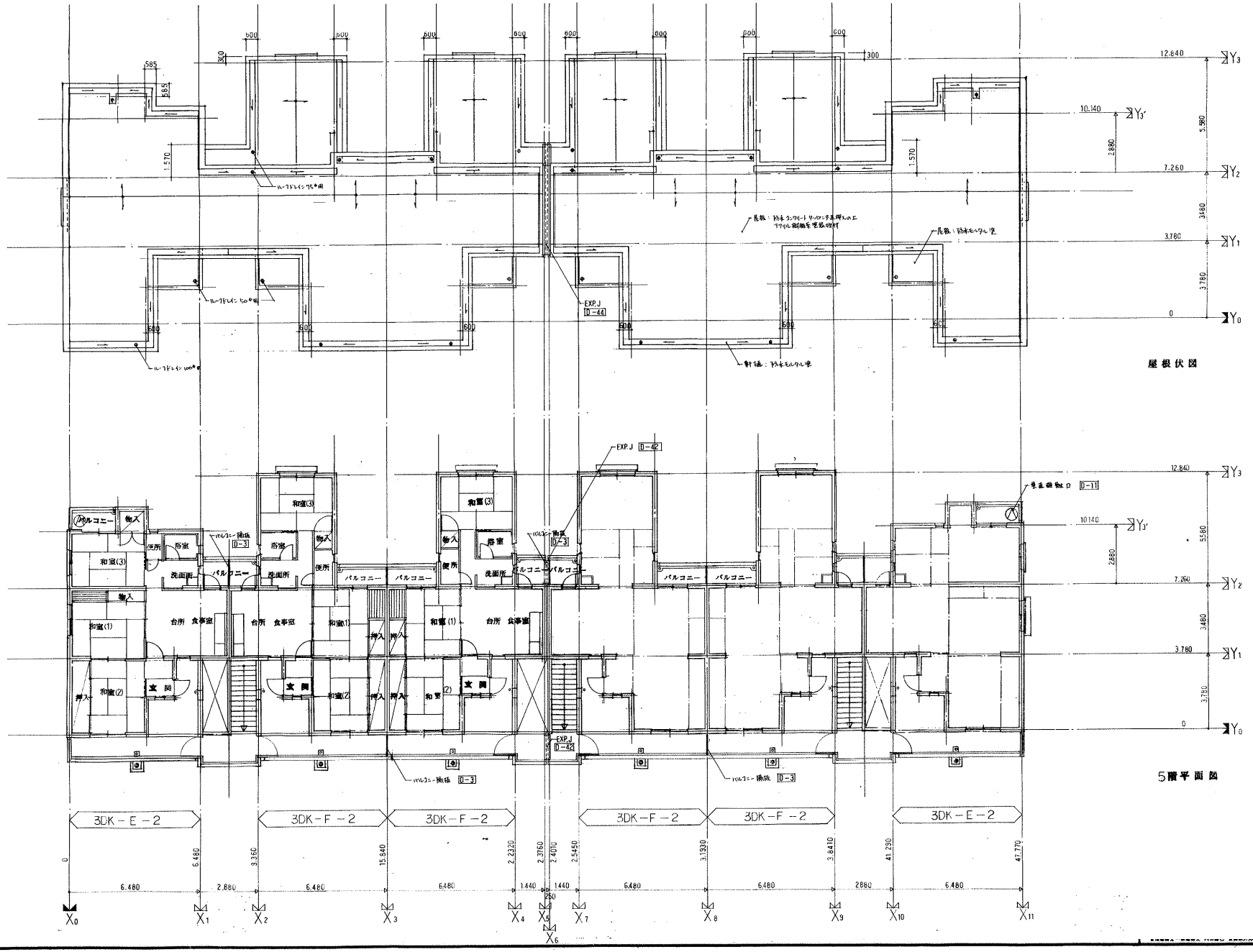
天井)
- 浴上階:屋根スラブ下面断:FPB ② 20
- 最上階天井内:換気スリーブ

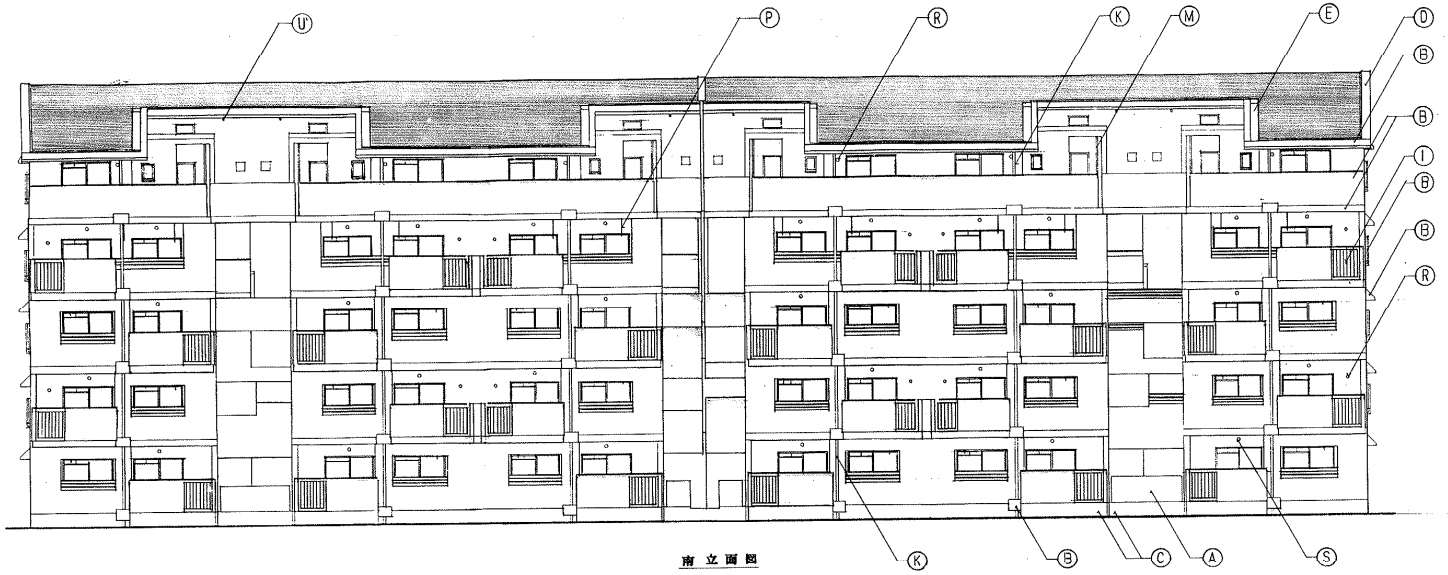
★防水コンクリートの施工範囲は下記の通りとする
- 5階建の場合は3t-700より上部
- 4 〃 2t-700 〃
- 3 〃 2t-700 〃

★コンクリート壁(外壁)のつばちは ②20 とする。
★石膏板:フルセラル板(スボン 9t 1000×1000)
★ビニールクロス:JIS A-6921 防火2級

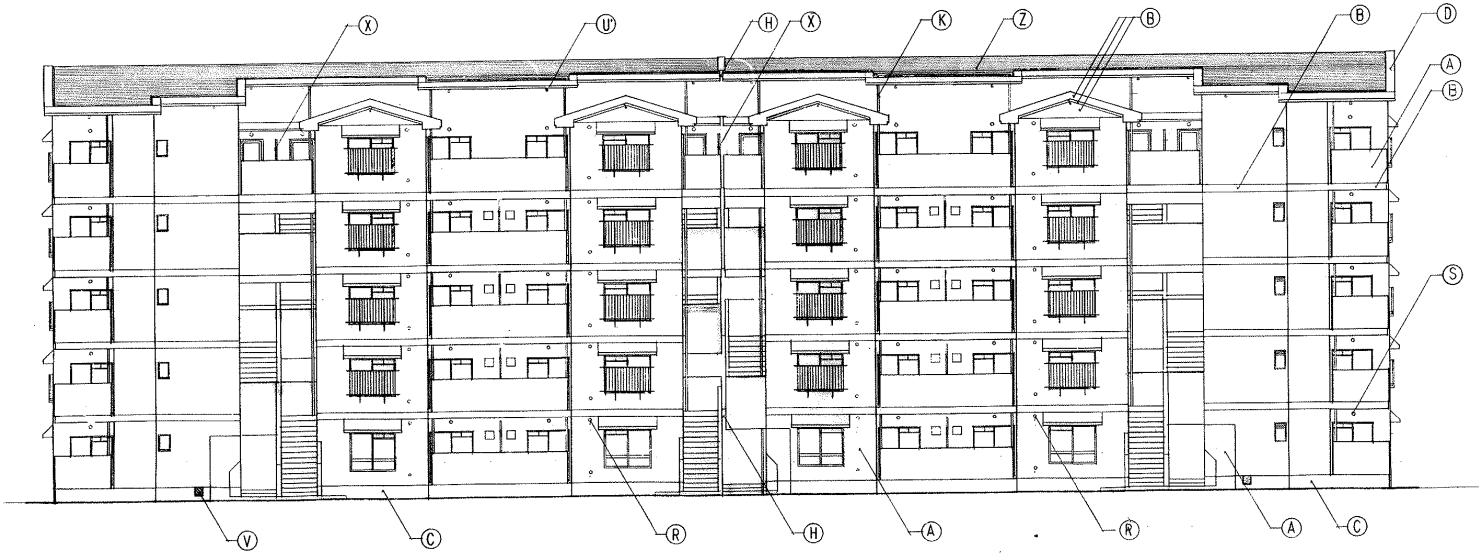

2階 平面図
1階 平面図
3DK-A-2
3DK-B-2
3DK-B-2
3DK-B-2
3DK-B-2
3DK-A-2
3DK-A-2
3DK-B-2
3DK-B-2
3DK-B-2
3DK-B-2
3DK-A-2
12.840
10.140
7.260
3.780
0
2.880
3.480
3.780
1200
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
6.480
2.880
6.480
6.480
1.440
250
1.440
6.480
6.480
2.880
6.480
0
6.480
9.360
15.840
22.320
23.760
24.010
25.450
31.930
38.410
41.290
47.770


垂直避難口 D-11
パルコニー
物入
便所
浴室
和室(3)
洗面所
台所 食事室
玄関
和室(2)
和室(1)
押入
パルコニーC
パルコニーC'
パルコニー隔板 D-3
EXP.J D-42
3DK-C-2
3DK-D-2
3DK D 2
和室(3)
浴室
洗面所
便所
パルコニー
台所食事室
パルコニーA
12,840
10,140
7,260
3,780
0
2,880
5,580
3,480
3,780
1,200
Y3
Y3'
Y2
Y1
Y0
4階 平面図
3階 平面図
0
6,480
9,360
15,840
22,320
23,760
24,010
25,450
31,930
38,410
41,290
47,770
2,880
1,440
250
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11


屋根伏図
5階平面図
3DK－E－2
3DK－F－2
3DK－F－2
3DK－F－2
3DK－F－2
3DK－E－2
EXP.J D-42
EXP.J D-44
バルコニー
物入
和室(3)
和室(1)
和室(2)
台所 食事室
浴室
便所
洗面所
玄関
12.840
10.140
7.260
3.780
0
5.580
2.880
3.480
3.780
1.570
6.480
2.880
3.360
6.480
15.840
6.480
2.2320
2.3760
2.4010
1.440
260
1.440
2.5450
6.480
3.1930
6.480
3.8410
2.880
41.230
6.480
47.770

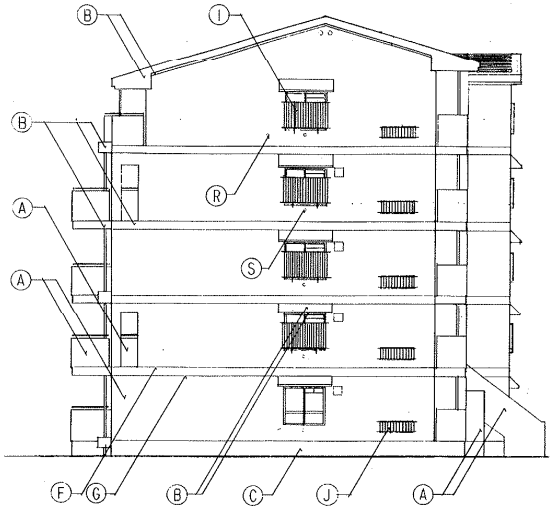


南立面図

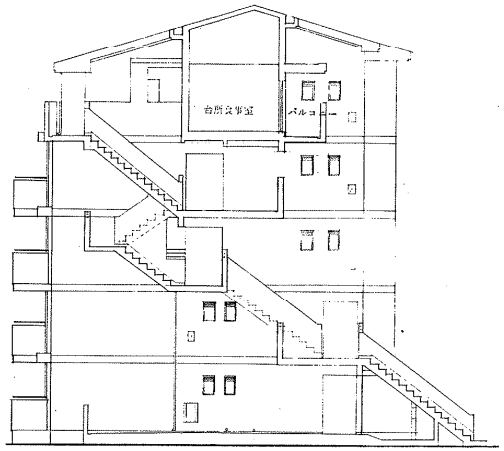


北立面図

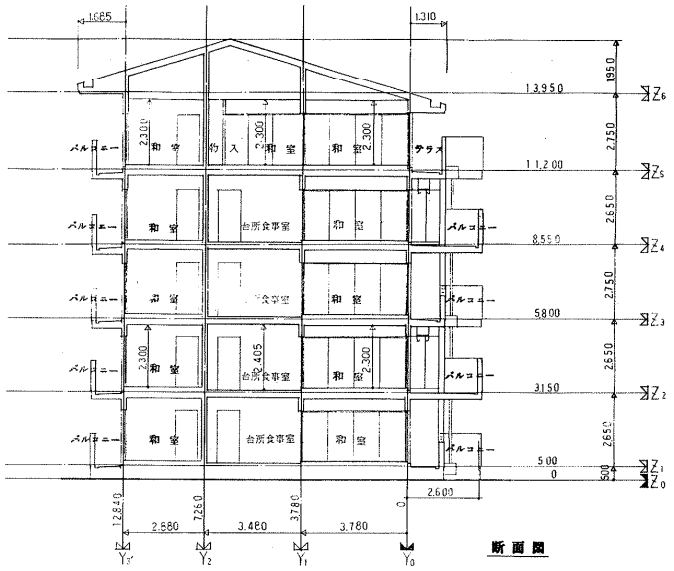
記号	仕上	
(A)	コンクリート打放しエリシン吹付	
(B)	コンクリート打放しの上 G.P.	
(C)	コンクリート打放し	
(D)	コンクリート直均モルタル押えの上 G.P.	
(E)	防水モルタル仕	
(F)	打込目地	D－4
(G)	化粧目地	D－4
(H)	エキスパンションジョイント	D－21
(I)	アルミ製手摺	D－5 D－20
(J)	アルミ製面格子	D－25
(K)	雨樋 VP 100φ (カラー)	
(L)	雨樋 VP 75φ (カラー)	
(M)	雨樋 VP 50φ (カラー)	
(N)	バランス笠トップ	
(O)	バランス笠トップカバー	D－12
(P)	物干金物	E－301-1
(Q)	換気筒 PC押	E－343
(R)	設備用スリーブ	
(S)	改型レシビター	
◯		
(U)	天井換気口	
(V)	床下換気口	D－15
(W)	埋番号	D－26
(X)	バルコニー縞板	D－3
(Z)	防水コンクリート打ビンプ直押え仕アリル樹脂塗装防水	
(U')	天井換気パイプ	E－335
(V')	床下換気パイプ	E－335



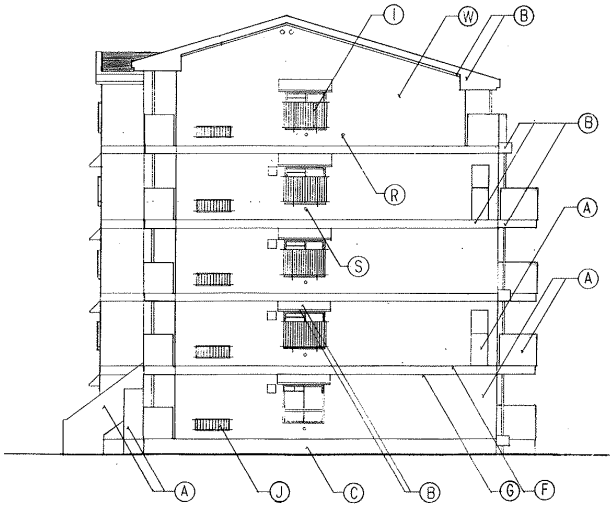
東立面図



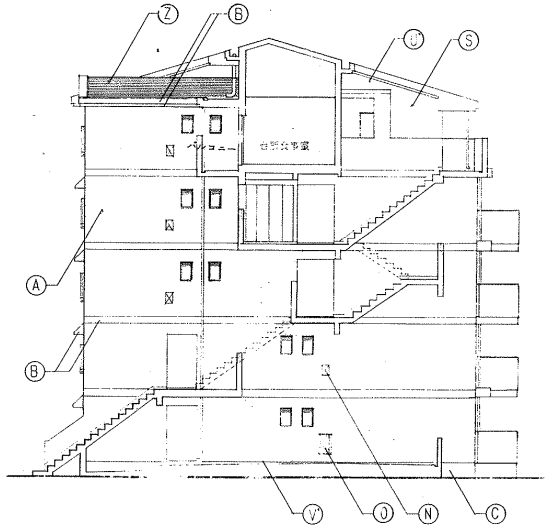
断面図



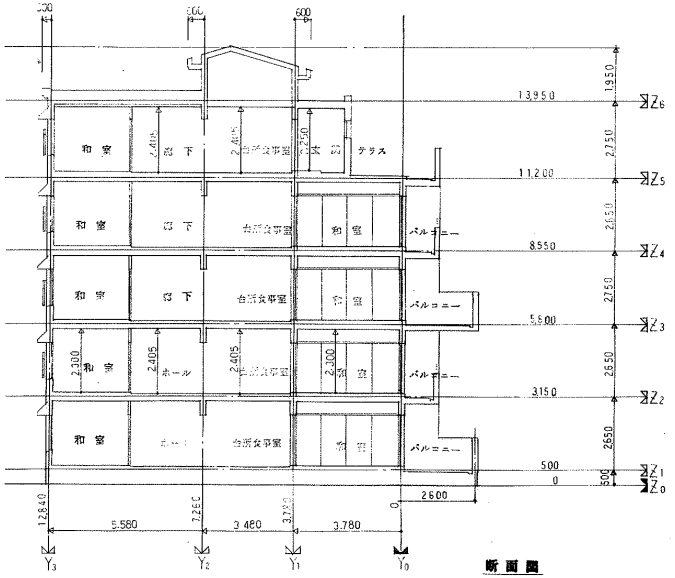
断面図



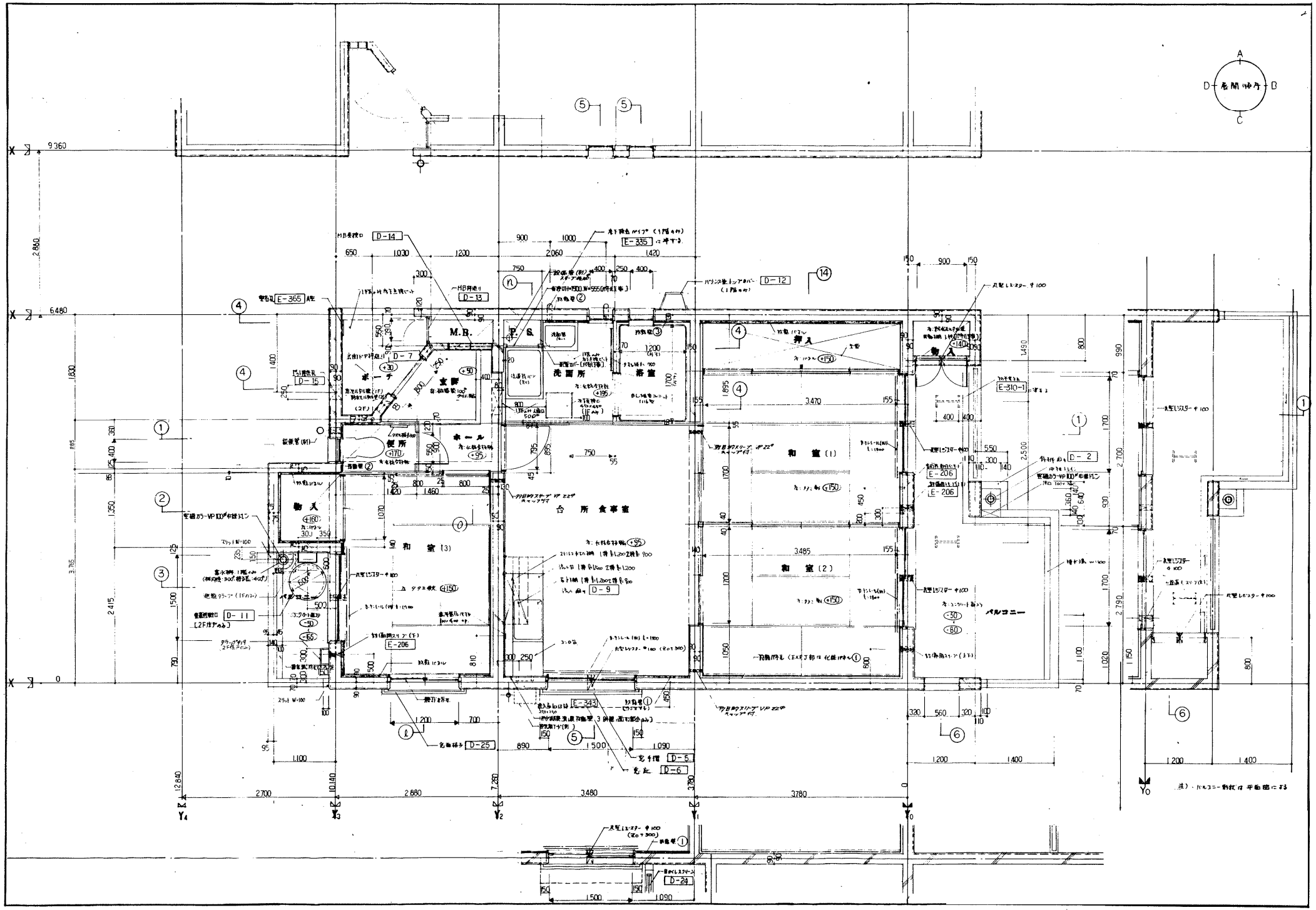
西立面図



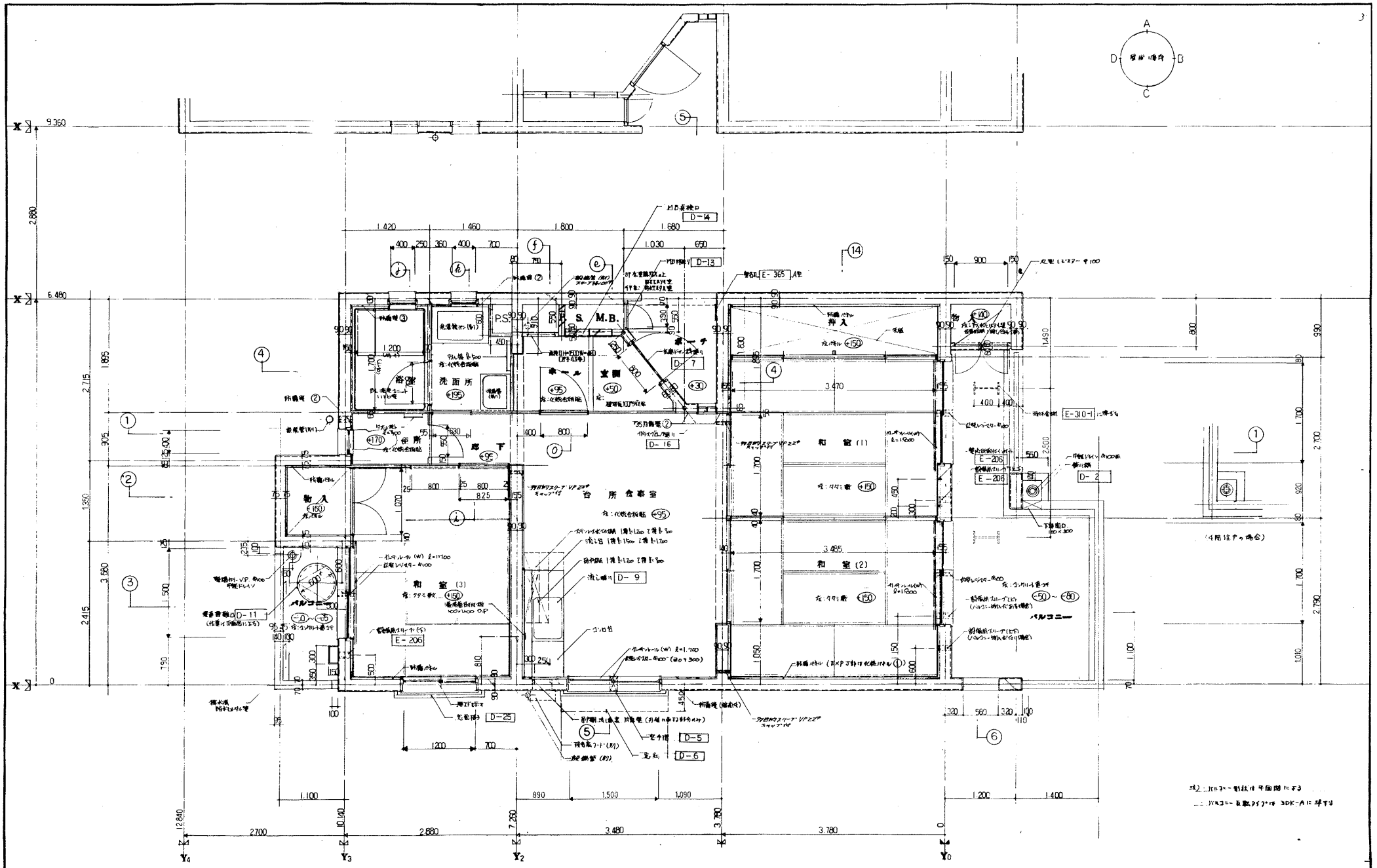
断面図

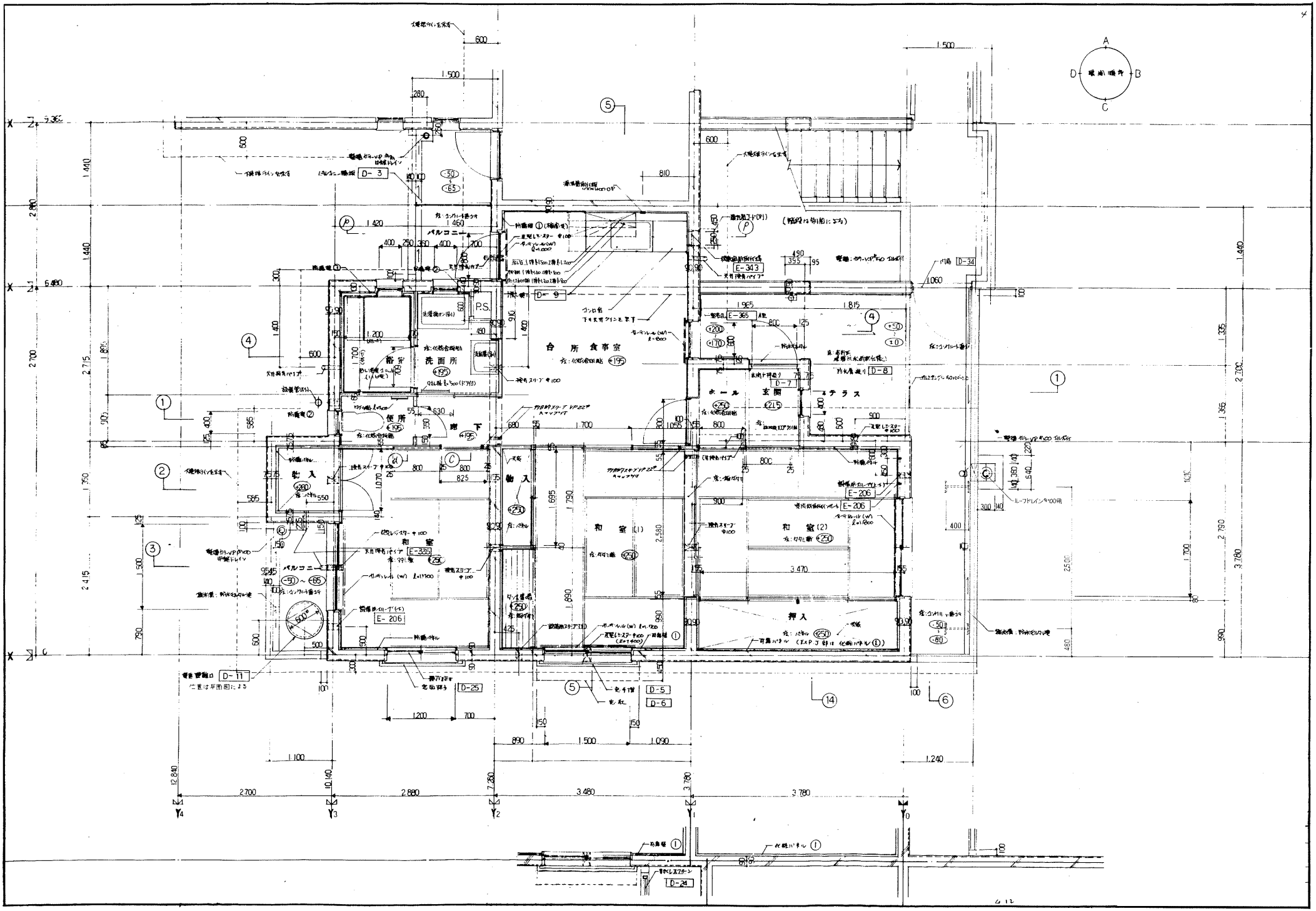


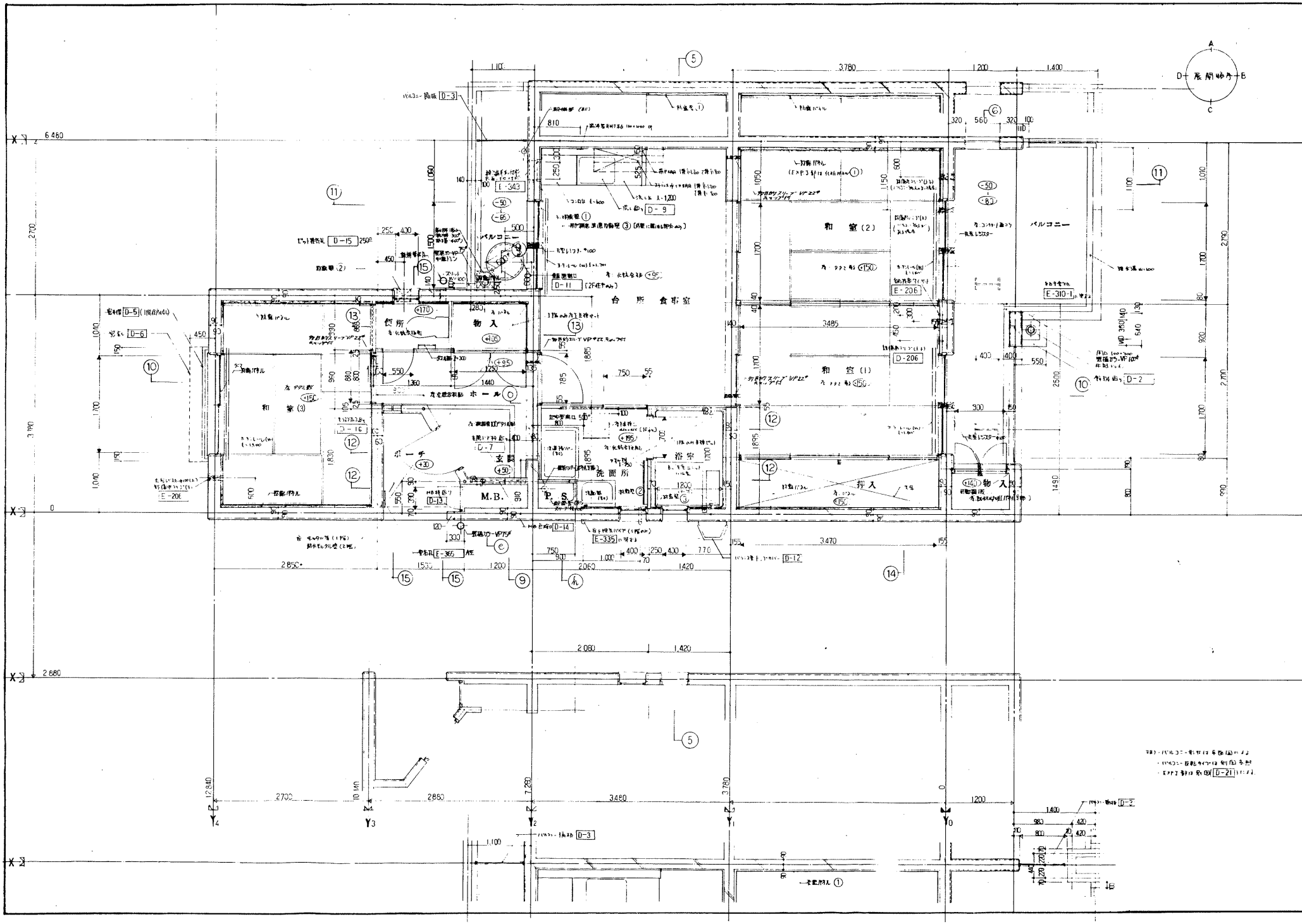
断面図

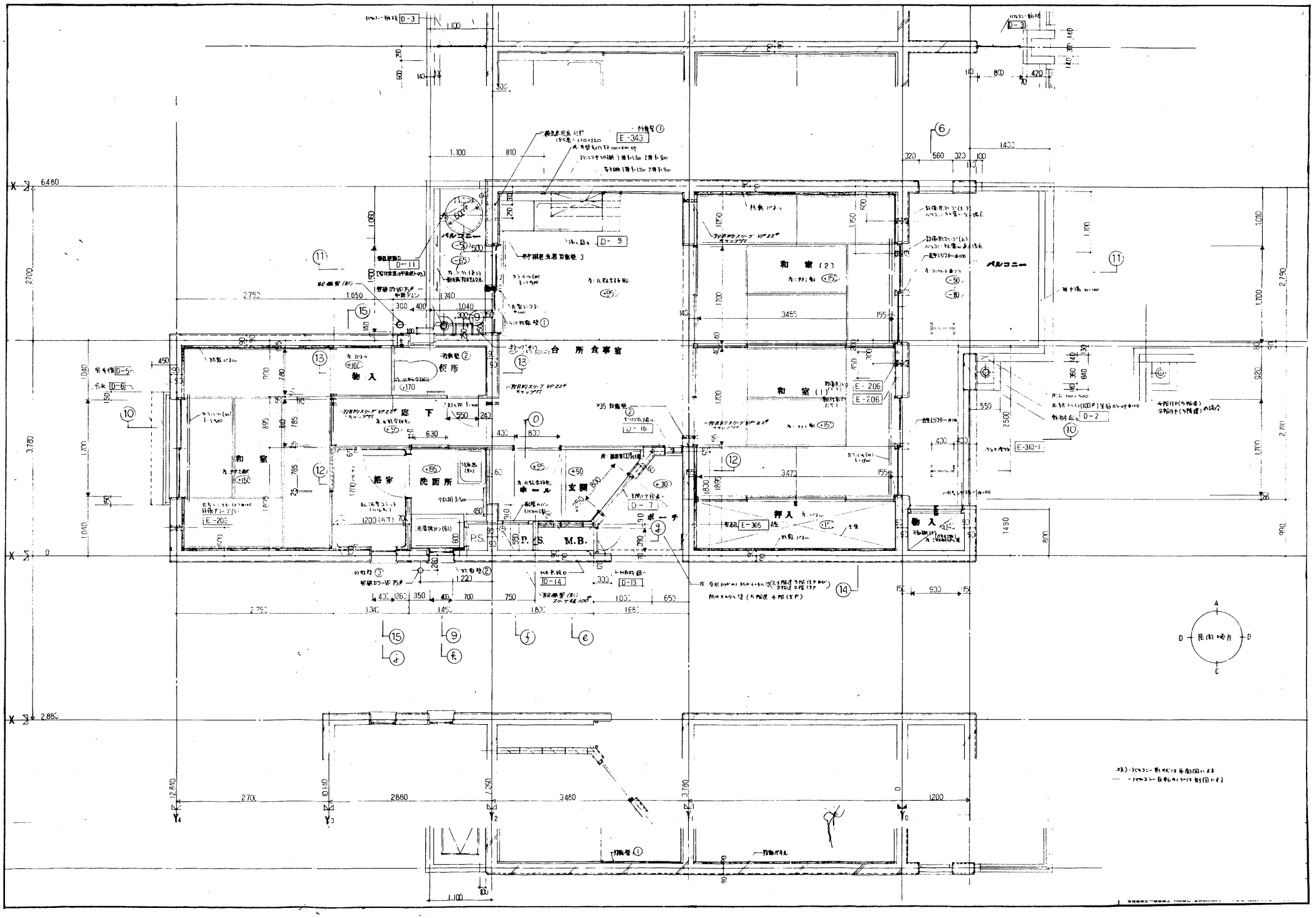


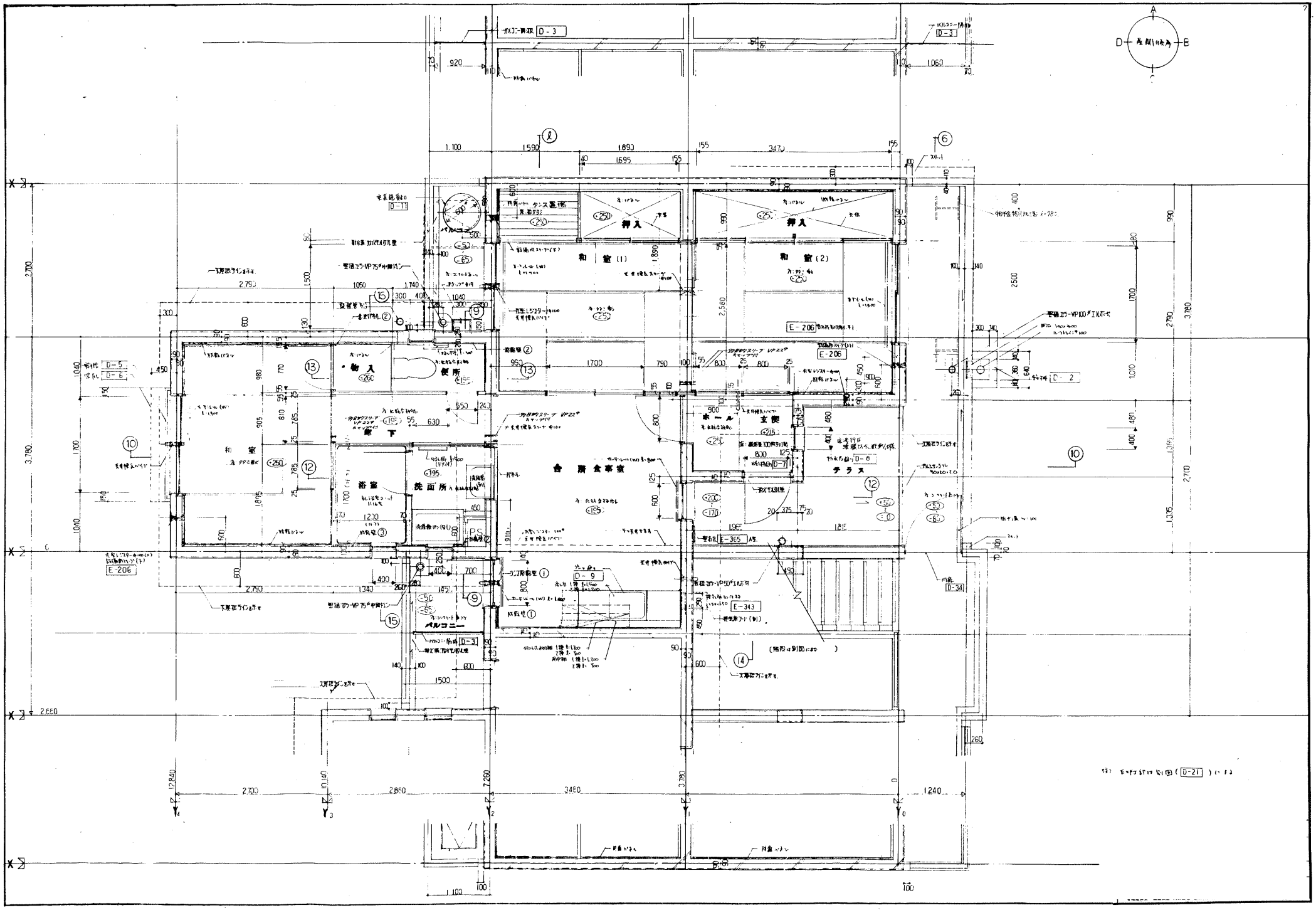
注）バルコニー詳細は平面図による

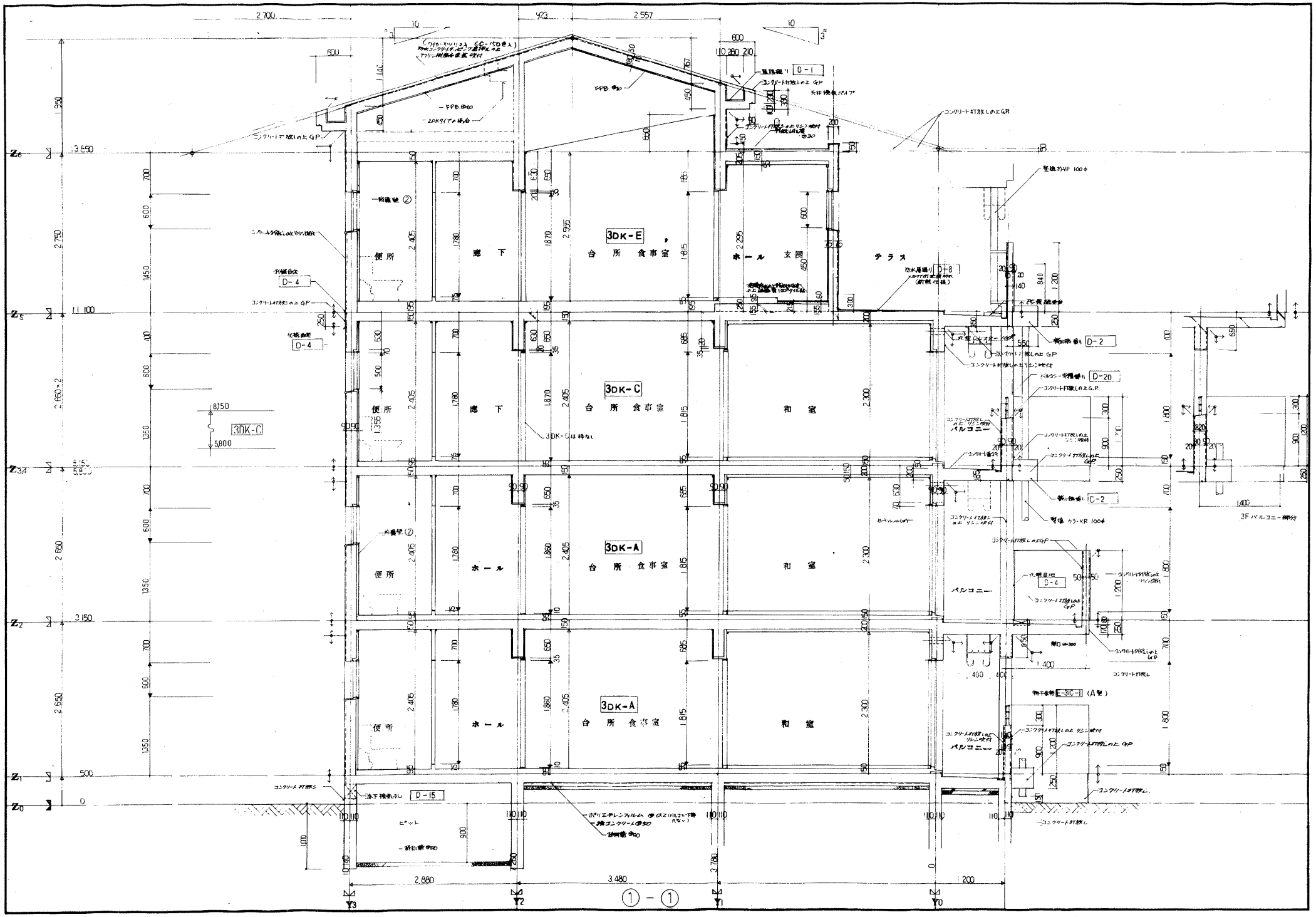

S. M. B.
P.S.
浴室
洗面所
便所
廊下
台所食事室
和室(1)
和室(2)
和室(3)
物入
押入
バルコニー
(4階住戸の場合)
D-14
D-13
D-7
D-16
D-9
D-11
D-25
D-5
D-6
D-2
E-365
E-206
E-310-1
A
B
C
D

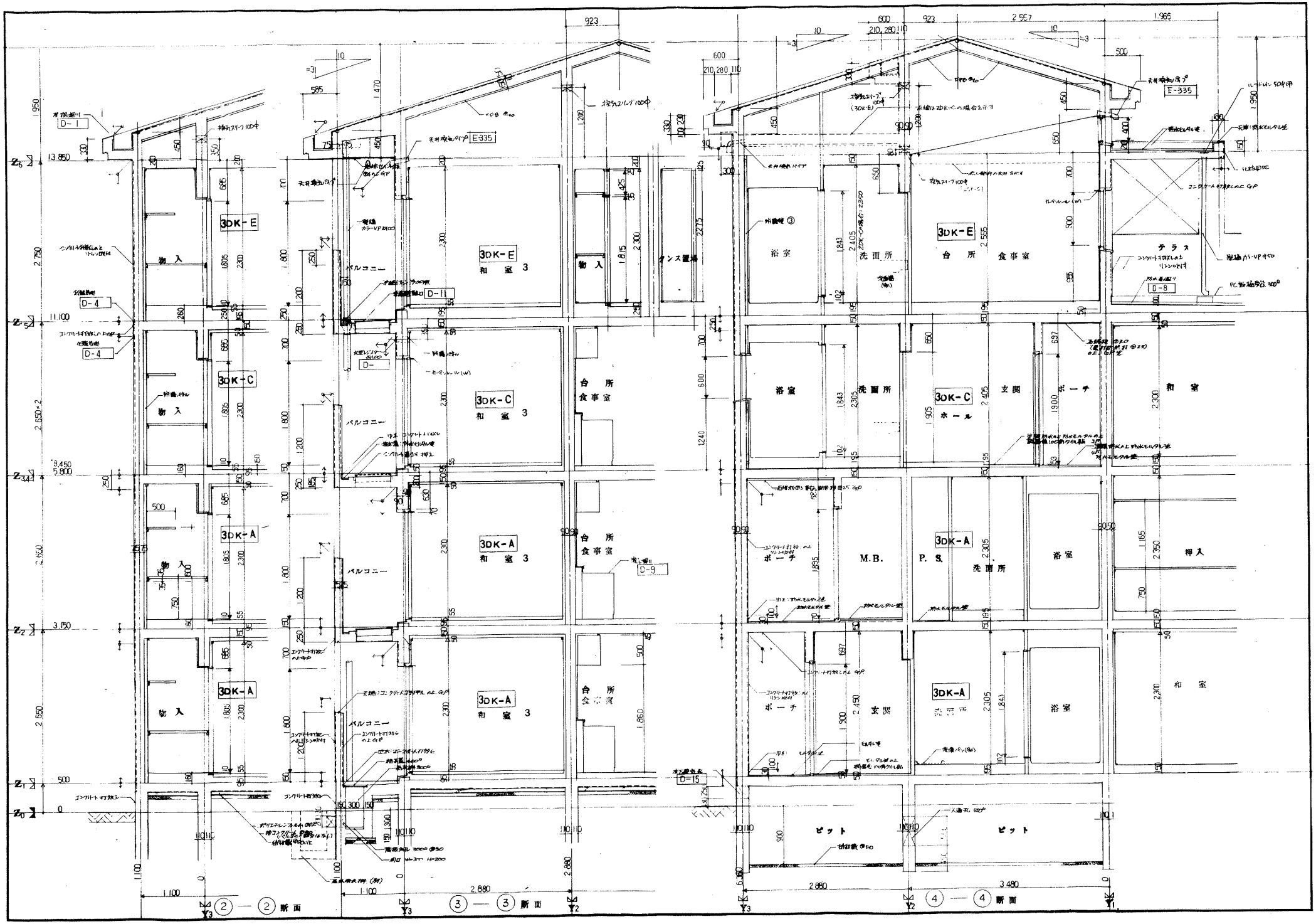

合所食事室
洗面所
便所
廊下
玄関
ホール
テラス
和室(1)
和室(2)
和室
押入
浴室
バルコニー
D-3
D-9
D-34
D-7
D-8
D-11
D-25
D-5
D-6
D-24
E-343
E-365
E-206
E-335
(階段は別図による)
12,840
2,700
10,140
2,880
7,260
3,480
3,780
3,780

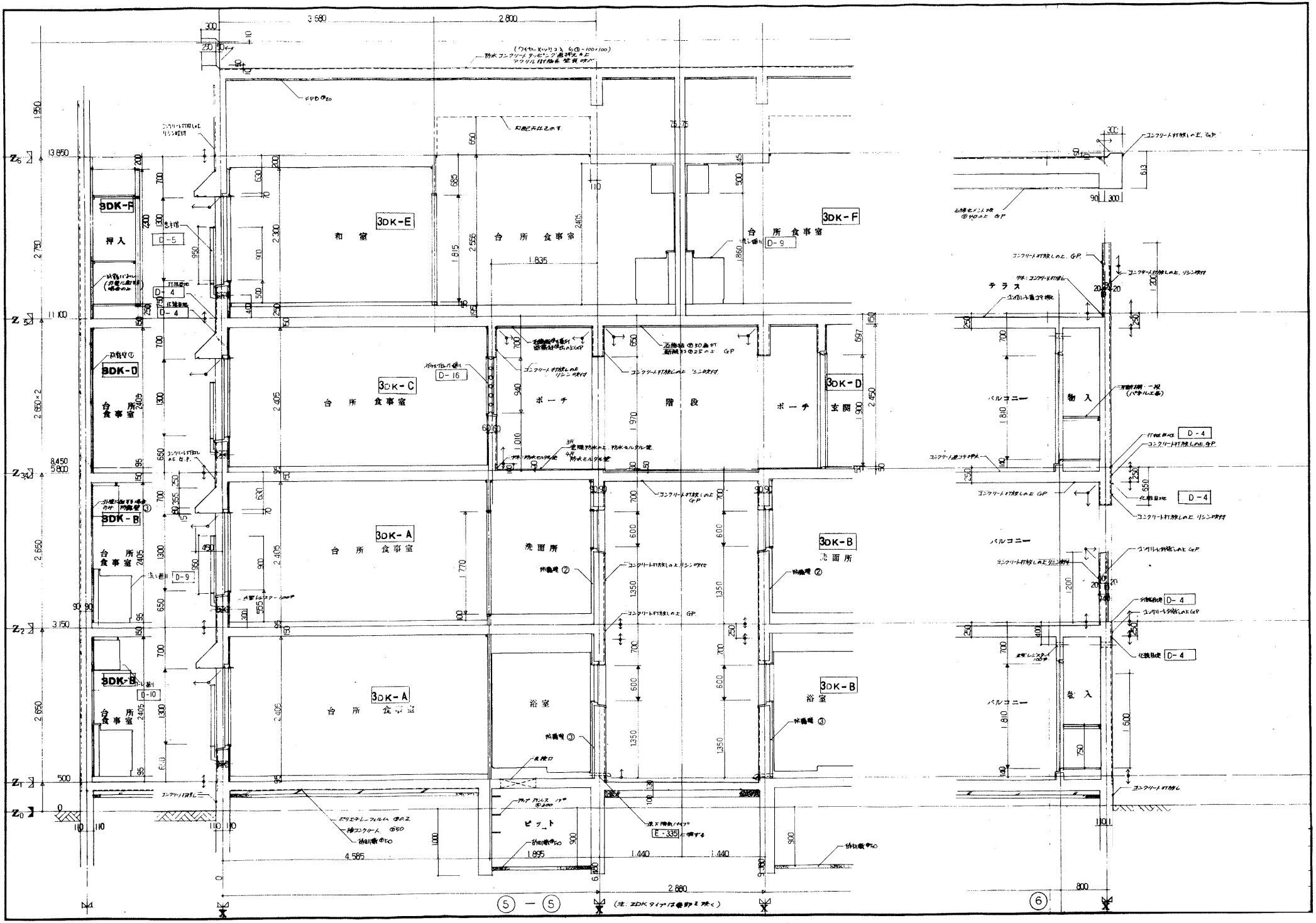

和室(2)
和室(1)
和室(3)
台所
食事室
物入
ホール
玄関
M.B.
P.S.
洗面所
浴室
押入
バルコニー
展開断面
A
B
C
D

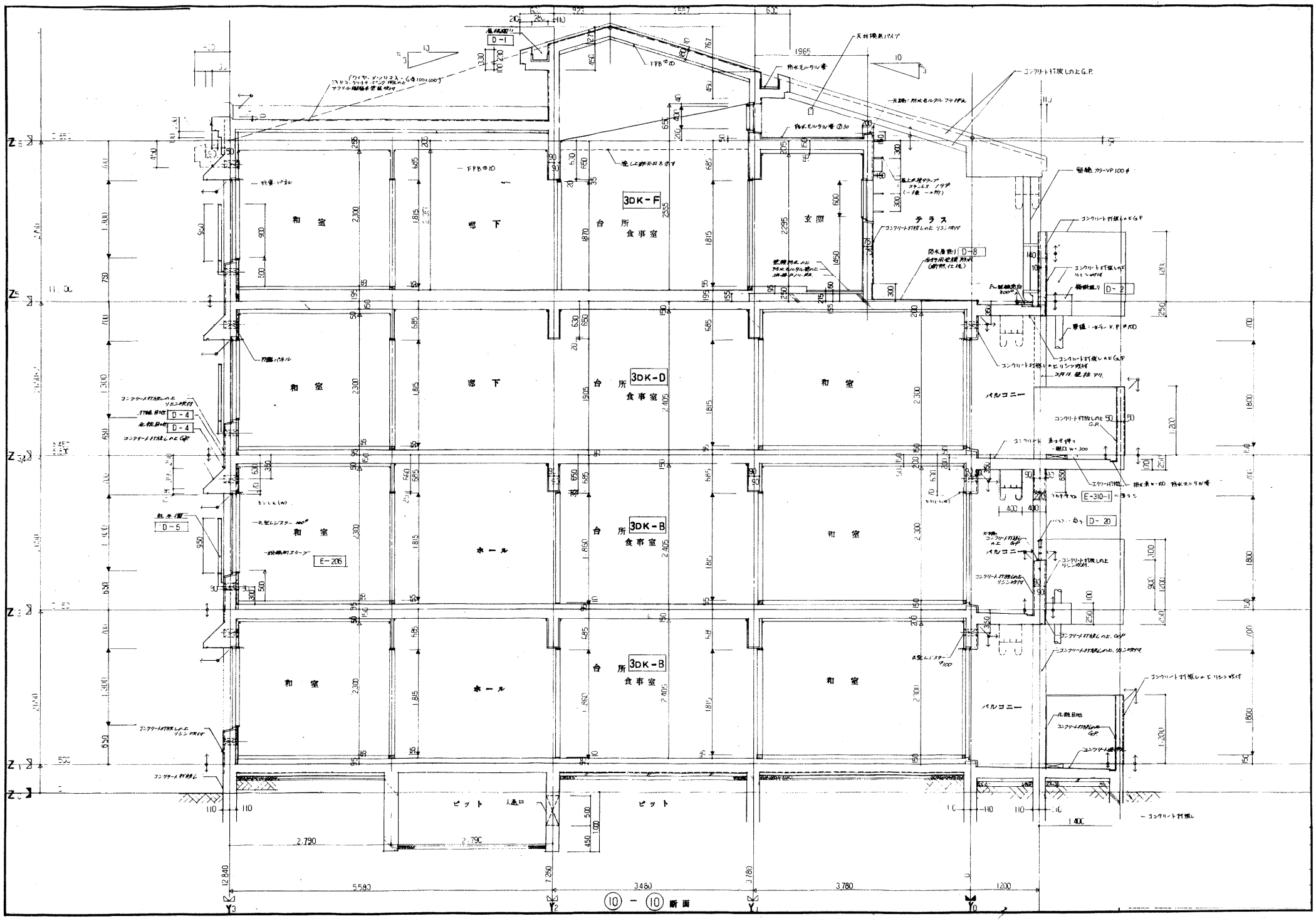

和室(2)
和室(1)
台所食事室
物入
便所
廊下
和室
浴室
洗面所
ホール
玄関
ポーチ
押入
物入
バルコニー
P.S.
M.B.
D-3
D-5
D-6
D-9
D-11
D-16
D-7
D-14
D-13
D-2
E-343
E-206
E-206
E-310-1
E-365
E-206
6480
2700
3780
0
2880
2790
1050
1740
1040
1100
810
1400
320
560
320
100
3485
3470
2500
2790
1490
800
990
2700
1700
1040
1100
2790
1700
1700
1700

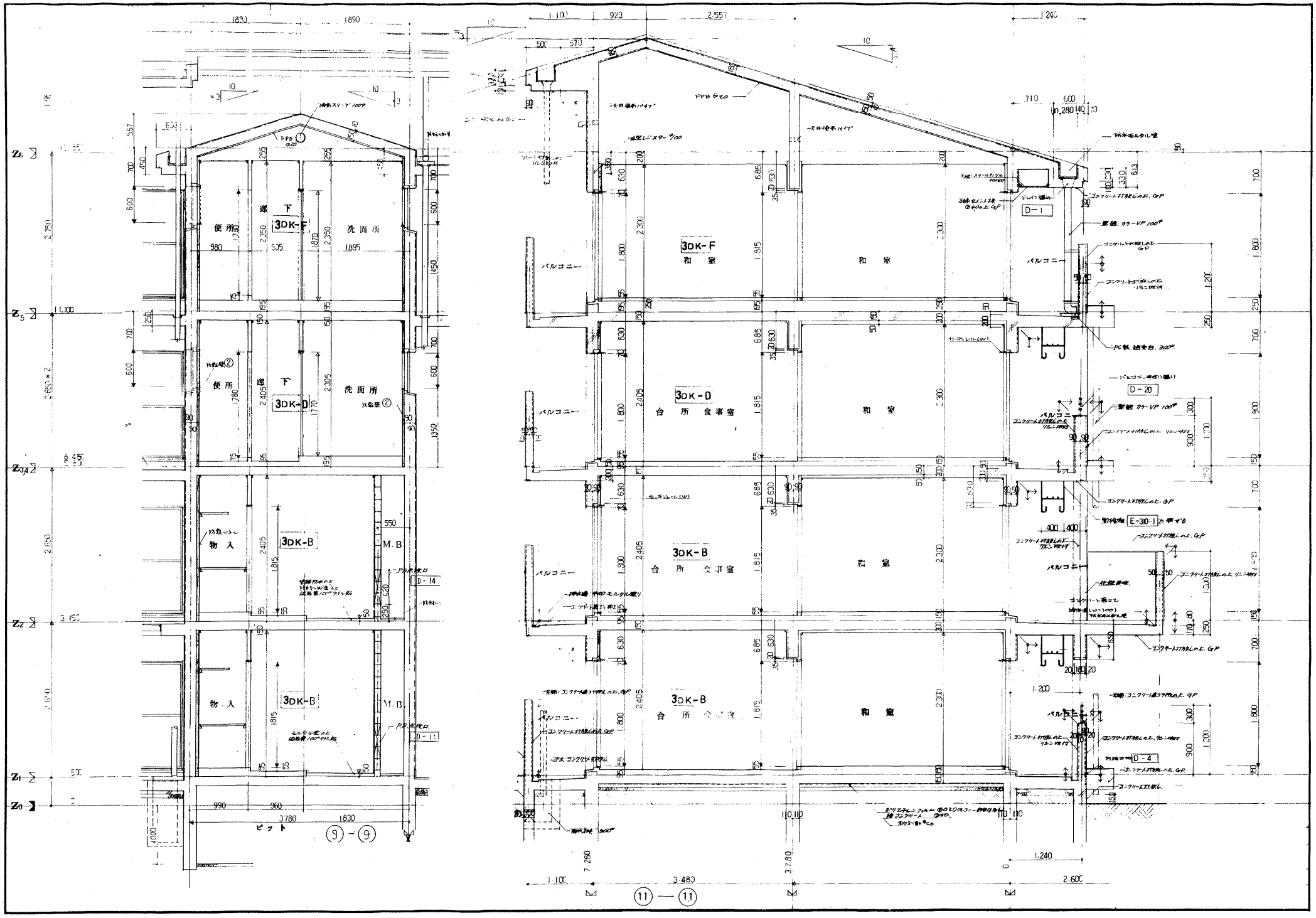

和室(1)
和室(2)
押入
押入
物入
便所
和室
洗面所
浴室
廊下
台所食事室
ホール
玄関
テラス
バルコニー
PS
(階段は別図による)

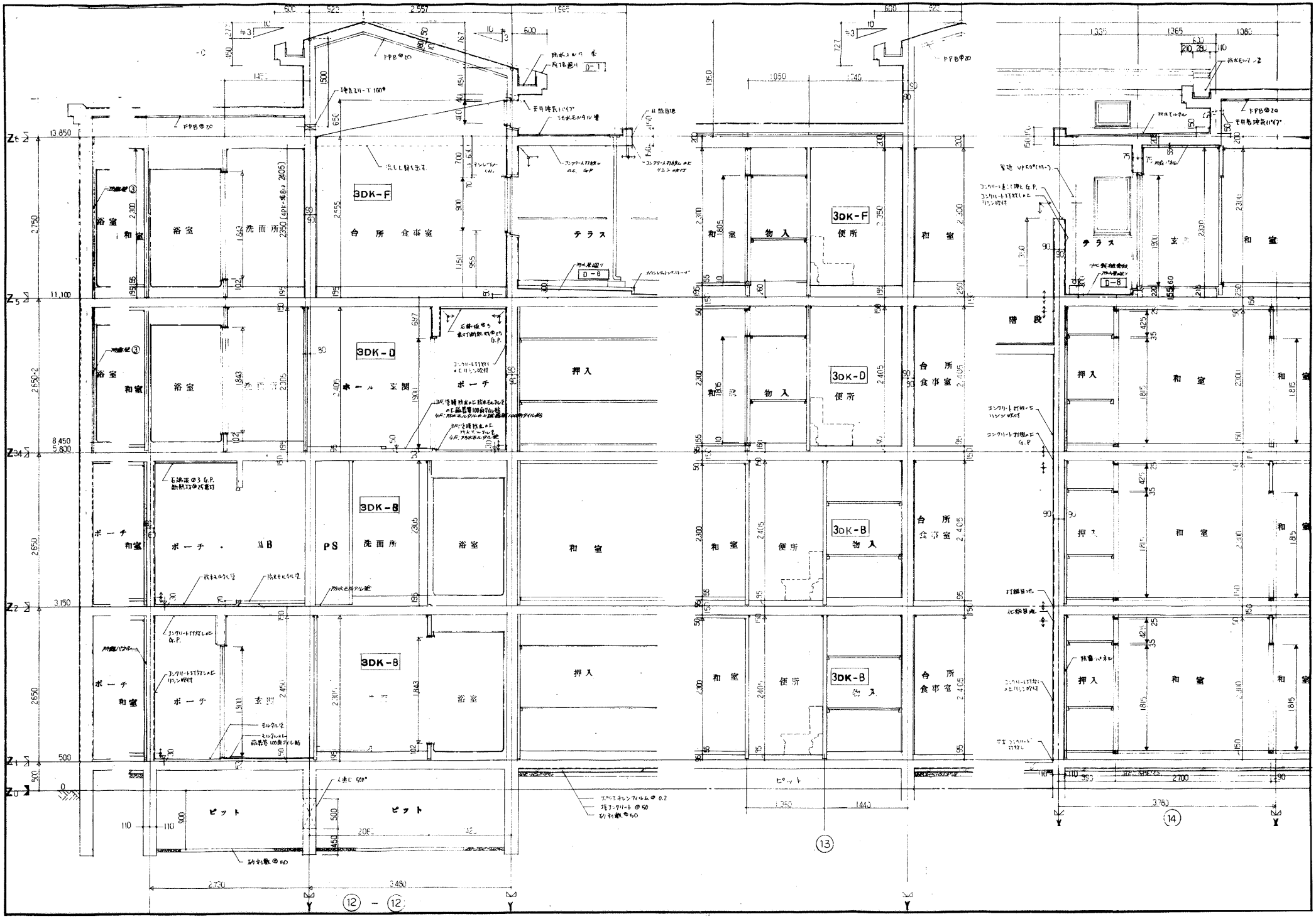

3DK-E
台所食事室
廊下
便所
ホール
玄関
テラス
3DK-C
台所食事室
廊下
便所
和室
3DK-C は 特注
3DK-A
台所食事室
ホール
便所
和室
バルコニー
3DK-A
台所食事室
ホール
便所
和室
バルコニー
3F バルコニー部分
Z5
Z3,4
Z2
Z1
Z0
3.550
11.100
3.150
0.500
0
2.700
2.557
923
2.880
3.480
3.780
200
①－①

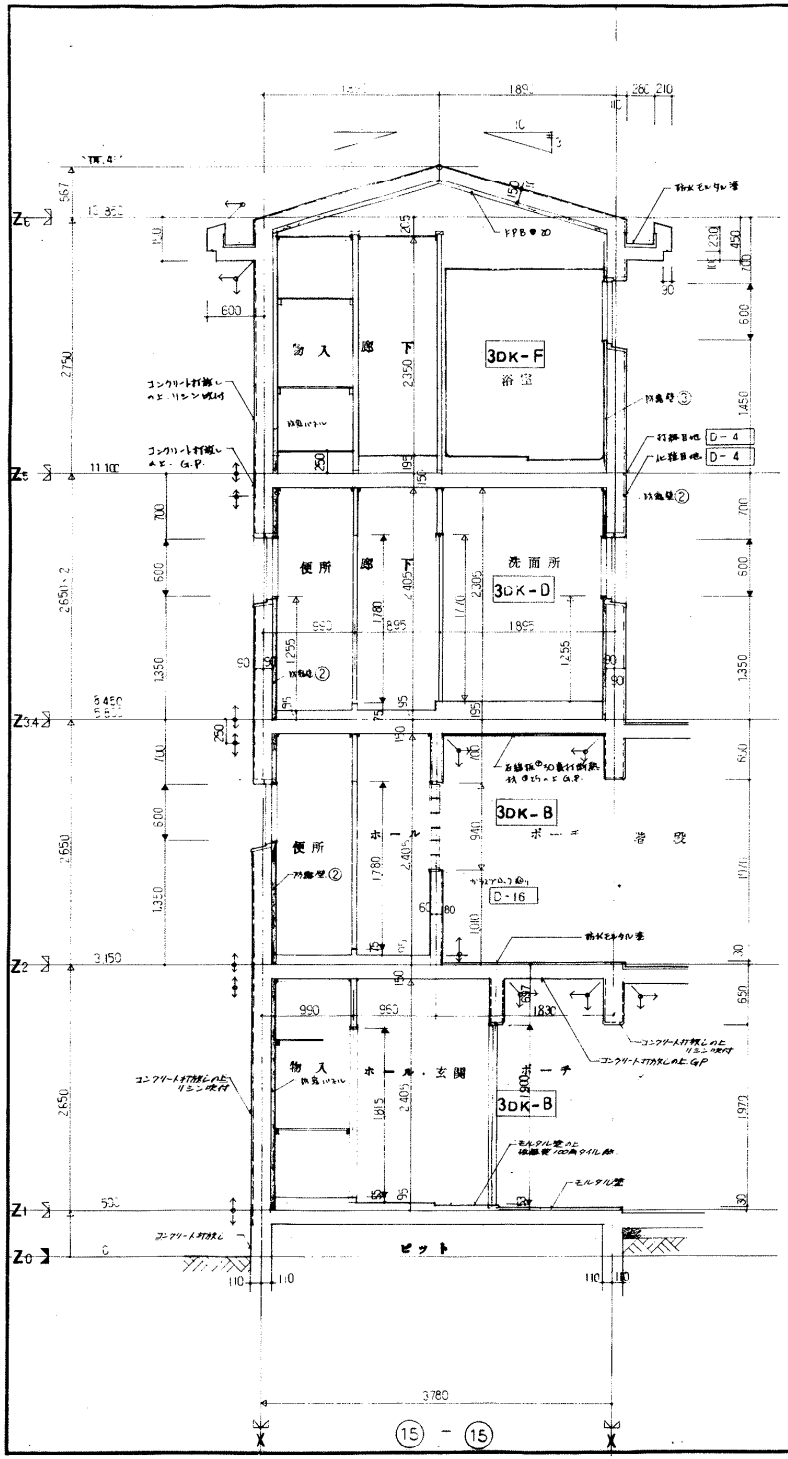

3DK-E
3DK-C
3DK-A
和室 3
物入
バルコニー
台所
食事室
浴室
洗面所
ポーチ
玄関
ホール
M.B.
P.S.
和室
押入
テラス
ピット
② — ② 断面
③ — ③ 断面
④ — ④ 断面

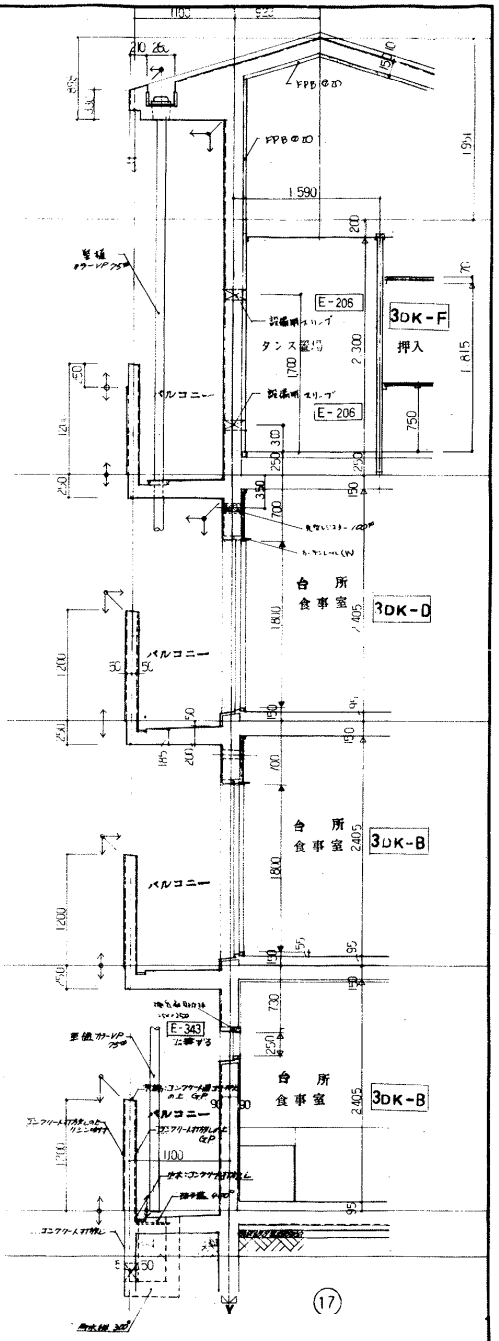

3DK-F
押入
3DK-E
和室
台所食事室
3DK-F
台所食事室
D-5
D-9
D-4
D-16
3DK-D
台所食事室
3DK-C
台所食事室
ポーチ
階段
ポーチ
3DK-D
玄関
D-9
3DK-B
台所食事室
3DK-A
台所食事室
洗面所
3DK-B
洗面所
D-9
3DK-B
台所食事室
3DK-A
台所食事室
浴室
3DK-B
浴室
D-10
ピット
E-335
テラス
バルコニー
物入
D-4
バルコニー
D-4
バルコニー
D-4
収納
5 — 5
(注: 2DKタイプは便所を除く)
6

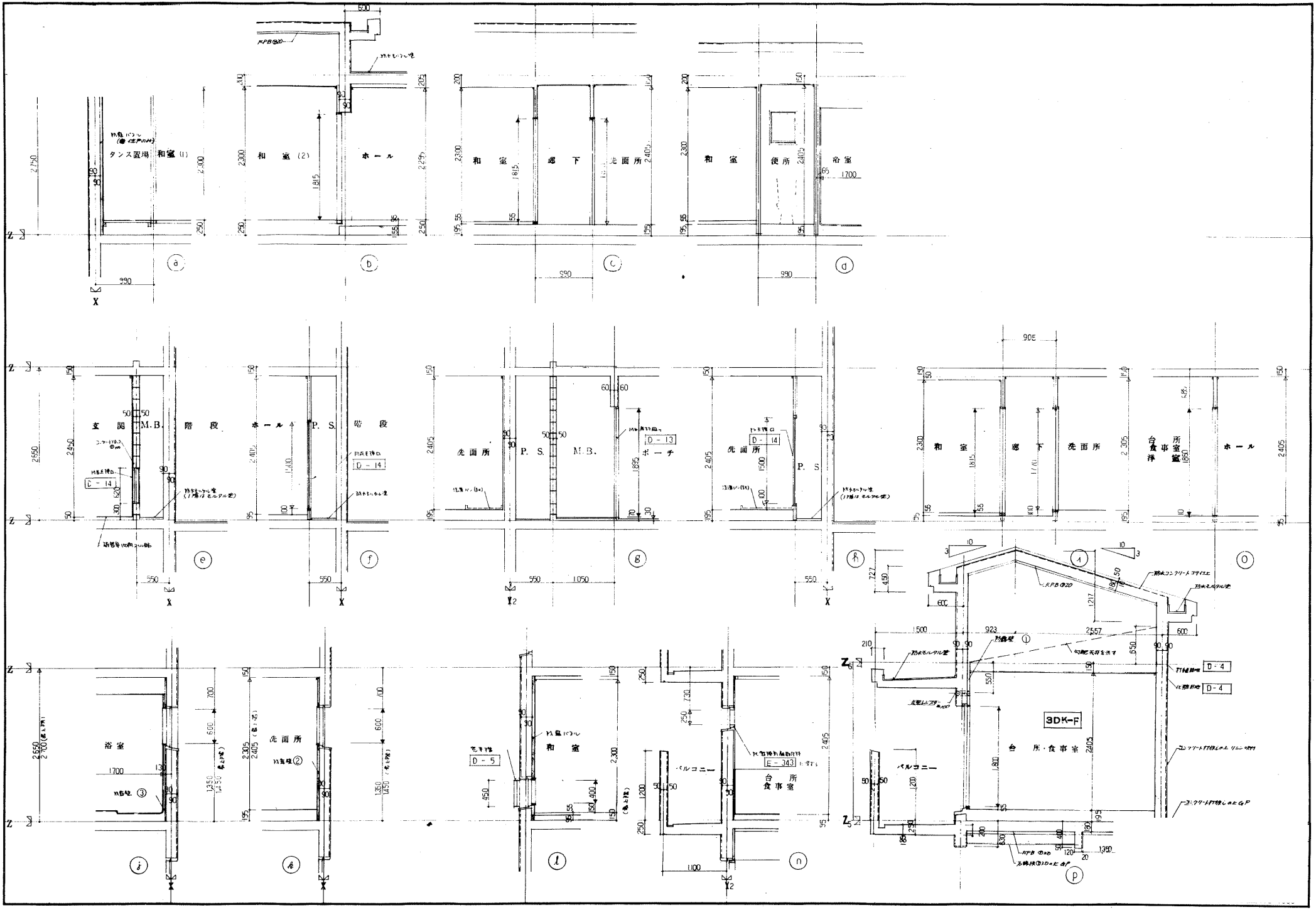

和室
廊下
台所
食事室
3DK-F
3DK-D
3DK-B
玄関
テラス
バルコニー
ホール
ピット
人通口
D-1
D-2
D-4
D-5
D-8
D-20
E-206
E-310-1
2,790
5,580
3,480
3,780
1,200
1,400
⑩－⑩ 断面


3DK-F
3DK-D
3DK-B
便所
洗面所
物入
下
ピット
⑨－⑨
⑪－⑪
和室
台所
食事室
バルコニー
D-1
D-20
D-14
D-4
E-310-1

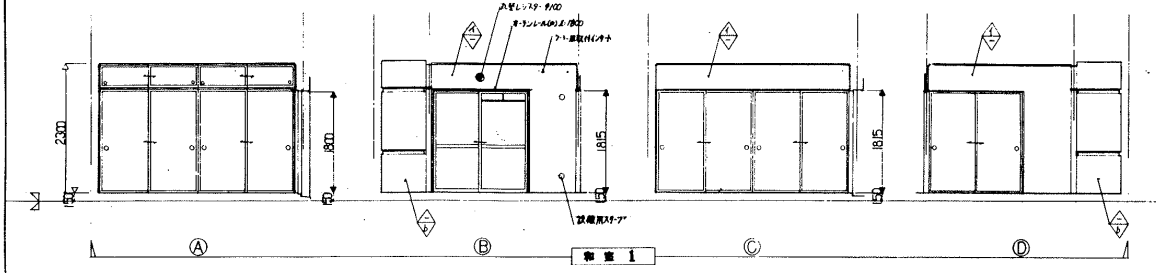

3DK-F
台所 食事室
テラス
3DK-D
ホール 玄関
ポーチ
3DK-B
洗面所
浴室
和室
押入
物入
便所
階段
ピット
(12) - (12)
(13)
(14)

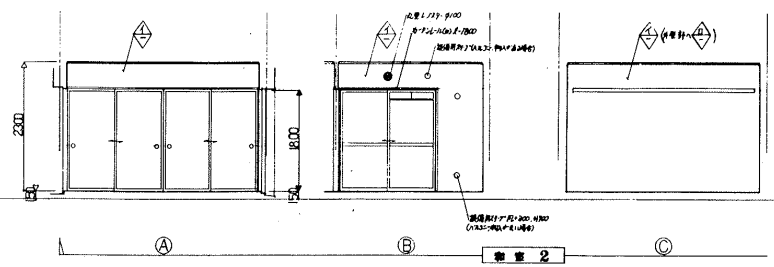

物入
廊下
3DK-F
浴室
便所
廊下
洗面所
3DK-D
便所
ホール
3DK-B
ポーチ
物入
ホール・玄関
3DK-B
ピット
Z6
Z5
Z34
Z2
Z1
Z0
15 - 15

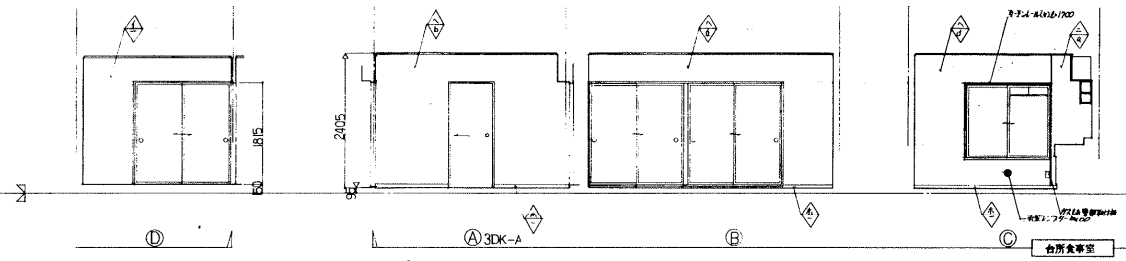

E-206
3DK-F
押入
バルコニー
台所
食事室
3DK-D
バルコニー
台所
食事室
3DK-B
バルコニー
E-343
台所
食事室
3DK-B
バルコニー
17

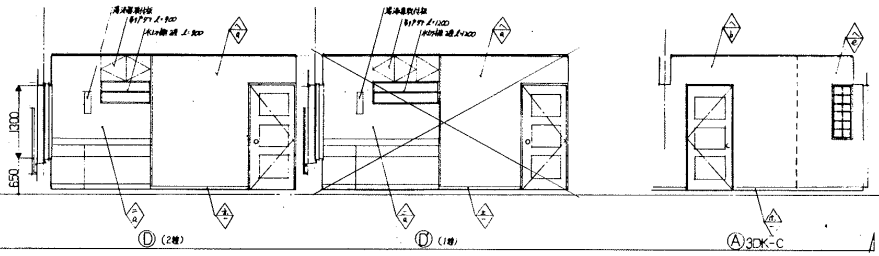

タンス置場 和室 (1)
和室 (2)
ホール
和室
廊下
洗面所
和室
便所
浴室
玄関
M.B.
階段
ホール
P. S.
階段
洗面所
P. S.
M.B.
ホール
和室
廊下
洗面所
台所
食事室
洋室
浴室
洗面所
和室
台所
食事室
バルコニー
3DK-F
台所・食事室
バルコニー

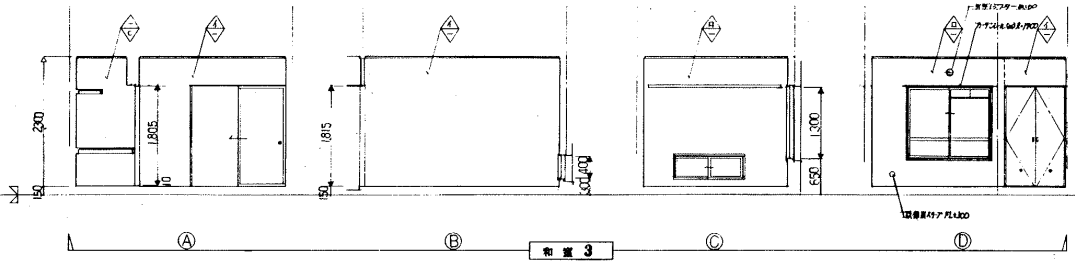
凡例	仕上材	① 化粧パネル1	② 化粧パネル2	ハ ビニールクロス	ニ GP	ホ 木製SOP	ヘ EP-Ⅰ	○	チ EP-Ⅱ	○	○	○	○
仕上 / 下地	下地材	ⓐ モルタル塗	ⓑ 畳地パネル1	ⓒ 畳地パネル2	ⓓ 防露塗1	ⓔ 防露塗2	ⓕ 防露塗3	ⓖ 浴室ユニット	○	○	○	○	○



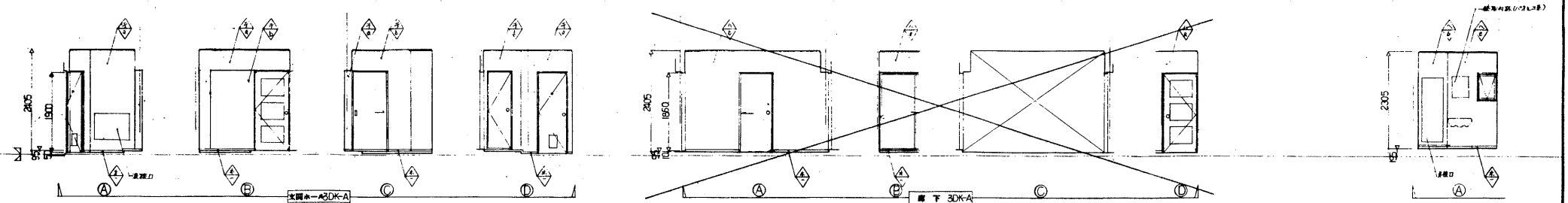


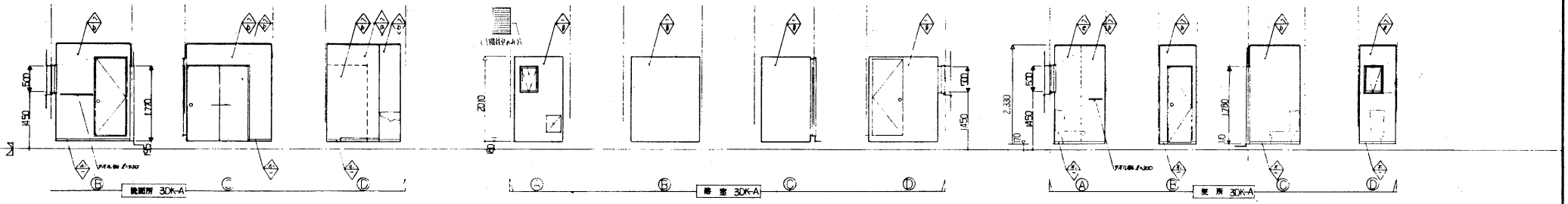


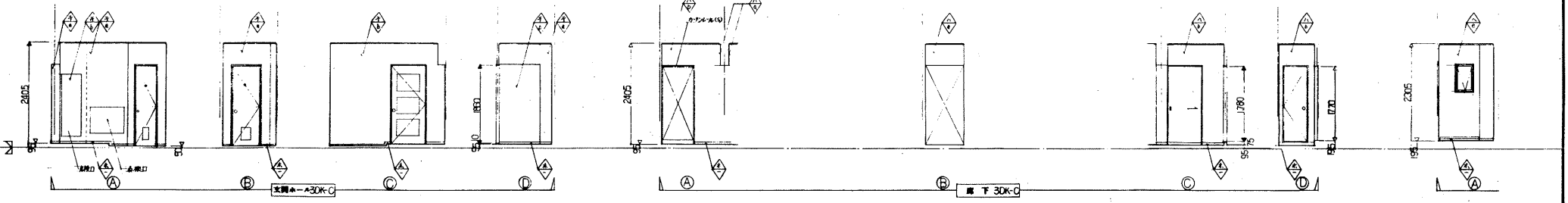


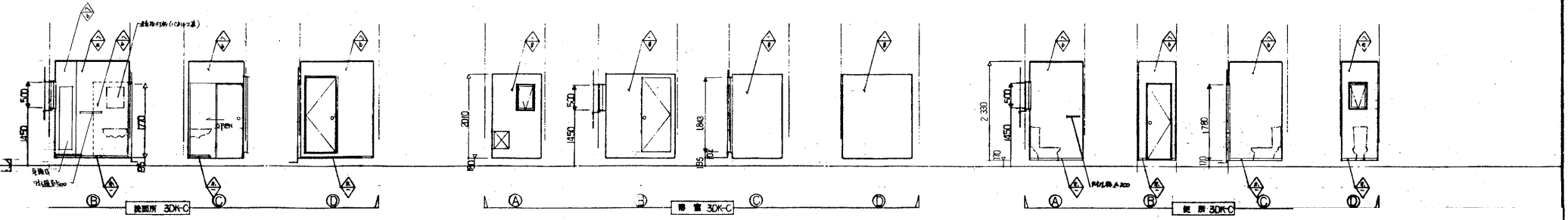


凡例	仕上材	㋑ 化粧パネル 1	㋺ 化粧パネル 2	㋩ ビニールクロス	㋥ GP	㋭ 木製 SOP	㋬ EP-Ⅰ	○	㋣ EP-Ⅱ	○	○	○	○
◇ 仕上 ▽ 下地	下地材	㋐ モルタル塗	㋺ 番地パネル 1	㋩ 番地パネル 2	㋑ 防露壁 1	㋒ 防露壁 2	㋓ 間仕壁 3	㋔ 浴室ユニット	○	○	○	○	○

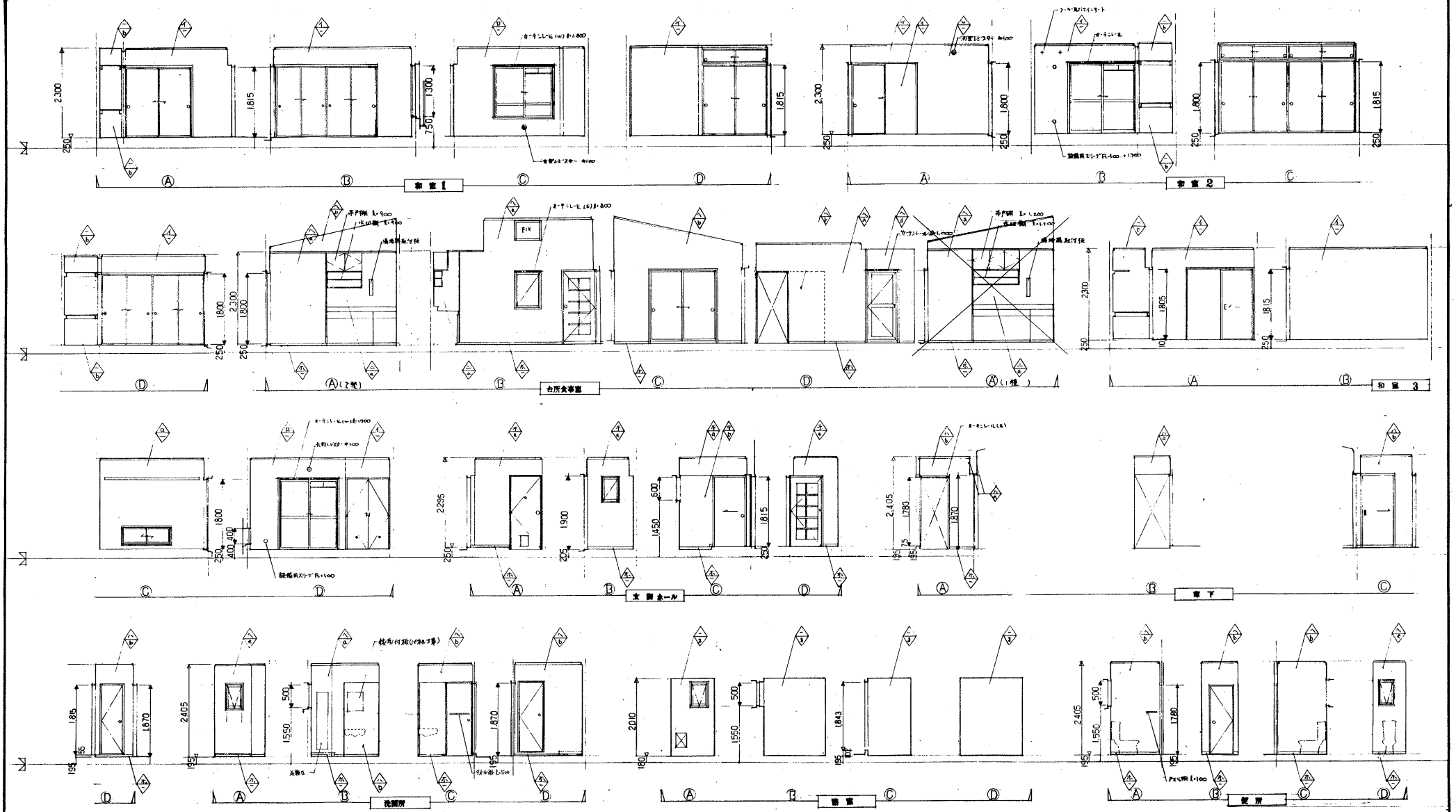




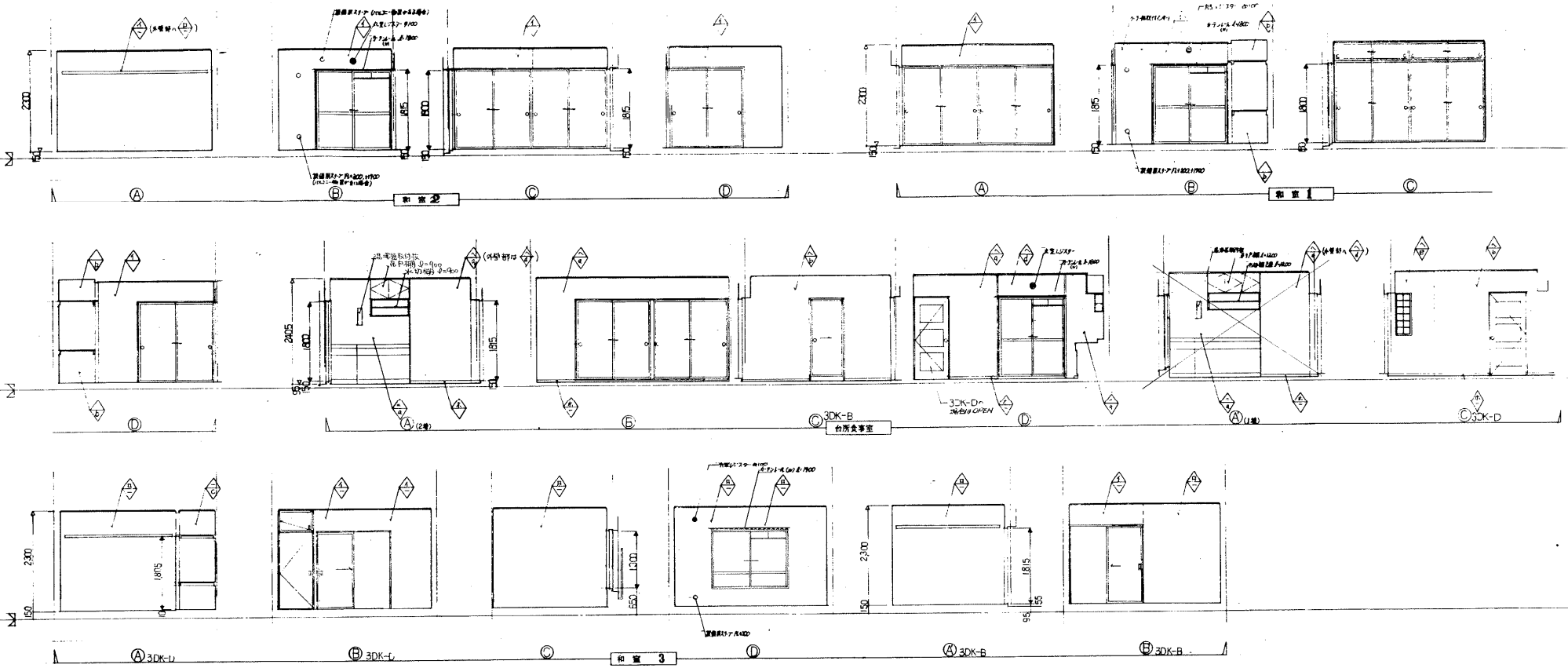




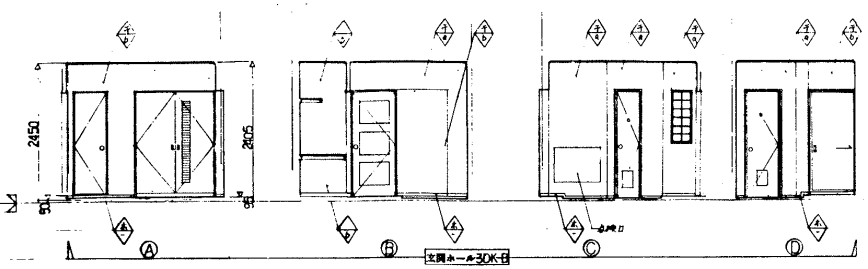
凡例 仕上 下地													
仕上材	㋑ 化粧パネル 1	㋺ 化粧パネル 2	㋩ ビニールクロス	㋥ GP	㋭ 木製SOP	㋬ EP-I	㋮	㋣ EP-II				
下地材	ⓐ モルタル塗	ⓑ 素地パネル 1	ⓒ 素地パネル 2	ⓓ 石膏ボード 1	ⓔ 石膏ボード 2	ⓕ 石膏ボード 3	ⓖ 浴室ユニット					

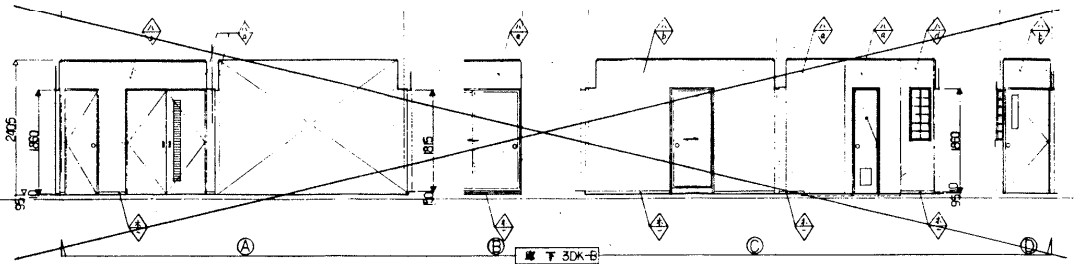


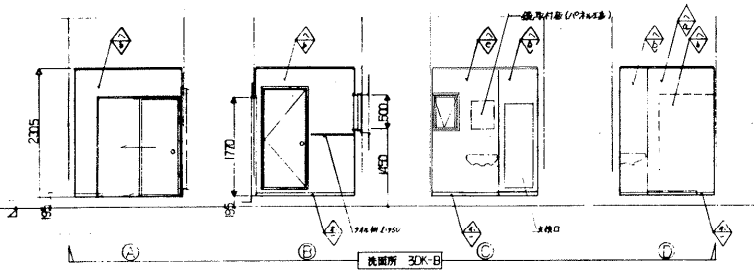
凡例													
仕上	④ 化粧パネル1	Ⓑ 化粧パネル2	Ⓐ ビニールクロス	㊀ GP	㊃ 木製SOP	㊁ EP-Ⅰ	○	㊂ EP-Ⅱ	○	○	○	○
下地	ⓐ モルタル塗	ⓑ 素地パネル1	ⓒ 素地パネル2	ⓓ 防露塗1	ⓔ 防露塗2	ⓕ 防露塗3	ⓖ 油塗ユニット	○	○	○	○	○

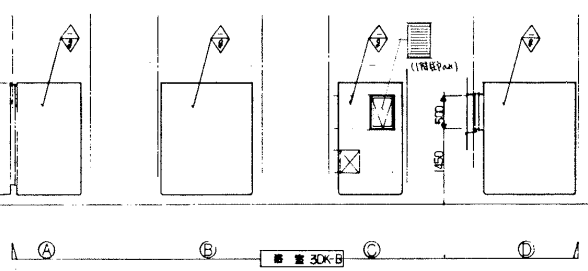


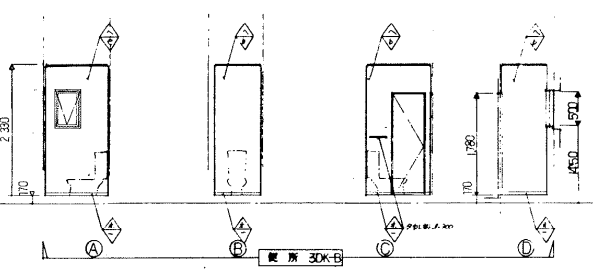
凡例												
仕上 / 下地	仕上材	① 化粧パネル1	② 化粧パネル2	③ ビニールクロス	④ GP	⑤ 木板SOP	⑥ EP-I	○	⑦ EP-II	○	○	○	○
	下地材	ⓐ モルタル塗	ⓑ 素地パネル1	ⓒ 素地パネル2	ⓓ 間仕切1	ⓔ 間仕切2	ⓕ 間仕切3	ⓖ 冷蔵ユニット	○	○	○	○	○

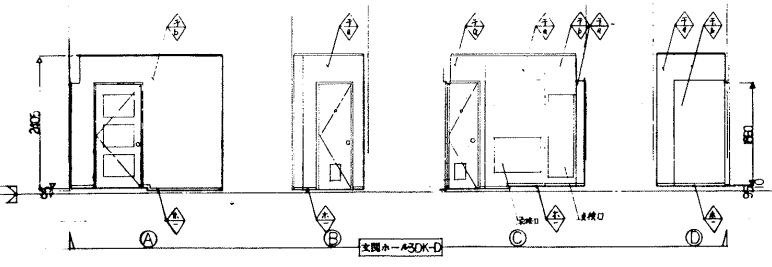


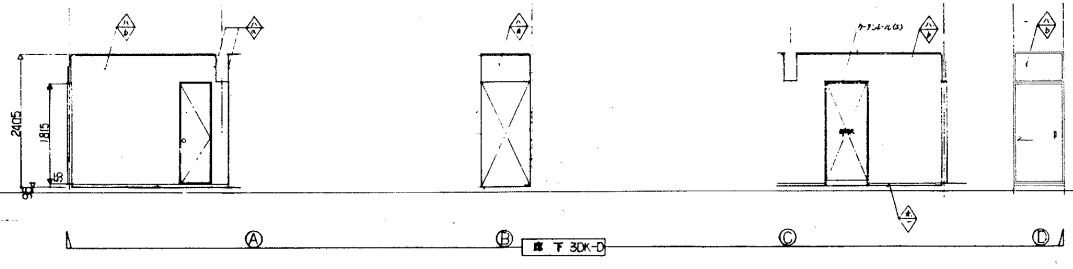


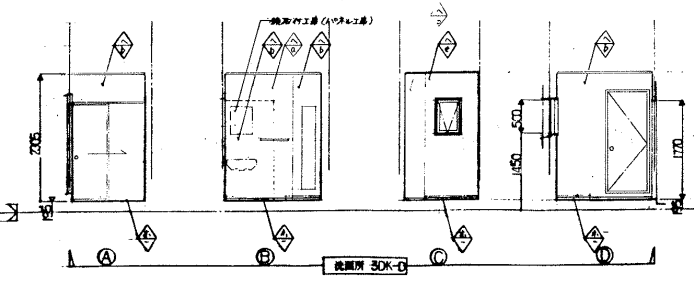


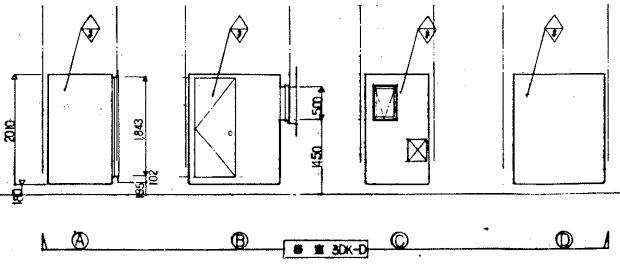


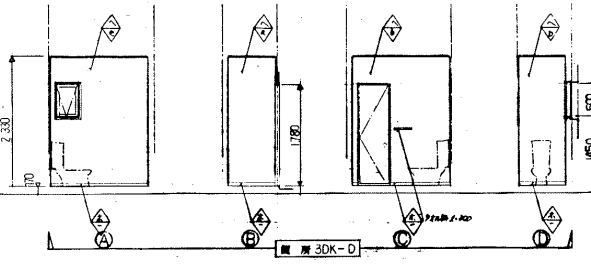




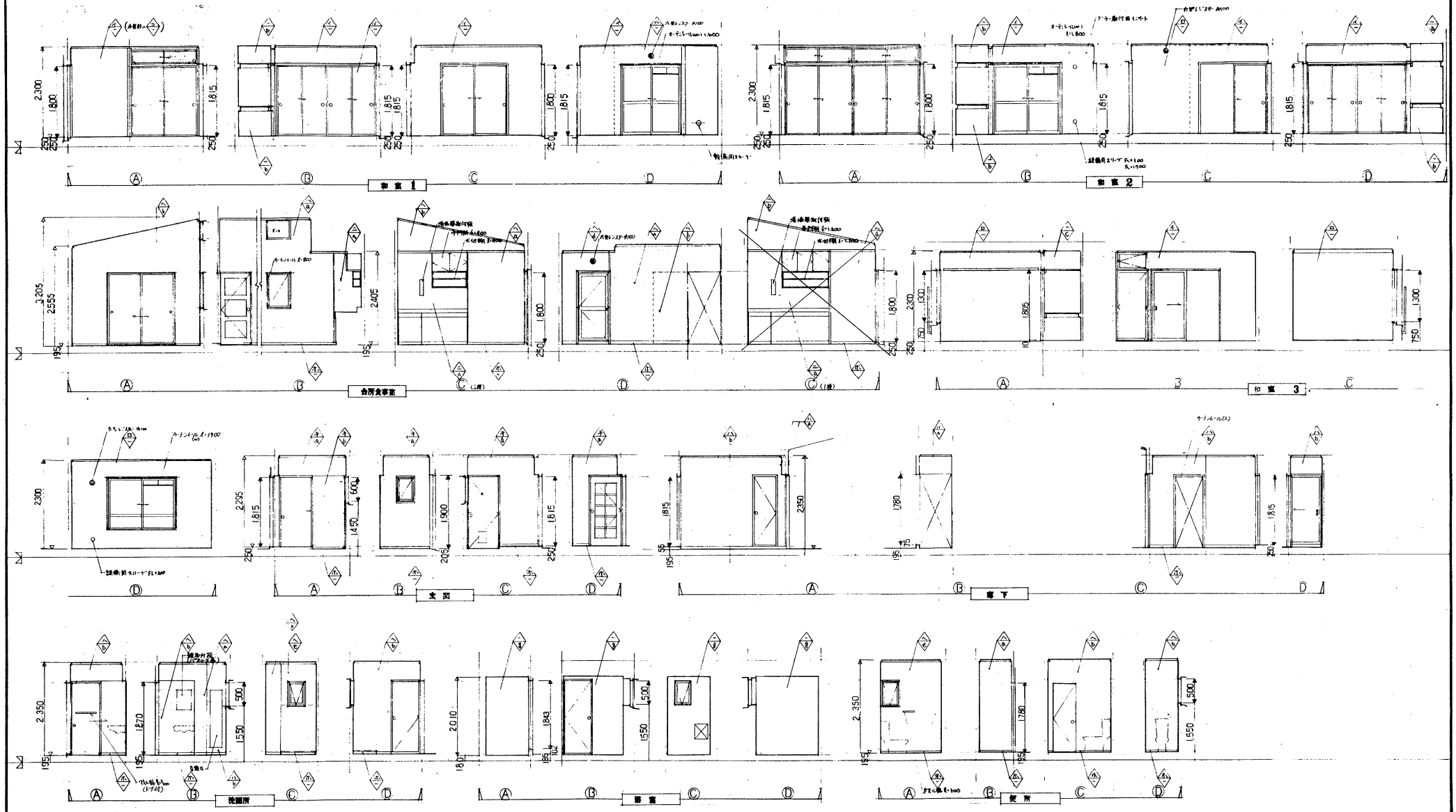








凡例													
仕上	仕上部	㋑ 化粧パネル1	㋺ 化粧パネル2	㋩ ビニールクロス	㋥ GP	㋭ 木製 SOP	㋬ EP-I	㋣ プラスター塗	㋠ EP-II				
下地	下地材	Ⓐ セルタル塗	Ⓑ 素地パネル1	Ⓒ 素地パネル2	Ⓓ 防露壁1	Ⓔ 防露壁2	Ⓕ 防露壁3	Ⓖ 浴室ユニット					



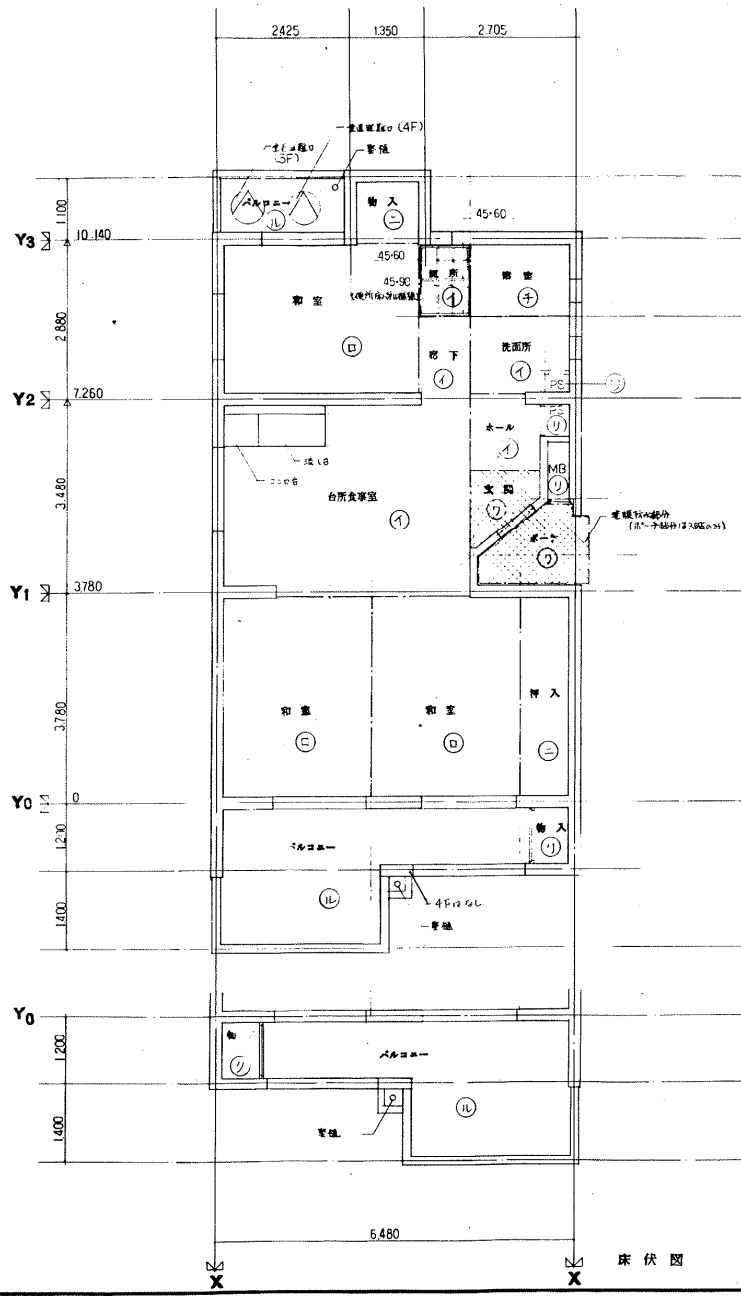


床伏図　　天井伏図

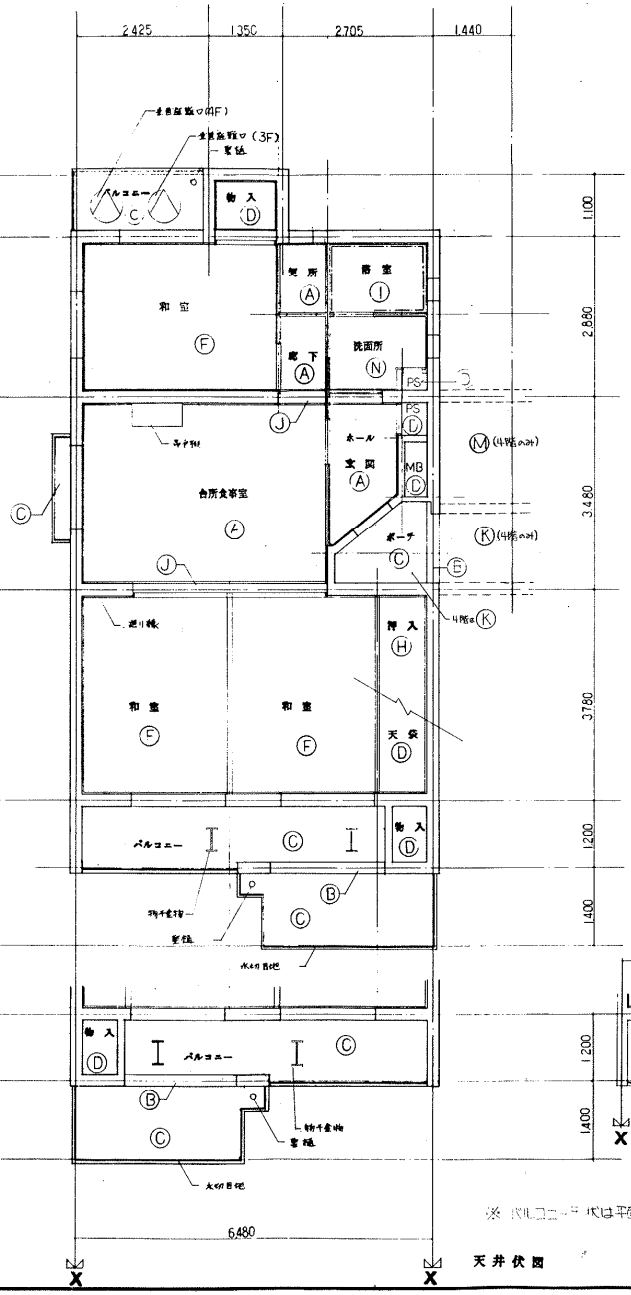
記号	床伏図
イ	下地パネル Ⓓ+上化粧合板貼
ロ	下地パネル Ⓔ+上 タフミ敷
ハ	下地パネル Ⓖ+上 化粧合板貼
ニ	パネル ①
ホ	パネル ②
ヘ	磨境プラスチック系パネル Ⓘ+上 化粧合板貼
ト	磨境プラスチック系パネル Ⓔ+上 タフミ敷
チ	BL.浴室ユニット(1116型).
リ	防水モルタル
ヌ	モルタル塗
ル	コンクリート直コテ
ヲ	有村床,壁部防水(断熱仕様.)
ワ	防水モルタル+磁器質100角タイル
カ	モルタル+磁器質100角タイル
ヨ	縁アルミ

記号	天井伏図
Ⓐ	コンクリート打放し+上軽量骨材吹付
Ⓑ	コンクリート打放し+上リシン吹付
Ⓒ	コンクリート打放し+上 EP
Ⓓ	コンクリート打放し
Ⓔ	化粧パネル① (シアトン模様)
Ⓕ	化粧パネル② (杉柾模様)
Ⓖ	化粧パネル③ (断熱有)
Ⓗ	素地パネル
Ⓘ	BL.浴室ユニット(1116型)
Ⓙ	モルタル塗+上ビニルクロス
Ⓚ	石膏板@9断熱材表材(EPS@25)+EP塗
Ⓛ	化粧パネル(いぶらく)
Ⓜ	石膏セメント板@4+上EP
Ⓝ	コンクリート打放し+上EP-1

※ バルコニー形状は平面図による。



床伏図

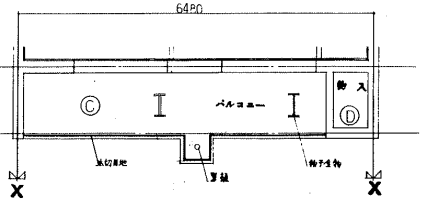


天井伏図

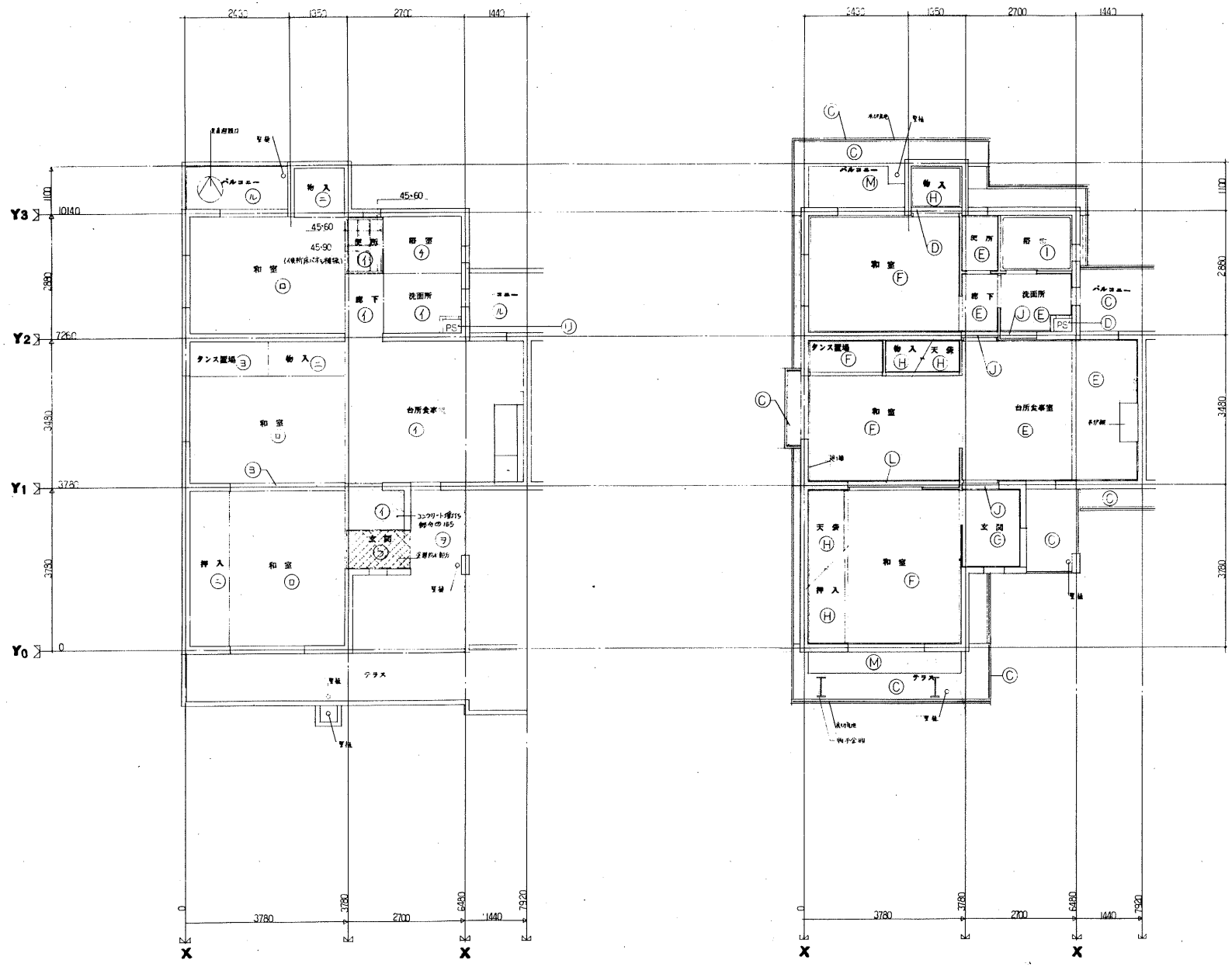
記号	床伏図
(イ)	下地パネル①の上化粧合板貼
(ロ)	下地パネル①の上タタミ敷
(ハ)	下地パネル⑤の上化粧合板貼
(ニ)	パネル①
(ホ)	パネル⑤
(ヘ)	発泡プラスチック系パネル①の上化粧合板貼
(ト)	発泡プラスチック系パネル①の上タタミ敷
(チ)	BL浴室ユニット(1116型)
(リ)	改水モルタル塗
(ヌ)	モルタル塗
(ル)	コンクリート直均
(ヲ)	有機質塗膜防水(断熱仕様)
(ワ)	防水モルタル上磁器質100角タイル
(カ)	モルタル上磁器質100角タイル
(ヨ)	縁ダタミ

記号	天井伏図
(A)	コンクリート打放しの上軽量骨材吹付
(B)	コンクリート打放しの上リシン吹付
(C)	コンクリート打放しの上合P
(D)	コンクリート打放し
(E)	化粧パネル① (ジプトン模様)
(F)	化粧パネル⑤ (杉柾模様)
(G)	化粧パネル⑤ (断熱材入り)
(H)	普通パネル
(I)	BL浴室ユニット (1116型)
(J)	モルタル塗の上ビニールクロス
(K)	石膏ボード3層断熱張打 (FPB型ボード)合P塗
(L)	化粧パネル(ロ火)
(M)	石膏セメント板9㎜の上GP
(N)	コンクリート打放しの上EP-I

4Fの場合



※ バルコニー伏は平面図による



床伏図

天井伏図

記号	床伏図
イ	下地パネル⑦の上化粧合板貼
ロ	下地パネル⑧の上タタミ敷
ハ	下地パネル⑨の上化粧合板貼
ニ	パネル⑦
ホ	パネル⑧
ヘ	発泡プラスチック系パネル⑦の上化粧合板貼
ト	発泡プラスチック系パネル⑧の上タタミ敷
チ	BL 浴室ユニット(1116型)
リ	防水モルタル
ヌ	モルタル塗
ル	コンクリート床ヨリ
ヲ	布基礎断熱防水(鉄筋仕様)
ワ	防水モルタル+上磁器質100角タイル貼
カ	モルタル+上磁器質100角タイル貼
ヨ	畳タタミ

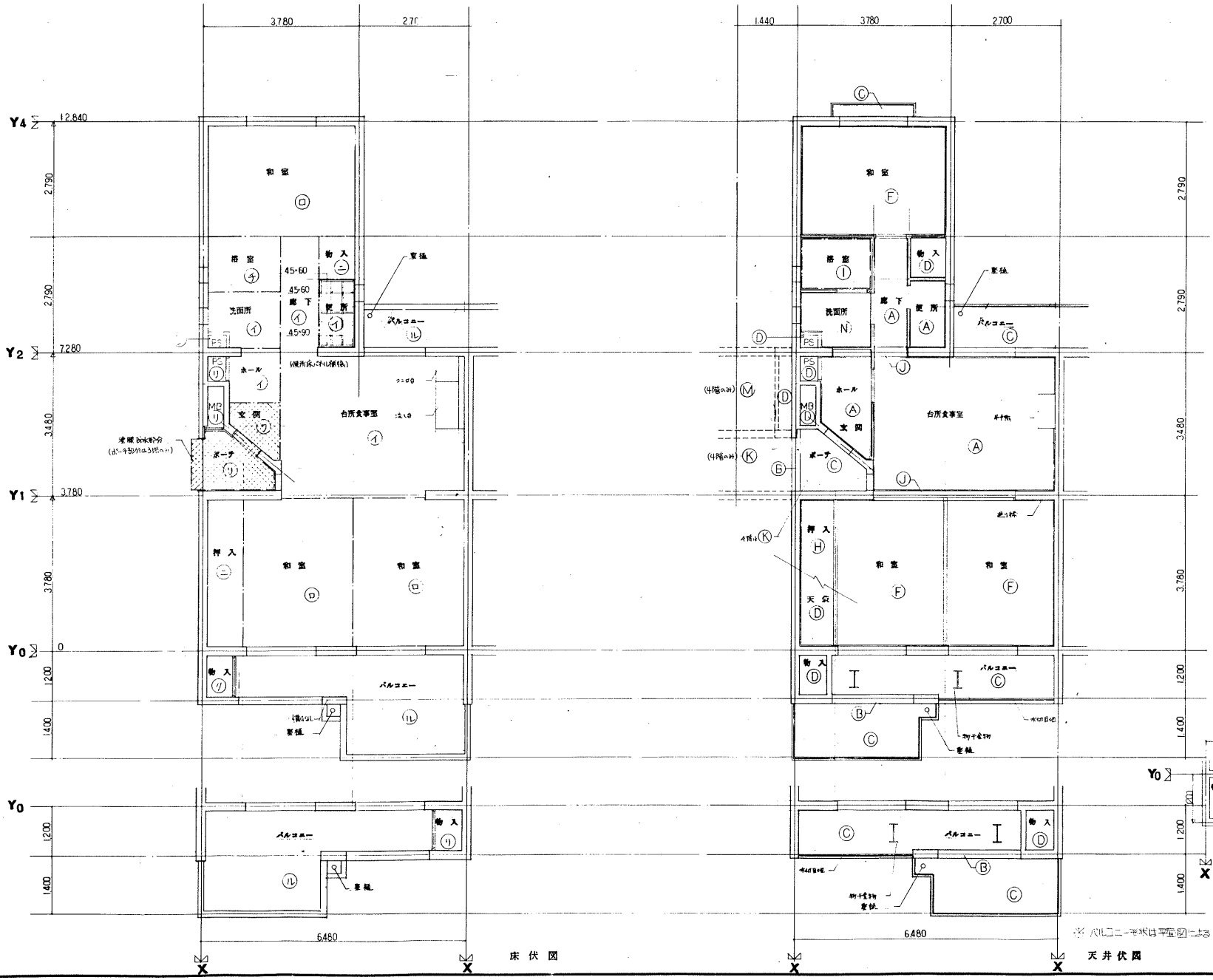
記号	天井伏図
Ⓐ	コンクリート打放し+上断熱材吹付
Ⓑ	コンクリート打放し+上リシン吹付
Ⓒ	コンクリート打放し+上GP
Ⓓ	コンクリート打放し
Ⓔ	化粧パネル⑦(シプワーン)
Ⓕ	化粧パネル⑧(断熱張替)
Ⓖ	化粧パネル⑨(断熱貼込)
Ⓗ	素地パネル
Ⓘ	BL 浴室ユニット(1116型)
Ⓙ	モルタル塗+上ビニールクロス貼
Ⓚ	石膏板9.5厚和室天井(PB9.5)GP裏
Ⓛ	化粧パネル(じゃらく)
Ⓜ	石膏セメント板8.0+上EP
Ⓝ	コンクリート打放しの上EP-I



記号	床伏図
(イ)	下地パネル⑪の上化粧合板貼
(ロ)	下地パネル⑪の上タタミ敷
(ハ)	下地パネル⑫の上化粧合板貼
(ニ)	パネル⑫
(ホ)	パネル⑪
(ヘ)	発泡プラスチック系パネル⑫の上化粧合板貼
(ト)	発泡プラスチック系パネル⑪の上タタミ敷
(チ)	BL浴室ユニット(いいお)
(リ)	防水モルタル壁
(ヌ)	モルタル壁
(ル)	コンクリート庇コテ
(ヲ)	吉村床型防水(断熱仕様)
(ワ)	防水モルタルの上磁器質100角タイル
(カ)	モルタルの上磁器質100角タイル
(ヨ)	板タタミ

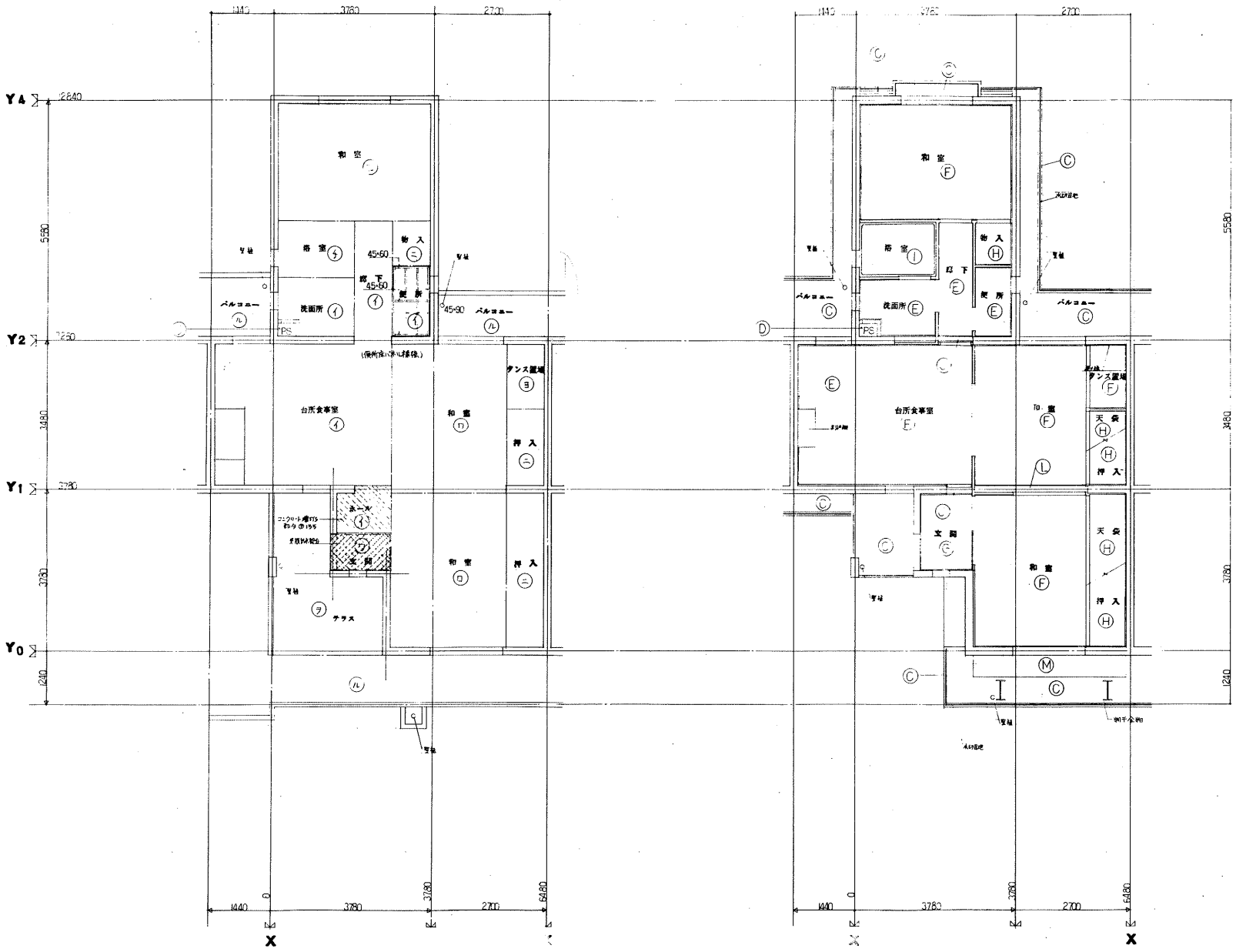
記号	天井伏図
(A)	コンクリート打放しの上断熱吹付
(B)	コンクリート打放しの上リシン吹付
(C)	コンクリート打放しの上EP
(D)	コンクリート打放し
(E)	化粧パネル⑪(ビプリ-ン模様)
(F)	化粧パネル⑪(木目模様)
(G)	化粧パネル⑪(断熱材入)
(H)	木地パネル
(I)	BL浴室ユニット(いいお)
(J)	モルタル壁の上ビニールクロス
(K)	石膏板⑫の上断熱材貼打(FPB⑫15)の上EP
(L)	化粧パネル(いいおらく)
(M)	石膏ボード下地⑫の上EP
(N)	コンクリート打放しの上EP-I

※ バルコニー形状は平面図による



記号	床伏図
(イ)	下地パネル⑩+上化粧合板貼
(ロ)	下地パネル⑩+上タタミ敷
(ハ)	下地パネル⑤+上化粧合板貼
(ニ)	パネル⑪
(ホ)	パネル⑫
(ヘ)	金属プラスチック系パネル⑩+上化粧合板貼
(ト)	金属プラスチック系パネル⑩+上立上り敷
(チ)	BL 浴室ユニット(いす座)
(リ)	防水モルタル塗
(ヌ)	モルタル塗
(ル)	コンクリート直均
(ヲ)	歩行用塗膜防水(通気緩衝工法)
ワ	防水モルタル+磁器質100角タイル
カ	モルタル+磁器質100角タイル
(ヨ)	幅タタミ

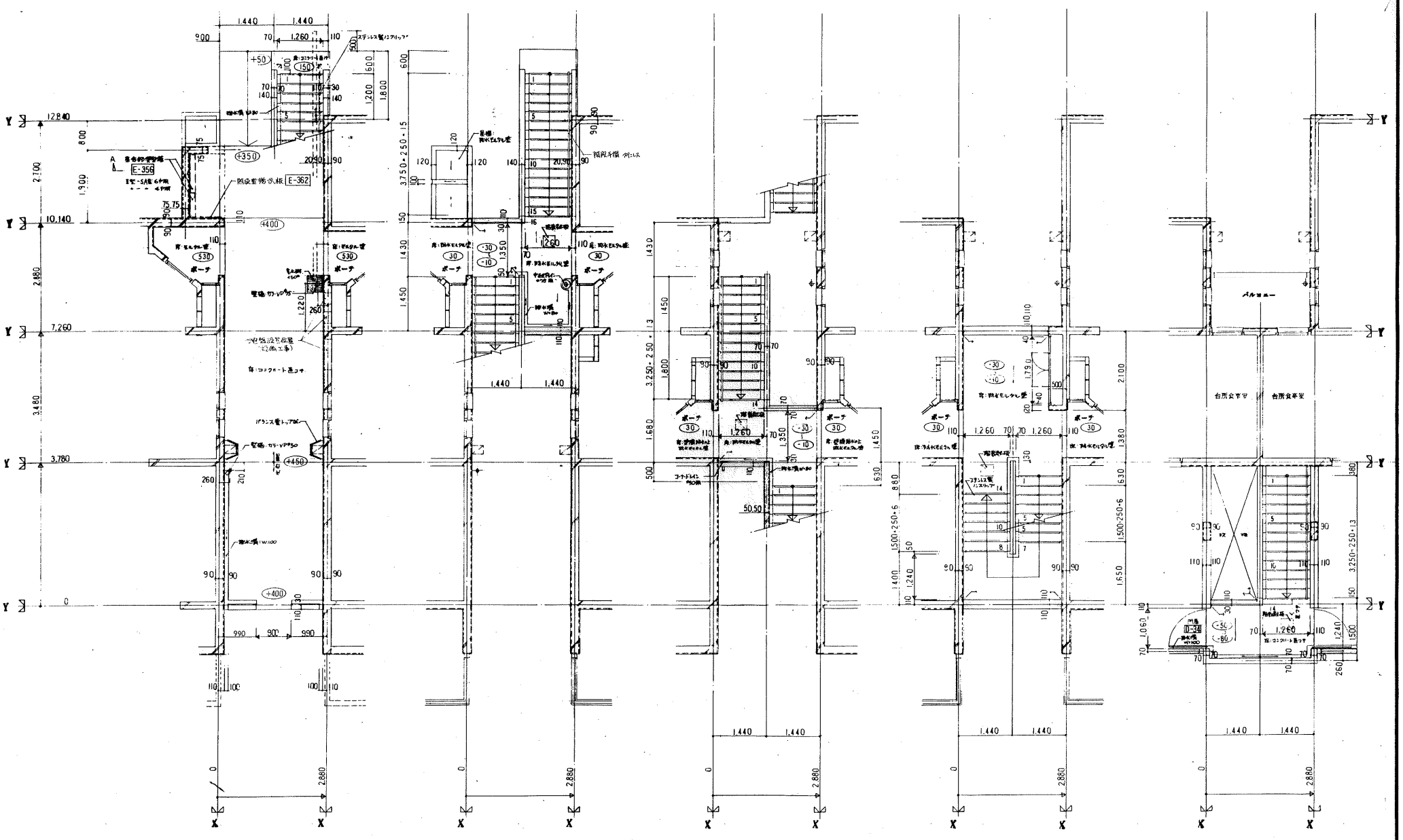
記号	天井伏図
(A)	コンクリート打放し+軽量骨材吹付
(B)	コンクリート打放し+上リシン吹付
(C)	コンクリート打放し+上GP
(D)	コンクリート打放し
(E)	化粧パネル⑤(シナベニア張)
(F)	化粧パネル⑩(杉板張)
(G)	化粧パネル⑩(断熱材入)
(H)	羽目パネル
(I)	BL 浴室ユニット(いす座)
(J)	モルタル塗+上ビニルクロス
(K)	石膏板⑫+断熱材吹付(EPS⑩25)+GP
(L)	化粧パネル(DS)
(M)	石膏ボード+GP
(N)	コンクリート打放し+上EP-I

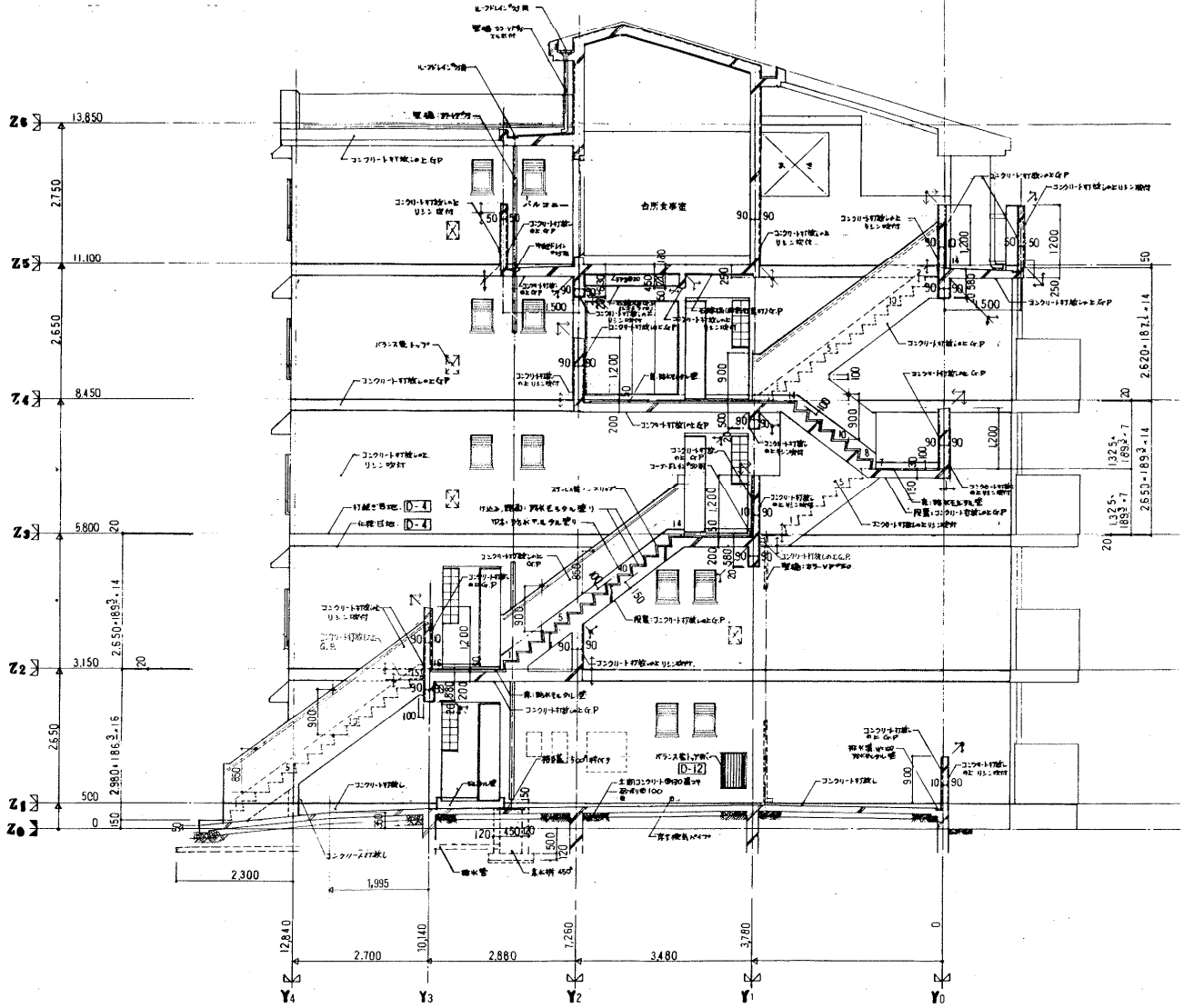


床伏図　　天井伏図

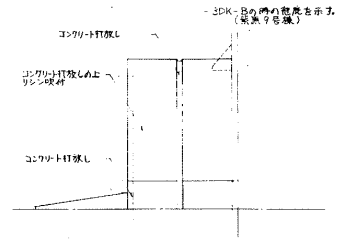
記号	床伏図
イ	下地パネル㊀の上化粧合板貼
ロ	下地パネル㊁の上タタミ敷
ハ	下地パネル㊂の上化粧合板貼
ニ	パネル㊀
ホ	パネル㊁
ヘ	現場でパネル㊀を切断したパネル㊀の上化粧合板貼
ト	現場でパネル㊁を切断したパネル㊁の上タタミ敷
チ	B.L.L浴室ユニット(1116型)
リ	防水モルタル
ヌ	モルタル壁
ル	コンクリート壁コテ
ヲ	多料肥塗膜防水(断熱仕様)
ワ	脱水モルタルの上磁器質100角タイル貼
カ	モルタルの上磁器質100角タイル貼
ヨ	縁タタミ

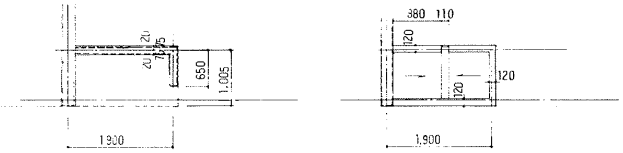
記号	天井伏図
Ⓐ	コンクリート打放しの上断熱吹付
Ⓑ	コンクリート打放しのエリシン吹付
Ⓒ	コンクリート打放しの上EP
Ⓓ	コンクリート打放し
Ⓔ	化粧パネル㊀(ダイトーン)
Ⓕ	化粧パネル㊁(特殊繊維)
Ⓖ	化粧パネル㊂(繊維ボス)
Ⓗ	羽地パネル
Ⓘ	B.L.L浴室ユニット(1116型)
Ⓙ	モルタル壁カの上ビニールクロス貼
Ⓚ	石膏ボード断熱材貼付 UP18-23 の上EP
Ⓛ	化粧パネル(いぶき)
Ⓜ	石膏セメント板のキヘとEP
Ⓝ	コンクリート打放しの上EP-1

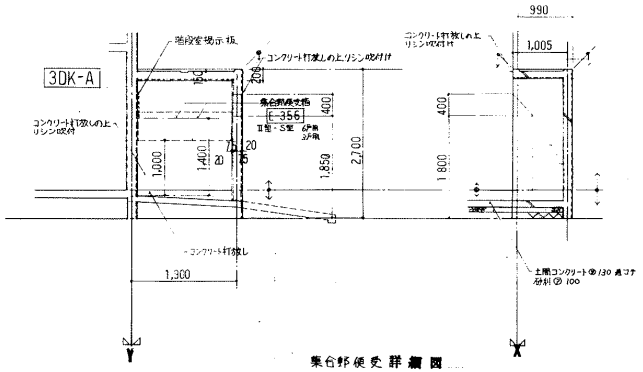

1階平面詳細図
2階平面詳細図
3階平面詳細図
4階平面詳細図
5階平面詳細図



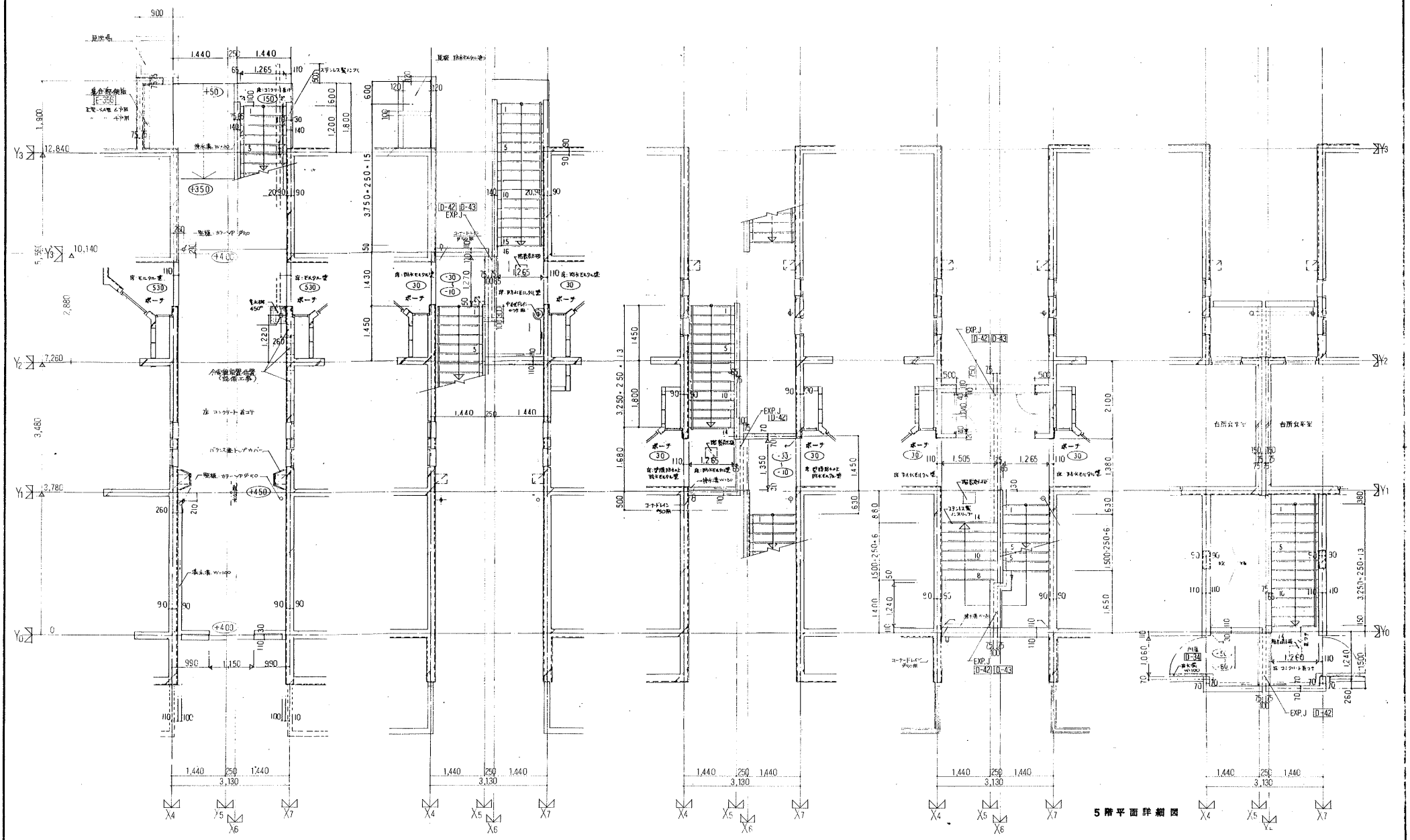
断面詳細図　階段⑤







集合郵便受詳細図



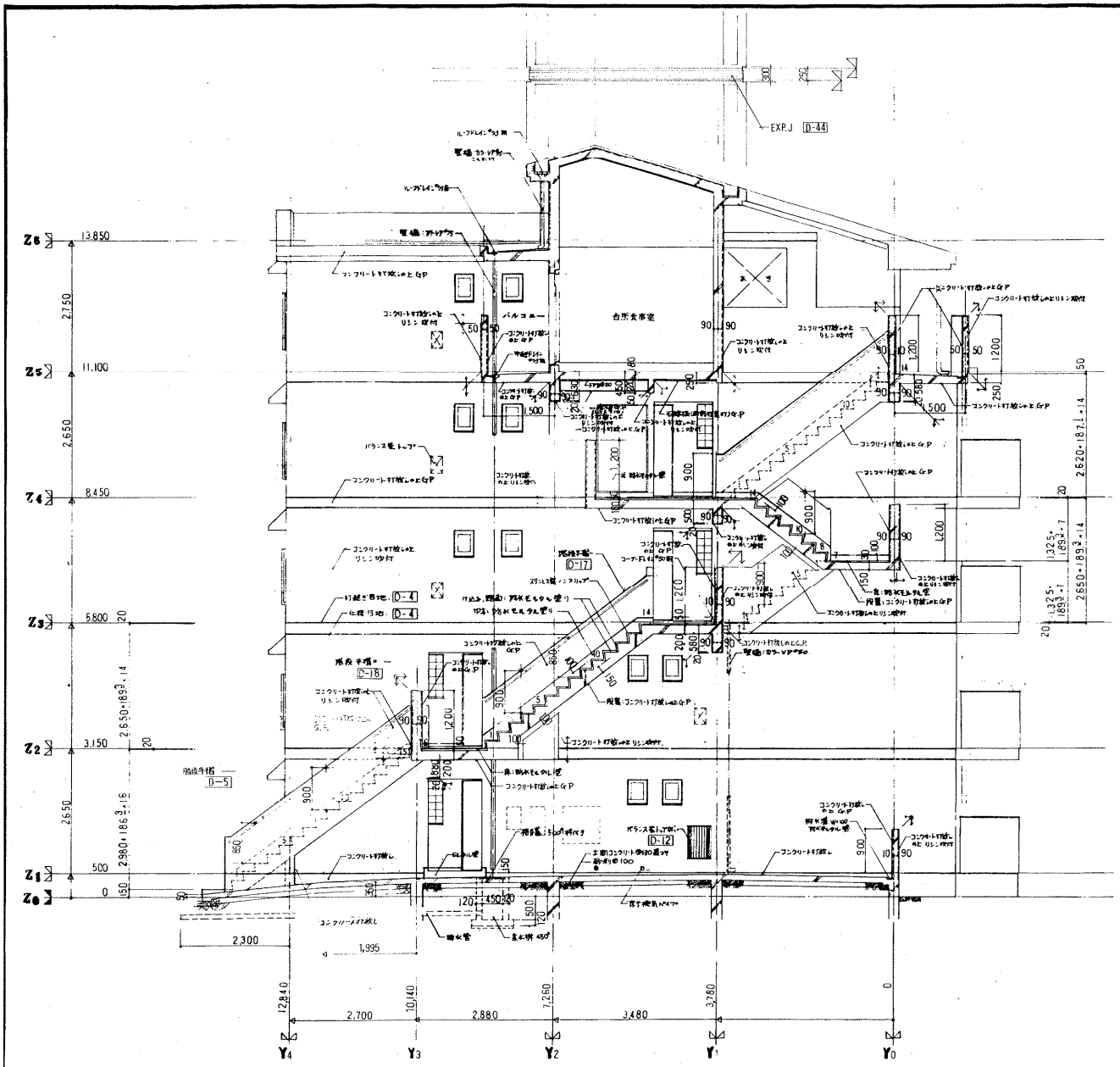
1階 平面詳細図

2階 平面詳細図

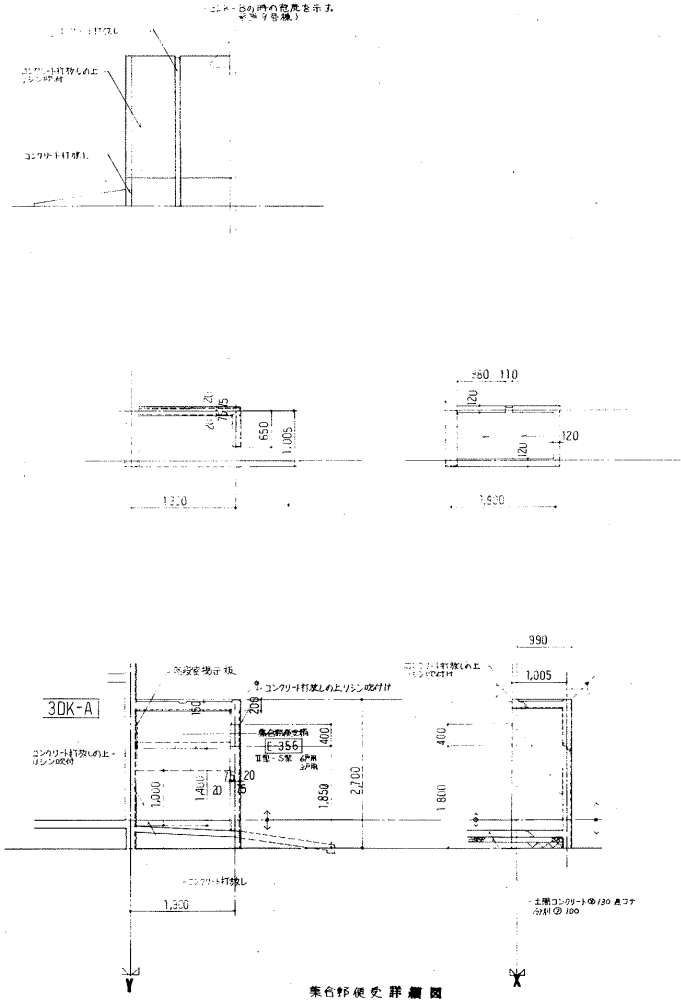
3階 平面詳細図

4階 平面詳細図

5階平面詳細図



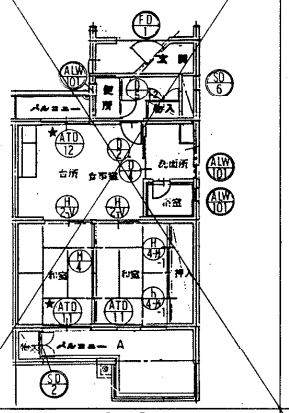
断面詳細図　階段⑤



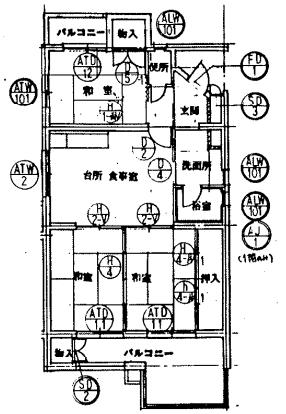
集合郵便受詳細図

建具案内図

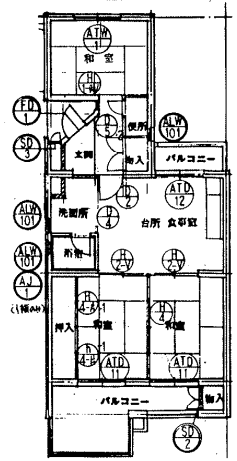
2DK-F



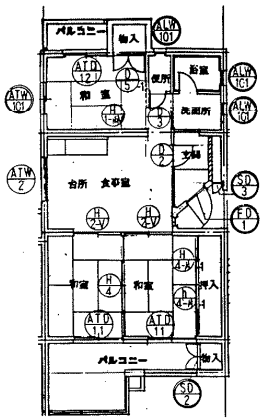
3DK-A



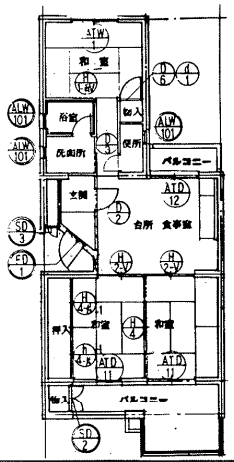
3DK-B



3DK-C



3DK-D



備考

注）建具案内図中★印の付いた建具の鍵穴は下記の通りとする。

上部：錠ユニ表面ガラス㊧6.8（小窓共）

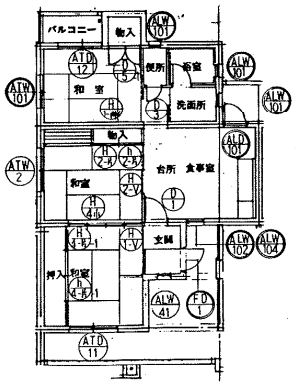
下部：錠ユニ空錠ガラス㊧6.8

該当住戸

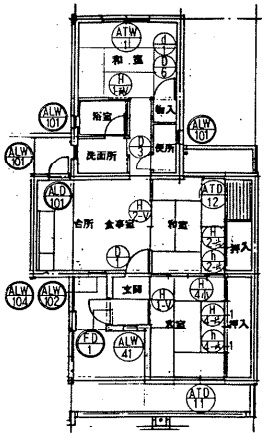
・1号棟：両開き住戸

・8号棟：単開き住戸

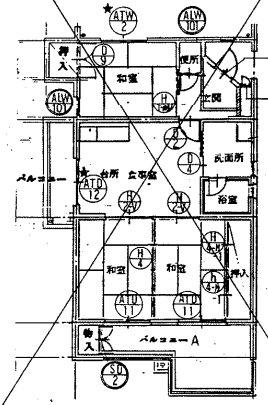
3DK-E



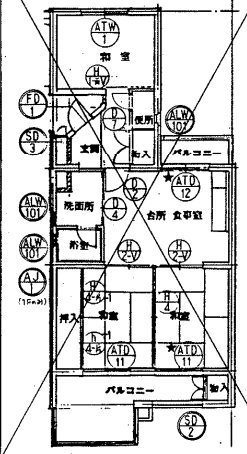
3DK-F



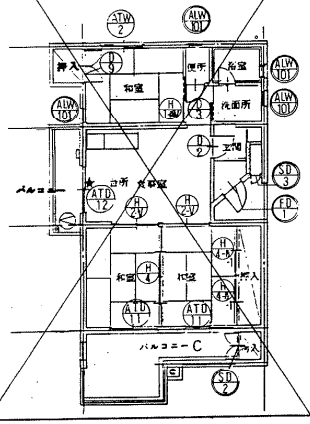
3DK-A'



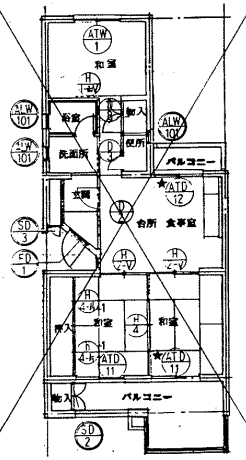
3DK-B'



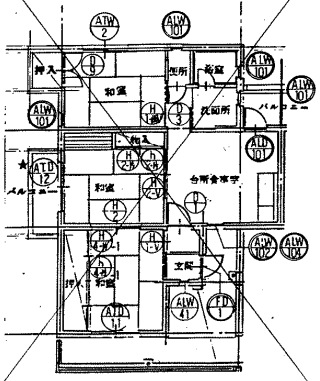
3DK-C'



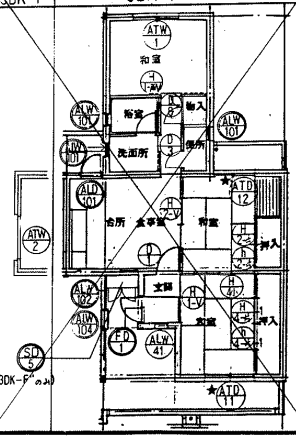
3DK-D'



3DK-E'

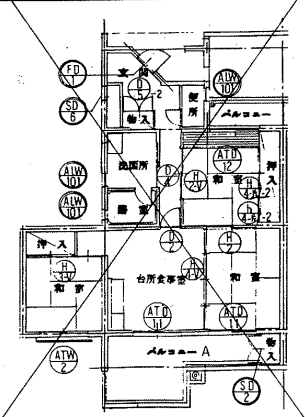


3DK-F'

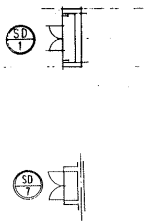


(3DK-F'のみ)

3DK-J



階段室



住戸は階段詳細図に従う

住戸タイプ別建具数量

	2DK	3DK						3DK							
	F	A	B	C	D	E	F	A′	B′	C′	D′	E′	F′	F″	J
戸数															
㉑															
⑳															
㉙	1	1	1	1	1			1	1	1	1				1
㉘		1	1	1	1			1	1	1	1				
㉗														1	
㉖	1														
㉕	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
㉔	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	1	2
㉓	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
㉒						1	1					1	1		
㉑			1		1		1		1		1		1	1	
⑳		1				1		1		1		1		1	1
⑲						1	1					1	1		
⑱	3	3 2(1F㎡)	3 2(1F㎡)	3	3	3	3	3 2(1F㎡)	3 2(1F㎡)			4	3	3	3
⑰						1	1					1	1		
⑯						1	1					1	1		
⑮		1		1		1									
⑭		1(1F㎡)	1(1F㎡)					1(1F㎡)	1(1F㎡)						
⑬						1	1					1	1	1	
⑫	1	1	1	1	1			1	1	1	1				1
⑪				1	1	1	1			1	1	1	1	1	
⑩	1	1	1					1	1						1
⑨-1		1		1		1									
⑨-2	1		1												1
⑧					1		1								
⑦									1						
⑥										1		1	1		
⑤								1		1		1			
④					1		1								
③		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
②						1	1					1	1	1	
①												1			1
㉒	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1
㉑						1	1					1	1	1	
⑳															1
⑲	1	1	1	1	1			1	1	1	1				
⑱						1	1						1	1	
⑰															1
⑯-1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
⑯-2															1
⑮						1	1					1	1	1	
⑭-1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
⑭-2															1

7 号 棟

	2DK	3DK						合計	備考
	F	B′	D′	F′	F″	J			
戸数	3	5	10	4	1	2		25	
㉑									
⑳								2	1F 階段室
㉙	3	5	10			2		20	
㉘		5	10					15	
㉗					1			1	
㉖	3					2		5	
㉕	3	5	10	4	1	2		25	
㉔	5 ★1	9 ★1	18 ★2	4	1	4		41 ★4	
㉓	2 ★1	4 ★1	8 ★2	4	1	2		21 ★4	
㉒				4				4	
㉑		5	10	4	1			20	
⑳					1	2		3	
⑲				4	1			5	
⑱	9	10	30	12	3	6		70	
⑰				4				4	
⑯				4				4	
⑮									
⑭		5						5	
⑬				4	1			5	
⑫	3	5	10			2		20	
⑪			10	4	1			15	
⑩	3	5				2		10	
⑨-1									
⑨-2	3					2		5	
⑧									
⑦		5						5	
⑥			10	4	1			15	
⑤									
④									
③		5	10	4	1			20	
②				4	1			5	
①						2		2	
㉒	6	10	20	4	1	2		43	
㉑				4	1			5	
⑳						2		2	
⑲	3	5	10					18	
⑱				4	1			5	
⑰						2		2	
⑯-1	3	5	10	4	1			23	
⑯-2						2		2	
⑮				4	1			5	
⑭-1	3	5	10	4	1			23	
⑭-2						2		2	

8 号 棟

	3DK							合計	備考
	A′	B′	C′	D′	E′	F′	J		
戸数	2	4	2	6	1	3	2	20	
㉑									
⑳								2	1F 階段室
㉙	2	4	2	6			2	16	
㉘	2	4	2	6				14	
㉗									
㉖							2	2	
㉕	2	4	2	6	1	3	2	20	
㉔	4	8	4	12	1	3	4	36	
㉓	★2	4	★2	6	★1	3	2	15 ★5	
㉒					1	3		4	
㉑		4		6		3		13	
⑳	1 1		2		1		2	6 1	
⑲					1	3		4	
⑱	7	9	8	18	4	9	6	61	
⑰					1	3		4	
⑯					1	3		4	
⑮									
⑭	1	3						4	
⑬					1	3		4	
⑫	2	4	2	6	1	3		18	
⑪					1	3		4	
⑩					1		2	3	
⑨-1	2	4	2	6	1	3		18	
⑨-2							2	2	
⑧					1	3		4	
⑦		4						4	
⑥				6		3		9	
⑤	2		2		1			5	
④									
③	2	4	2	6	1	3		18	
②					1	3		4	
①						1	2	3	
㉒	4	8	4	12	1	3	2	34	
㉑					1	3		4	
⑳							2	2	
⑲	2	4	2	6				14	
⑱						3		3	
⑰							2	2	
⑯-1	2	4	2	6	1	3		18	
⑯-2							2	2	
⑮					1	3		4	
⑭-1	2	4	2	6	1	3		18	
⑭-2							2	2	

10 号 棟

	3DK						合計	備考
	A	B	C	D	E	F		
戸数	4	8	4	8	2	4	30	
㉑							2	4F 階段室
⑳							2	4F 階段室
㉙	4	8	4	8			24	
㉘	4	8	4	8			24	
㉗								
㉖								
㉕	4	8	4	8	2	4	30	
㉔	8	16	8	16	2	4	54	
㉓	4	8	4	8	2	4	30	
㉒					2	4	6	
㉑		8		8		4	20	
⑳	4		4		2		10	
⑲					2	4	6	
⑱	10	20	12	24	6	12	84	
⑰					2	4	6	
⑯					2	4	6	
⑮	4		4		2		10	
⑭	2	4					6	
⑬					2	4	6	
⑫	4	8	4	8			24	
⑪			4	8	2	4	18	
⑩	4	8					12	
⑨-1	4		4		2		10	
⑨-2		8					8	
⑧				8		4	12	
⑦								
⑥								
⑤				8		4	12	
③	4	8	4	8	2	4	30	
②					2	4	6	
①								
㉒	8	16	8	16	2	4	54	
㉑					2	4	6	
⑳								
⑲	4	8	4	8			24	
⑱					2	4	6	
⑰								
⑯-1	4	8	4	8	2	4	30	
⑯-2								
⑮					2	4	6	
⑭-1	4	8	4	8	2	4	30	
⑭-2								

記号	SD-1,-2	SD-3	SD-4	SD-5	SD-6	SD-7
形式	両袖付Z枠納まパイプシャフトドア	鋼製片面フラッシュ両開戸	片袖まパイプシャフトドア	鋼製片面フラッシュ両開戸	両開き M.B.ドア (3DK-Fのみ)	鋼製両面フラッシュ片開戸
場所	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による
見込	50	50	50	50	50	80
材料	枠 PC-1.2 パネル PC-1.0	枠 PC-1.2 パネル PC-1.0	枠 PC-1.2 パネル PC-1.0	枠 PC-1.2 パネル PC-1.0	枠 PC-1.2 パネル PC-1.0	枠 PC-1.2 パネル PC-1.0
網子	—	—	—	—	—	—
仕上	亜鉛メッキ下地 OP	亜鉛メッキ下地 OP	亜鉛メッキ下地 OP	亜鉛メッキ下地 OP	亜鉛メッキ下地 OP	亜鉛メッキ下地 OP
開閉金物	ステンレス丁番 4ヶ 上下錠 SG41亜鉛メッキ2組 戸当り	ステンレス丁番 4ヶ 戸当り 上下錠 SG41亜鉛メッキ 1組	ステンレス丁番 3ヶ 戸当り 上下錠 SG41亜鉛メッキ 1組	ステンレス丁番 4ヶ 上下錠 SG41亜鉛メッキ2組 戸当り	ステンレス丁番 6ヶ 戸当り	表側 ステンレス丁番 3ヶ 戸当り 上下錠 SG41亜鉛メッキ 1組 裏側 ステンレス丁番 3ヶ 戸当り 上下錠 SG41亜鉛メッキ 1組
備考						

記号	ATD-11	ATD-12	ALD-101	ADW-101	SD-7	ATW-1	ATW-2	ALW-101
形式	引違イ戸(可動アミ戸付)(AT仕様)	引違イ戸(可動アミ戸付)(AT仕様)	片開き戸	引違イ窓	両開き パイプ シャフト ドア	引違イ窓 (可動アミ戸)(AT仕様)	引違イ窓 (可動アミ戸)(AT仕様)	引違イ窓 (面動アミ戸付)
場所	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による
見込	70	70	65	60	50	70	70	60
材料	BL仕様	BL仕様	BL仕様に準する	BL仕様に準する	枠: PC-1.2 パネル: PC-1.0	BL仕様	BL仕様	BL仕様に準する
網子	上部: 網入透明ガラス(6.8以上) 下部: 網入型板ガラス(6.8以上)	扉 左	上部: 網入透明ガラス @6.8 下部: 網入型板ガラス @6.8	網入型板ガラス @6.8	—	上部: 網入透明ガラス @6.8 (小走り) 下部: 網入型板ガラス @6.8	型板ガラス @4mm	型板ガラス @4mm
仕上	BL仕様	BL仕様	BL仕様に準する	BL仕様に準する	亜鉛メッキ下地 OP	BL仕様	BL仕様	BL仕様に準する
開閉金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式 ドアチェック	附属金物一式	ステンレス丁番 4ヶ 上下錠 SG41亜鉛メッキ2組 戸当り	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備考	BL-KJ-1718S	BL-KJ-1518S	水密 3Pa/m² 気密 6m³/h.m²			BL-KJ-1713S	BL-KJ-1513S	

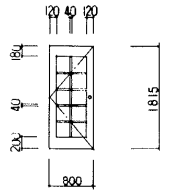
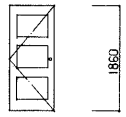
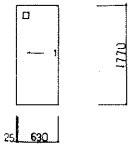
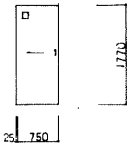
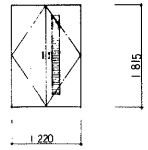
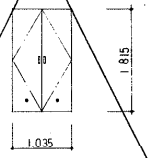
記号	AJ-1	ADW-102	ALW-41	ADW-102	SD-6	ADW-101
形式	ジャロジー窓	上り出シ窓	上り出シ窓	掃メ納シ窓	片開き フラッシュドア	内倒シ窓 (可動ガラリ付)
場所	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による	建具案内図による
見込	70	60	60	60	50	60
材料	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	枠 PC-1.2 パネル PC-1.0	BL仕様に準する
網子	型板ガラス@6.0	網入透明ガラス @6.8	網入型板ガラス @6.8	網入透明ガラス @6.8	—	網入型板ガラス@6.8
仕上	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	BL仕様に準する	亜鉛メッキ下地	BL仕様に準する
開閉金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	—	ステンレス丁番 2ヶ 戸当り 上下錠 SG41亜鉛メッキ1組	附属金物一式
備考			0406			

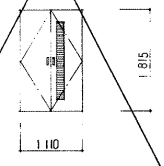
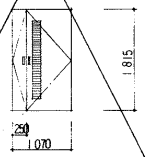
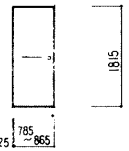
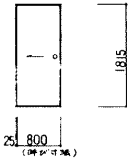
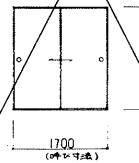
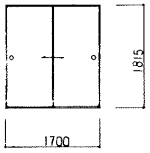
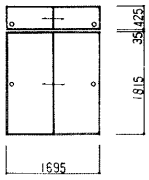
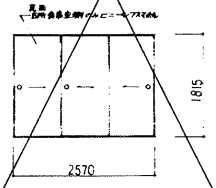
□ AT仕様ベランダ側建具については 全て、(サッシュ強度 280kg/m² 以上 / 水密 60kg/m² 以上 / 気密 2m³/h.m² / 遮音 25~5dB 以上) の性能を有する BL相当とする。

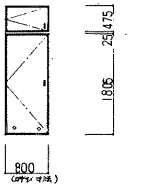
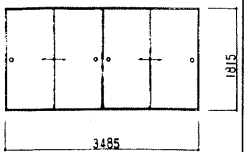
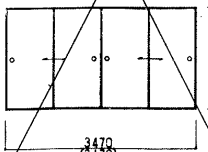
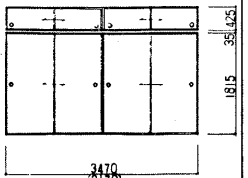
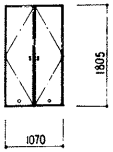
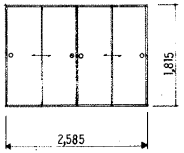
BL仕様に準するものとする。

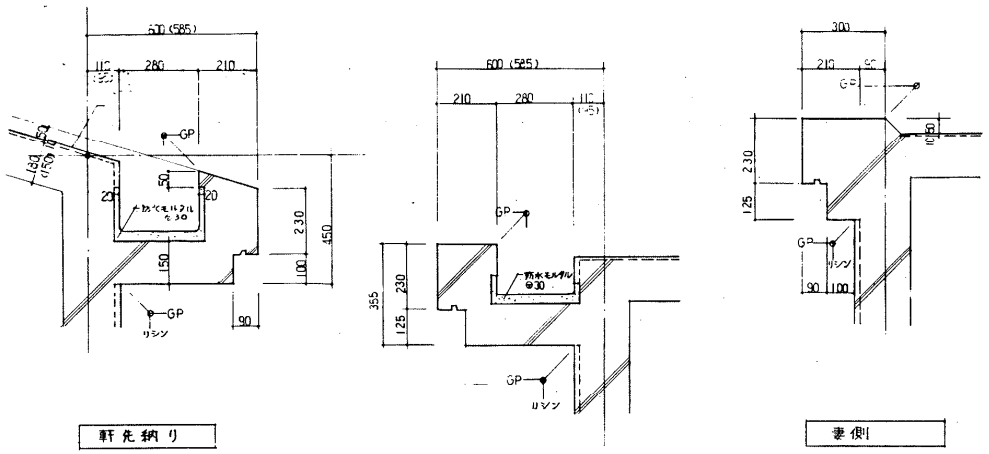
又 その他の BL仕様建具については (サッシュ強度 280kg/m² 以上 / 水密 35kg/m² 以上 / 気密 6m³/h.m² / 遮音 10dB 以上) の性能を有する BL相当品

BL仕様に準するものとする。

記号	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5-2	D-9
建具	片開キ框戸	片開キフラッシュ戸	片引キフラッシュ戸	片引キフラッシュ戸	両開キフラッシュ戸（カラリ付）	両開キフラッシュ戸（型孔乳付）
場所	台所食事室	台所食事室	洗面所	洗面所	物入	納入（和室）
見込	33	30	30	30	30	30
材料	BL仕様に依る（スプルース）	BL仕様に依る（張合板 t4m/m）	BL仕様に依る（張合板 t4m/m）	BL仕様に依る（張合板 t4m/m）	BL仕様に依る（張合板 t4m/m）	BL仕様に依る（張合板 t4m/m）
硝子	型板ガラス t4m/m	型板ガラス t4m/m	型板ガラス t4m/m	型板ガラス t4m/m		
仕上	O.P	O.P	O.P	O.P	O.P	O.P
附属金物	空錠 1ヶ ステンレス3.5寸丸付丁番（102m/m）3ヶ 上框付戸当り SUS304 1ヶ	空錠 1ヶ ステンレス3.5寸丸付丁番（89m/m） 2ヶ 上框付戸当り SUS304 1ヶ	吸込引手 SUS304（105m/m）2ヶ 戸当金 強化アイロン 4.5t 2ヶ	吸込引手 SUS304（105m/m）2ヶ 戸当金 強化アイロン 4.5t 2ヶ	マグネットキャッチ 4ヶ ステンレス3.5寸丸付丁番（89m/m）4ヶ 丸棒把手 SUS304（80m/m）2ヶ	マグネットキャッチ 4ヶ ステンレス3.5寸丸付丁番（89m/m）4ヶ 丸棒把手 SUS304（80m/m）2ヶ
姿図						
備考	K-2E	F-2E	F-2B	F-2B	F-1A・F-3C	F-1A・F-1A

記号	D-7	D-8	H-1-W	H-1-V	H-2	H-2-V	H-2-M　h-2-M	H-3-V
建具	物入	物入	片引き フスマ	片引キ フスマ	引違イ フスマ	引違イ フスマ	引違イ フスマ	3枚引違イフスマ
場所	両開キフラッシュ戸（カラリ付）	親子フラッシュ戸（カラリ付）	和室	和室	和室	和室	押入・天袋	押入 和室
見込	30	30	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5
材料	BL仕様に依る（張合板 t4m/m）	BL仕様に依る（張合板 t4m/m）	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る
硝子								
仕上	O.P	O.P	和室側：ビニールフスマ紙 廊下側：ビニールフスマ紙	和室側　新鳥の子紙 廊下側　ビニールフスマ紙	両面 新鳥の子紙	和室側　新鳥の子紙 台所食事室側　ビニールフスマ紙	片面 新鳥の子紙	片面 新鳥の子紙 一部台所食事室側 ビニールフスマ紙
附属金物	マグネットキャッチ 4ヶ ステンレス3.5寸丸付丁番（89m/m）4ヶ 丸棒把手 SUS304（80m/m）2ヶ	マグネットキャッチ 4ヶ ステンレス3.5寸丸付丁番（89m/m）4ヶ 丸棒把手 SUS304（80m/m）2ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大2ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大2ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大4ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大4ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大2ヶ 小2ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大4ヶ
姿図								
備考	F-1A・F-3C	F-1A・F-3C						

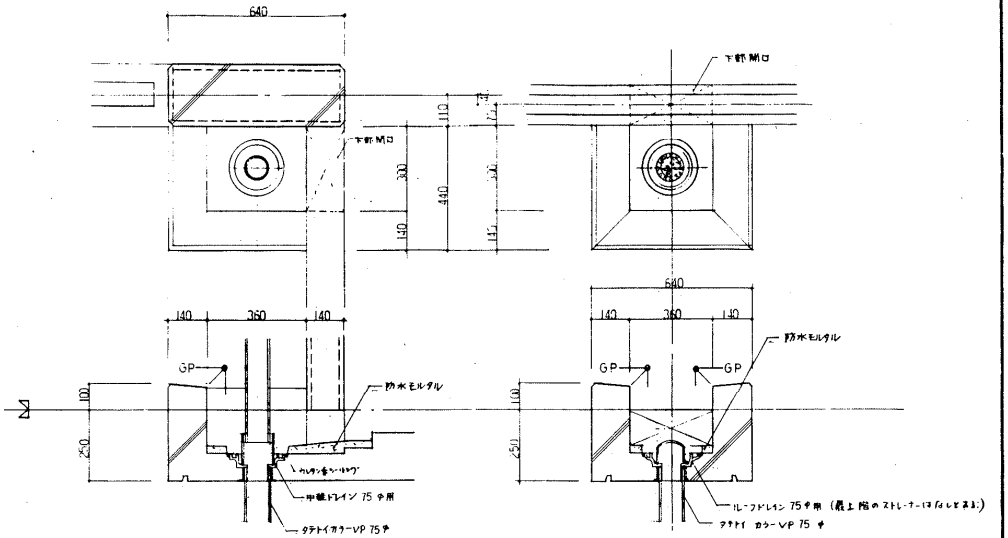
記号	D-6　d-1	H-4	H-4-V-1,-2	H-4-1,-2　h-4-1,-2	D-5-1	H-4-V
建具	片開キ フラッシュ戸	4枚引違イフスマ	4枚引違イフスマ	4枚引違イフスマ	両開キフラッシュ戸	4枚引違イフスマ
場所	物入・天袋	和室	和室	押入・天袋	物入（和室）	和室
見込	30	19.5	19.5	19.5	30	19.5
材料	BL仕様による（張合板 t4m/m）	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	共通仕様書に依る	BL仕様に依る（張合板 t4m/m）	共通仕様書に依る
硝子						
仕上	片面ビニールフスマ紙	両面 新鳥の子紙	和室側　新鳥の子紙 台所食事室側　ビニールフスマ紙	片面 新鳥の子紙	片面ビニールフスマ紙	両面新鳥の子紙
附属金物	マグネットキャッチ 4ヶ ステンレス3.5寸丸付丁番（89m/m）4ヶ 片開把手 SUS304（80m/m）1ヶ（54m/m）2ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大8ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大8ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大4ヶ 小4ヶ	マグネットキャッチ 4ヶ 丸棒把手 SUS304（80m/m）2ヶ ステンレス3.5寸丸付丁番（89m/m）4ヶ	合成樹脂引手（丸型） 大8ヶ
姿図						
備考	F-1A	[ ]内寸法はD-2の標準寸法とする	[ ]内寸法はD-2の標準寸法とする			



・外部仕上げ材下地は コンクリート打放しとする。

屋根廻り

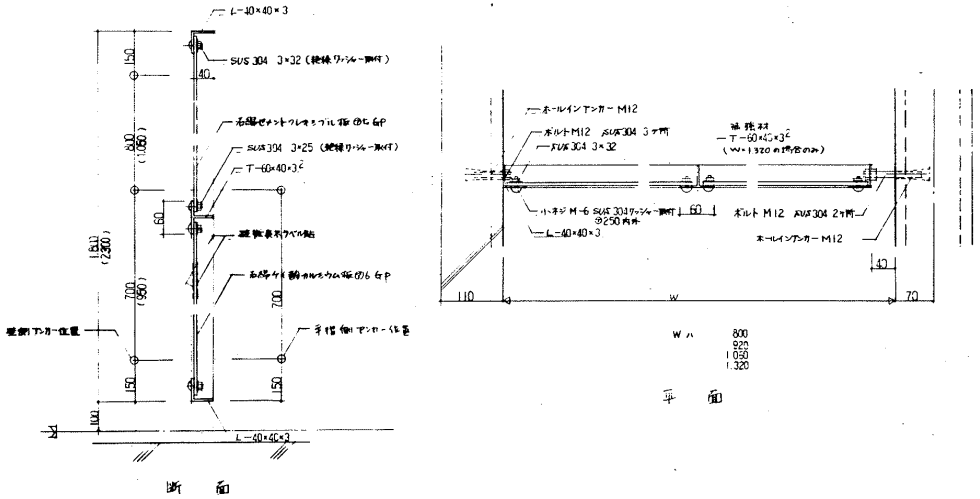
1 : 10 | D-1



・外部仕上げ材下地は コンクリート打放しとする。

飾りマス

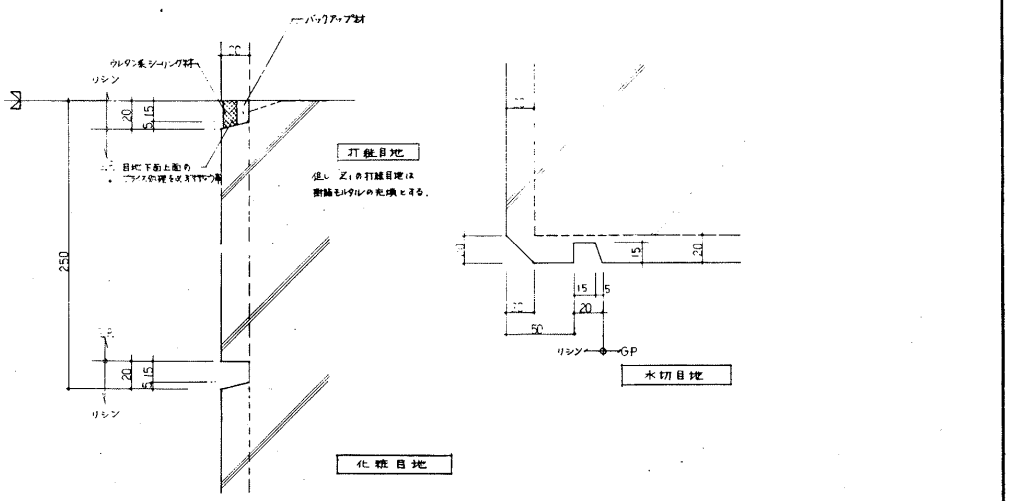
1 : 10 | D-2



・隔板枠は、アルミ型材とし、材質及び仕上げはBLすまりユニットの仕様に準ずる。
・（ ）内寸法は 化粧パルコニーで建物側を隔板する場合

バルコニー隔板廻り（型式図）

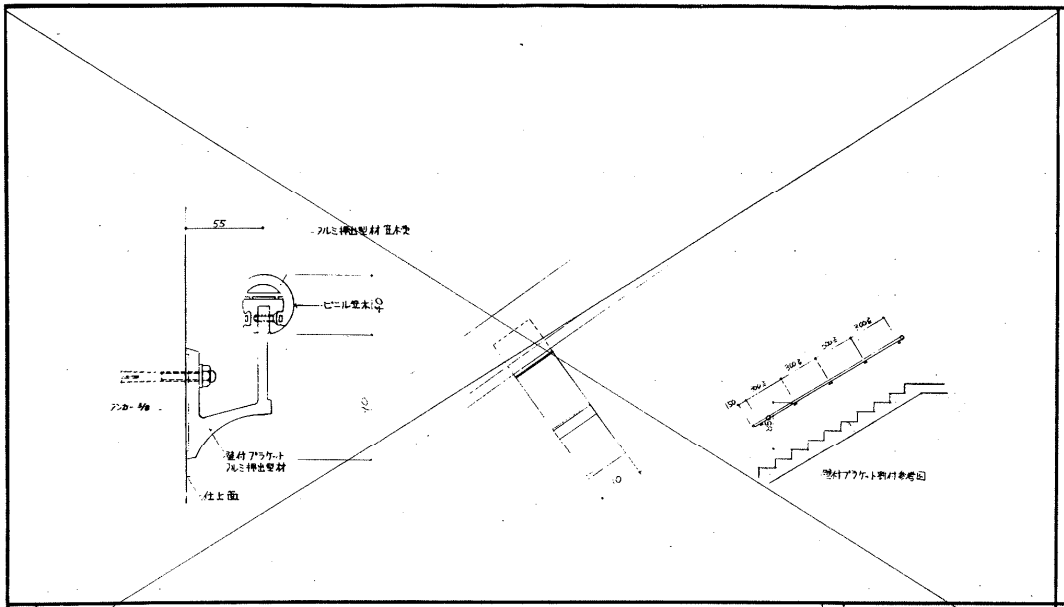
1 : 5 | D-3



・外部仕上げ材下地は コンクリート打放しとする。

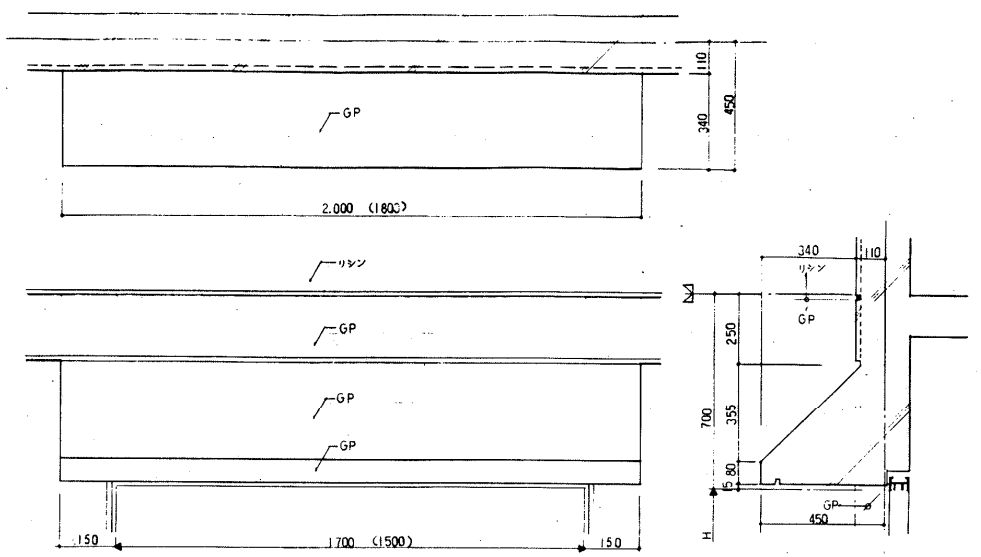
打継・化粧目地・水切廻り

1 : 2 | D-4



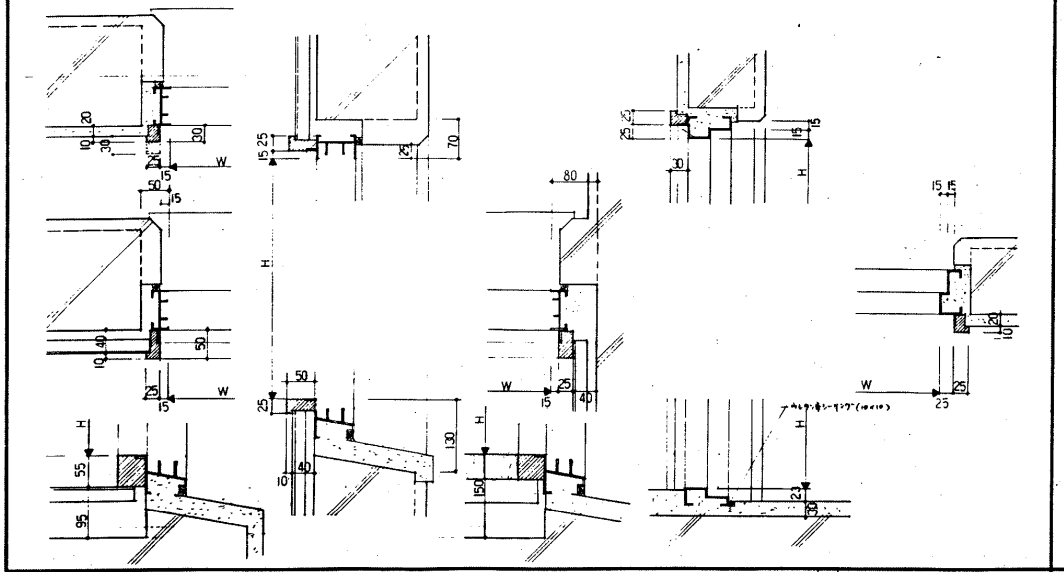
・塩ビ笠木 40㎜ アルミ押出型材の上 地ビ相当

階段手摺	
1：2	D－5



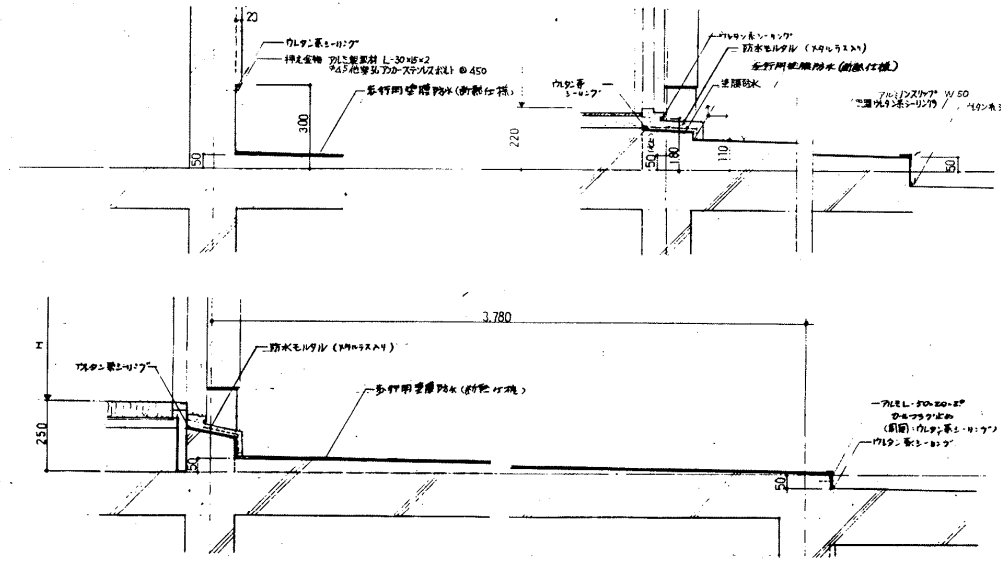
・外部仕上げ材下地は コンクリート打放しの化粧こて押え(艶消)とする

窓 庇	
1：10	D－6

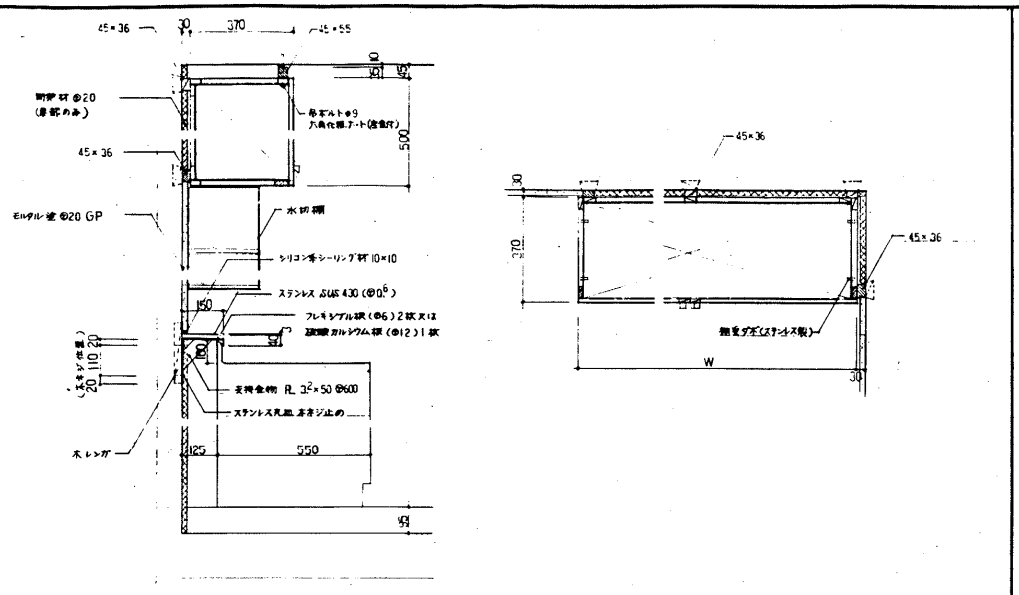


・シーリング材は 変エウレタン系とする。

外部建具枠廻り	
1：5	D－7



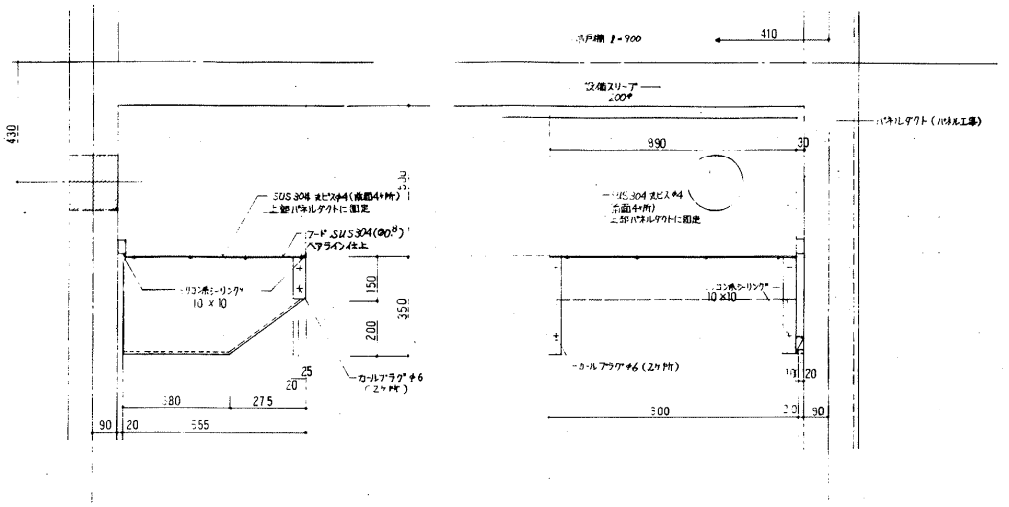
防水層廻り	
1：10	D－8



・吊戸棚の仕様はBLキッチンシステム吊戸棚 A に準ずる。
・吊戸棚取付面木材の見え掛り部は全て OP塗とする。

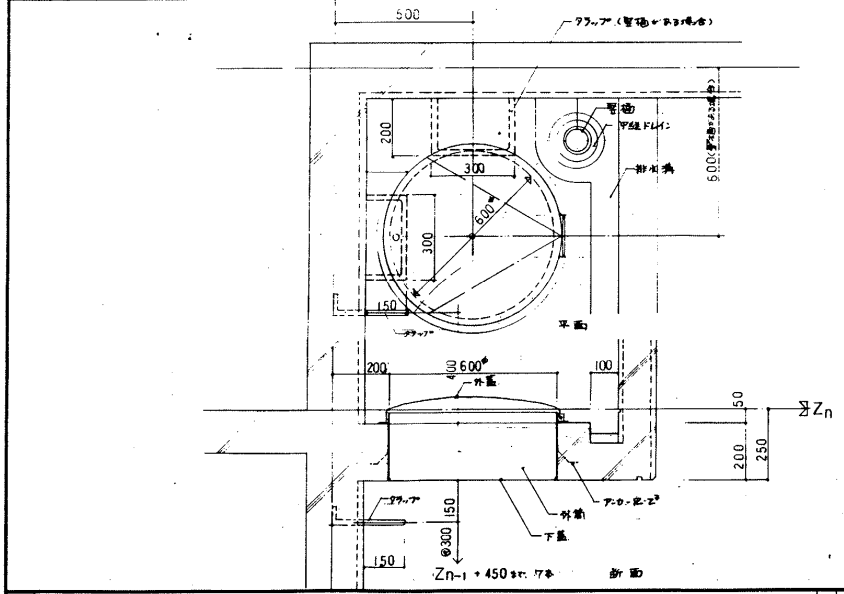
・ステンレスの種類
流し台 SUS 430
バックガード 〃 304
幅木カバー 〃 304

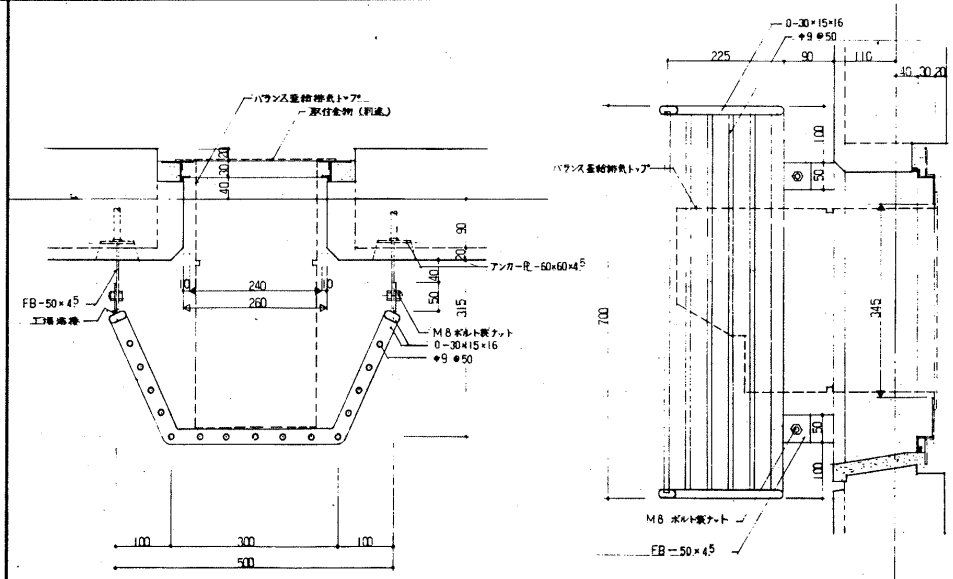
台所 流し廻り		
1：10	D－9	



1. SUS 304 (t0.8) ヘアライン仕上とする。
2. 形状、取付等については、施工図作成の上、現場監督の承認を得ること

ステンレスフード		
1：10	D－10	

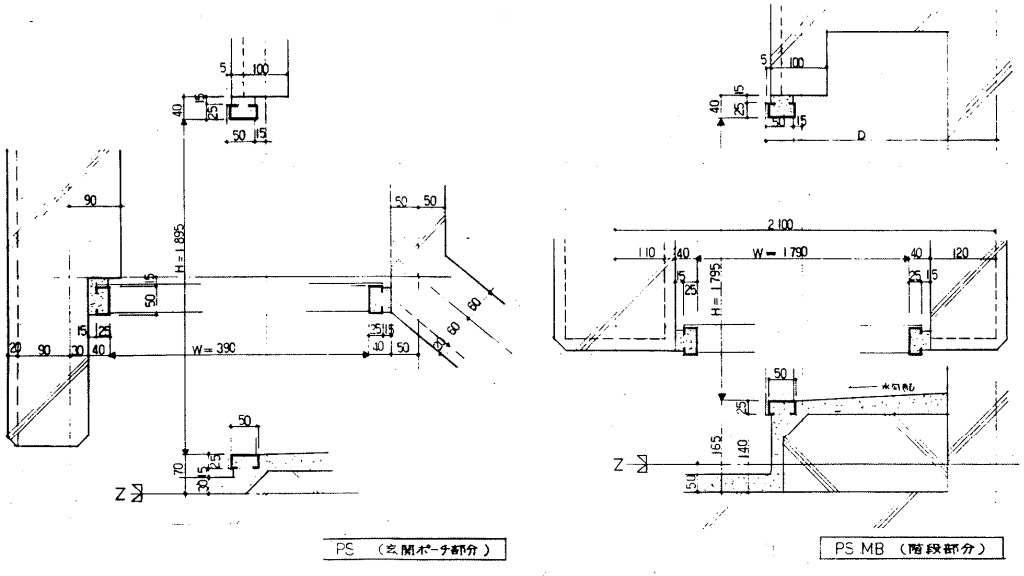




垂直避難口		
1：10	D－11	

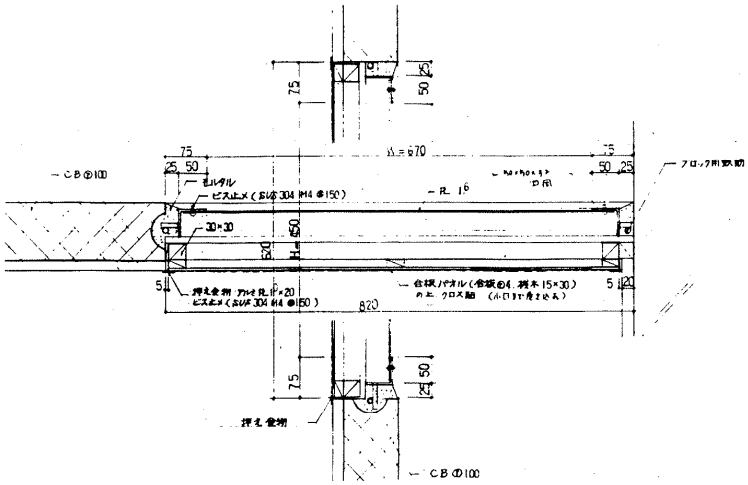
金属避難口：鋳鉄製マンホール蓋型 600Φ H=250 非常用開閉錠保管箱付
外筒：ステンレス(SUS304) t1.5 ヘアーラインイミテ仕上げ
外筒：鋳鉄製 t3 塗装メッキ仕上げの上 O.P.塗装
下皿：合成樹脂 t3.0
クランプ：ステンレス t3
(非常用ハンドル及び蓋裏の表記を張る事)
蓋裏中央のステッカー貼りを忘れずに

バランス釜トップカバー		
1：5	D－12	



PS MB 枠廻り

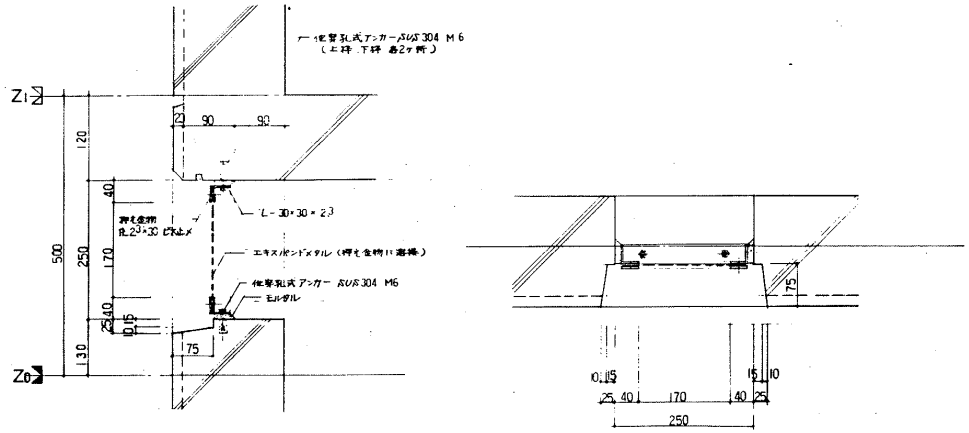
1 : 5 | D－13



鉄部は全て亜鉛メッキ処理とする

MB 点検口

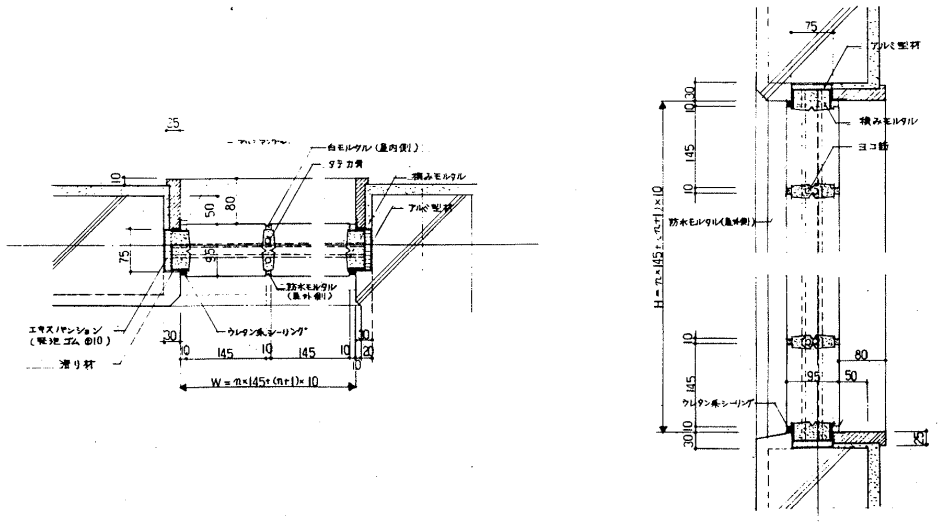
1 : 5 | D－14



・エキスパンドメタルは、SW－12、LW－30⁵、T－1⁶、W－2.⁰とする。
・鉄部は、全てドブ漬け亜鉛メッキ処理とする。

床下換気孔

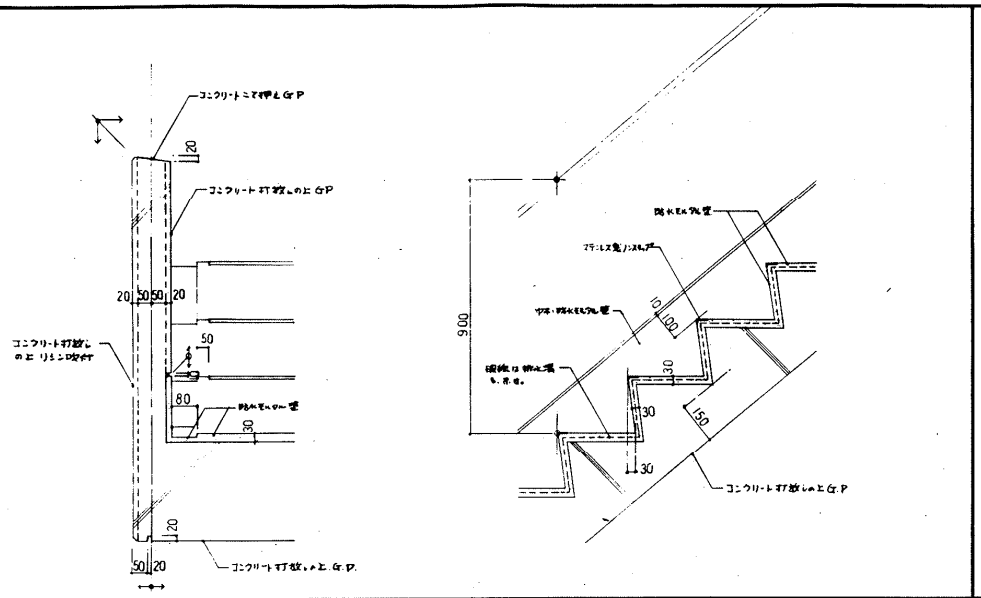
1 : 5 | D－15



アルミ型材、エキスパンション、滑り材等はメーカー仕様による。
ガラスブロックはライオン「ピアガラス（146×146×95）ブロック」相当品以上とする。

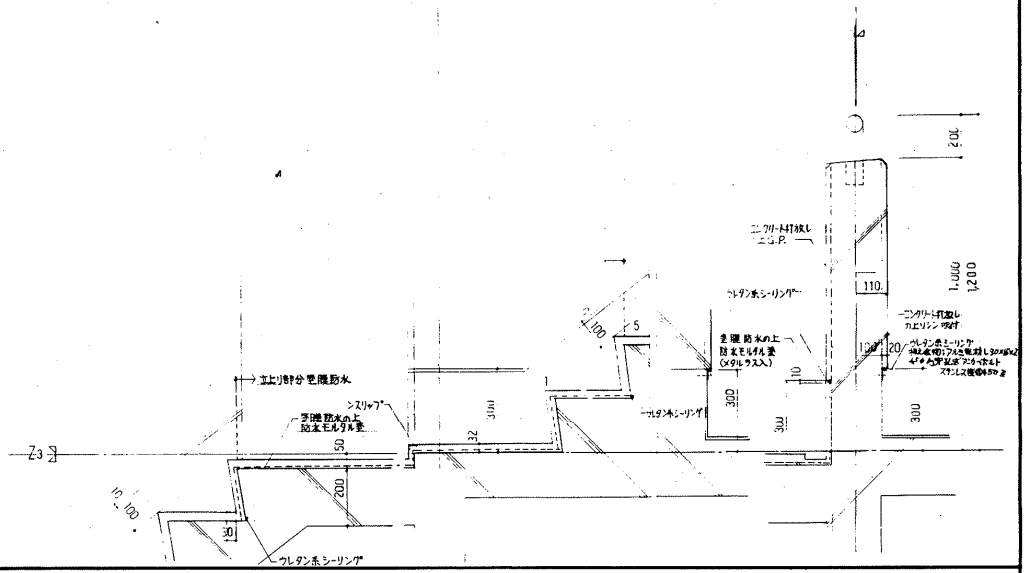
ガラスブロック廻り

1 : 5 | D－16



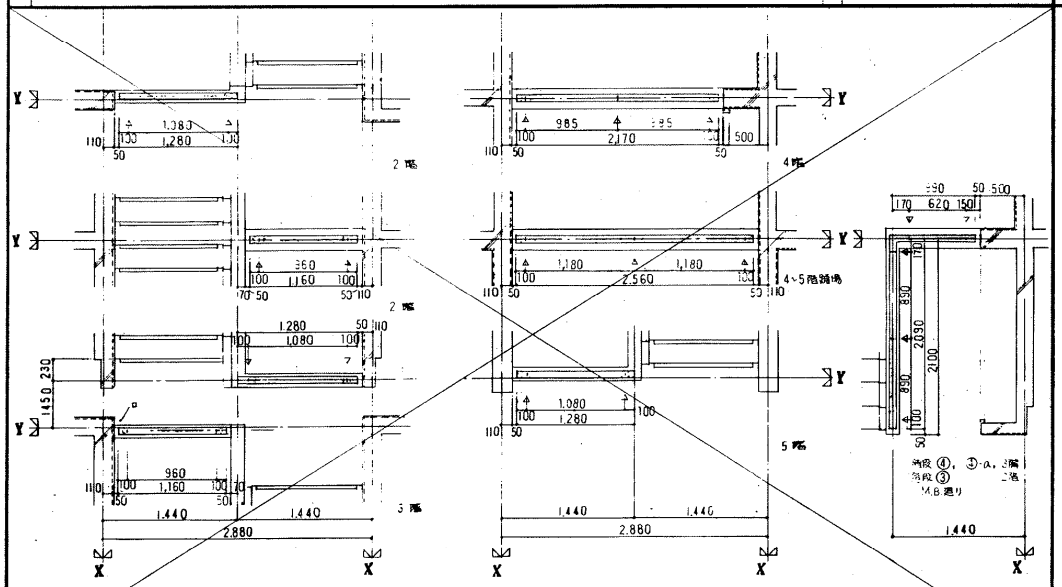
階段手摺廻り－1

1:10 | D-17



階段防水廻り

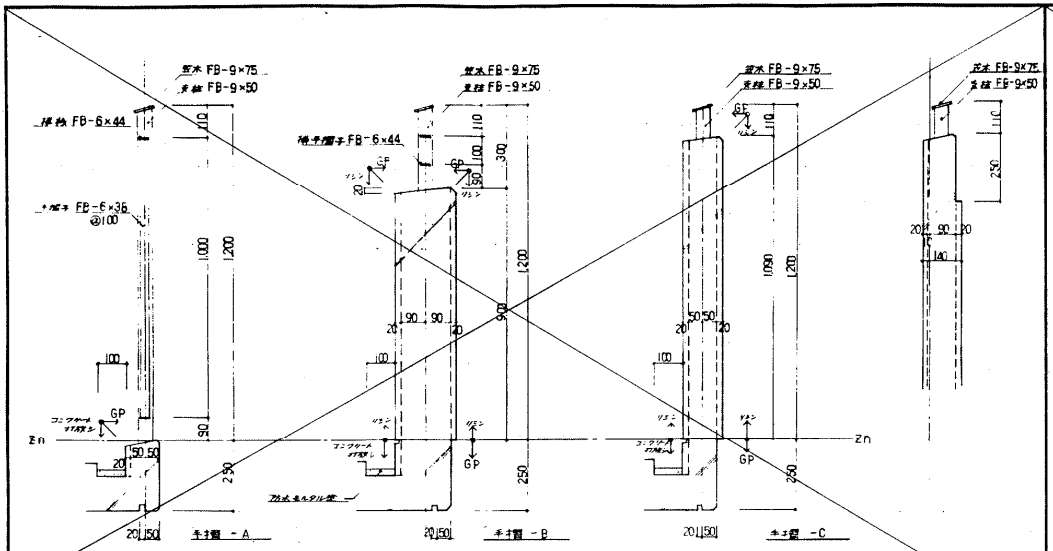
D-19



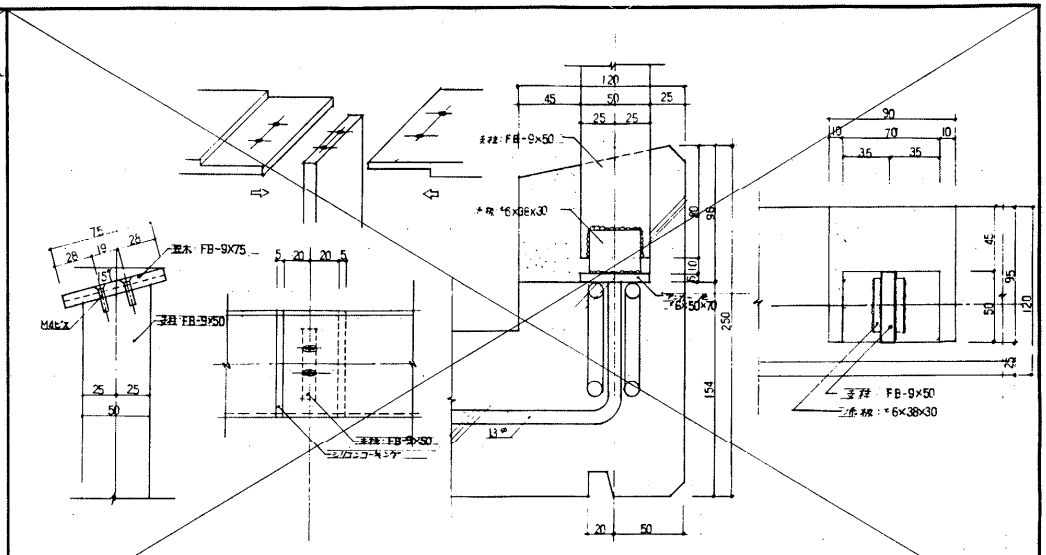
D：金物取付位置
断面図が手摺り仕様D.パルコニー手摺り D-20 － タイプ C に倣う。

階段手摺り廻り－2

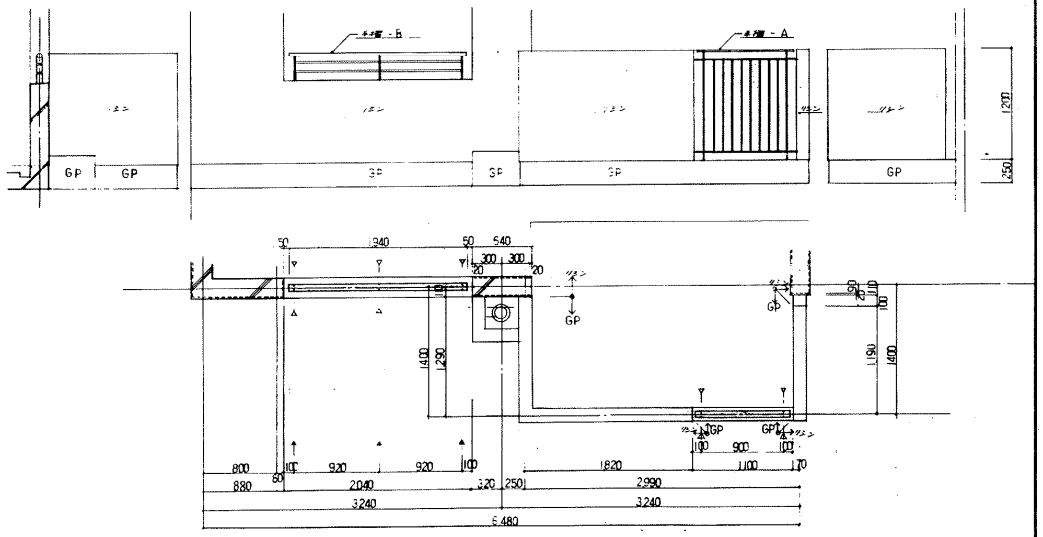
1:30 | D-18



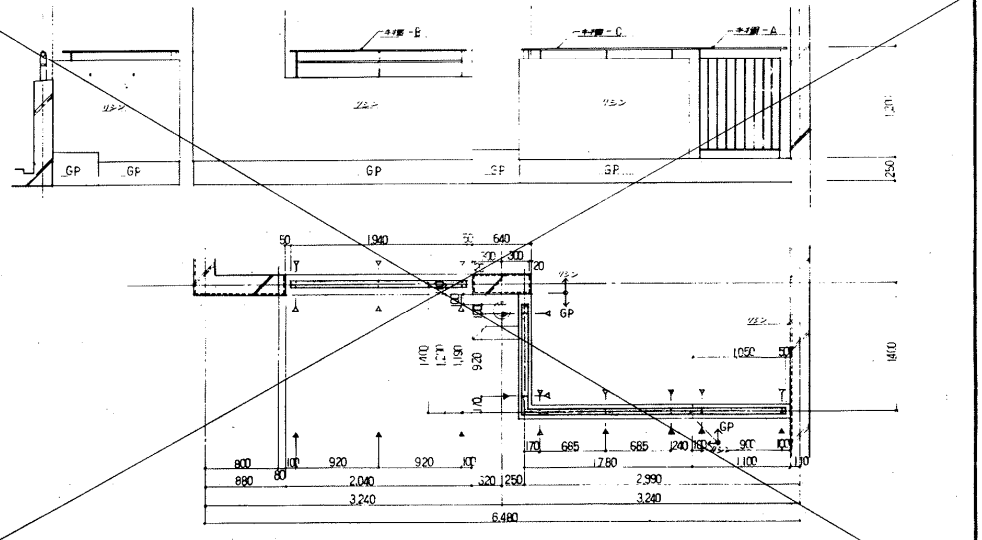
手摺 断面詳細図 | 1:10



手摺 笠木及びブラケット 詳細図 | 1:2



タイプ - A | 1:30

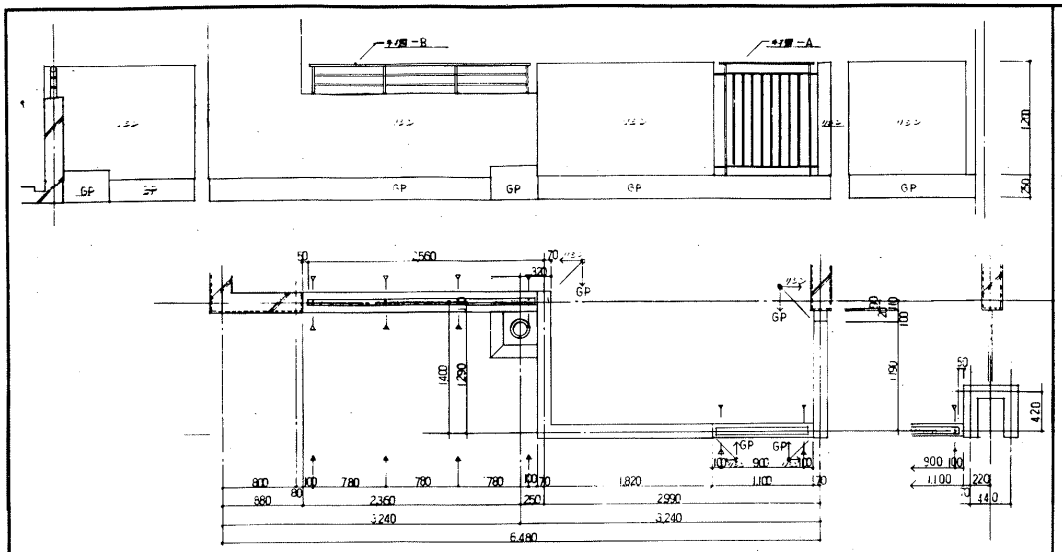


タイプ - B | 1:30

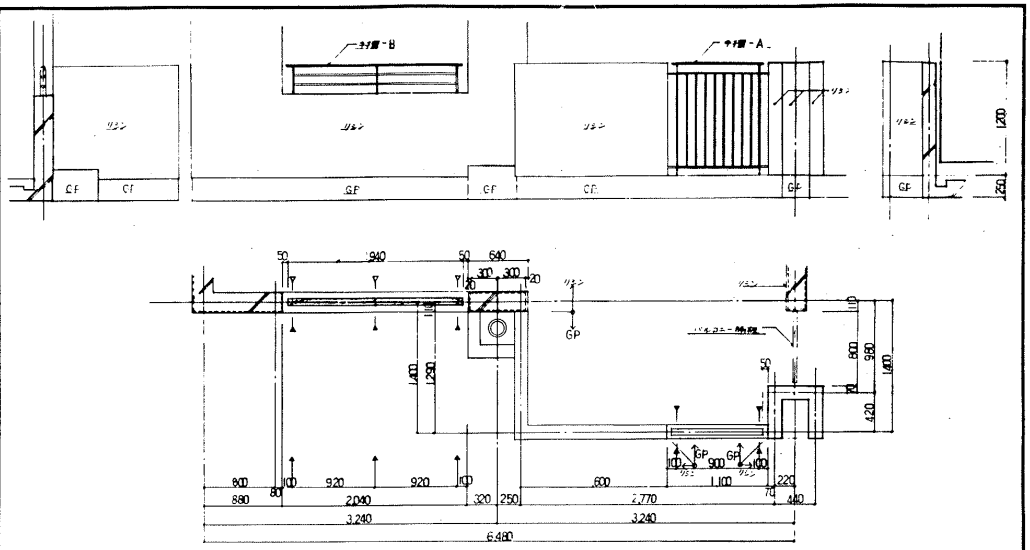
1. P：支柱取付位置
2. 手摺形状については、BL型手摺ユニットとする
3. その他取付金具については、施工図作成の上、現場監督員の承認を得る事。

バルコニー 手摺 廻り

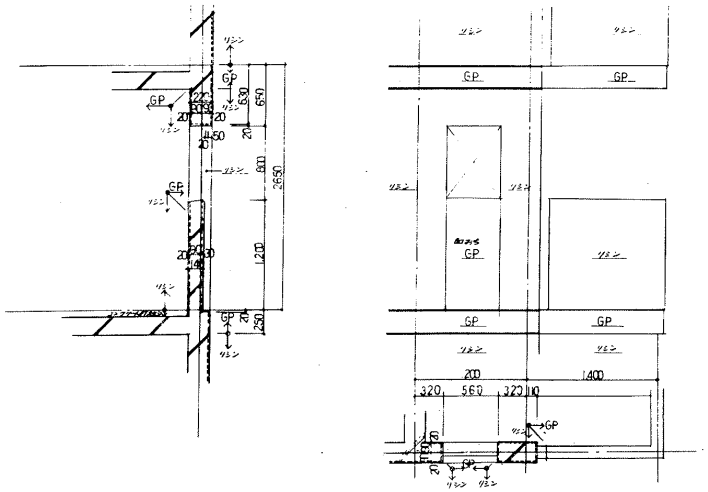
1:2, 10, 30 | D - 20 (1)



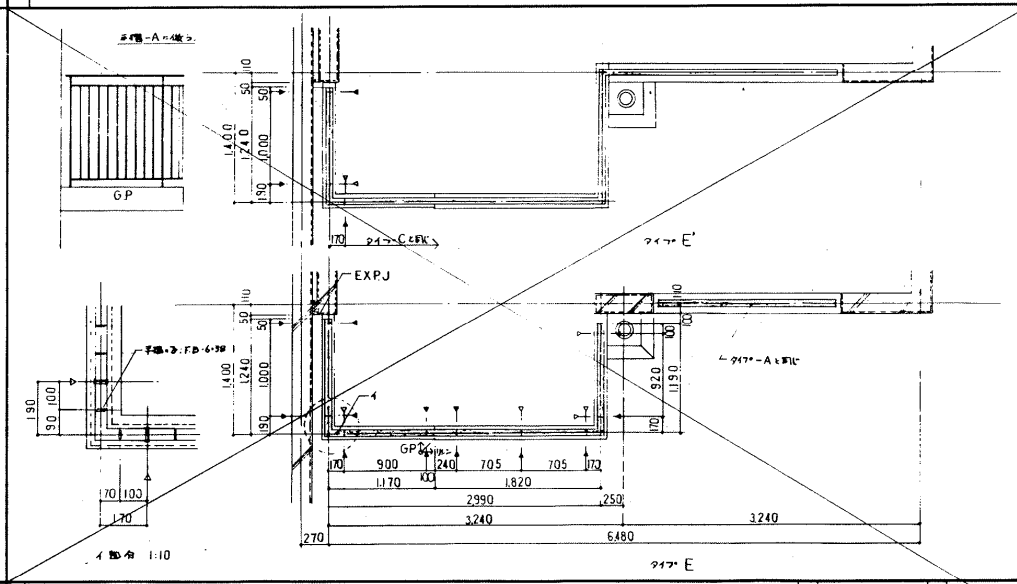
タイプ-C, C', C"　1:30



タイプ-D　1:30



袖壁 廻り　1:30



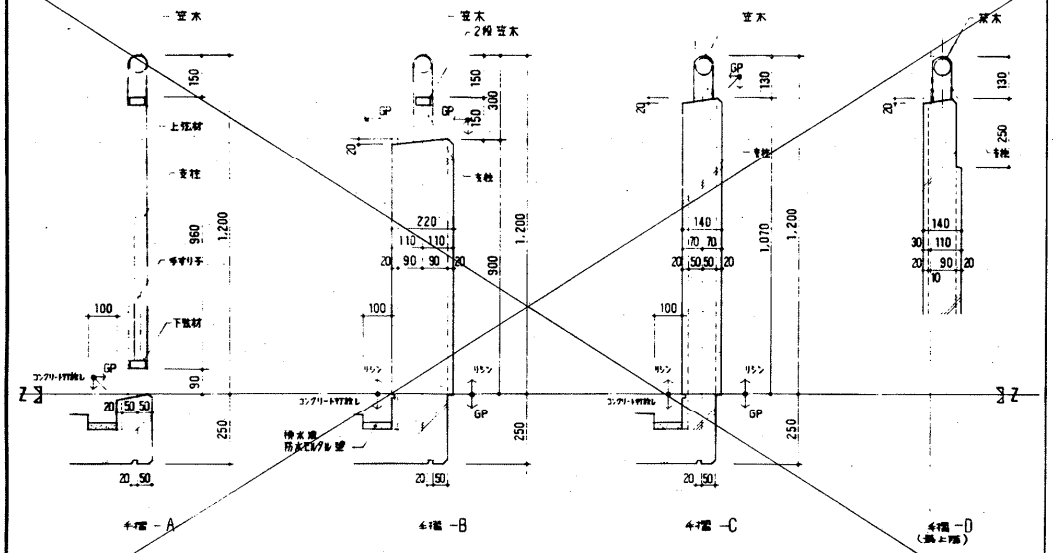
EXPJ 部分　1:10

タイプ E·E'　1:10,30

1. D：支柱取付位置
2. 手摺形状については、BL型手摺ユニットとする。
3. 形状取付等については、施工図作成の上現場監督員の承認を得る事。

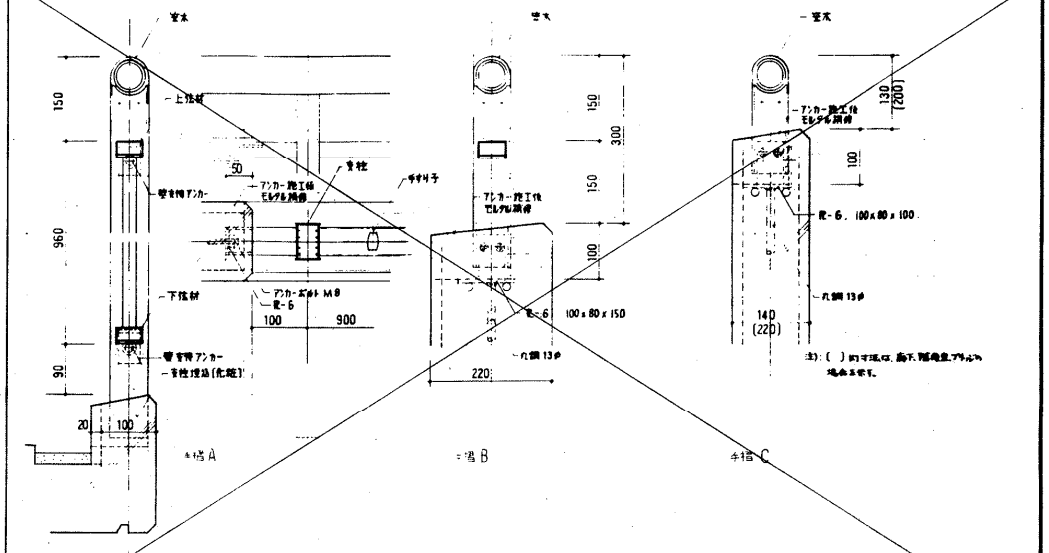
バルコニー 手摺 廻り

1:30, 10　D-20 (2)



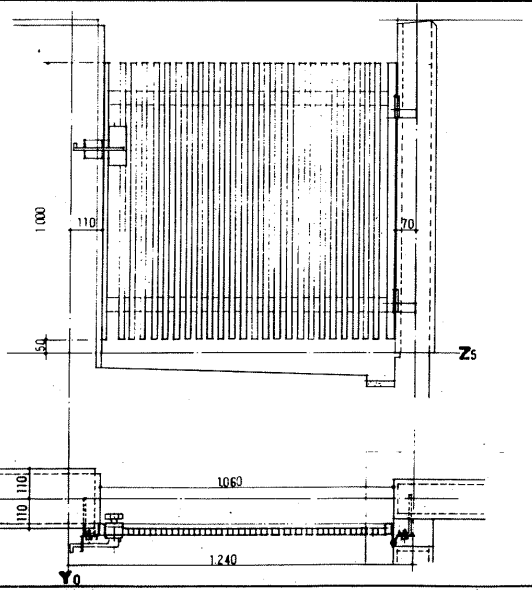
A部分は、BL型 手すりユニット， アルミ合金製，バルコニー用， 2段笠木，手すり子ダイア，壁支持方式 ．
B・C，D 部分 の笠木は，A部分 笠木と同材 を使用する。
仕上処理は ブロンズ色とし，自然発色 または 陽極酸化被膜とする。

手すり 断面		
1:10	D-20	



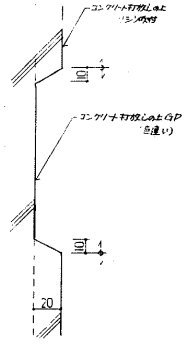
部材 寸法 鋼材 笠木：50φ，t1.5　支柱：40×60×1.6　上性材（2段笠木）下性材：26×50×1.6　手すり子：20×30×1.5
ボルト 鋼材 質：ステンレス SUS-304

手すり 及び アンカー		
1:5	D-20	



・通行者 衝突による 荷重 の 設定面とする　（1000×1000 幅）
・形状・取付方法については、施工図作成の上、現場 監督員の 承諾を得ること。
・材料については 各メーカーの 既成品同等の アルミ製 とし、陽極酸化皮膜 処理 により仕上とする
・色：ブロンズ色

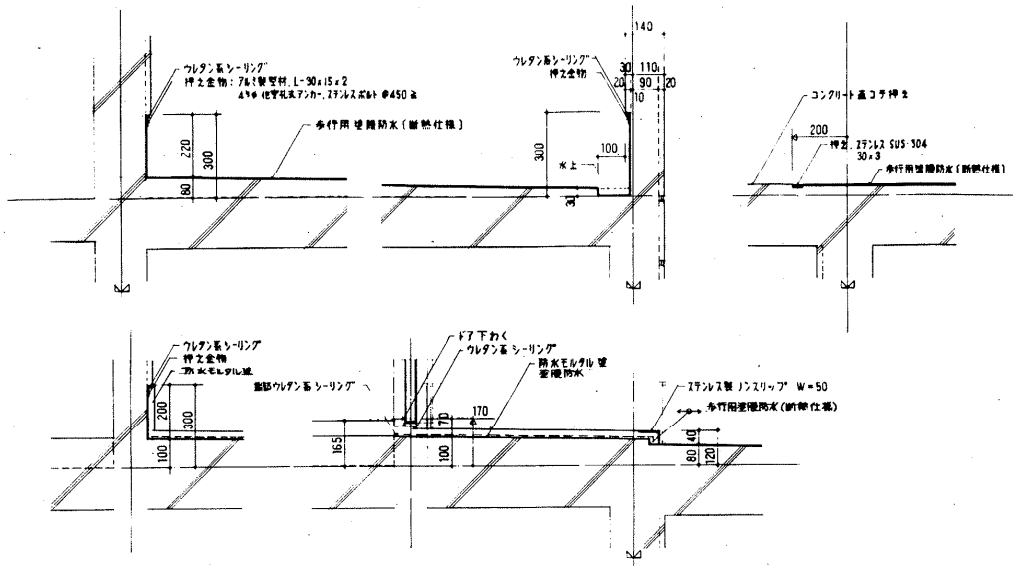
門扉 （室内側）		
1:10	D-34	



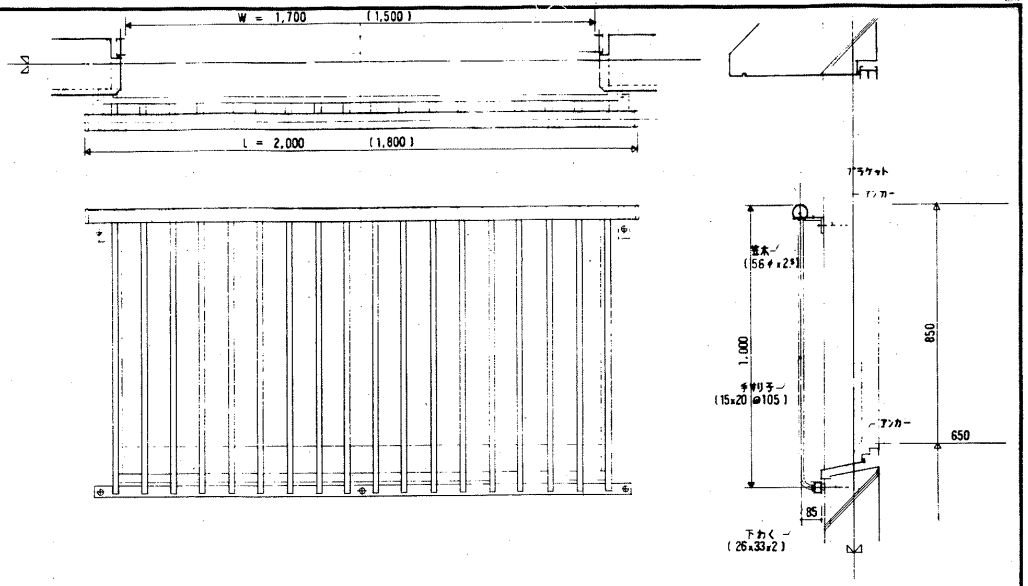
61-ホ-7

・手摺 笠については 各住戸とする

棟番号		
図示	D-26	

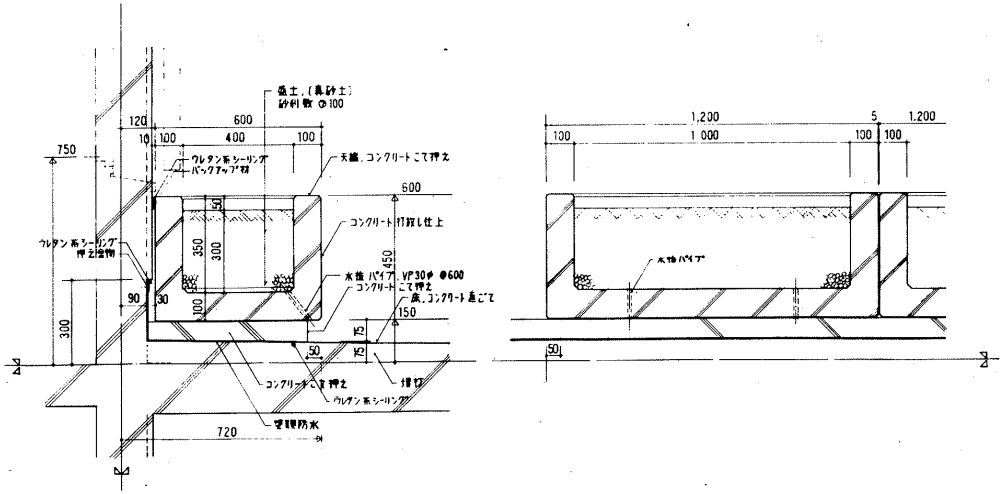


	廊下防水層廻り	
	1:10	D-30



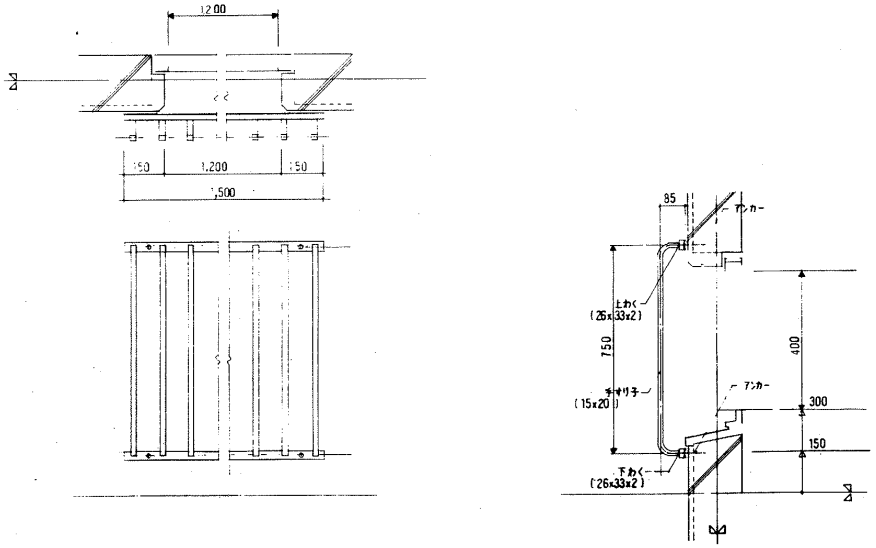
BL型手すりユニット，アルミ合金製，室用（外部用）とする。
表面処理はブロンズ色とし，自然素色又は現場塗装仕様による。

	窓手すり	
	1:10	D-32



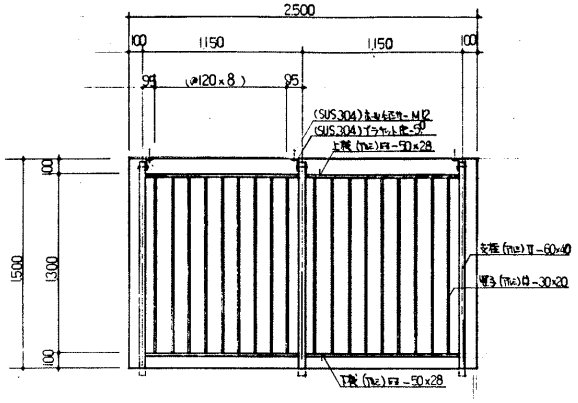
プラントボックスは現場打PCとする。

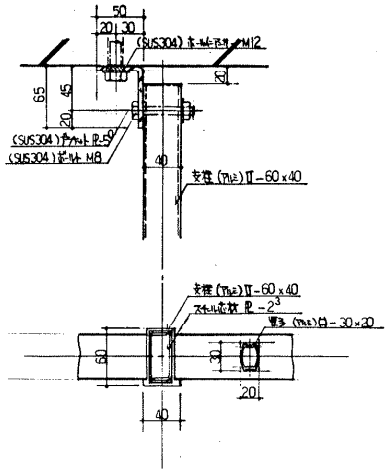
	廊下プラントボックス廻り	
	1:10	D-31



仕様は窓手すりに準ずる。

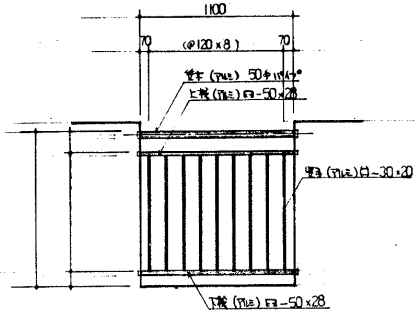
	地窓面格子	
	1:10	D-33

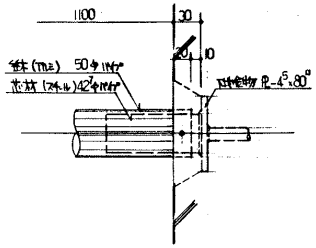




アルミ製面格子（落下防止柵）

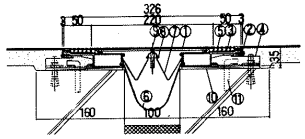
1:20 1:3 D－40





アルミ製手摺

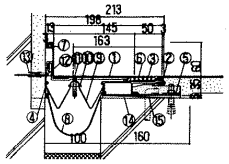
1:20，1:3 D－41



●カバープレート
●化粧線材
●線材
●アンカー
●ガスケット(R)
●止水板(C)
●スプリングクリップ
●ローラーナット
●皿小ねじ6ℓ×35ℓ
●スチールライナー
●アンカーボルト(別途工事)

エキスパンションジョイント（床+床）

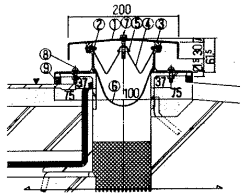
1：5 D－42



●L字カバープレート
●化粧線材
●線材
●補助線材
●アンカー
●ガスケット(R)
●ガスケット(K)
●止水板
●スプリングクリップ
●ローラーナット
●皿小ねじ6ℓ×35ℓ
●補助線材取付
丸木ねじ4.1ℓ×30ℓ
●アンカープラグ6ℓ×30ℓ
●スチールライナー
●アンカーボルト(別途工事)

エキスパンションジョイント（床+壁）

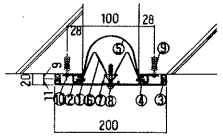
1：5 D－43



●カバープレート
●線 材
●ガスケット(C)
●スプリングクリップ
●ローラーナット
●止水板
●六角ボルト
6ℓ×35ℓ
(ラバーワッシャー)
(SUSワッシャー)
●丸小ねじ6ℓ×35ℓ
(ラバーワッシャー)
(SUSワッシャー)
●コーキング
(別途工事)

エキスパンションジョイント(屋根+屋根)

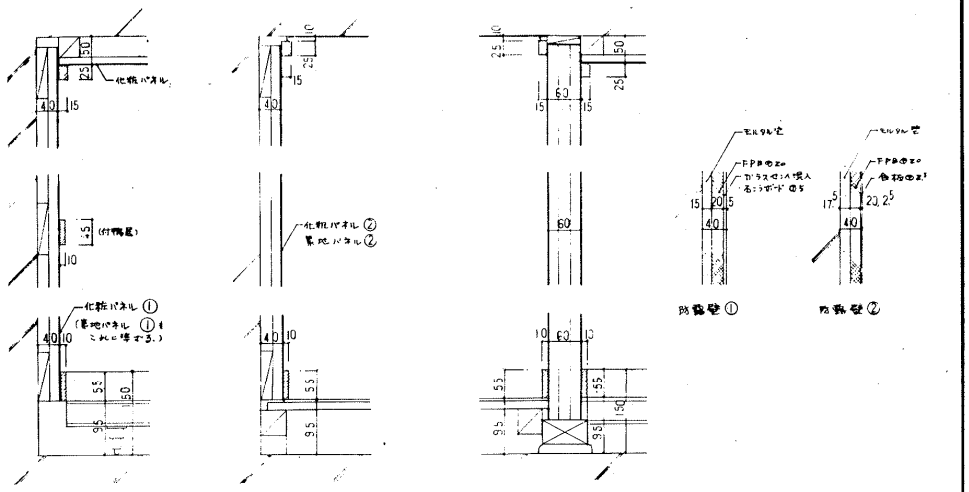
1：5 D－44



●カバープレート
●線 材
●ガスケット(J)
●ガスケット(H)
●止水板
●スプリングクリップ
●ローラーナット
●丸小ねじ6ℓ×35ℓ
(ラバーワッシャー)
(SUSワッシャー)
●アンカープラグ
6ℓ×30ℓ
●線材取付用十字穴付
き丸木ねじ
4.1ℓ×30ℓ

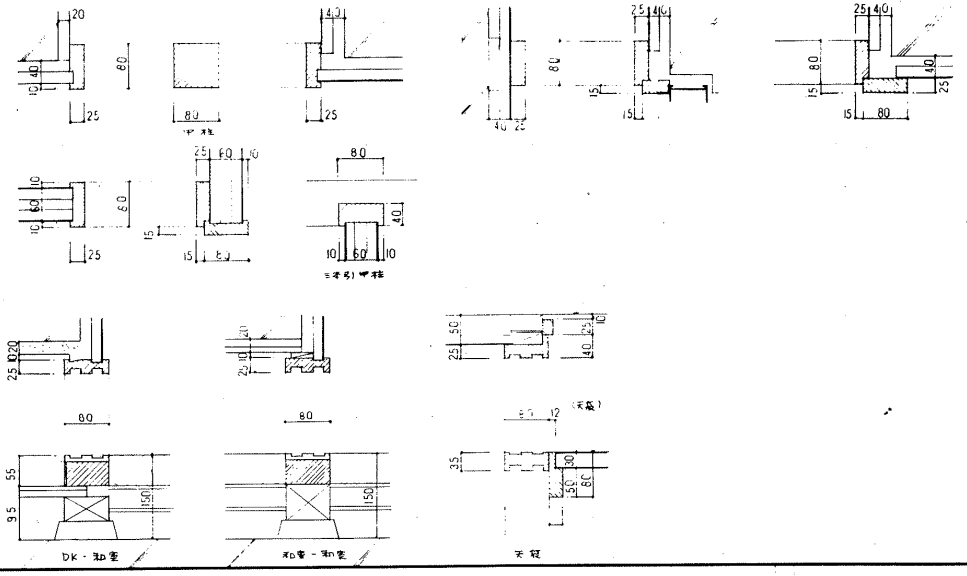
エキスパンションジョイント(外壁+外壁)

1：5 D－45



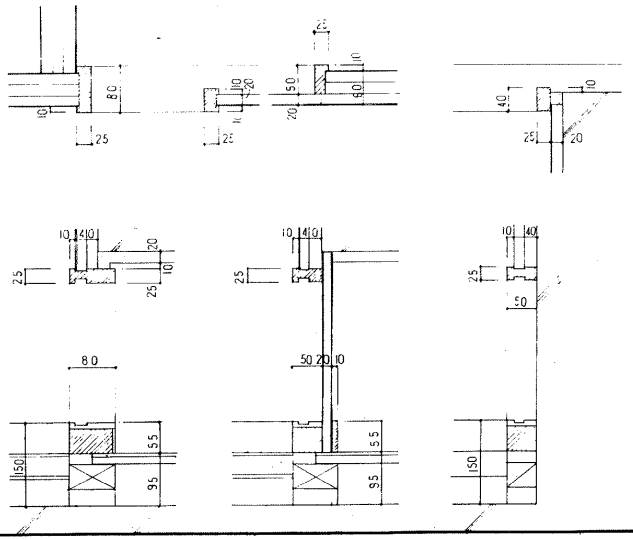
標準パネル廻り

1:5



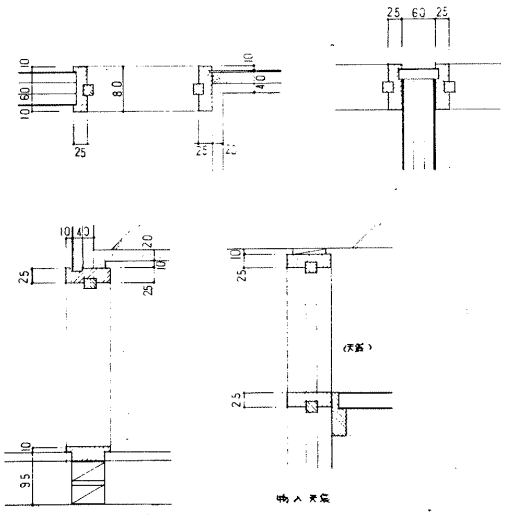
引違い戸三本引中枠廻り

1:5



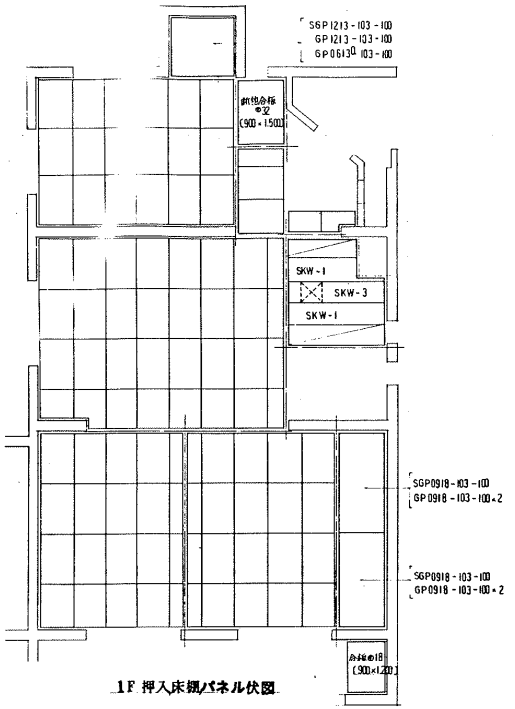
片引戸枠廻り

1:5

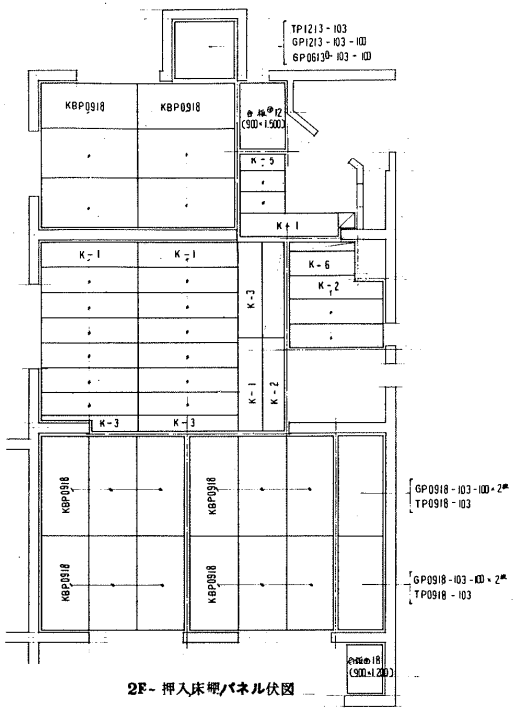


開き戸枠廻り

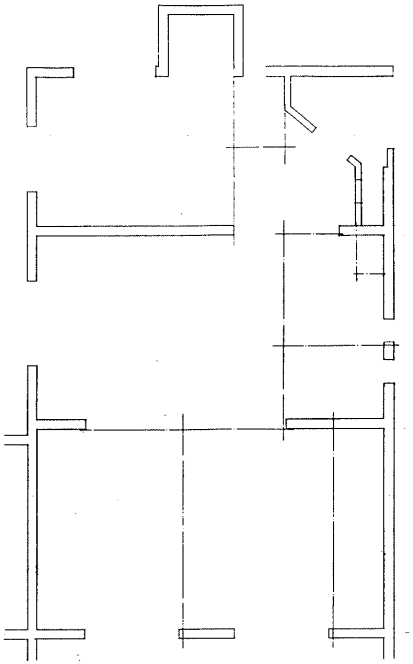
1:5



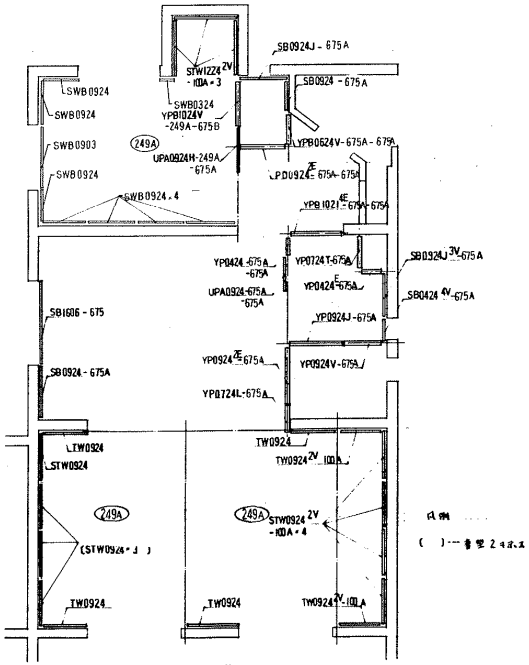
1F 押入床棚パネル伏図



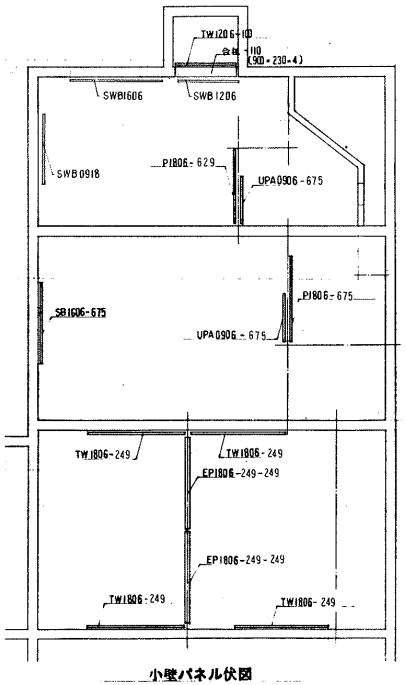
2F~ 押入床棚パネル伏図



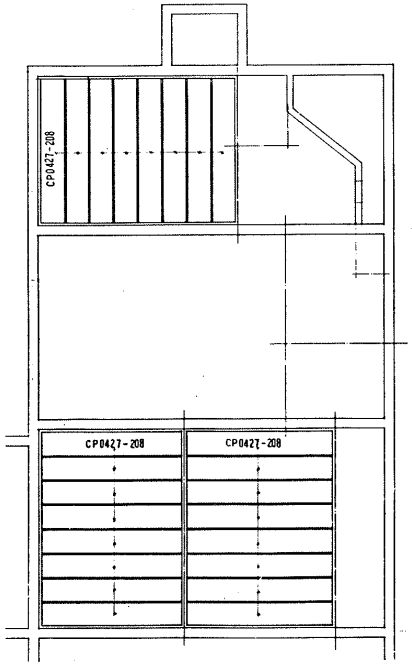
化粧突板合板伏図 50㎡



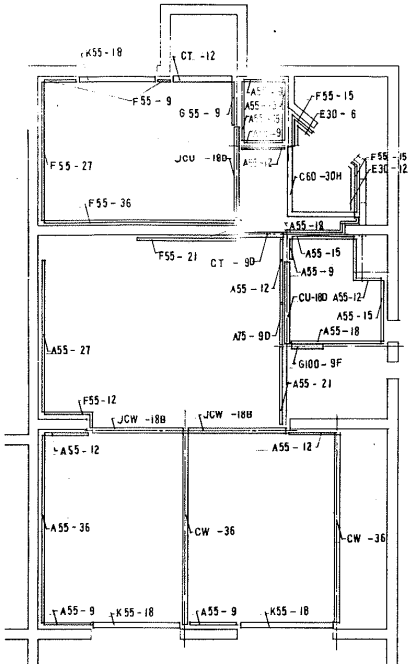
壁パネル伏図



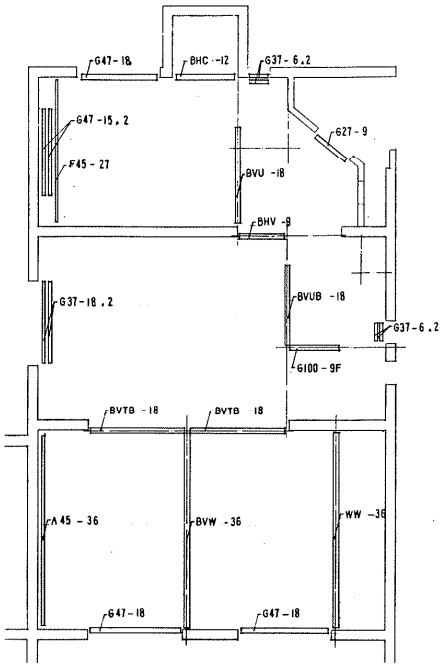
小壁パネル伏図



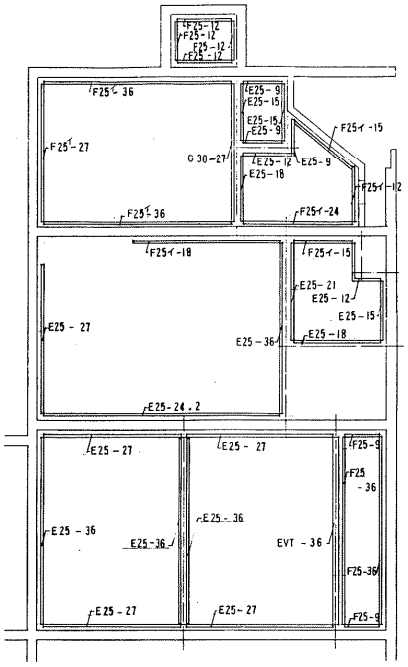
天井パネル伏図



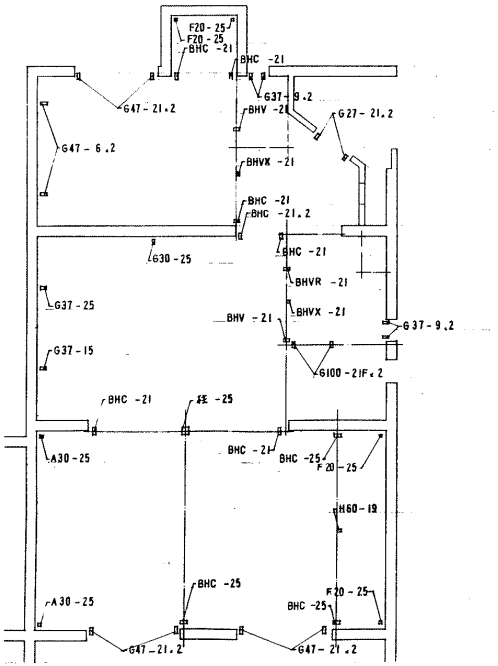
下部造作材伏図



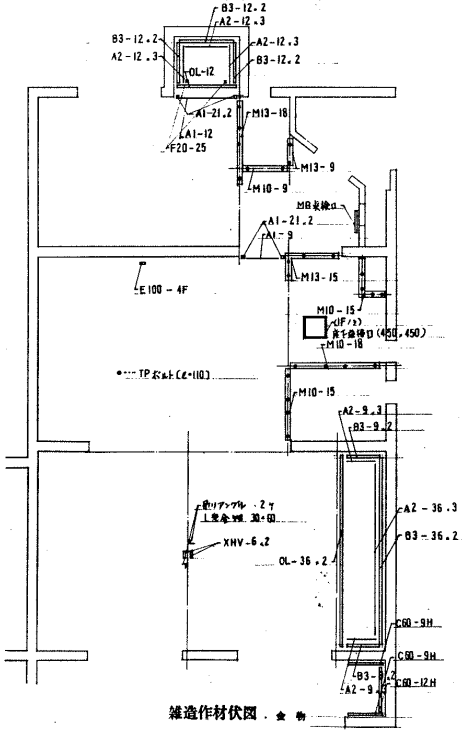
中部造作材伏図



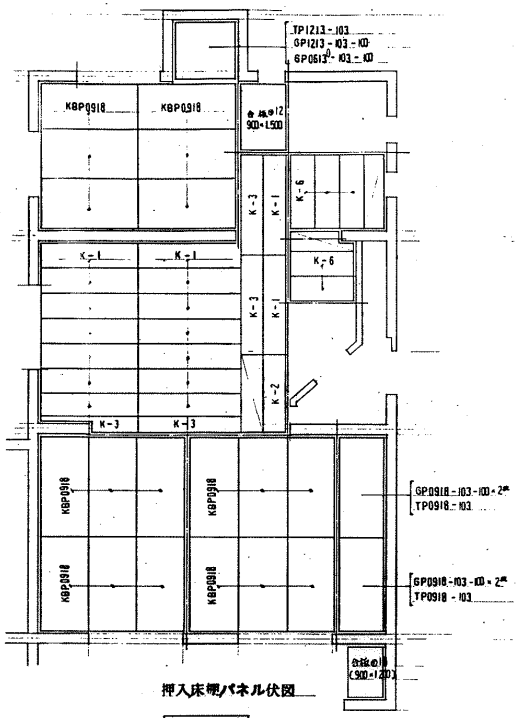
上部造作材伏図



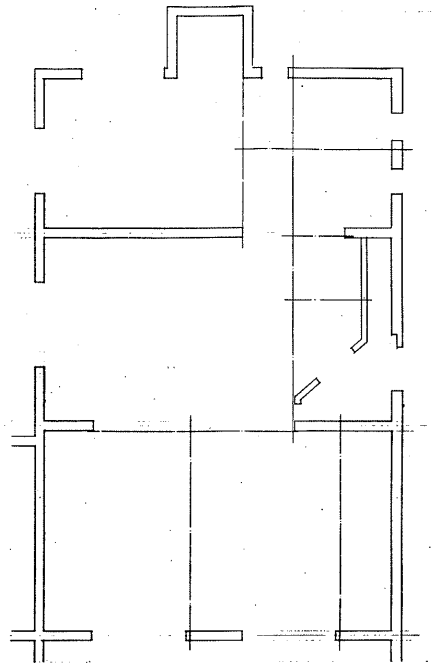
垂直材伏図



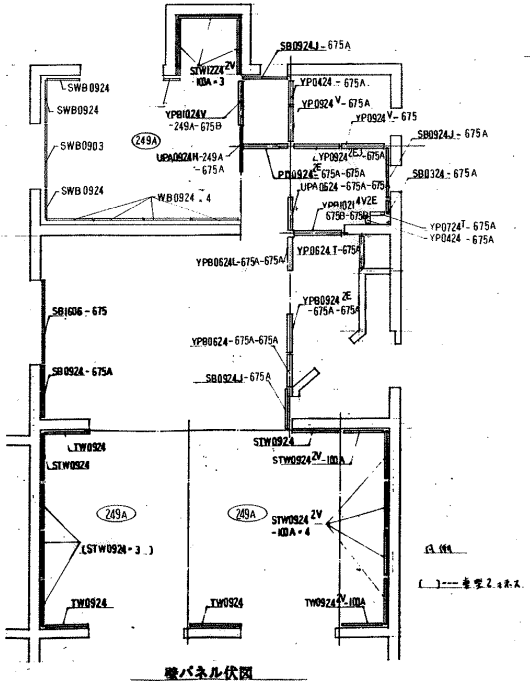
雑造作材伏図 . 金 物



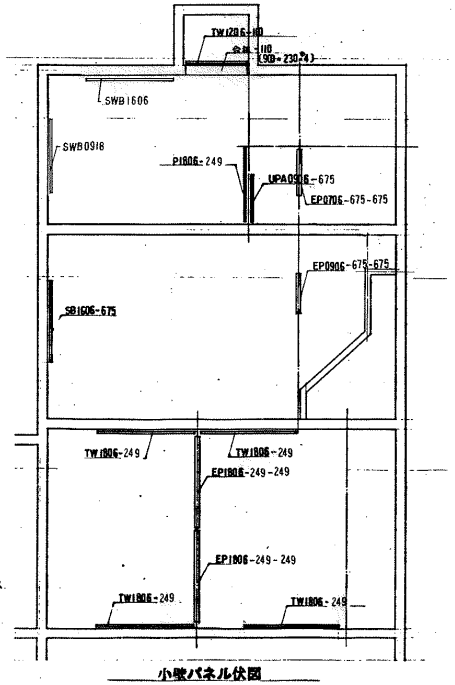
押入床棚パネル伏図



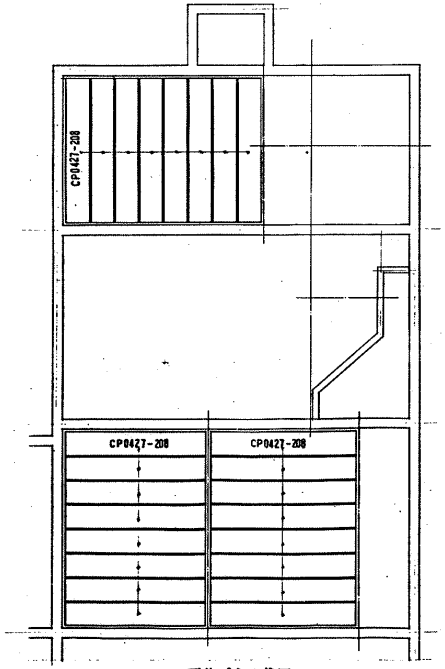
化粧突板合板伏図



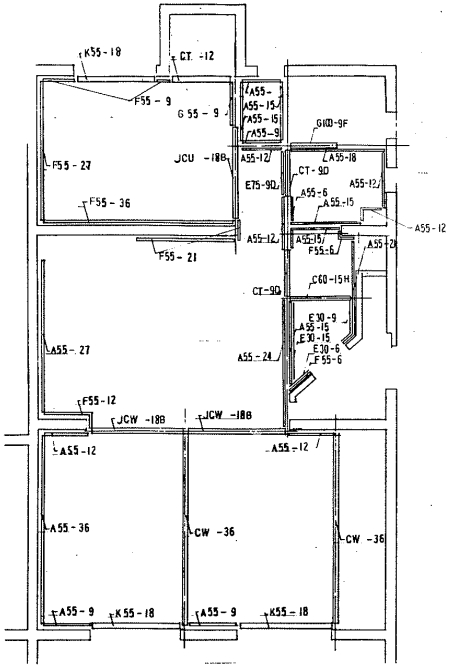
壁パネル伏図



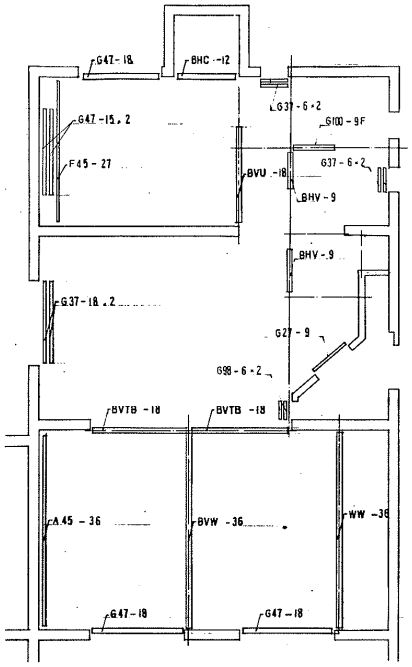
小壁パネル伏図



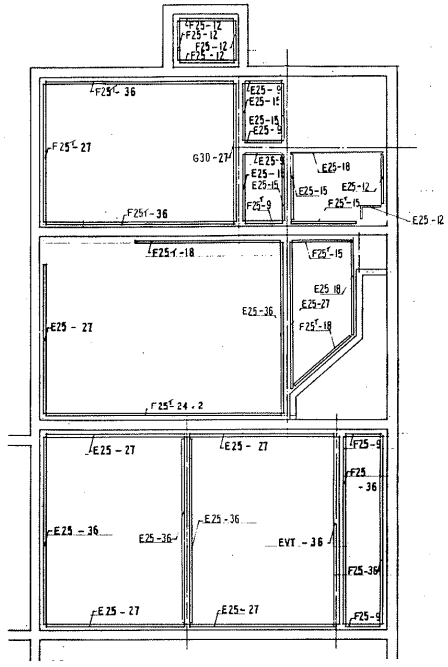
天井パネル伏図



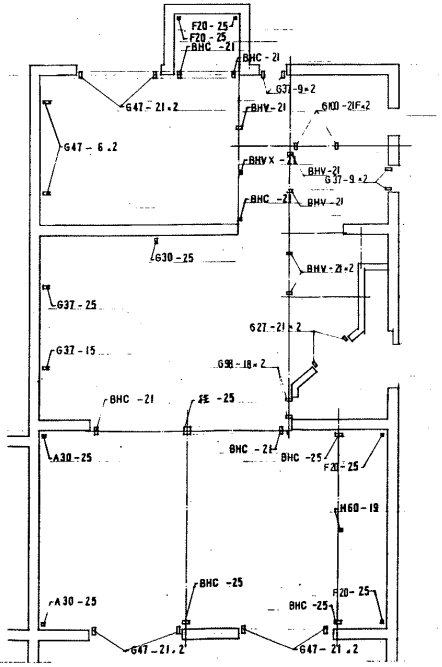
下部造作材伏図



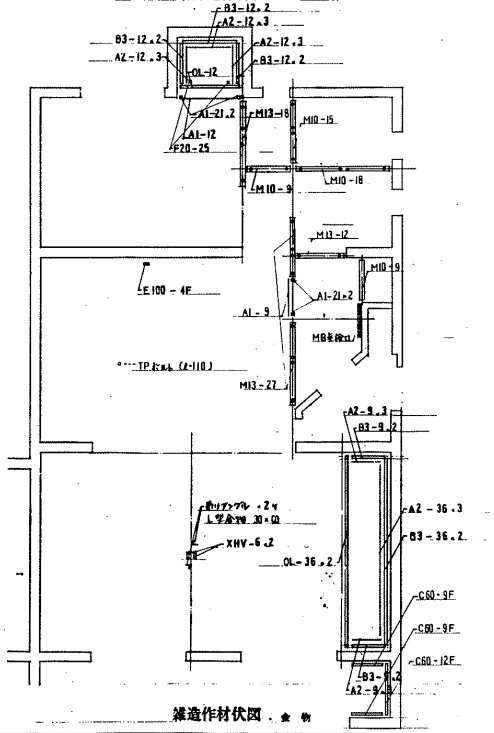
中部造作材伏図



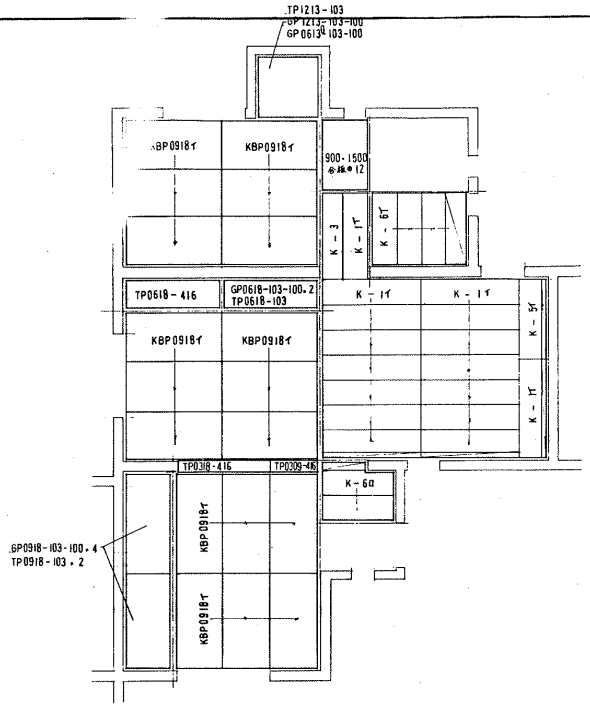
上部造作材伏図



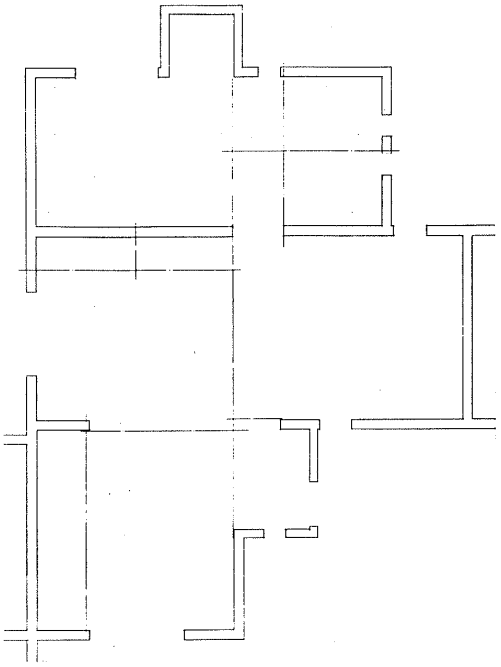
垂直材伏図



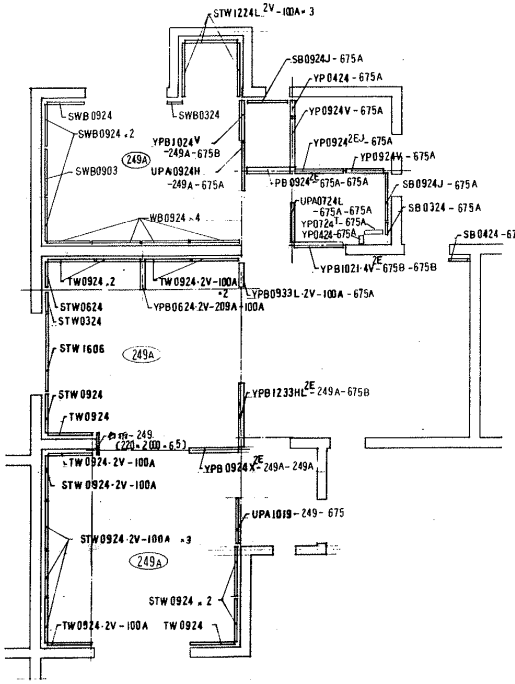
雑造作材伏図・金物



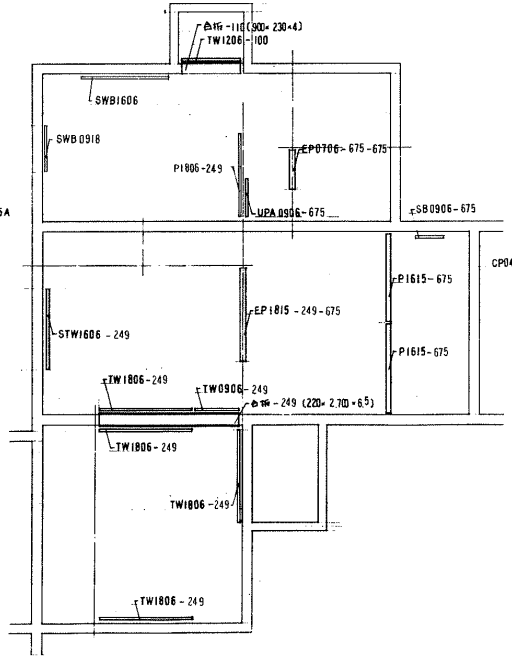
2F～　押入床棚パネル伏図



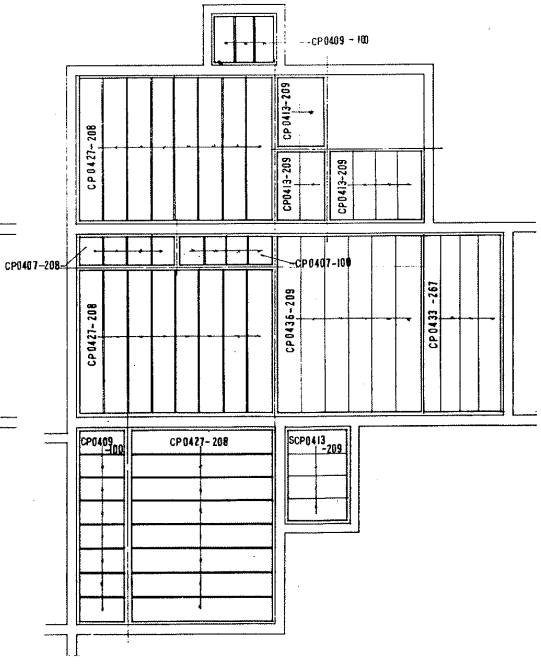
化粧突板合板伏図　49 ㎡



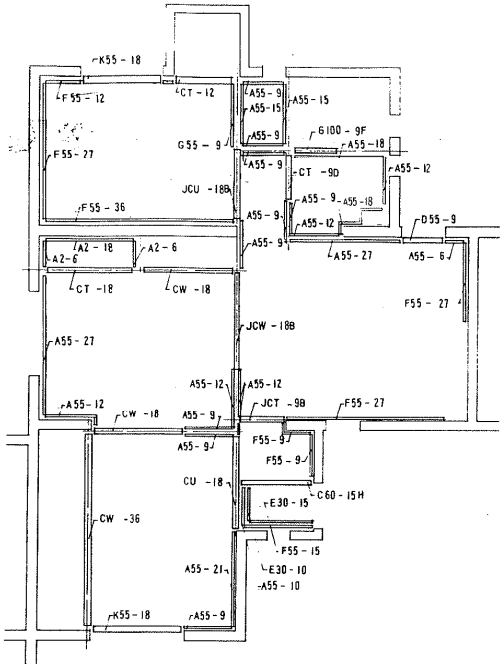
壁パネル伏図



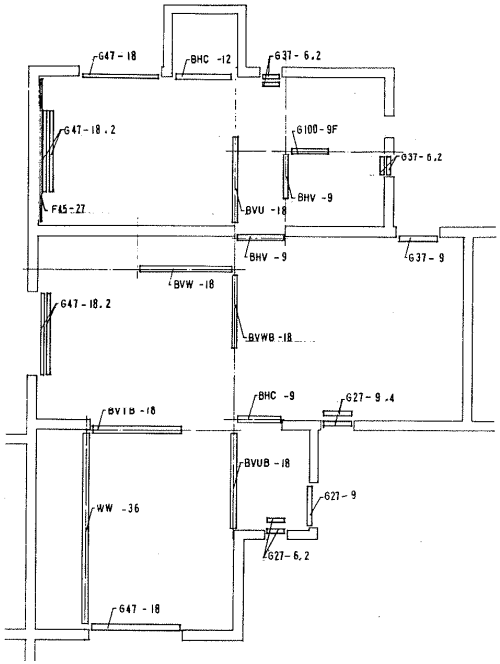
小壁パネル伏図



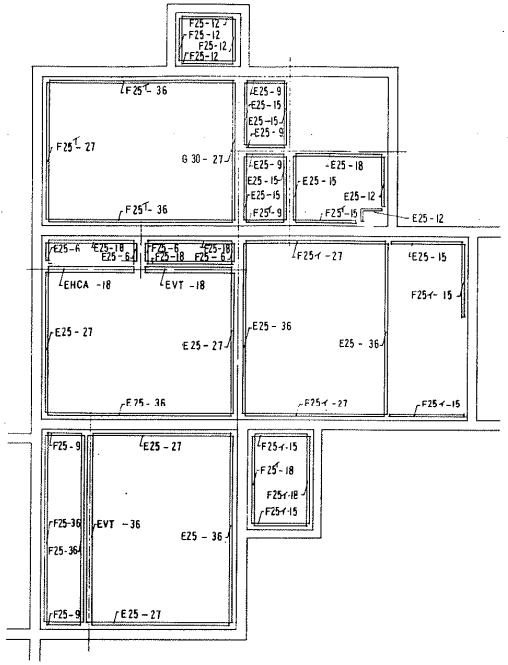
天井パネル伏図



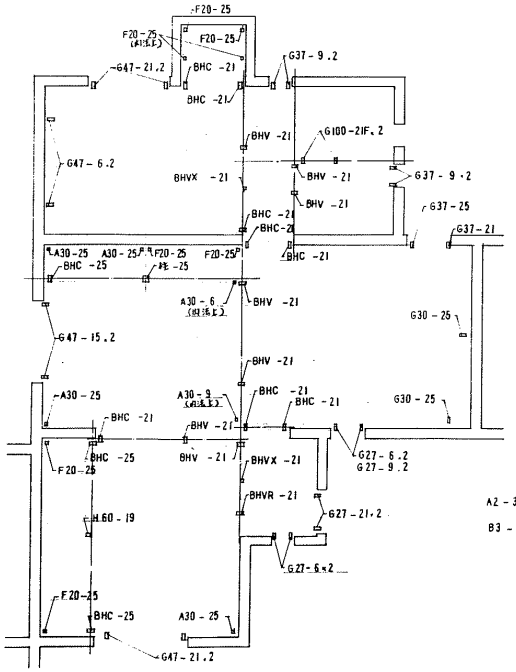
下部造作材伏図



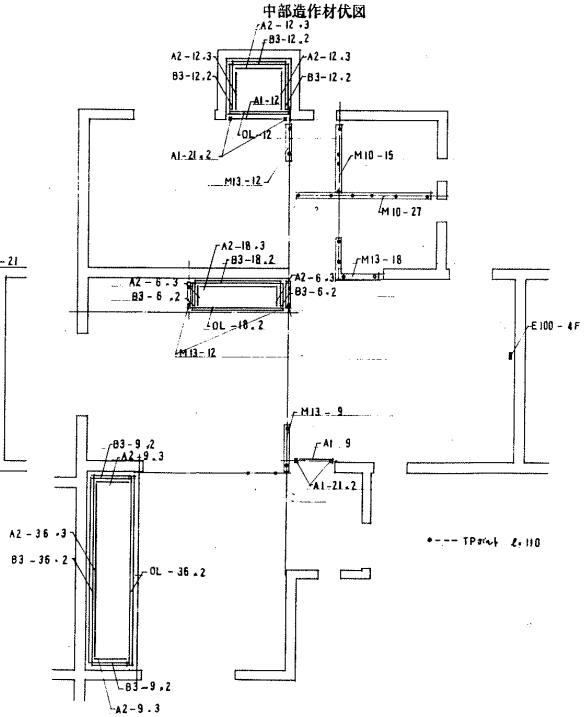
中部造作材伏図



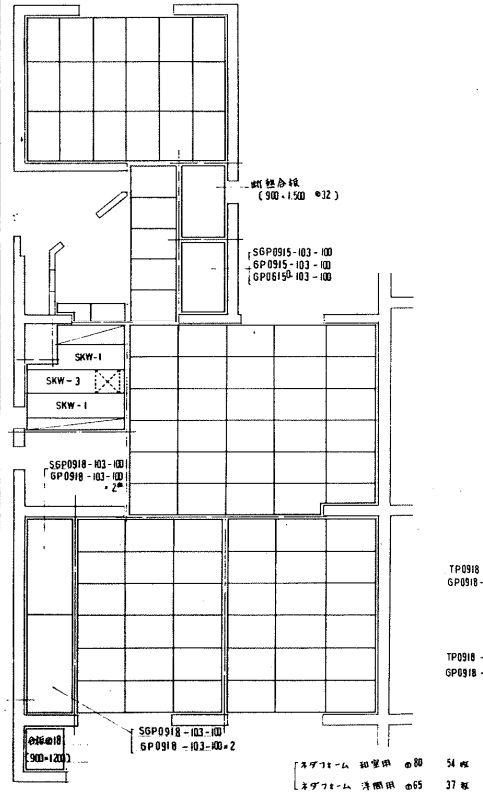
上部造作材伏図



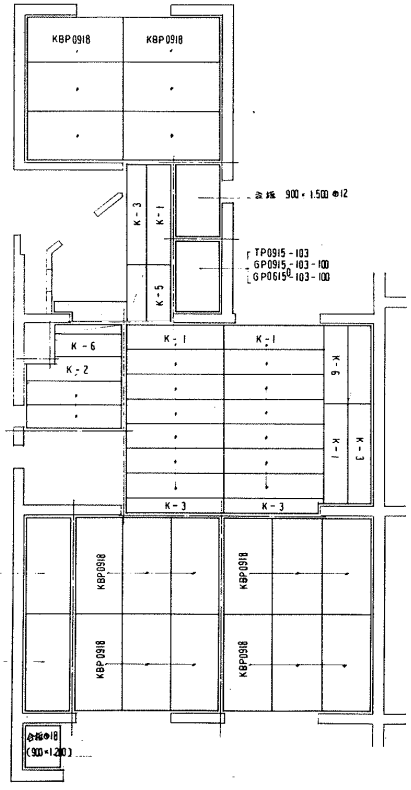
垂直材伏図



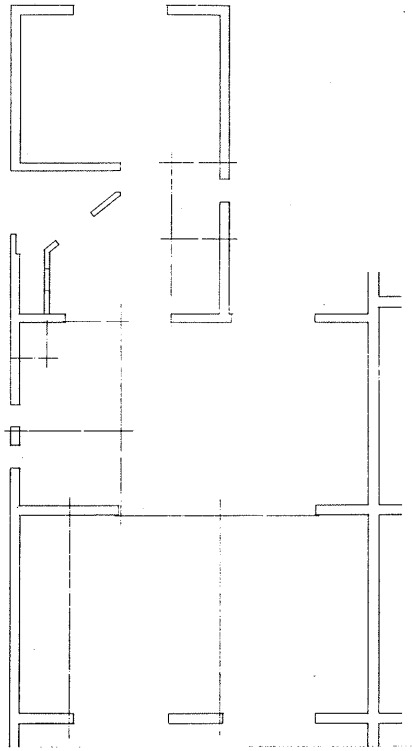
雑造作材伏図・金物



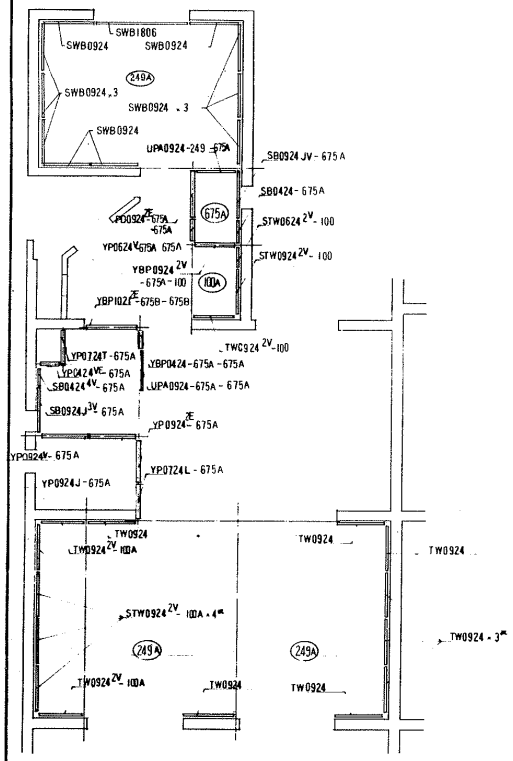
1F　押入床棚パネル伏図



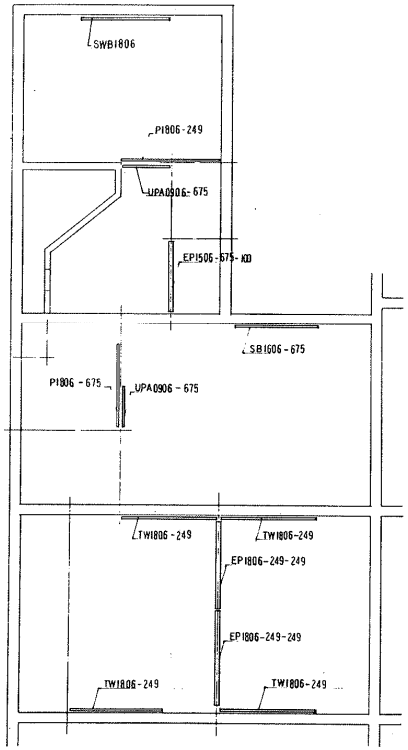
2F～　押入床棚パネル伏図



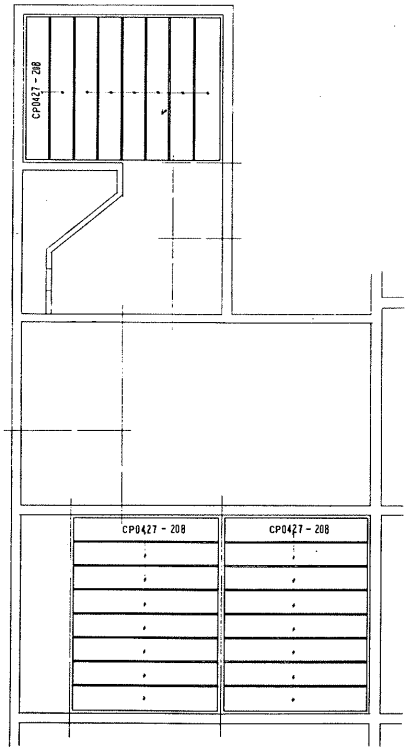
化粧突板合板伏図　51 t



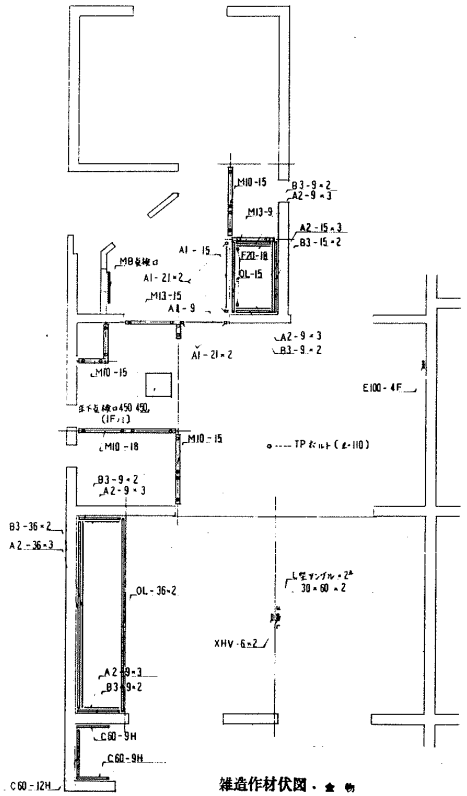
壁パネル伏図



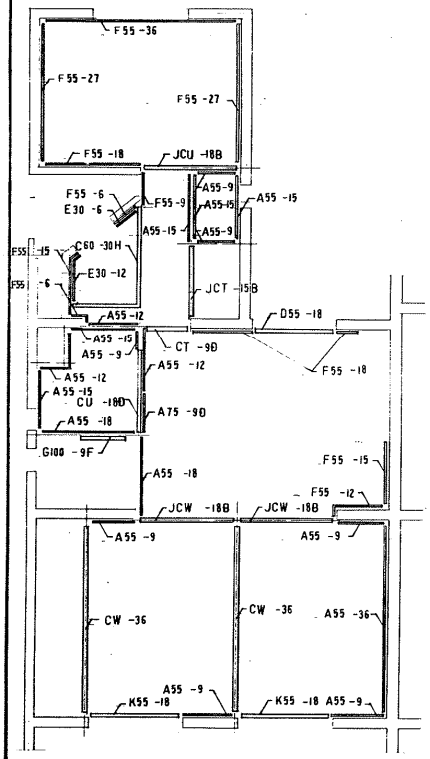
小壁パネル伏図



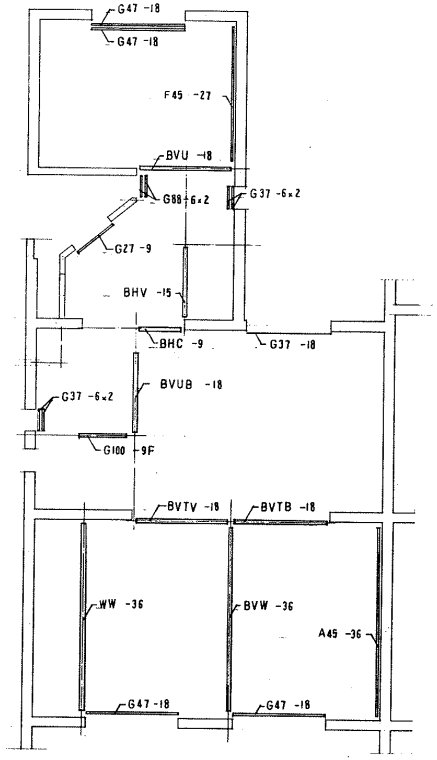
天井パネル伏図



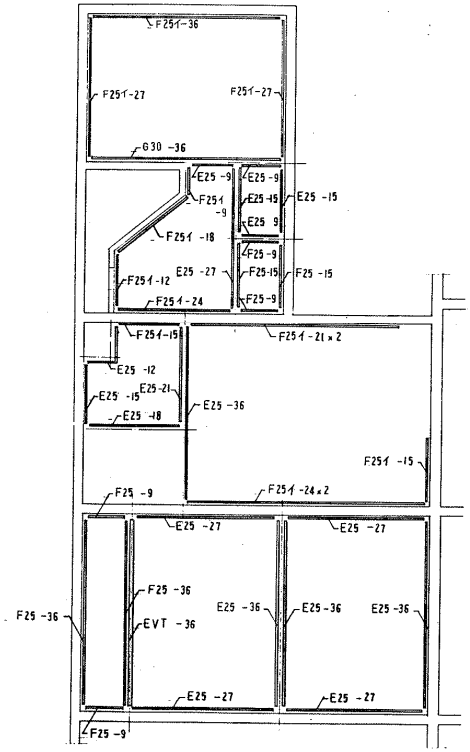
雑造作材伏図・金物



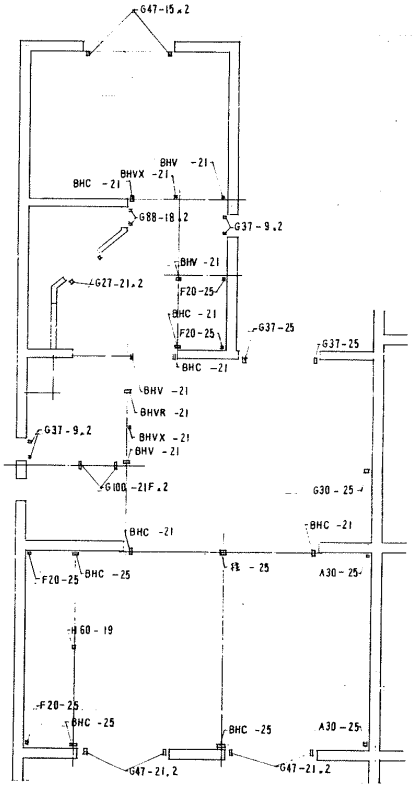
下部造作材伏図



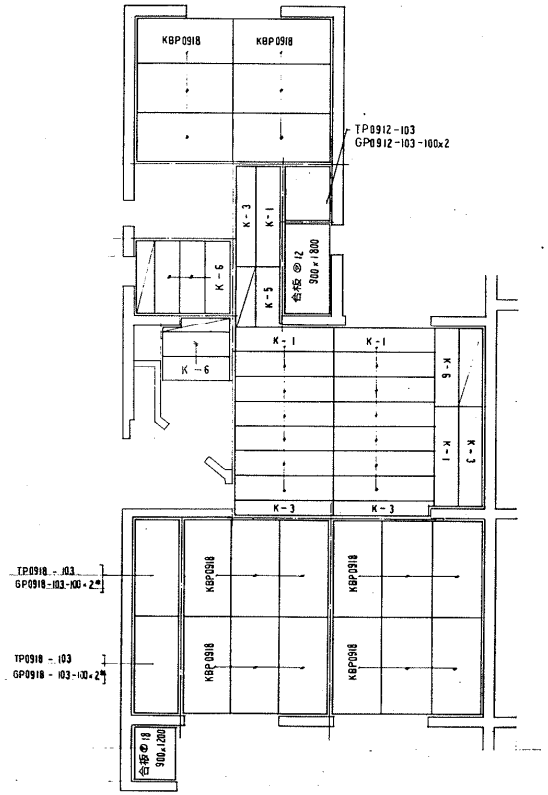
中部造作材伏図



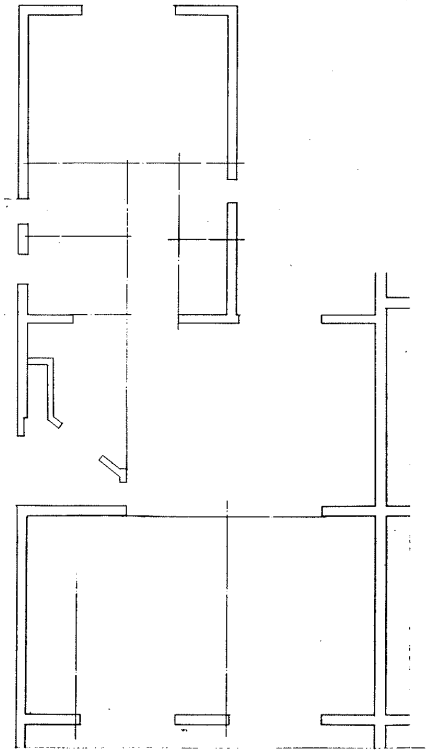
上部造作材伏図



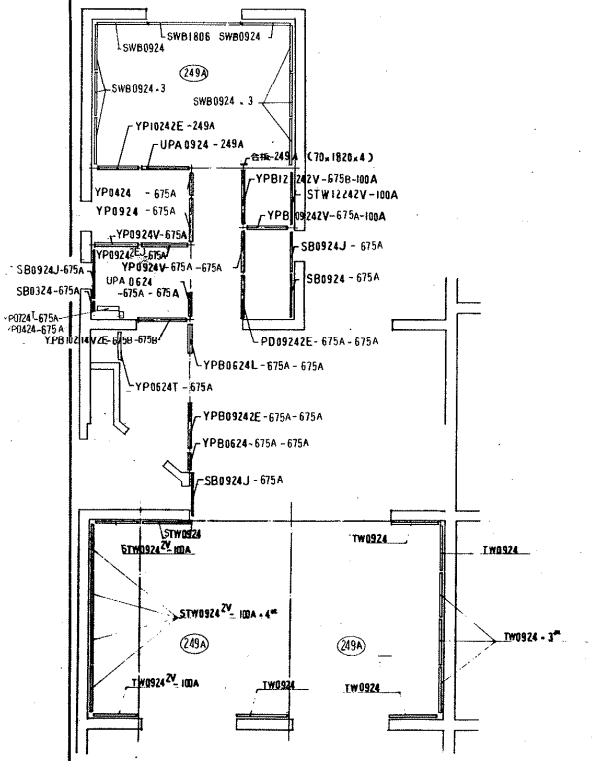
垂直材伏図



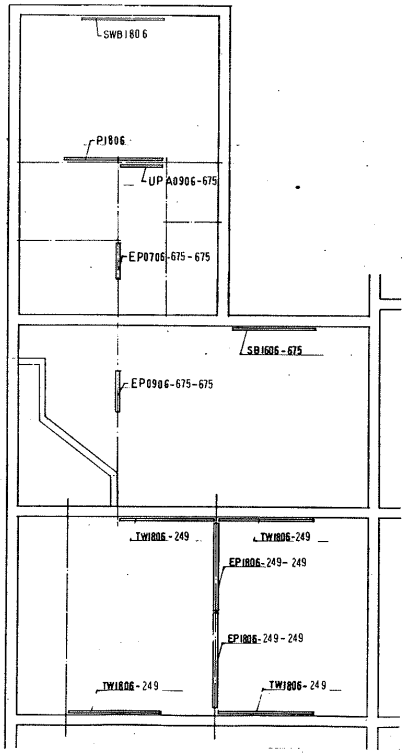
押入床棚パネル伏図



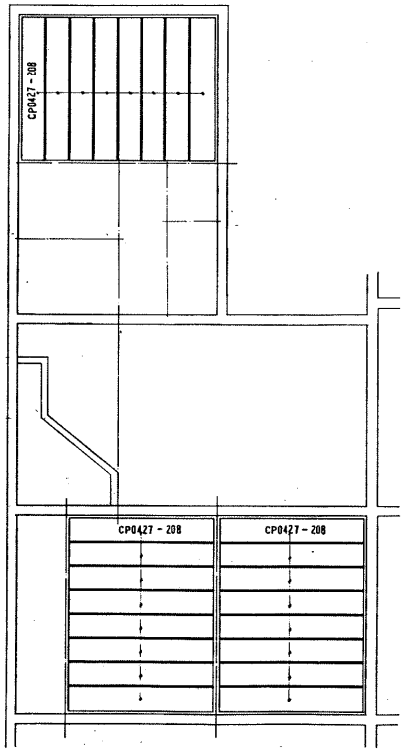
化粧突板合板伏図　50 ㎡



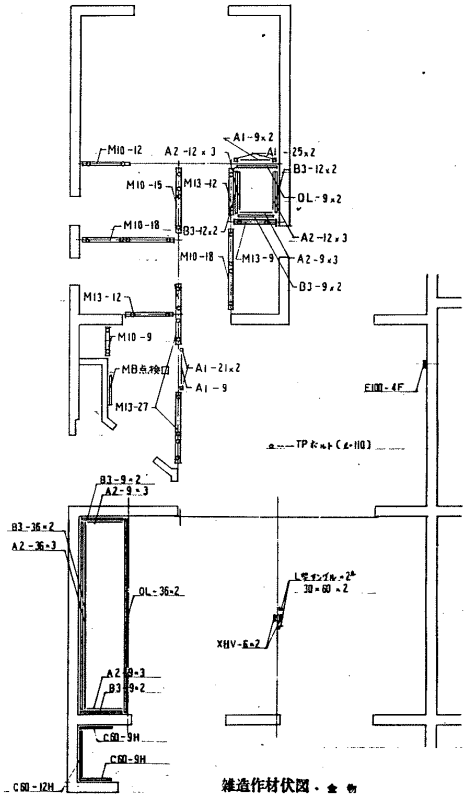
壁パネル伏図



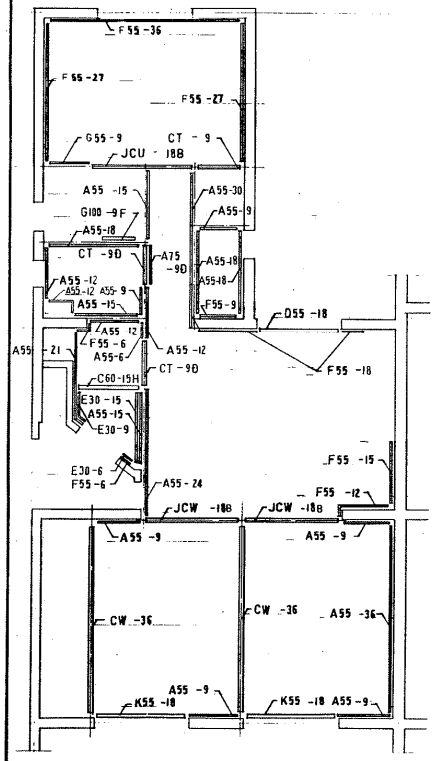
小壁パネル伏図



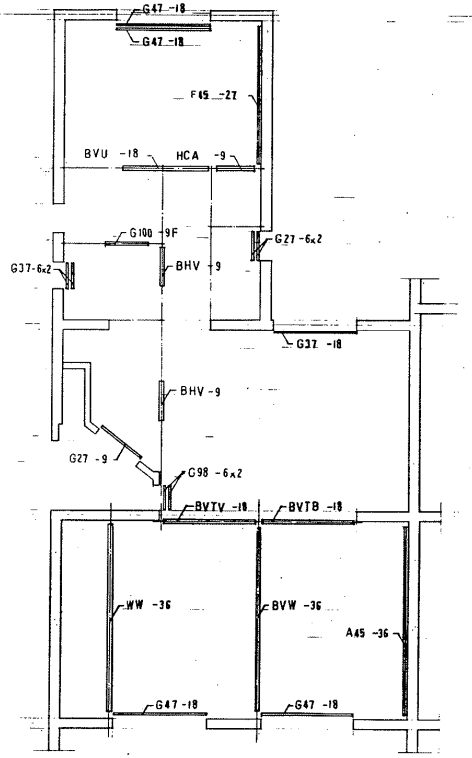
天井パネル伏図



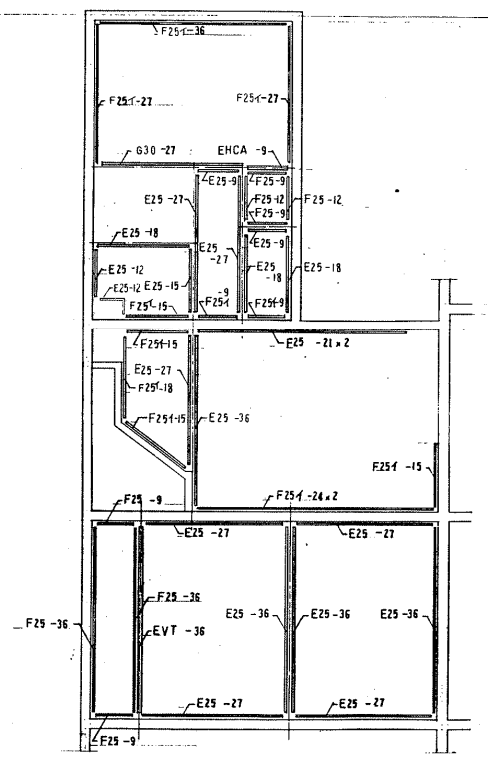
雑造作材伏図・金物



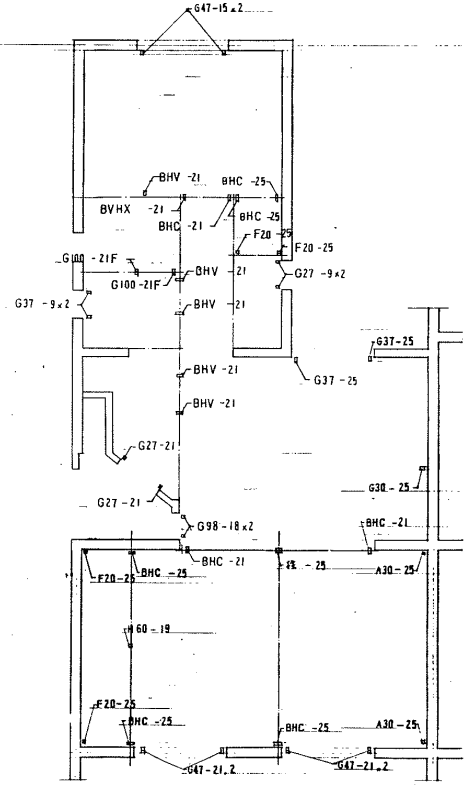
下部造作材伏図



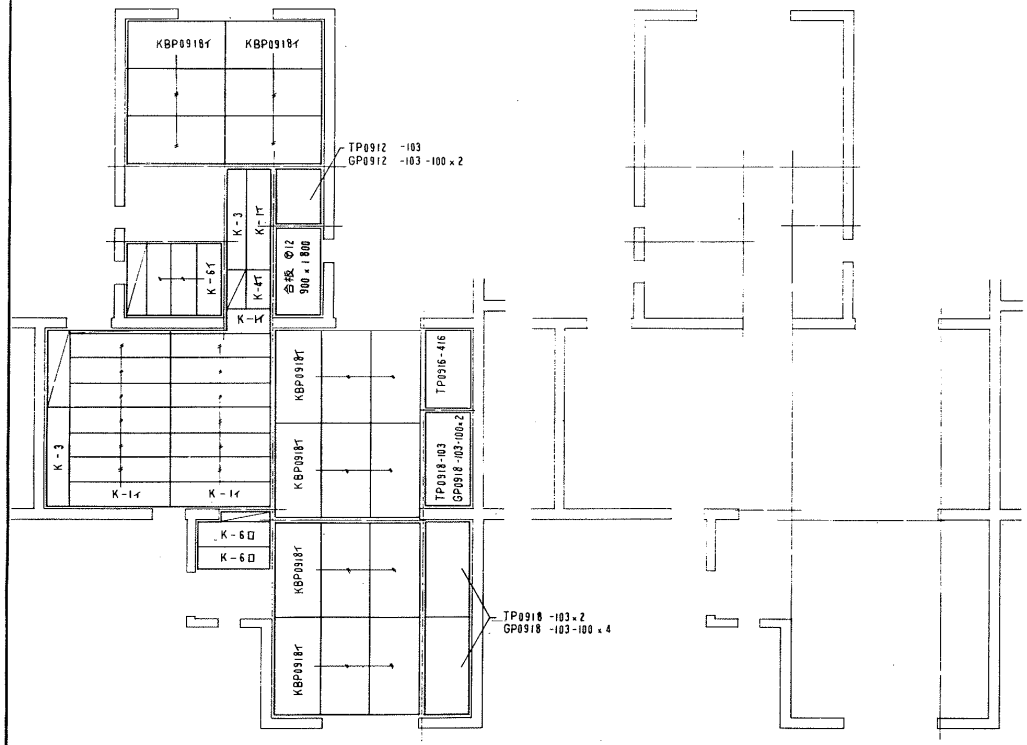
中部造作材伏図



上部造作材伏図

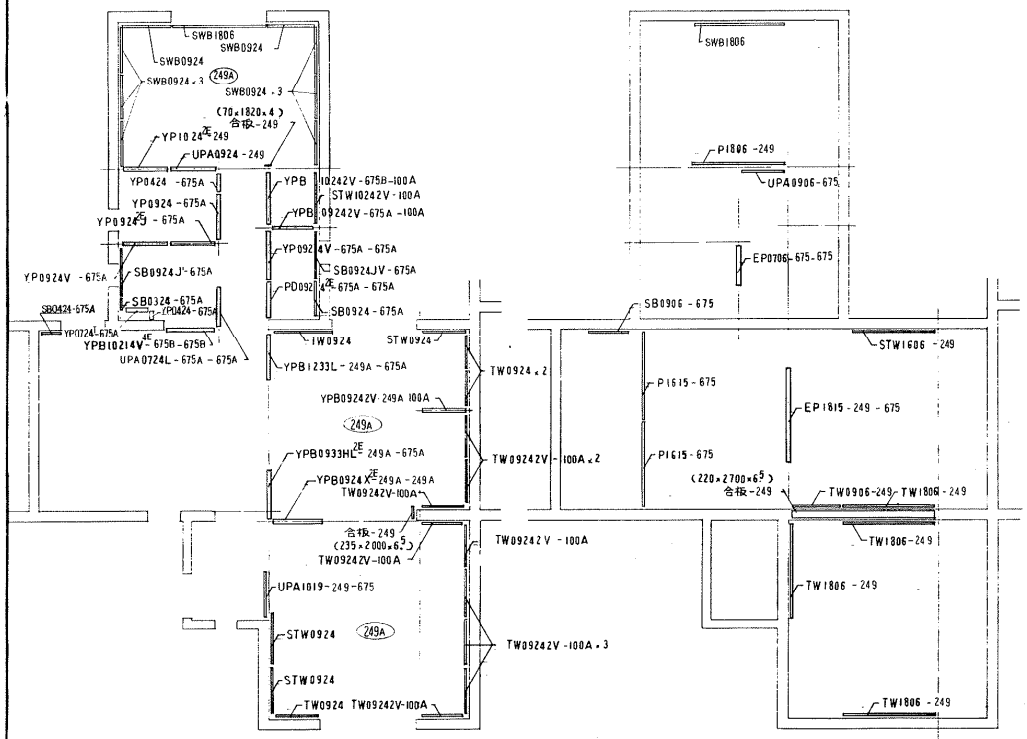


垂直材伏図



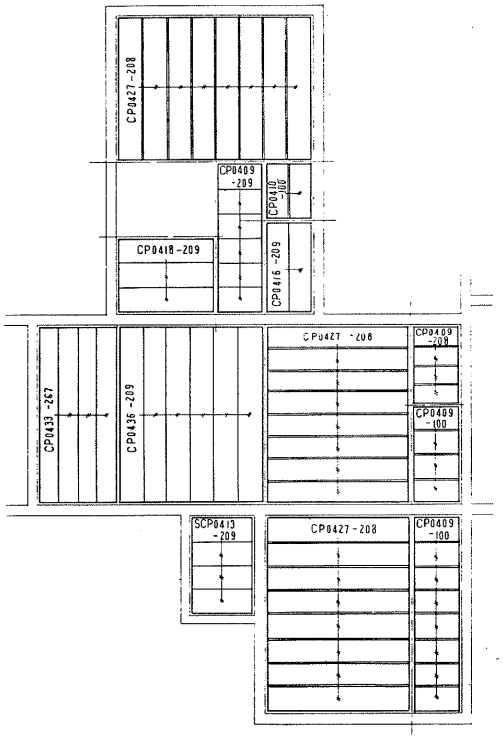
2F～　押入床棚パネル伏図

化粧突板合板伏図　46 47

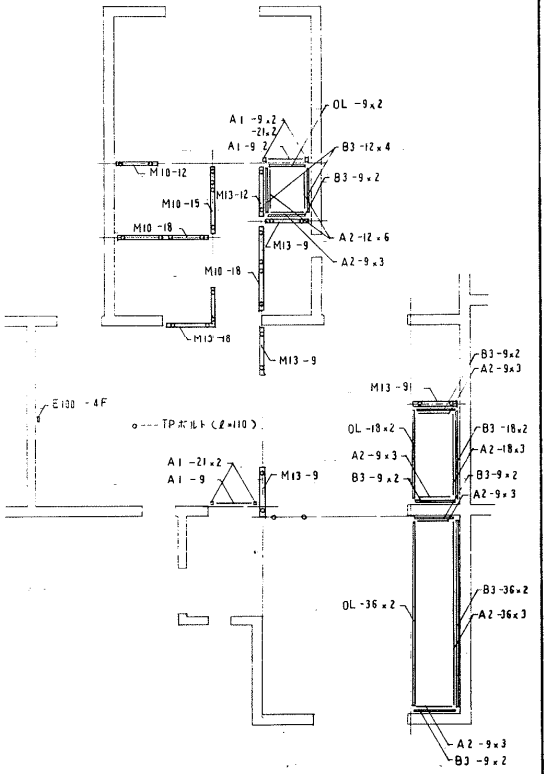


壁パネル伏図

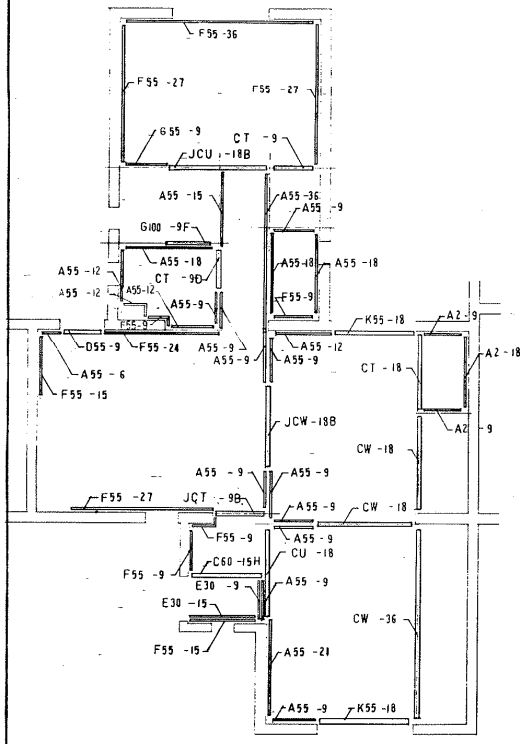
小壁パネル伏図



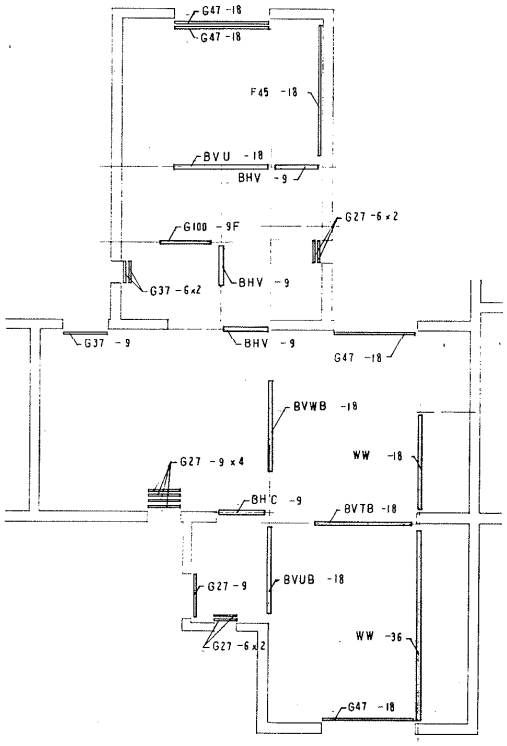
天井パネル伏図



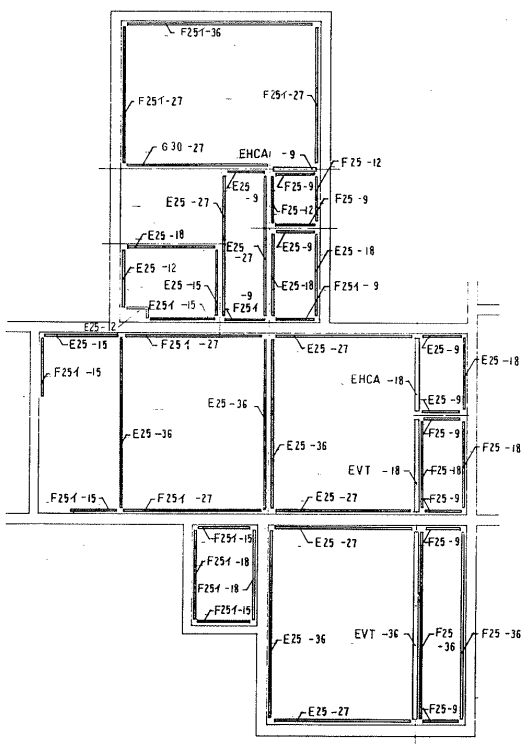
雑造作材伏図・金物



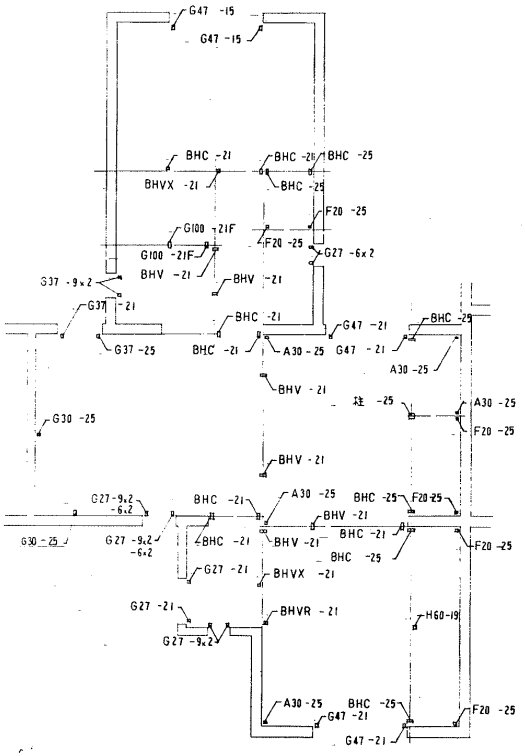
下部造作材伏図



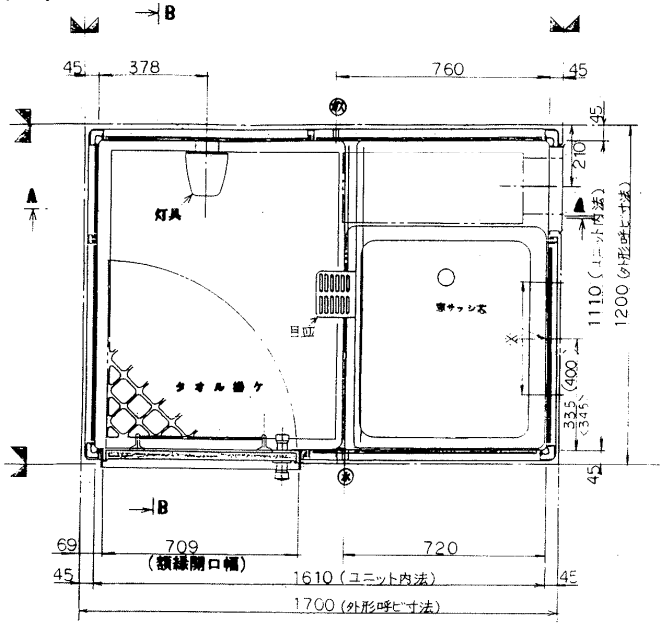
中部造作材伏図

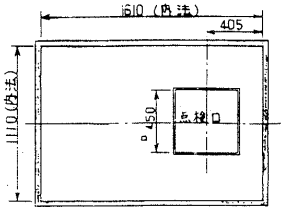


上部造作材伏図

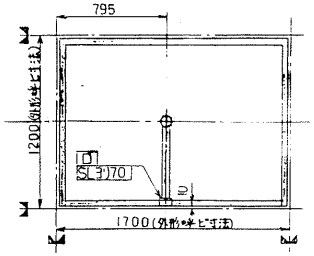


垂直材伏図





天井伏図(1/20)



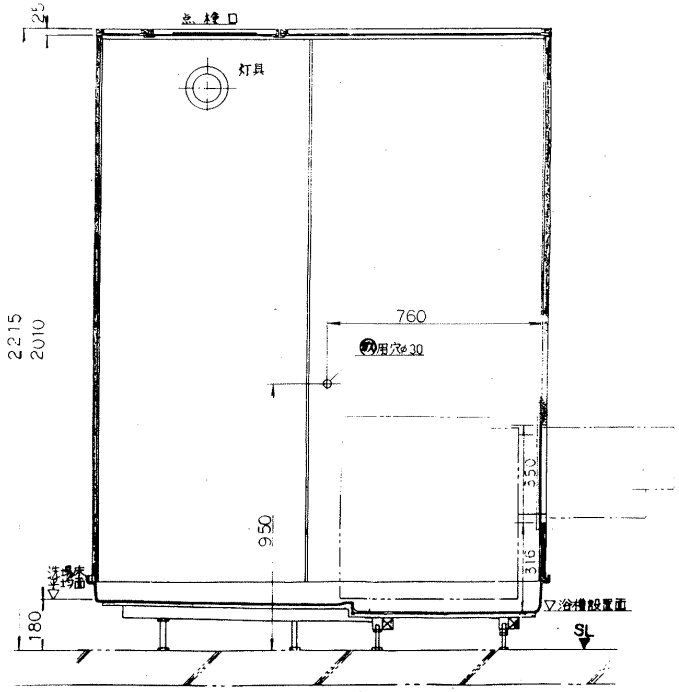
雑排水汚水管バリエーション
(寸法公差±10)

部位	No	品名	仕様		備考
一般事項	1	外形呼ビ寸法	1200W×1700L×2400H		
	2	ユニット内法寸法	1110W×1610L×2010H		室内容積：3.1m³
	3	総重量	200kg		
本体	4	床	FRP	色相：オフホワイト	洗い場面積：1.01m²
	5	壁パネル	塩ビ鋼板	色相：オフホワイト	
	6	ドア	アルミポリエチレン複合板（両面プラッシュ）	色相：アイボリー	
	7	ドア枠	アルミ押出品（アルマイト処理クリア塗装）		
	8	天井パネル	塩ビ鋼板	色相：オフホワイト	
	9				
部品	10	灯具	防湿形白熱灯（60W）		ポリカ：ボ製グローブ
	11	ドアロック	ABS（プッシュボタン式ロック）		
	12	ドアストッパー	ステンレス製		
	13	蝶番	アルミ		
	14	ドアガラリ	ABS		
	15	ドア小窓	型板ガラス（Ⓟ4）		
	16	タオル掛ケ	ステンレス		ℓ=455
	17	浴槽	700×800タイプ　フロアタイプ（全ネプカン式）	色相：アイボリー	BL品
	18	バランス釜	ユニット工事外		
配管・ソノ他	19	雑排水トラップ	ABS樹脂		封水：50
	20	雑排水管	硬質塩ビ管（VP50）	ジョイント：VP50ワンタッチ	
	21	電気配線	V-VF（1.6-3C）　L=2000		㊀赤、㊁白、㊂黒、㊃緑色
	22	給水給湯	有機物質配管アダプター（L型 異径20×13）	ジョイント：ワンタッチ	
	23	コーキング	シリコンシーラント	色相：オフホワイト	
	24				

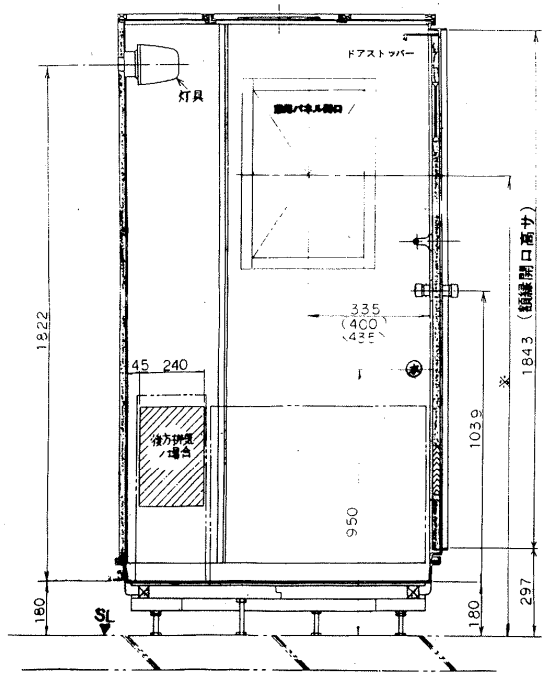
	No	項目	選択		事項
仕様打合事項	25	自在水栓(1)有	(2)無		
	26	換気口	(1)ABS孔形（グリル：Ⓟ100角（色相：オフホワイト））		有効面積：370cm²　ジョイント径：Ⓟ98
	27		(2)換気扇用開口ノミ	Ⓟ270	(3)無
	28	雑排水方向	(1)右	(2)左	(3)真
	29	給水給湯管用穴	(1)給水給湯用両方有	(2)給水用ノミ有	(3)無
	30	望み欠	(1)無	(2)X(1)—	(3)X(4)長辺
	31	調整空間	(1)20mm	(2)80mm	(3)40mm
	32				
	33				
	34				

注記

1. 本図ハ調整空間20mmデ作図シテアリマス。調整空間80mmノ場合ハ（　）内寸法トナリマス。
2. 浴ソーハBL認定品ヲ御使用下サイ。
3. 窓枠サッシニハ浴室外給湯SPH1200用(公共住宅用規格部品)ヲ御使用下サイ。



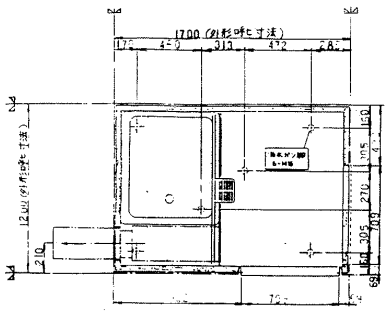
断面A～A



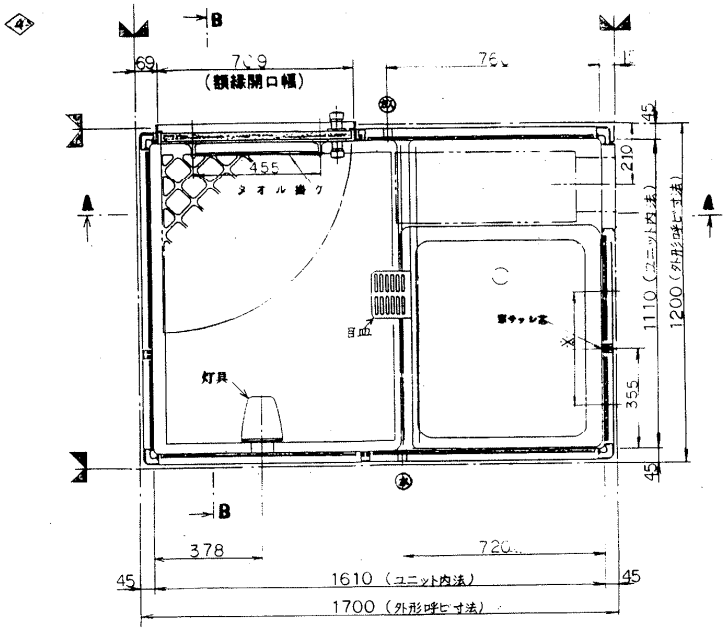
断面B～B

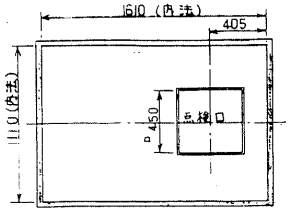
確認事項

1. 給水圧ハ、0.8kg/cm²以上確保願イマス。
2. 望ミ確認（ユニット本体・換気口・点検口・）
3. 取合ノ確認（配管・排水管・換気口・ドア枠）

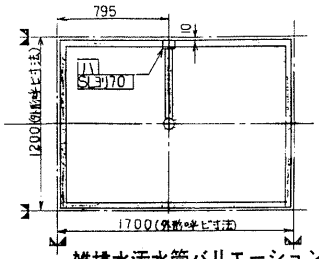


ユニット床下脚位置図(寸法公差±10)





天井伏図(1/20)



雑排水汚水管バリエーション
(寸法公差±10)

部位	No	品名	仕様		備考
一般事項	1	外形呼び寸法	1200W×1700L×2400H		
	2	ユニット内法寸法	1110W×1610L×2010H		室内容積:3.1m³
	3	総重量	200kg		
本体	4	床	FRP	色相:オフホワイト	洗い場面積:1.01m²
	5	壁パネル	塩ビ鋼板	色相:オフホワイト	
	6	ドア	アルミポリエチレン複合板(面面フラッシュ)	色相:アイボリー	
	7	ドア枠	アルミ押出品(アルマイト処理クリア塗装)		
	8	天井パネル	塩ビ鋼板	色相:オフホワイト	
	9				
器具部品	10	灯具	防湿形白熱灯(60W)		ポリカーボネイト製グローブ
	11	ドアロック	ABS(プッシュボタン式ロック)		
	12	ドアストッパー	ステンレス製		
	13	鏡番	アルミ		
	14	ドアガラリ	ABS		
	15	ドア小窓	型板ガラス入(Ⓟ4)		
	16	タオル掛け	ステンレス		ℓ=455
	17	浴槽	700×800タイプ フロアダ(含モアダムシ)	色相:アイボリー	BL品
	18	バランス釜	ユニット外工事		
配管・ソノ他	19	雑排水トラップ	ABS樹脂		封水:50
	20	雑排水管	硬質塩ビ管(VP50)	ジョイント:VP50ソケット	
	21	電気配線	V-V-F(1.6-3C) L=2000		㊀赤,㊁白,㊂緑,㊃黒色
	22	給水管	有機質物質アダプター(L型異径20×13)	ジョイント:20ソケット	
	23	コーキング	シリコンシーラント	色相:オフホワイト	
	24				

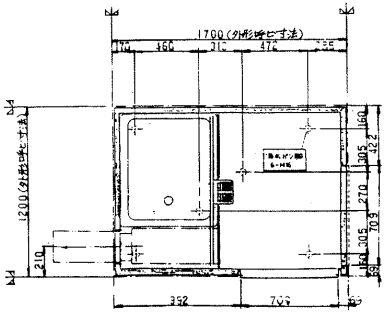
	No	項目	選択		事項
仕様打合事項	25	自在水栓(1)有	(2)無		
	26	換気口	(1)ABSガラリ(グリル)	φ100用(色相:オフホワイト)	有効面積:37cm²,ジョイント材:φ98
	27		(2)換気扇用開口ノミ	φ270	(3)無
	28	雑排水方向	(1)(イ)	(2)(ロ)	(3)(ハ)
	29	給水給湯管用穴	(1)給水給湯用	両方有	(2)給水用ノミ有 (3)無
	30	望切欠	(1)無	(01)(02)—	(03)(04)長辺
	31	調整空間	(1)20mm	(2)80mm	(3)40mm
	32				
	33				
	34				

注記

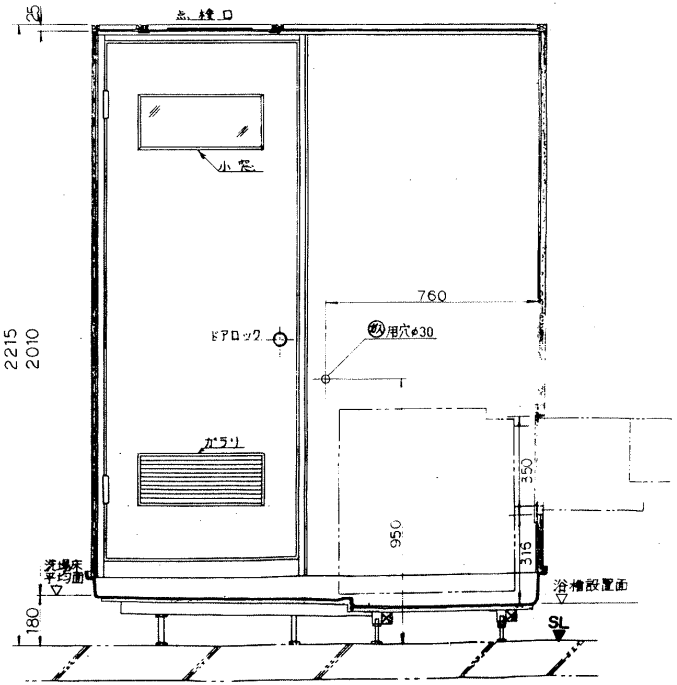
1. 本図ハ調整空間20mmデ作図シテアリマス。調整空間80mmノ場合ハ( )内寸法トナリマス。
2. 浴リーハBL認定品ヲ御使用下サイ。
3. 気密サッシニハ浴室外給湯SPH1200用(公共住宅用規格部品)ヲ御使用下サイ。

確認事項

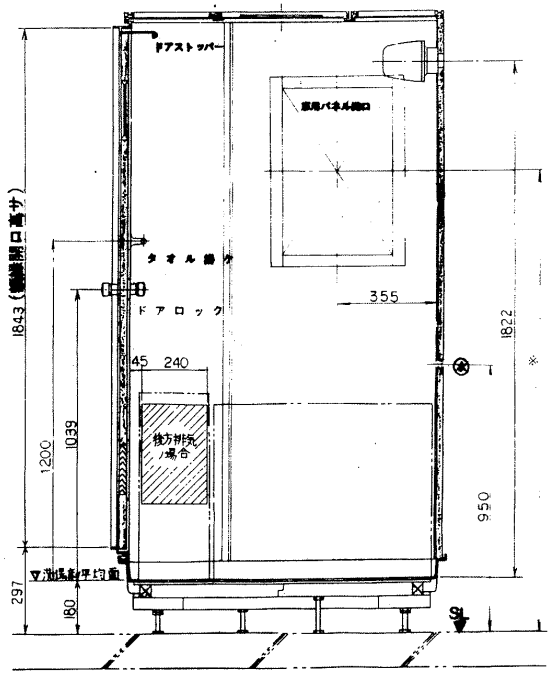
1. 給水圧ハ0.8kg/cm²以上確保願イマス。
2. 寸法確認(ユニット本体・換気口・点検口・)
3. 取合ノ確認(配管・排水管・換気口・ドア枠)



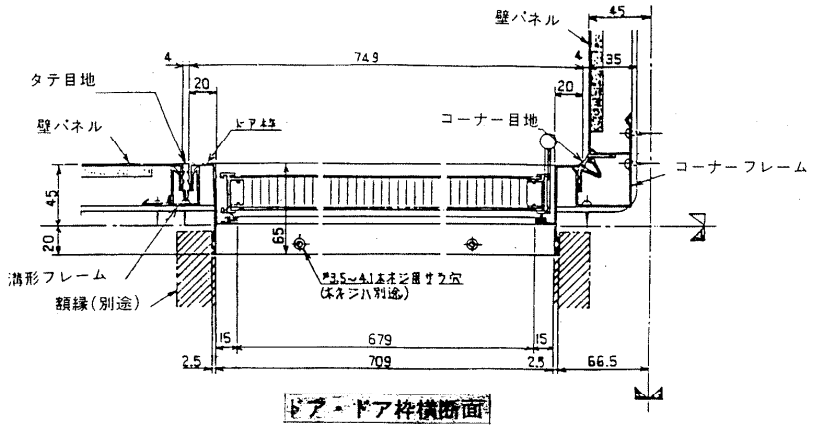
ユニット床下脚位置図(寸法公差±10)



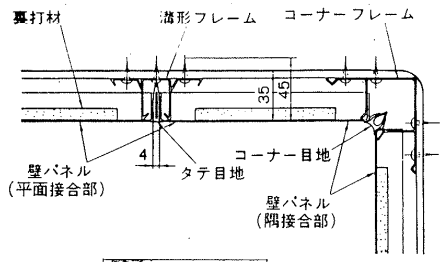
断面A~A



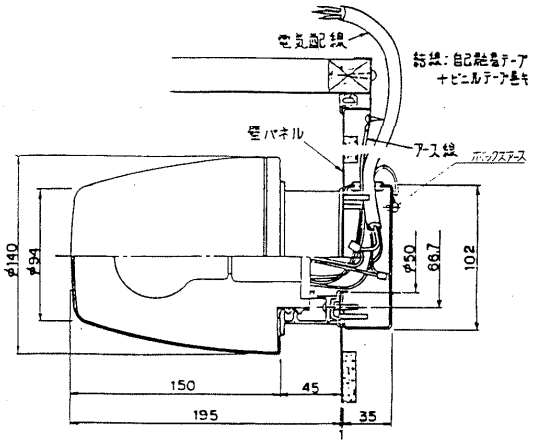
断面B~B



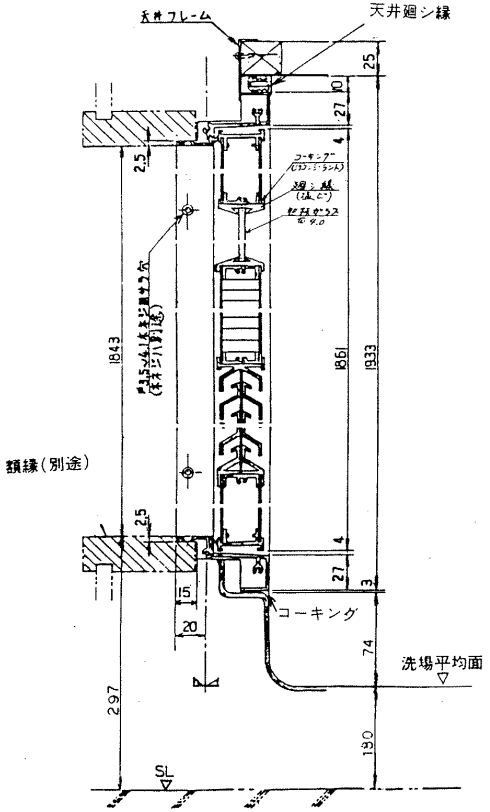
ドア・ドア枠横断面



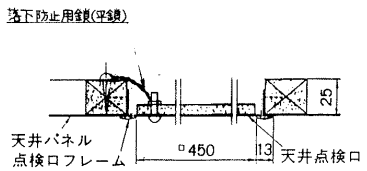
壁パネル横断面



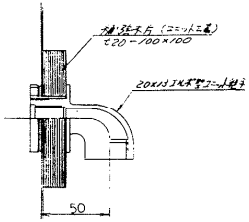
灯具取付け部



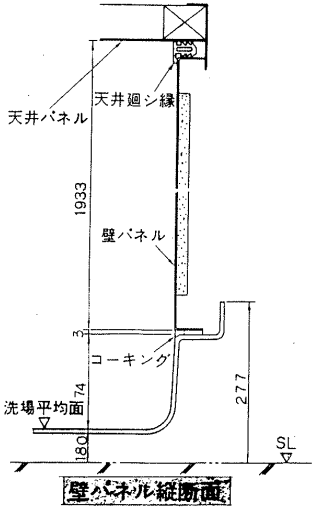
F.L.ドア枠横断面



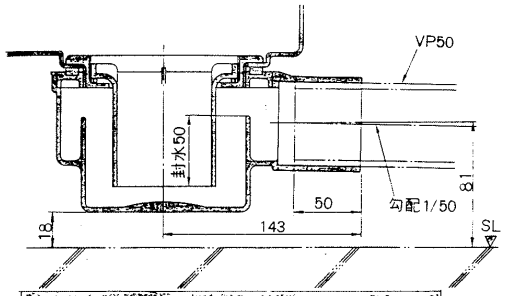
天井点検口



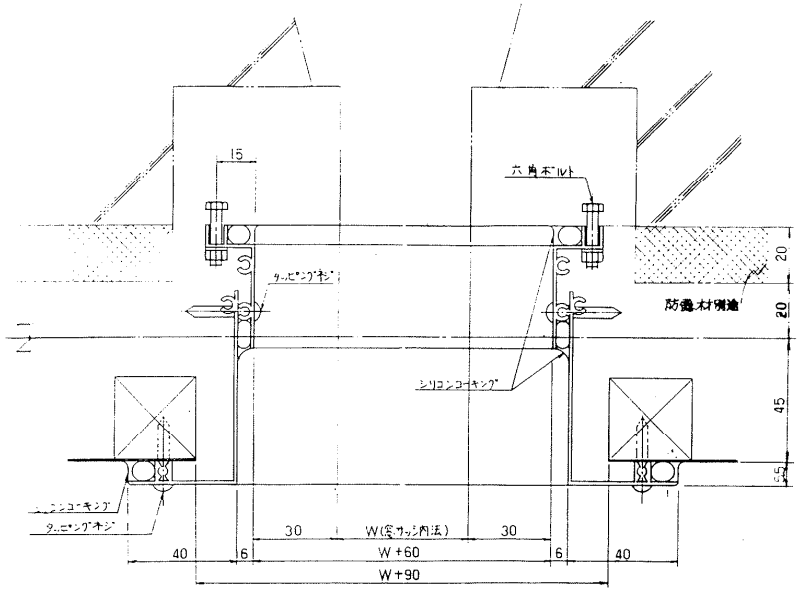
水栓ジョイント部



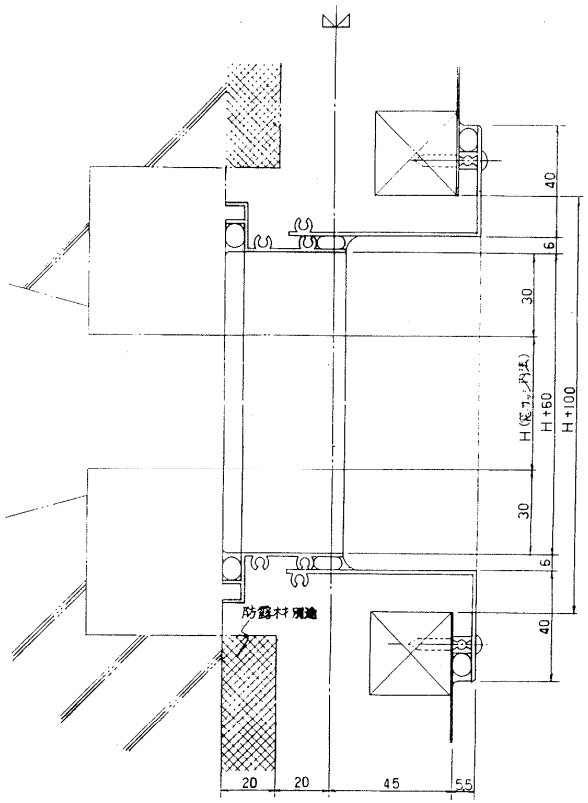
壁パネル縦断面



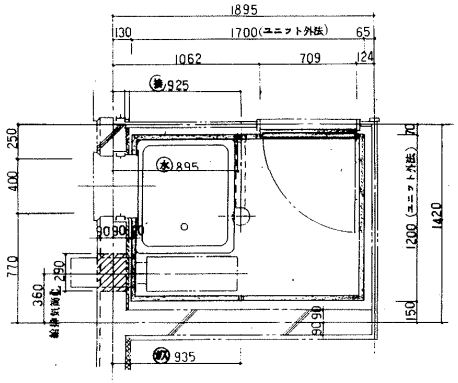
排水トラップ詳細(横引キノ場合)(1/2)

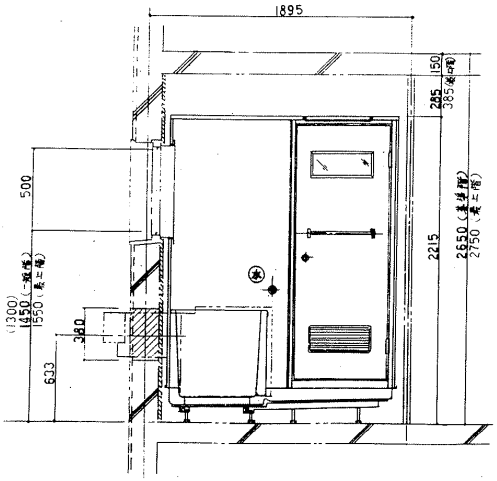


窓接続枠横断面 S:1/1

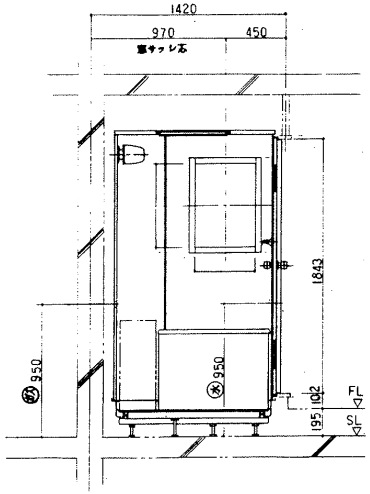


窓接続枠縦断面 S:1/1

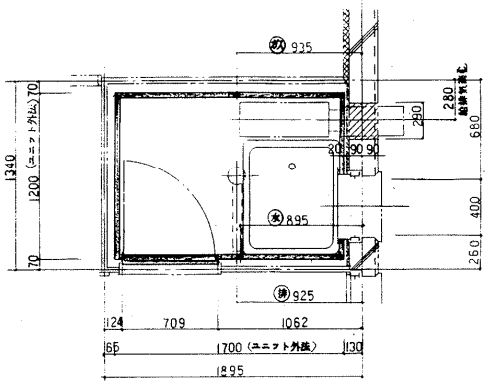


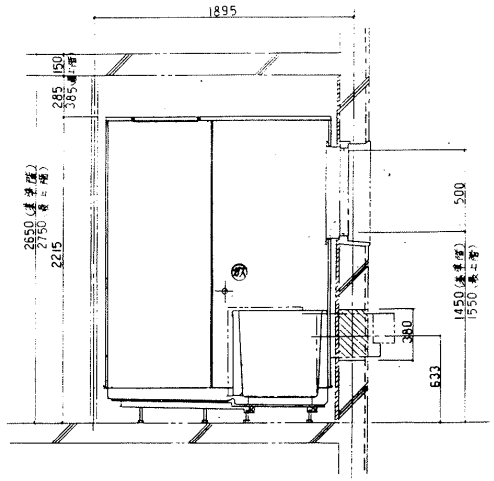


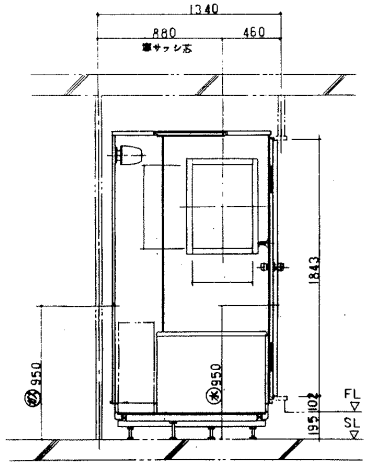
※( )内 市営平和団地3号棟 3B, 4号棟 3H タイプ



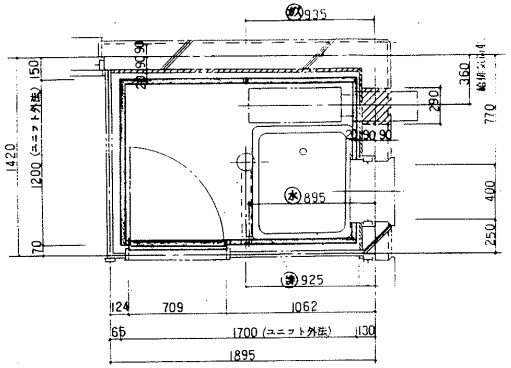
凡例 給排気筒用スリーブ ユニット別途工事

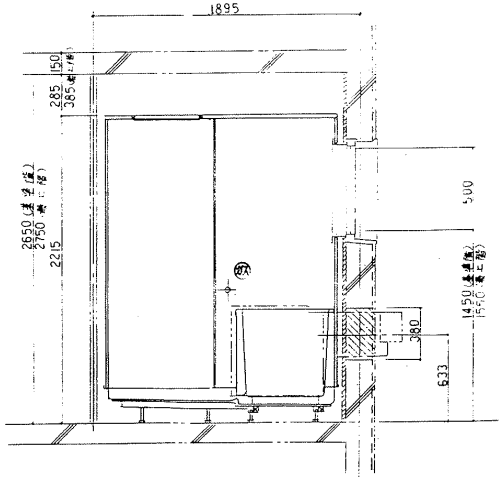


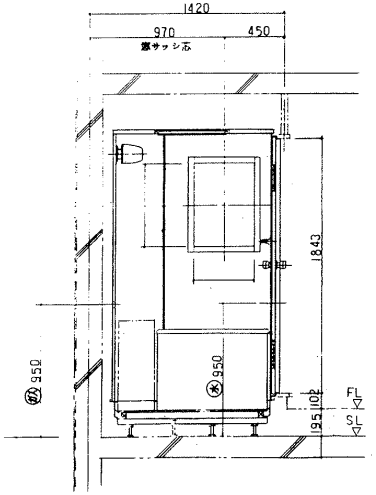




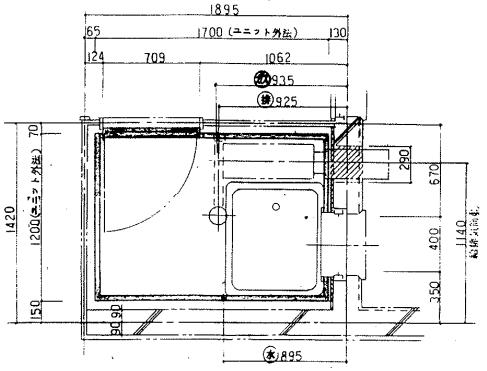
凡例 給排気筒用スリーブ ユニット別途工事

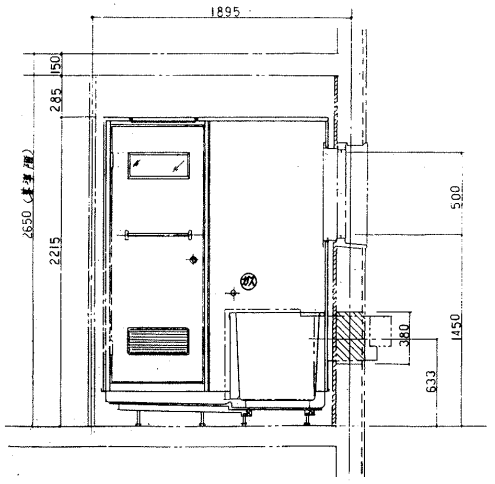


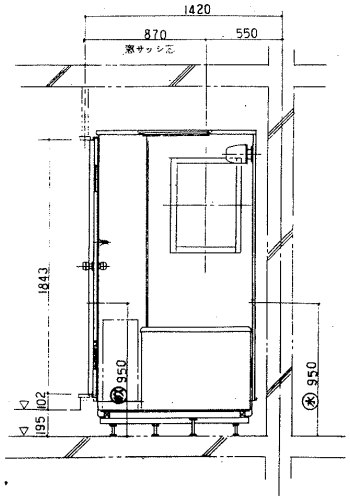




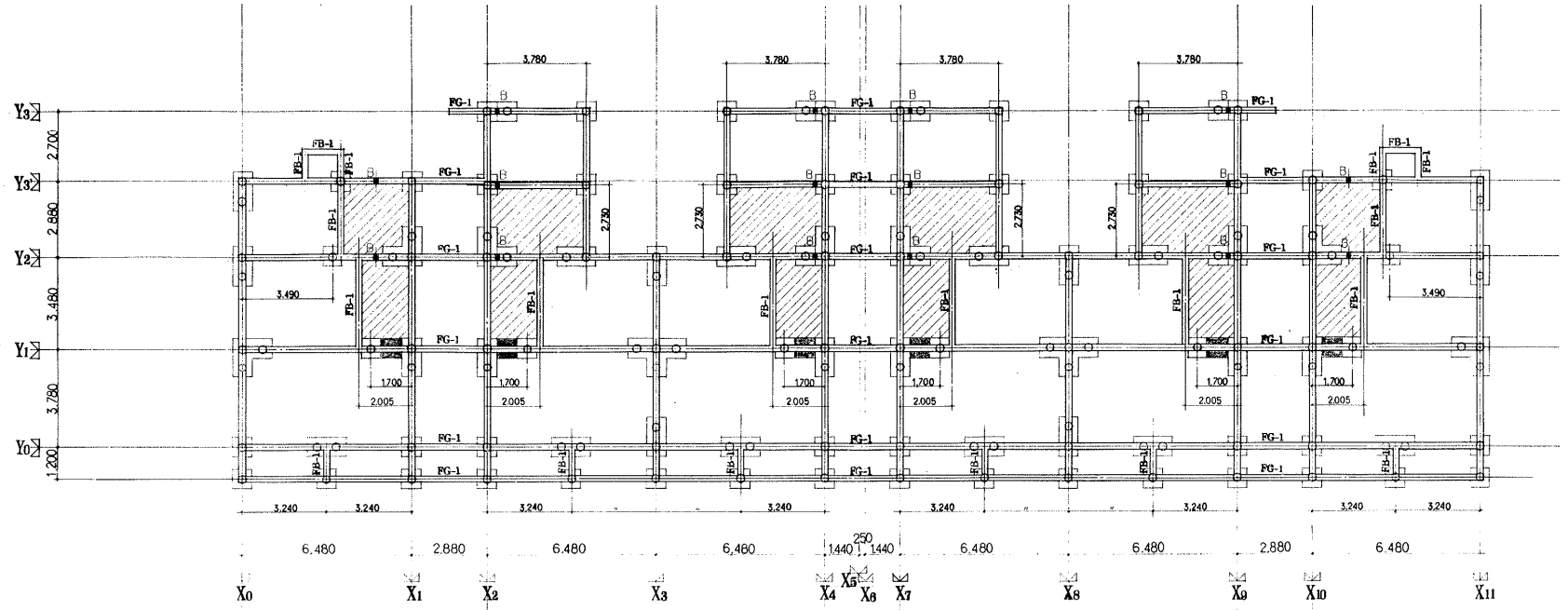
凛 給排気筒用スリーブ ユニット別途工事







凛 給排気筒用スリーブ ユニット別途工事

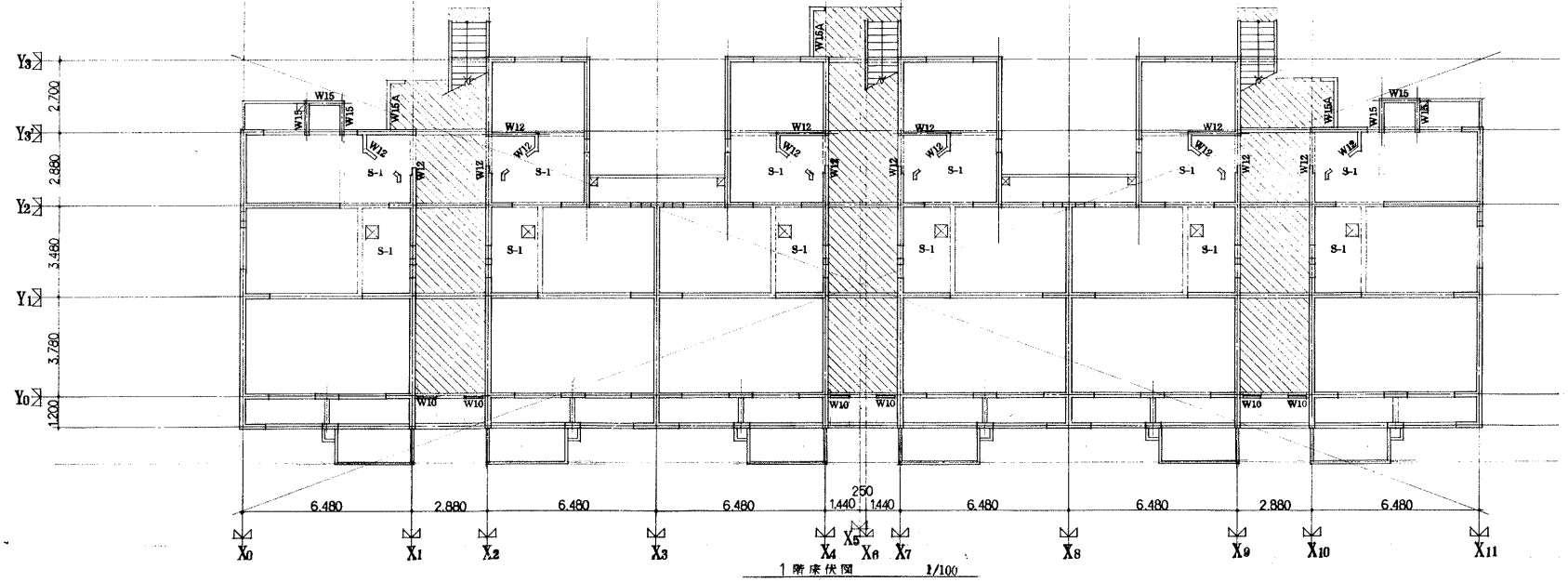


杭・基礎伏図　1/100

▨部分は、砂利まき部分を示す。

■部分は、基礎の増打を示す。　杭本数 130本

※B：スリーブ径 125φ



1階床伏図　1/100

特記を除き、壁はW18とする。スラブについては、資料参照。

▨部分は、土間コンクリートとする。

1. 総則

本工事は下記を基準仕様書とする。

(i) 公共住宅建設工事共通仕様書（昭和60年版）——（財）住宅部品開発センター

(ii) 建築工事共通仕様書（〃 60・）——営繕協会

(iii) 公営住宅標準詳細設計図集（2ち版）——日本住宅協会化

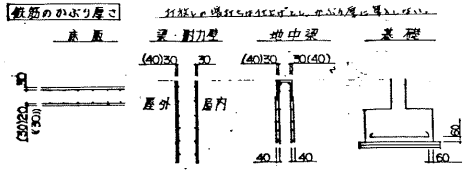
本設計図書に記載なき場合は上記基準書による。又、上記仕様書に記載なき場合は住重との協議により決定する。

各工事に先立ち、施工計画書、要領書、生コン工場、経歴書、等を住重に提出し、承認を受ける事とする。

2. 鉄筋のかぶり厚さ，端部加工，定着長さ

鉄筋のかぶり厚さ

仕様しの場合は仕上げとし、かぶり厚に算入しない。



注 1. ( )内は屋外で仕上げをしないもの。

注 2. 仕上げとは屋内外に面する部分で、モルタル塗り、タイル張り、その他これに類する鉄筋耐力上有効な仕上げをいう。

注 3. 捨てコンクリートは、かぶり厚さに算入しない。

注 4. コンクリート細骨材の塩分が0.04%～0.10%の時は( )内とする。

定着及び継手長さ

耐力壁	タテ	定着及び継手長さ	35d
	ヨコ	〃	35d
非耐力壁	タテ・ヨコ	〃	35d
曲げ補強筋・壁梁主筋		〃	40d
床版	上	〃	35d
	下	〃	15d
	上・下	継手	35d

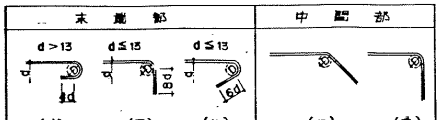
注 1. 継手はすべて重ね継手とする。

注 2. 重ね継手長さは細い方の径の九倍とする。

注 3. d：鉄筋径

注 4. 耐力壁縦筋の地中梁への定着長さは35dとする。

鉄筋端部加工



(イ) 梁・基礎の主筋 D－4d

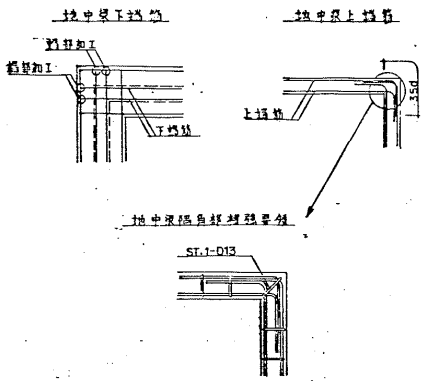
(ロ) スラブ・壁筋 D－5d

(ハ) あばら筋・帯筋 D－4d

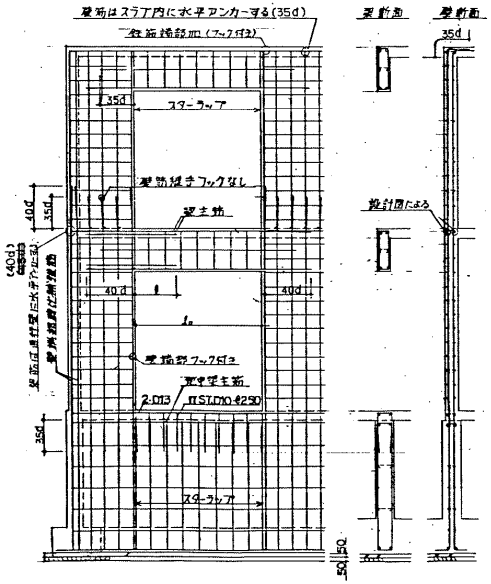
(ニ) 梁・折り曲げ筋 D－6d

(ホ) 壁主筋の定着 D－6d

3. 地中梁主筋配筋参考図



4 壁配筋標準詳細図

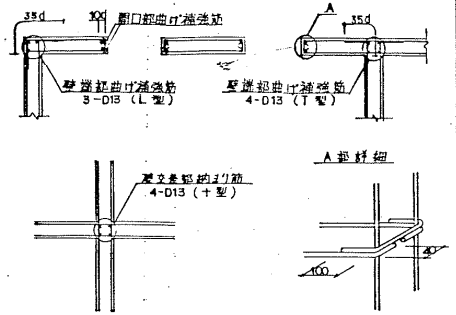


最主筋長さ：l		
	$l_0 \leq 1000$	のとき 全閉口縛り
	$1000 < l_0 < 3000$	のとき $l_0/2$
	$l_0 \geq 3000$	のとき $l_0/4 + 15d$

注) 梁主筋とスラブ主筋の継手位置は必ず壁内で行ない、柱内で行なってはならない。

5. 壁の配筋要領図

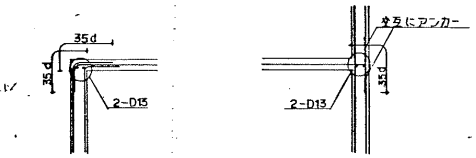
ダブルとダブル



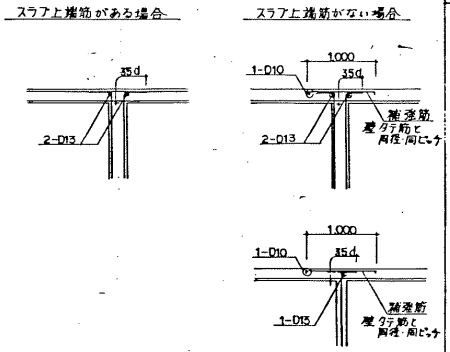
□型中止メ筋——縦筋と同径・同ピッチとする。

壁端部は全てこれに倣う。

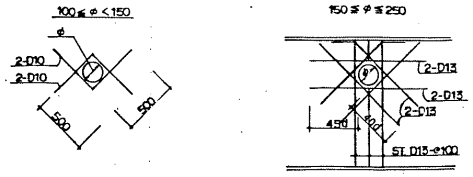
ダブルとシングル



壁とスラブの定着要領



スリーブ貫通孔補強要領



6 スペーサー筋

バルコニー・庇

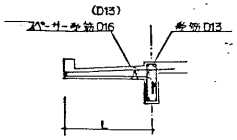
バルコニー・庇等片持スラブに用いるスペーサー筋は、次のとおりにする。

(i) 筋筋の鉄筋径は、次のとおりとする。

L＞600 D16

L≦600 D13

(ii) スペーサーは所定のかぶり厚さを確保する適正な高さの鉄製スペーサーとし、@600で配置し スペーサー受筋に溶接する。



7 壁標準配筋図

配筋リスト　詳細図に記載されるものについては詳細図が優先する。

	W10	W12	W15
	100	120	150
縦筋	D10－@250	D10－@200	D10－@200
横筋	D10－@250	D10－@200	D10－@200
開口補強筋	1－D13	1－D13	1－D13
斜メ補強筋	—	—	—

8 一般共通事項

コンクリート

設計基準強度	最大水セメント比	スランプ	粗骨材最大寸法	空気量
210（kg/cm²）	55（%）	18（cm）	20（mm）	4（%）

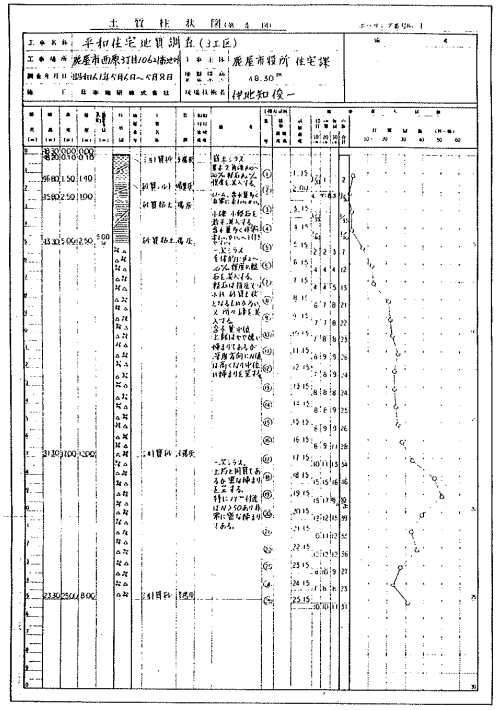
鉄筋

規格　SD30　JIS G3112　(D10～D19)

表示

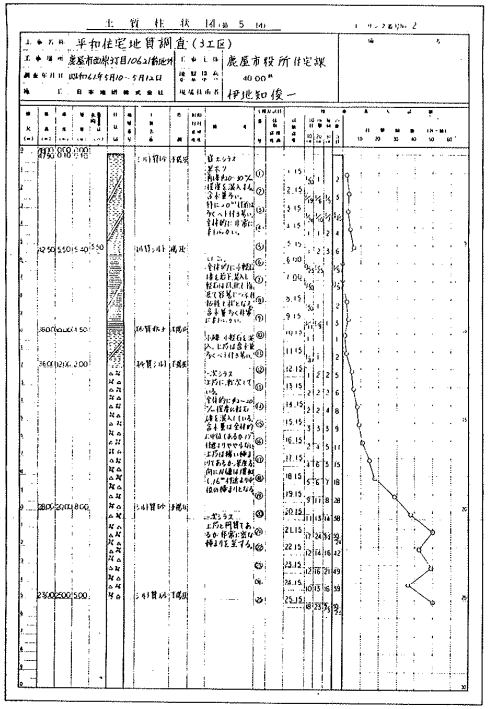
D10	D13	D16	D19
・	×	○	●

継手　重ね継手


土質柱状図(第 4 図)

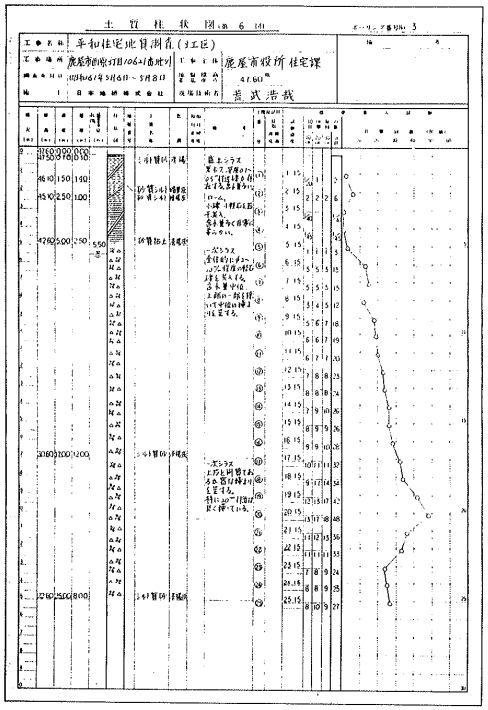
ボーリング番号No. 1

工事名称	平和住宅地質調査(3工区)
工事場所	鹿屋市西原3丁目1064番地先
調査年月日	昭和64年5月6日～～5月9日
施工	日本地研株式会社
工事主体	鹿屋市役所 住宅課
地質担当者	伊地知俊一


土質柱状図(第 5 図)

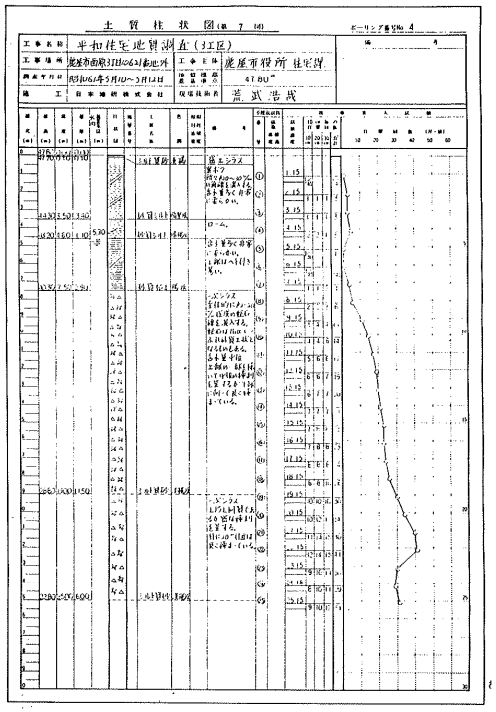
ボーリング番号No. 2

工事名称	平和住宅地質調査(3工区)
工事場所	鹿屋市西原3丁目1064番地先
調査年月日	昭和64年5月6日～5月8日
施工	日本地研株式会社
工事主体	鹿屋市役所 住宅課
地質担当者	伊地知俊一


土質柱状図(第 6 図)

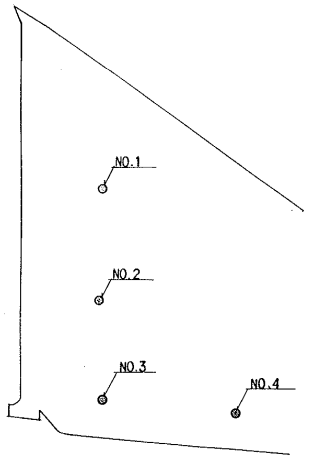
ボーリング番号No. 3

工事名称	平和住宅地質調査(3工区)
工事場所	鹿屋市西原3丁目1064番地先
調査年月日	昭和64年5月8日～5月8日
施工	日本地研株式会社
工事主体	鹿屋市役所 住宅課
地質担当者	益武浩哉

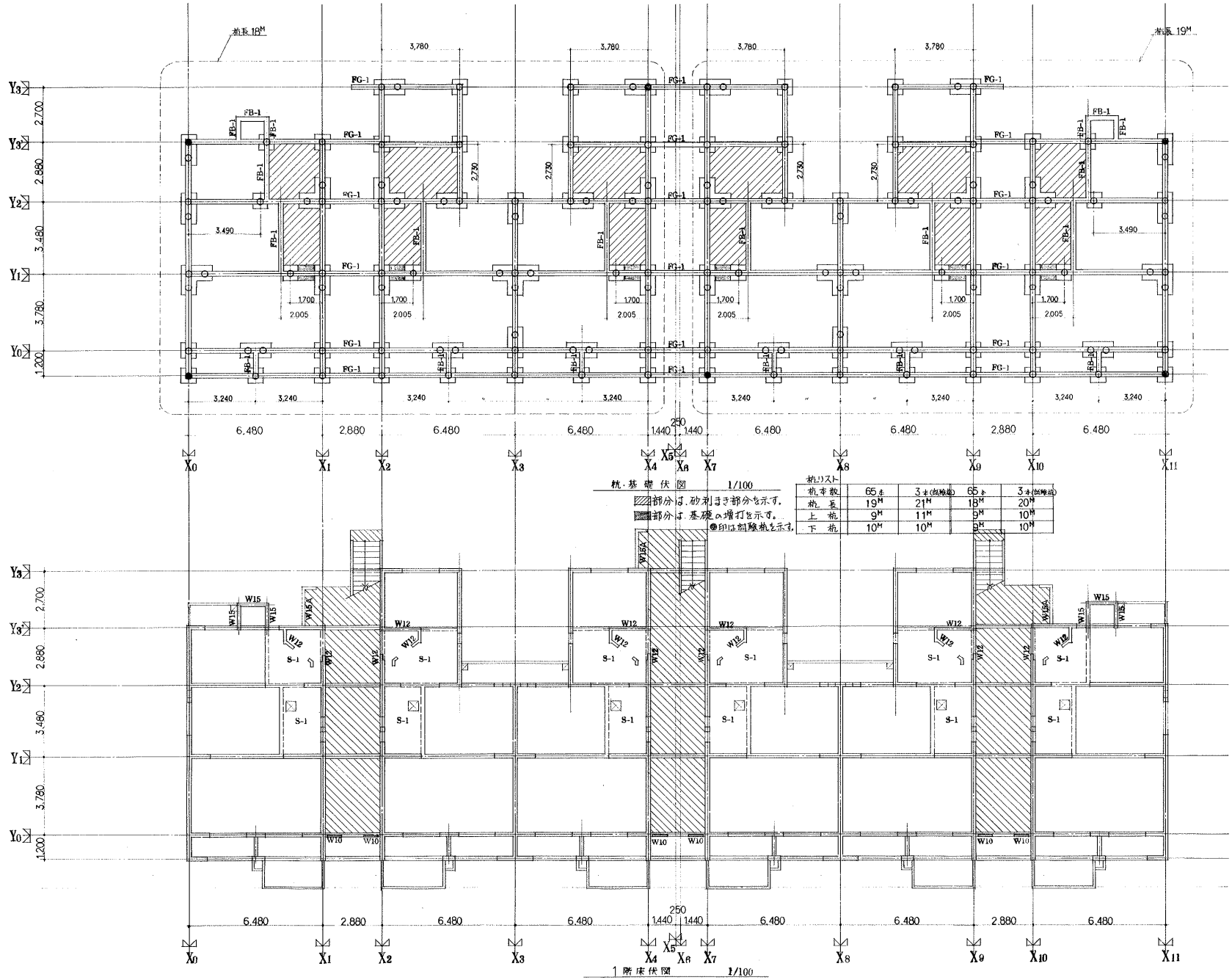

土質柱状図(第 7 図)

ボーリング番号No. 4

工事名称	平和住宅地質調査(3工区)
工事場所	鹿屋市西原3丁目1064番地先
調査年月日	昭和64年5月10～5月12日
施工	日本地研株式会社
工事主体	鹿屋市役所 住宅課
地質担当者	益武浩哉



ボーリング配置図



杭・基礎伏図　1/100

▨部分は、砂利まき部分を示す。

▩部分は、基礎の増打を示す。

●印は試験杭を示す。

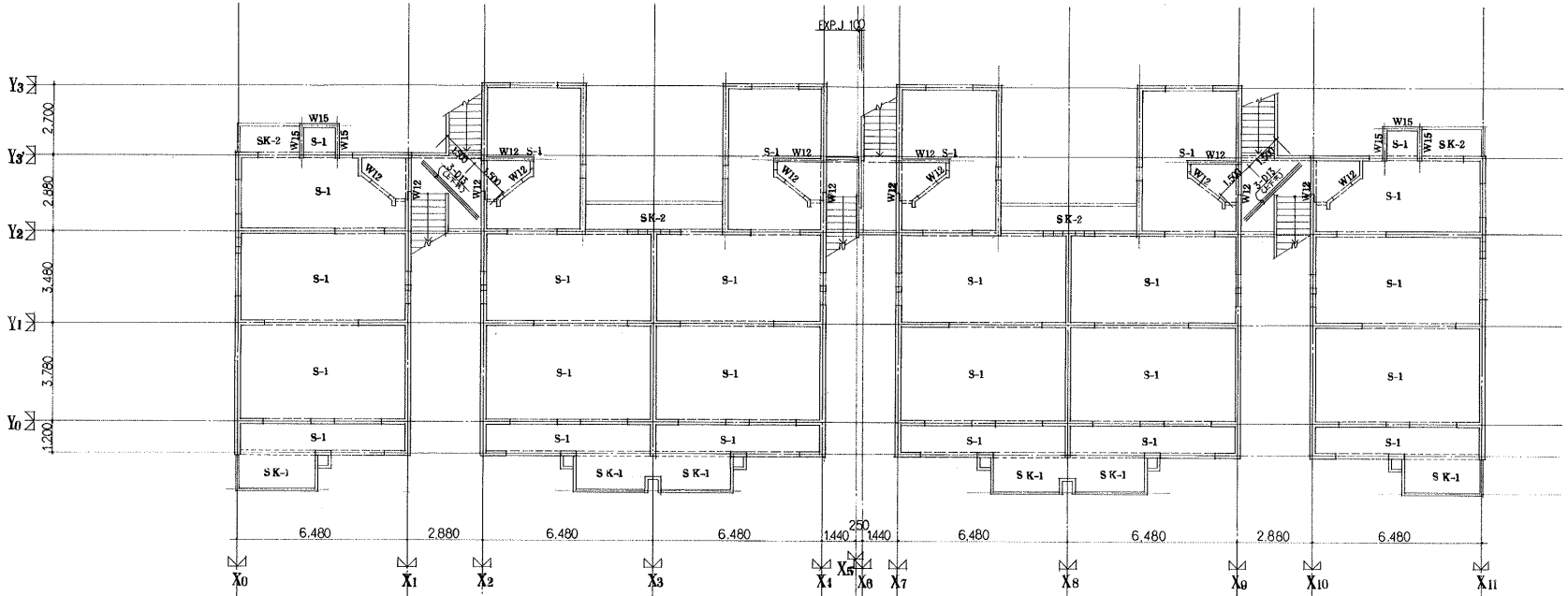
杭リスト

杭本数	65本	3本(試験杭)	65本	3本(試験杭)
杭長	19M	21M	18M	20M
上杭	9M	11M	9M	10M
下杭	10M	10M	9M	10M

1階床伏図　1/100

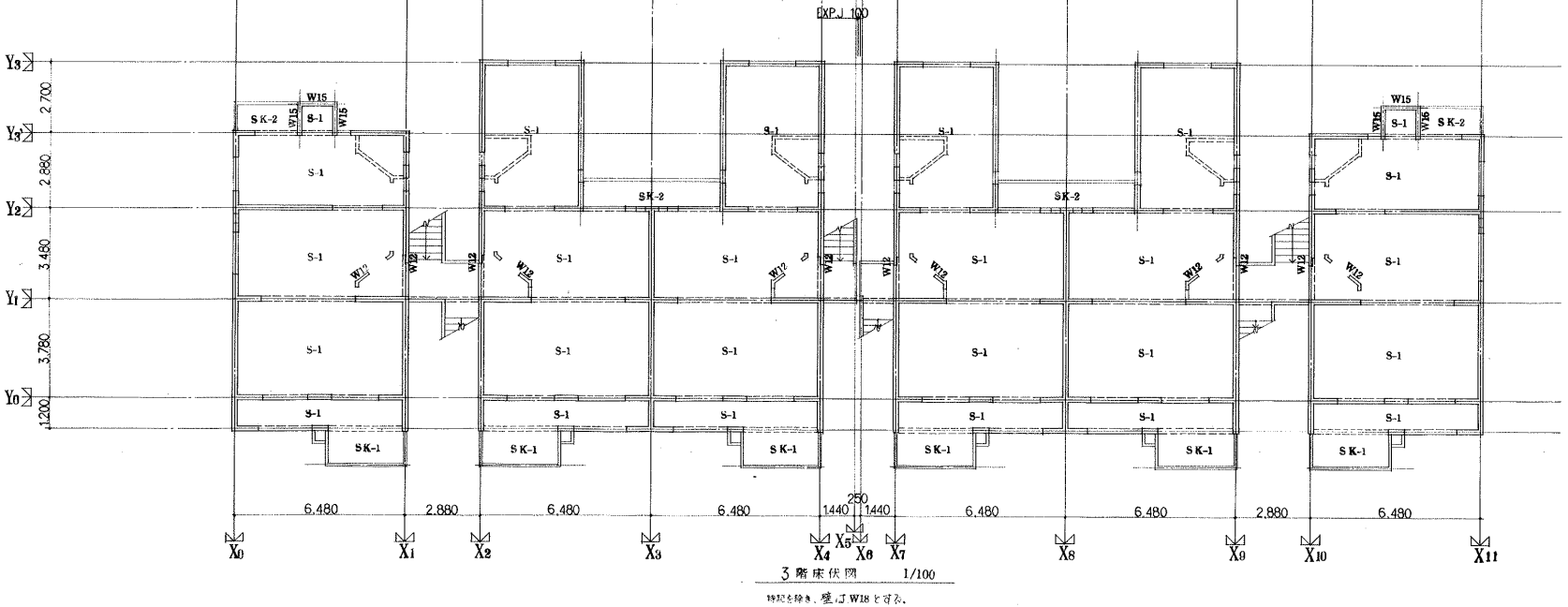
特記を除き、壁はW18とする。スラブについては資料参照。

▨部分は土間コンクリートとする。



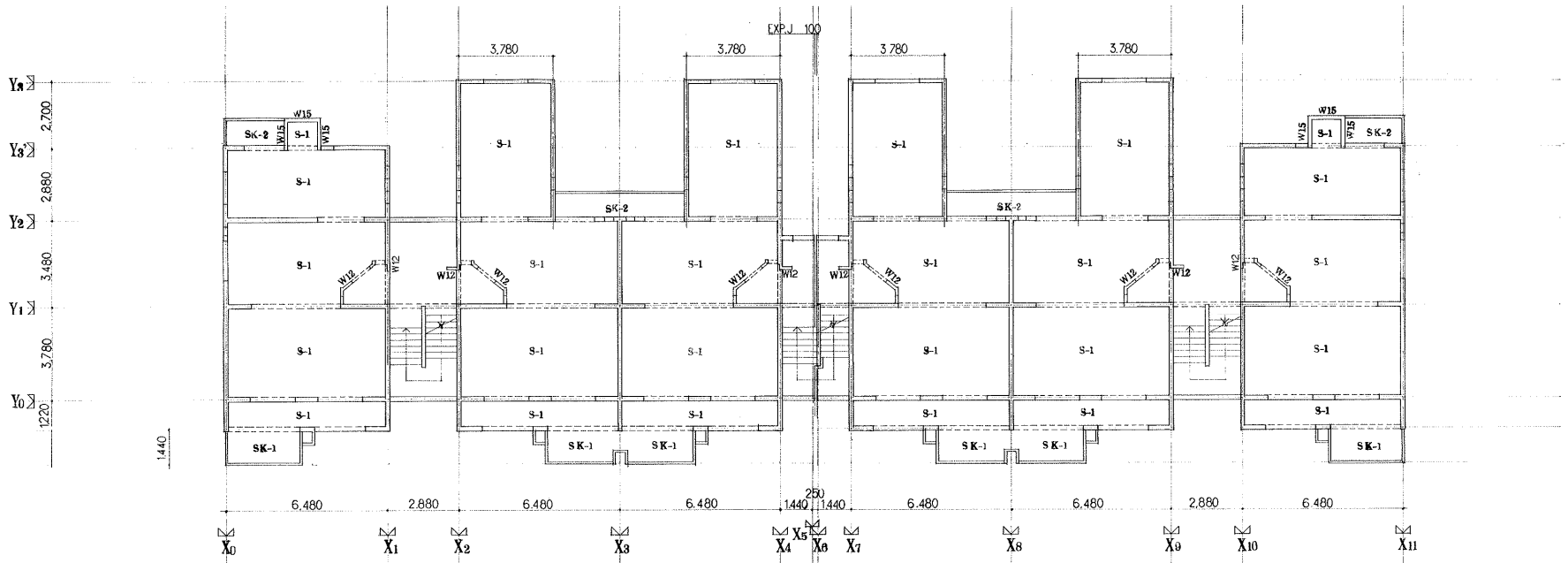
2階床伏図　1/100

特記を除き、壁は W18 とする。



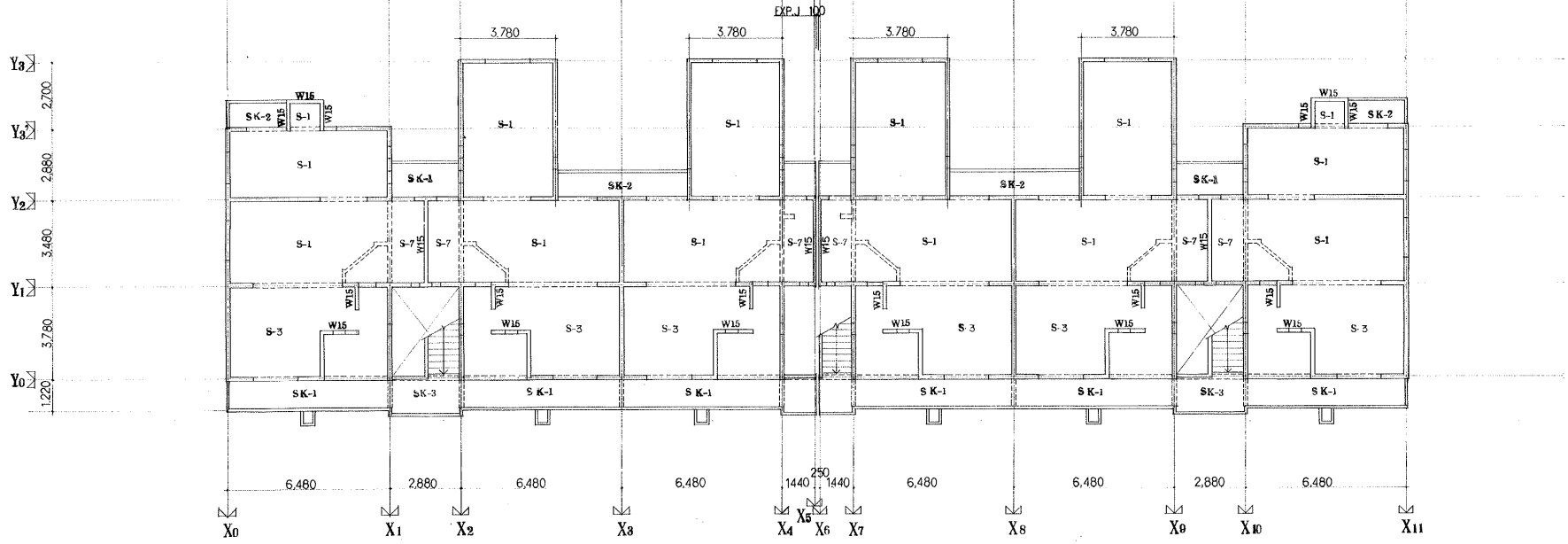
3階床伏図　1/100

特記を除き、壁は W18 とする。



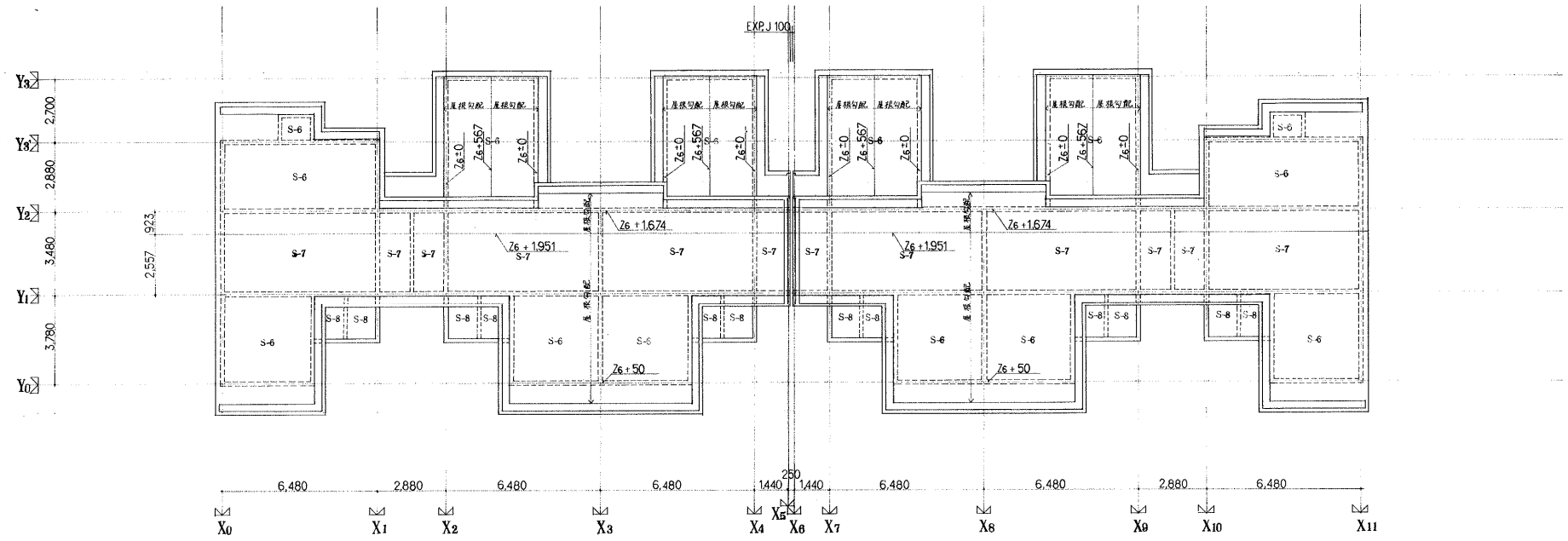
4 階床伏図 1/100

特記を除き 壁は W15 とする.



5 階床伏図 1/100

特記を除き 壁は W18 とする.


EXP.J 100
Y3
Y2
Y1
Y0
2,700
2,880
3,480
3,780
923
2,557
屋根勾配
Z6+0
Z6+567
Z6+1,674
Z6+1,951
Z6+50
S-6
S-7
S-8
6,480
2,880
1,440
250
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11

屋根伏図　1/100

既製杭打設工事共通事項

1. 一般則

本工事は既製杭打設専門業者の責任施工とする。工事に先立ち施工要領書及び計画書を提出し、監督員の承認を受けるものとする。

2. 工法

プレボーリング 直打工法

3. 材料

PHC パイル　φ=300.　設計杭耐力 R_a= 36 t/本

＊設計杭耐力は試験杭の結果により決定すること。

4. 施工

4-1 ・プレボーリング

オーガー径　D=300㎜

プレボーリング長　杭長 −15.0 m

・杭打機

ディーゼルハンマー　ラム重量 2.2t

・プレボーリング長は、現場にて、係員の指示により最終決定する。

・杭頭レベルはヤトコ使用にて基礎下所定レベルにセットすること。杭頭カットは原則として認めない。

4-2 溶接

溶接は手溶接 溶接とする

溶接工は JIS Z 3801　SN-2V 有資格者

最近6ヶ月以内に引張り試験実績にある者。

5. 施工記録及び報告書

施工記録は詳細に記録し、必要に応じて監督員に提示すること。

報告書は施工記録を添えて、監督員の指示に従い、提出すること。

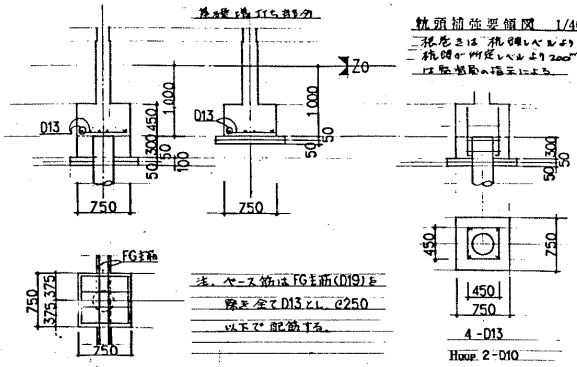
6. 安全と公害防止

工事は安全第一とする。又騒音、振動等公害に留意し、問題の生じない様、留意すること。

7. 杭長

杭長は図示によるが 試験杭の結果により最終決定することとする。

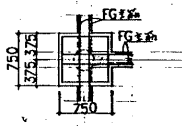
基礎配筋図　1/40

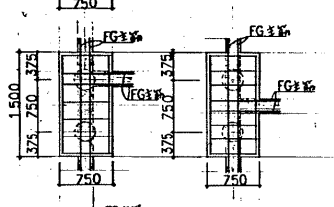


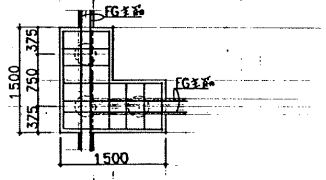
杭頭補強要領図　1/40

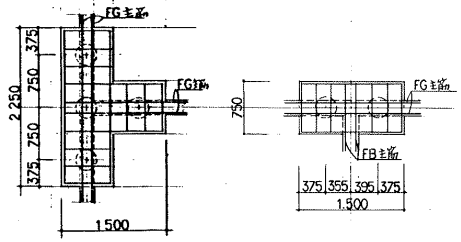
杭長さは、杭頭レベルより 300㎜ 以上とする。
杭頭が所定レベルより 200㎜ 以上下る場合は別途協議の指示による。

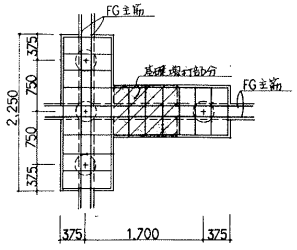
注．ベース筋はFG主筋(D19)を除き全てD13とし、@250以下で配筋する。

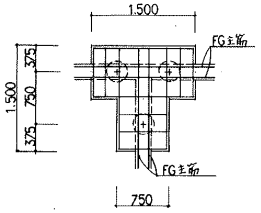












杭偏心時の割増リスト

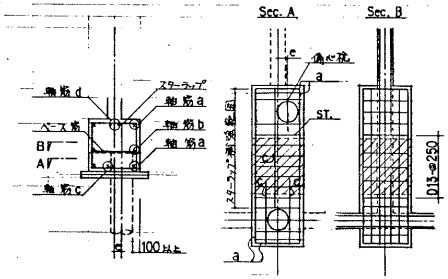
・偏心距離eの許容範囲は、60以下とする。60を越える場合は、

・監督員の指示により下図による。

偏心 距離	60 < e ≦ 125			125 < e ≦ 175			175 < e ≦ 200		
軸筋	a,b	c	d	a,b	c	d	a,b	c	d
	1-D13	—	2-D10	1-D13	1-D13	2-D13	1-D16	1-D13	2-D13
スターラップ	D10 − @200			D10 − @150			D13 − @250		

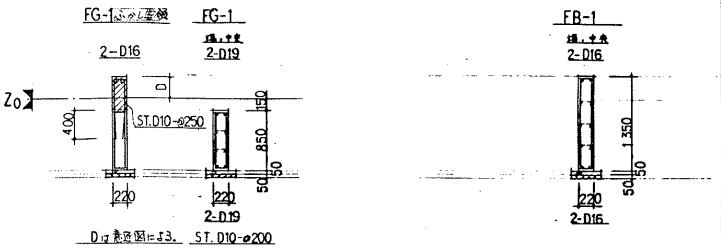
注1. e>200の場合は監督員と協議する。

注2. 杭偏心が地中梁内胸壁上で生じた場合は、割増の必要はない。(e≦200)

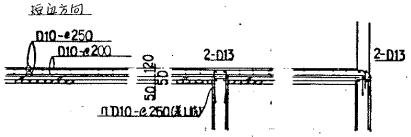


地中梁断面表　1/40

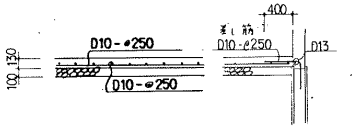
特記なき ST D10−@250，補強筋 D10，やまと筋 D10−@750



1F コンクリートスラブ配筋要領図　1/40

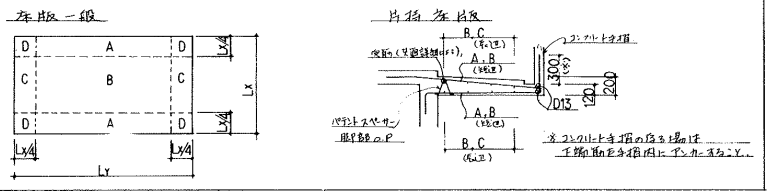


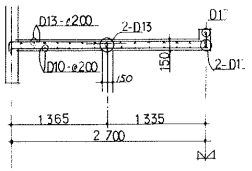
土間コンクリート配筋図　1/40



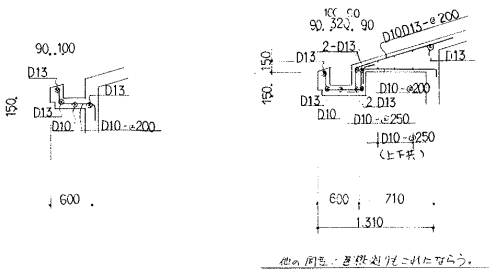
床版配筋リスト

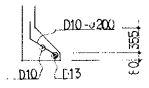
符号	版厚	位置 (CM)	短辺方向 端部A	短辺方向 中央部B	短辺方向 両端部CD	長辺方向 端部C	長辺方向 中央部B	長辺方向 両端部AD
S-1	15	上端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
		下端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
S-2	18	上端筋	D10, D13-@200		D10,D13-@200	D10-@200		D10-@200
		下端筋	D10, D13-@200		D10,D13-@200	D10-@200		D10-@200
S-3	15	上端筋	D13-@100		D10, D13-@200	D10, D13-@200		D10, D13-@200
		下端筋	D13-@100		D10, D13-@200	D10, D13-@200		D10, D13-@200
S-4	15	上端筋	D13-@100		D13-@100	D10-@200		D10-@200
		下端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
S-5	15	上端筋	D13-@200		D13-@200	D13-@200		D13-@200
		下端筋	D13-@200		D13-@200	D10-@200		D10-@200
S-6	15	上端筋	D10-@100		D10-@200	D10-@200		D10-@200
		下端筋	D10-@200		D10-@200	D10-@200		D10-@200
S-7	18	上端筋	D10, D13-@200		D10, D13-@200	D10, D13-@200		D10, D13-@200
		下端筋	D10, D13-@200		D10, D13-@200	D10, D13-@200		D10, D13-@200
SK-1	20~12	上端筋	D13-@150			D10-@250		
		下端筋	D10-@300			D10-@250		
SK-2	20~12	上端筋	D13-@200			D10-@250		
2A	18~12	下端筋	D10-@200			D10-@250		
SK-3	20~12	上端筋	D13-@100			D10-@250		
		下端筋	D10-@200			D10-@250		



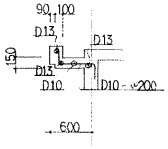


雑詳細図 1/40

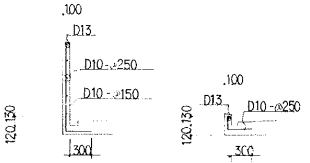


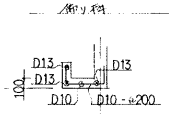


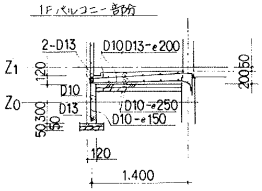
.450.

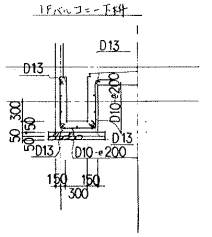


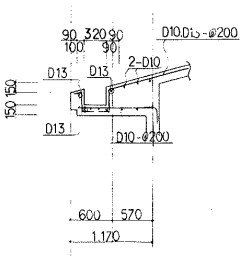




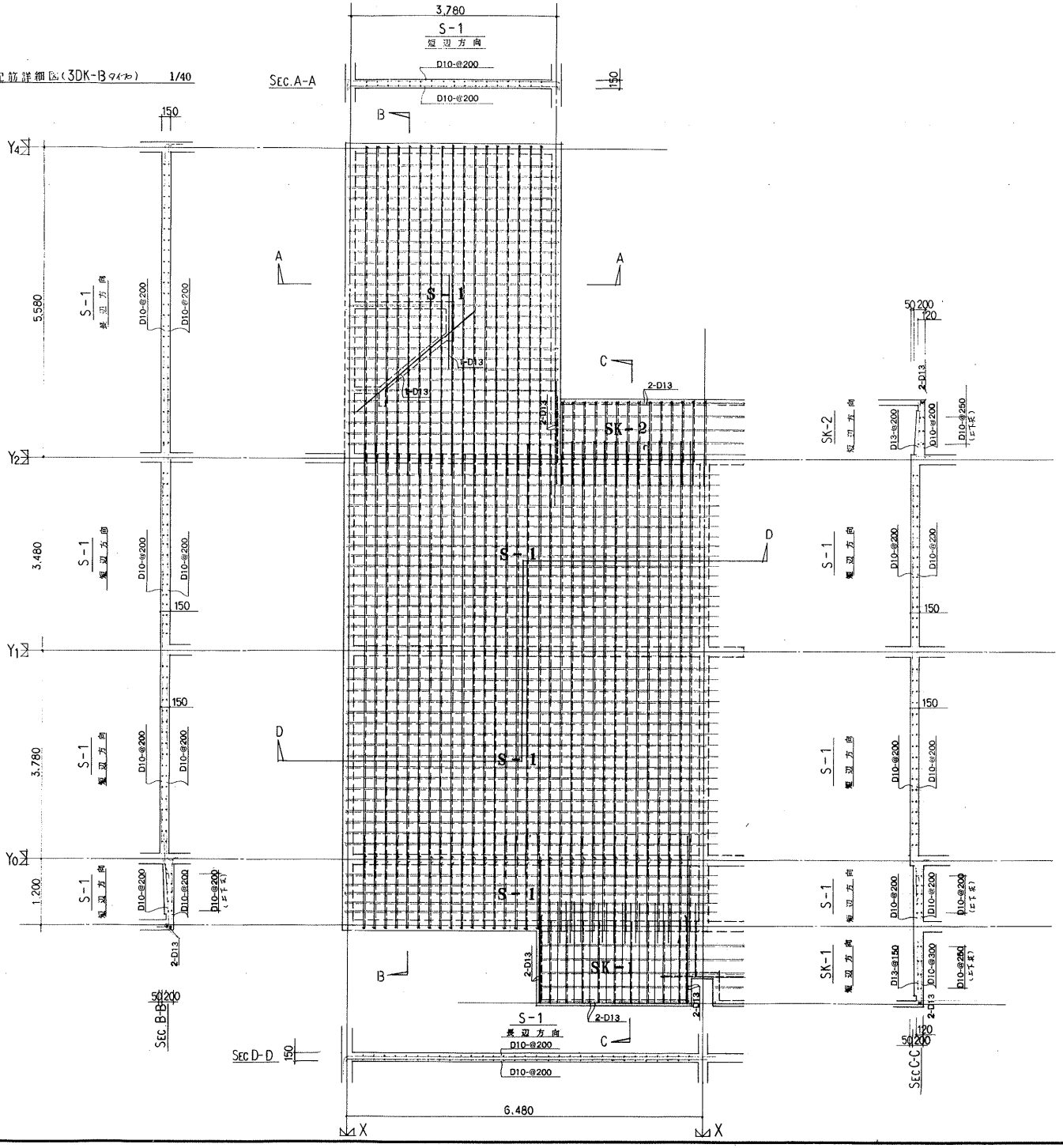




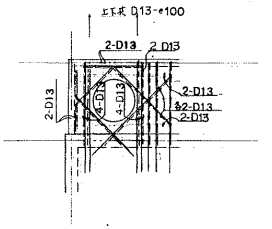


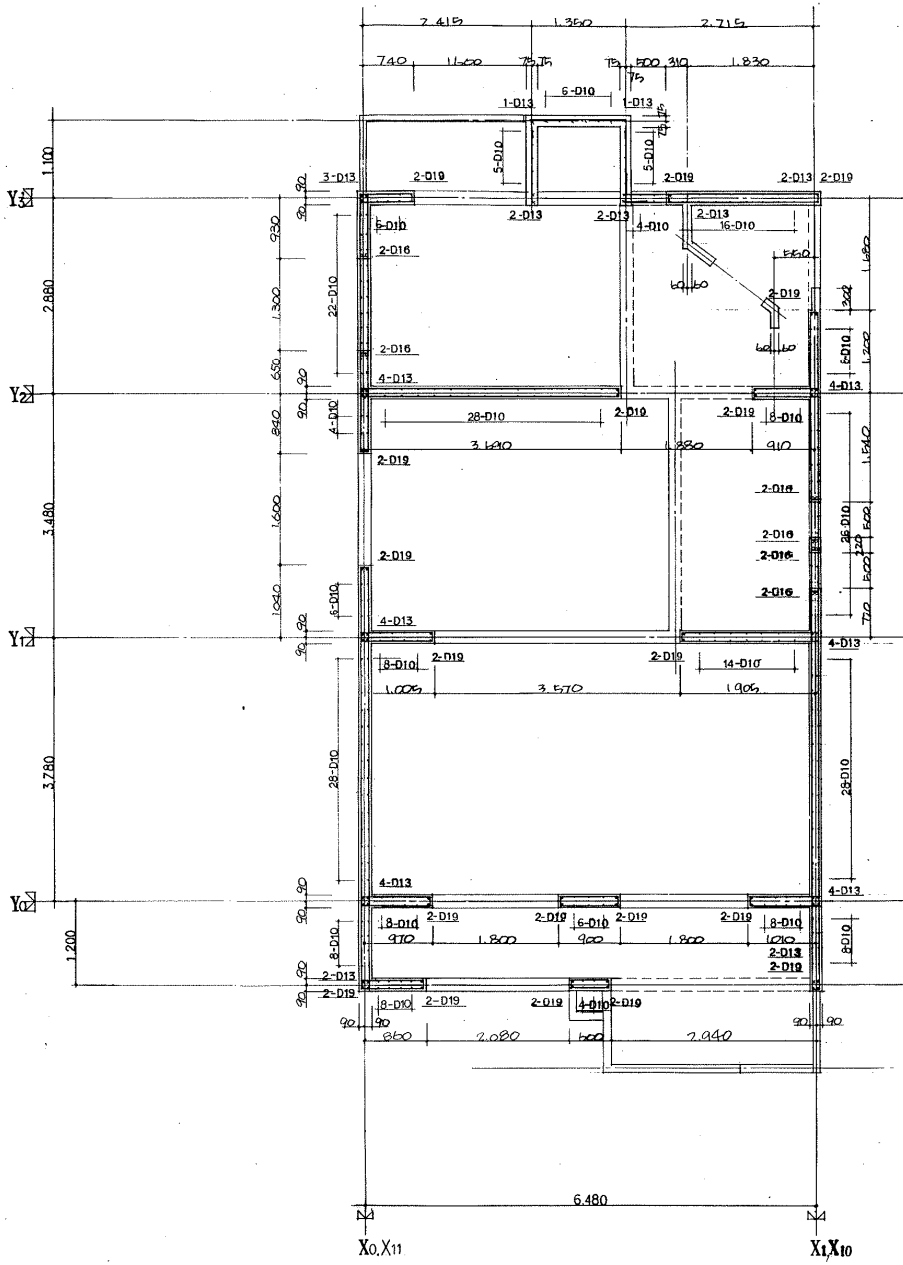


床版配筋詳細図（3DK-Bタイプ） 1/40

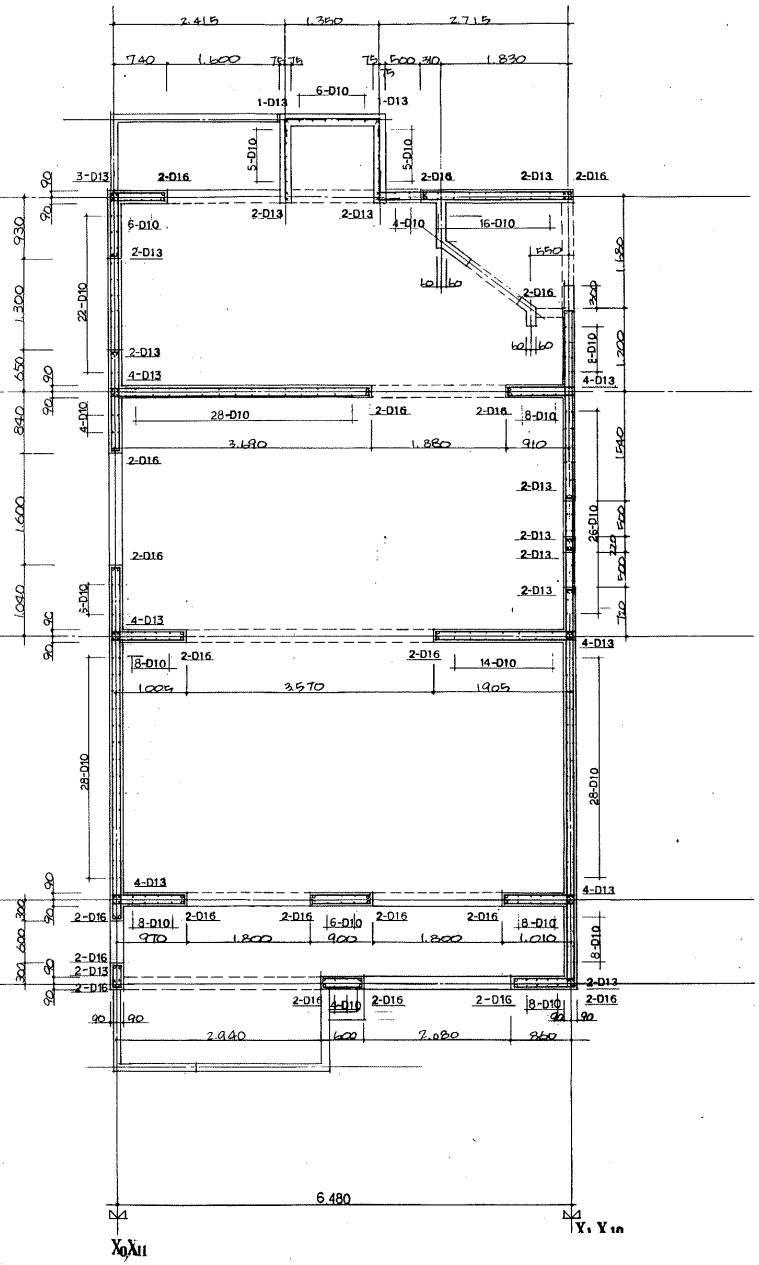


避難ハッチ開口補強帯筋 1/40

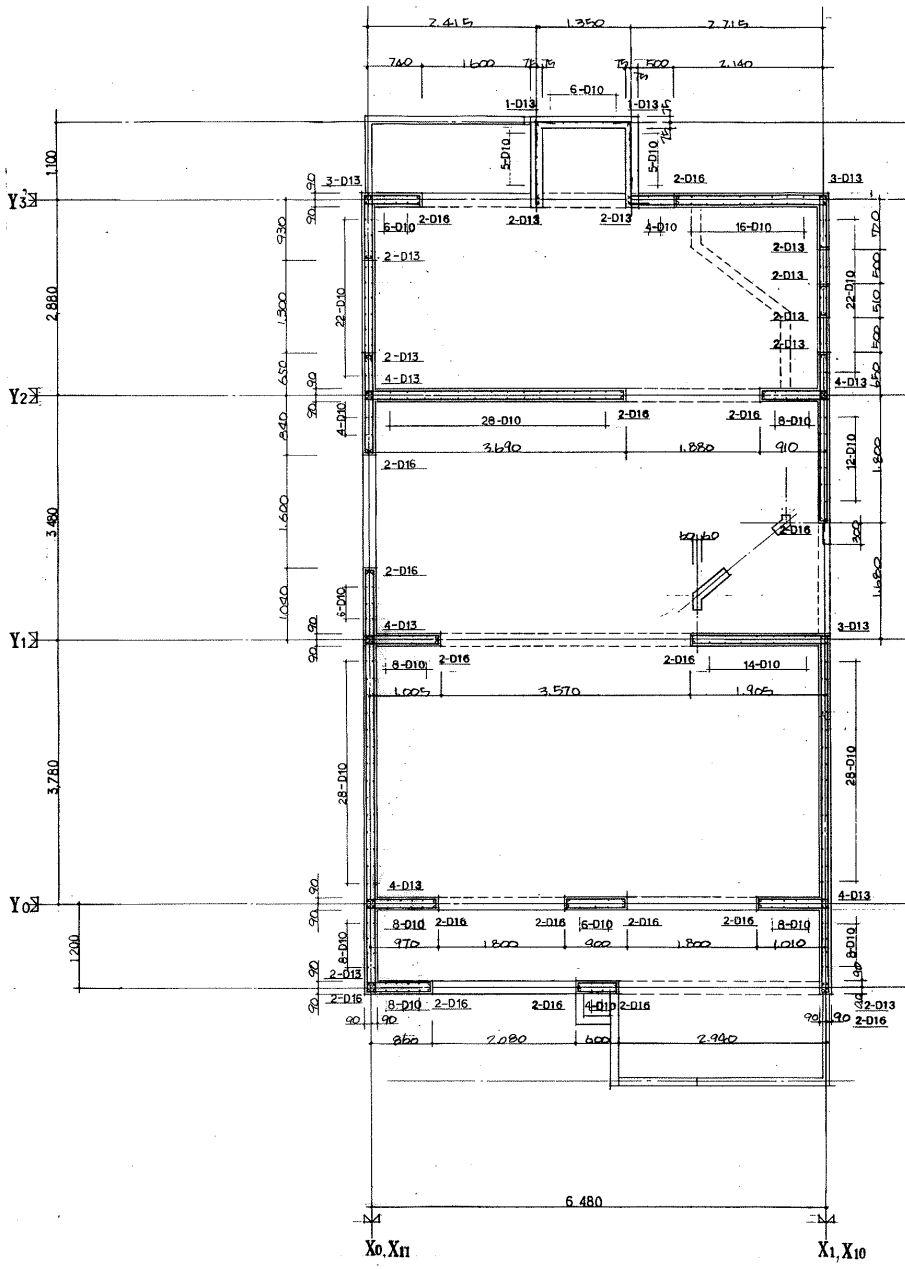




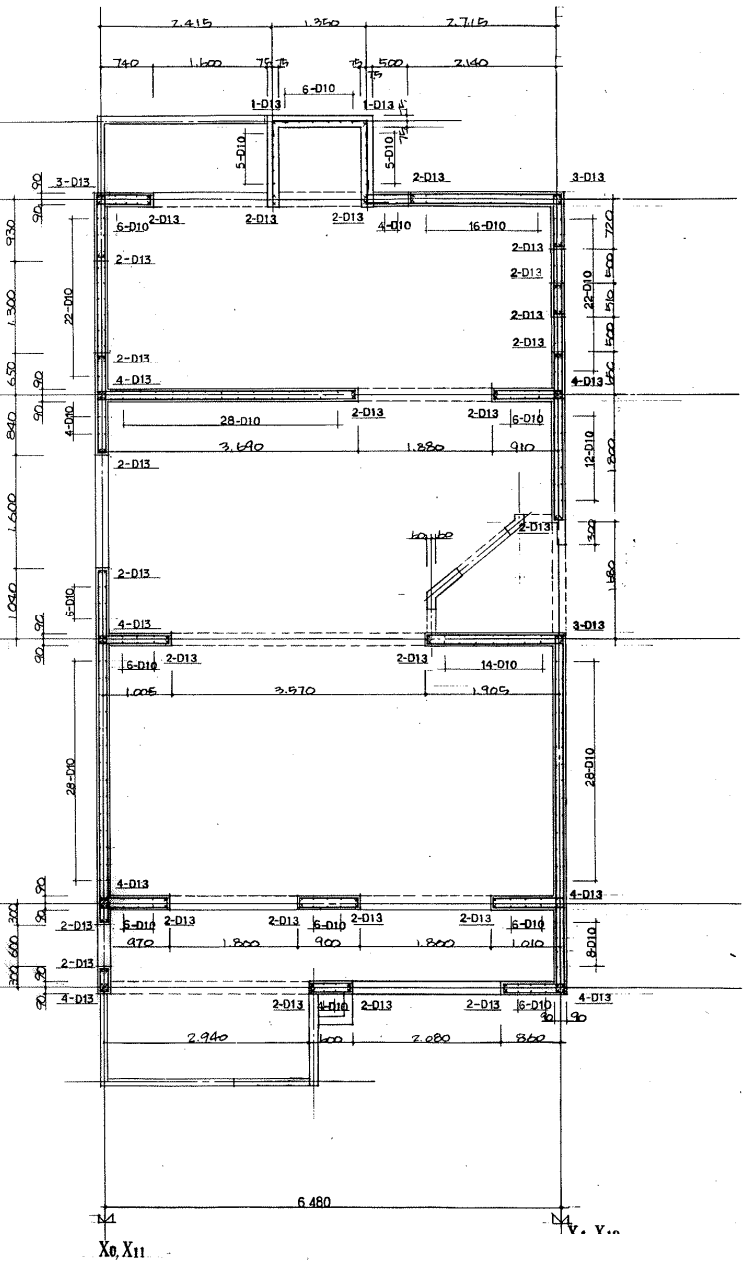
3DK-A.1F 壁平面配筋図 1/40



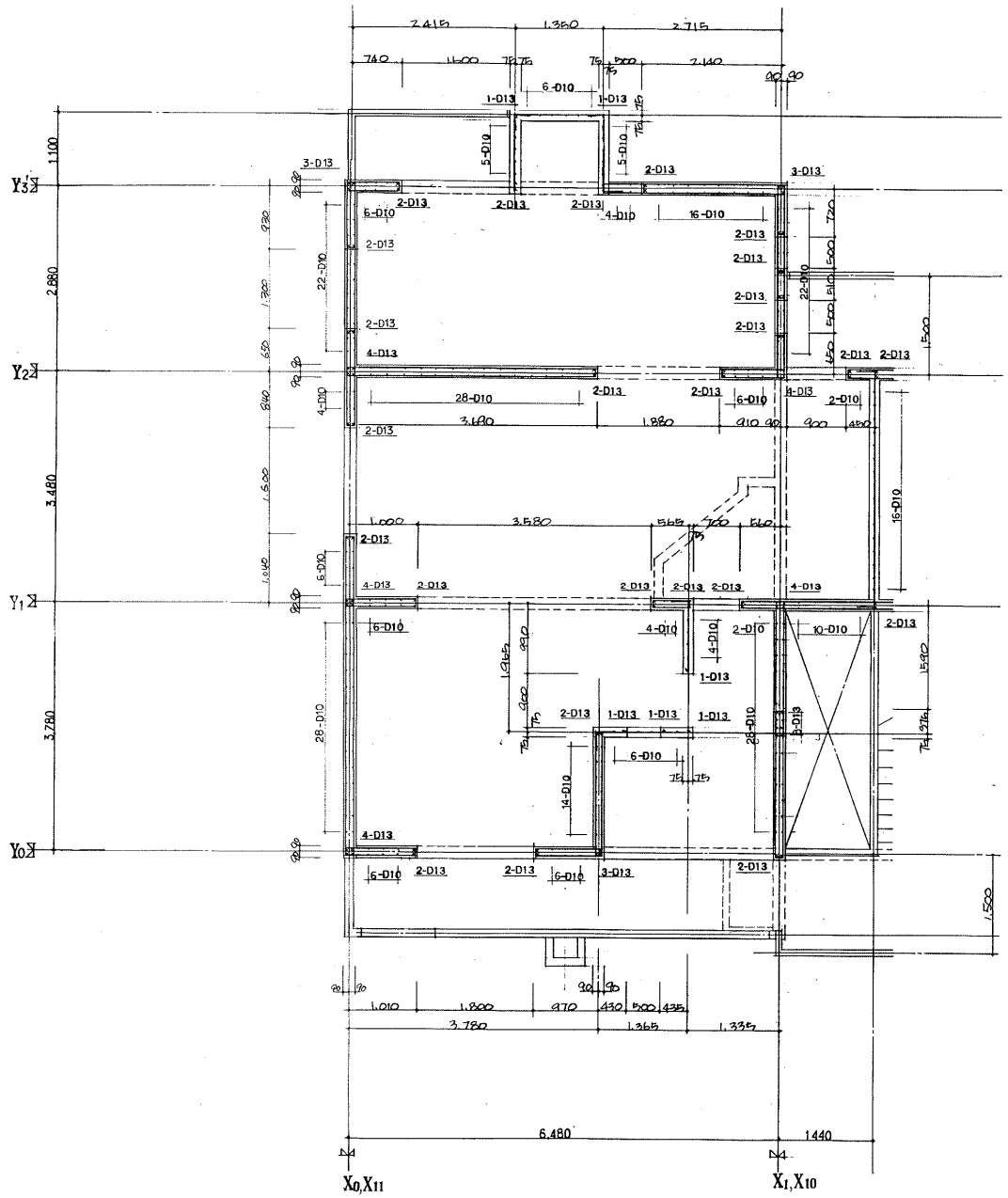
3DK-A.2F 壁平面配筋図 1/40

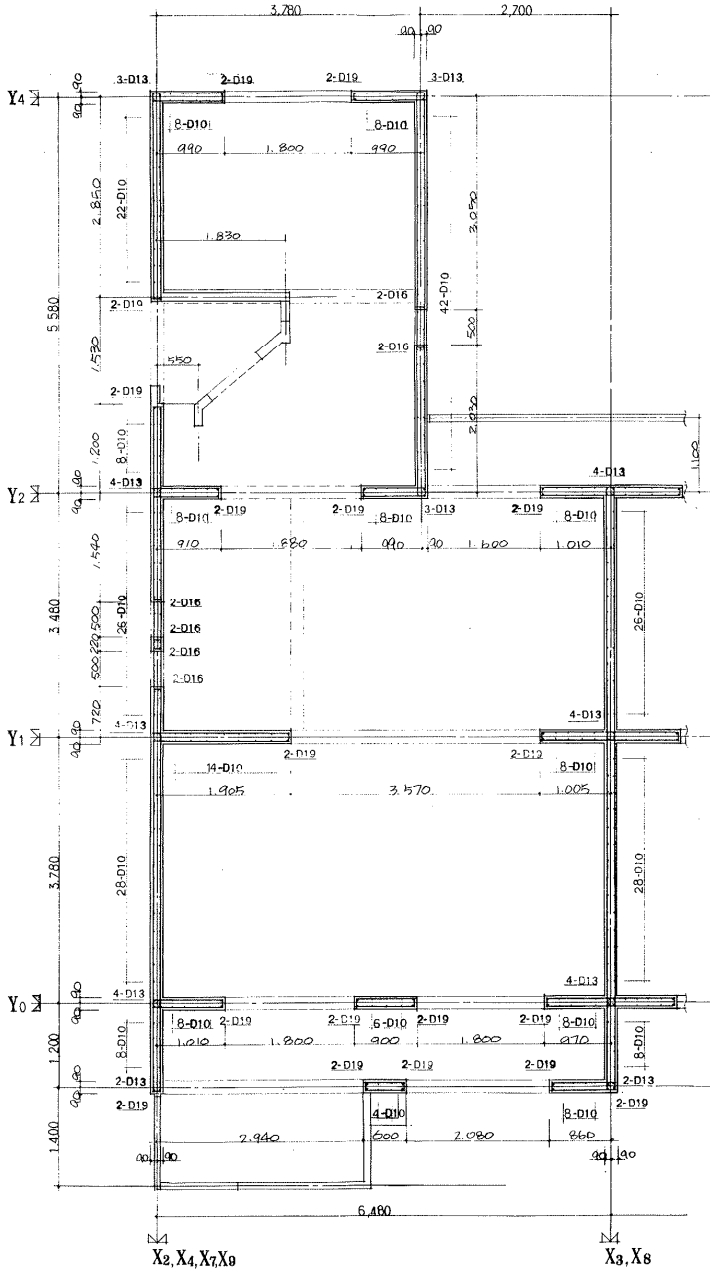


3DK-C. 3F 壁 平 面 配 筋 図　1/40

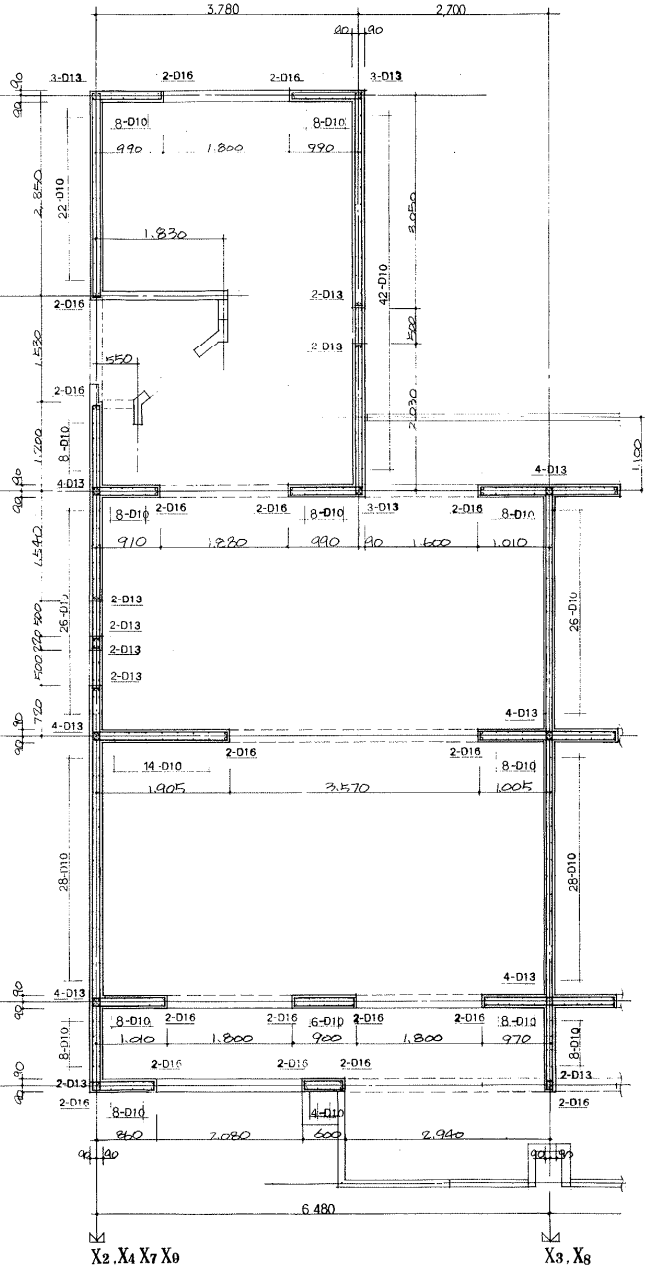


3DK-C. 4F 壁 平 面 配 筋 図　1/40

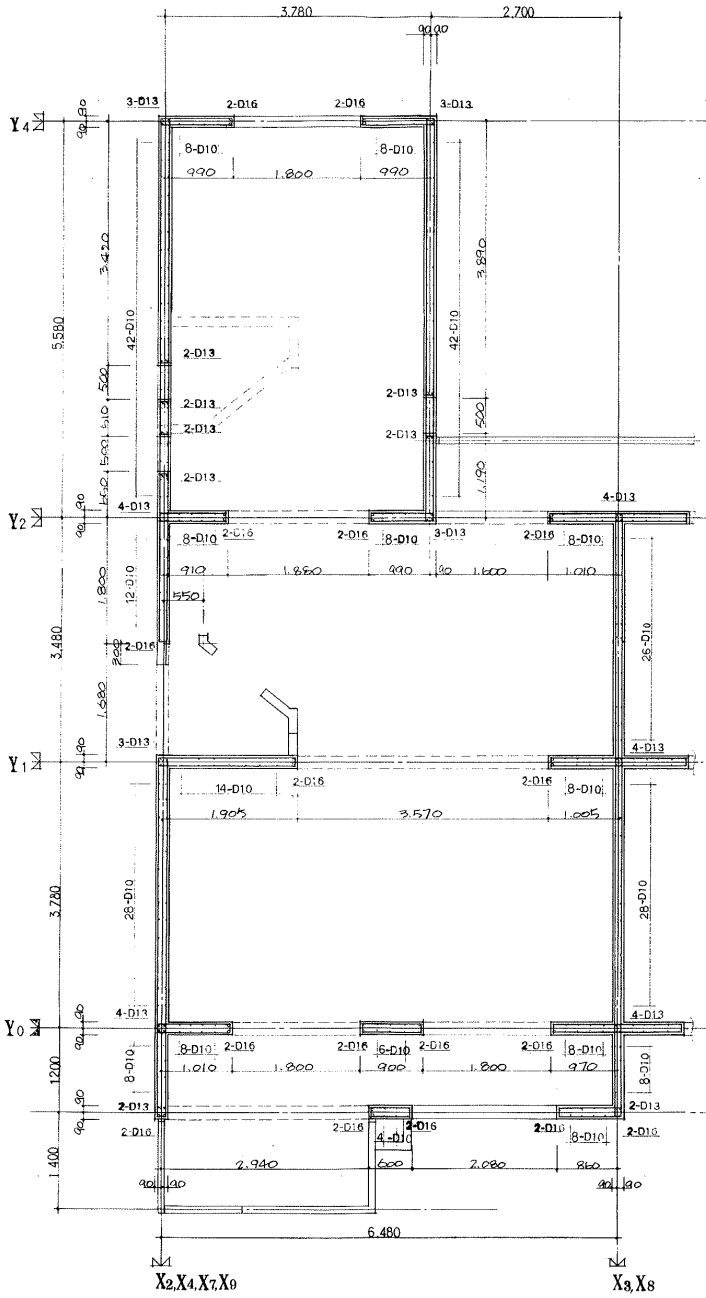

Y3
Y2
Y1
Y0
X0,X11
X1,X10
6,480
1440
3DK-E, 5F 壁 平 面 配 筋 図
1/40



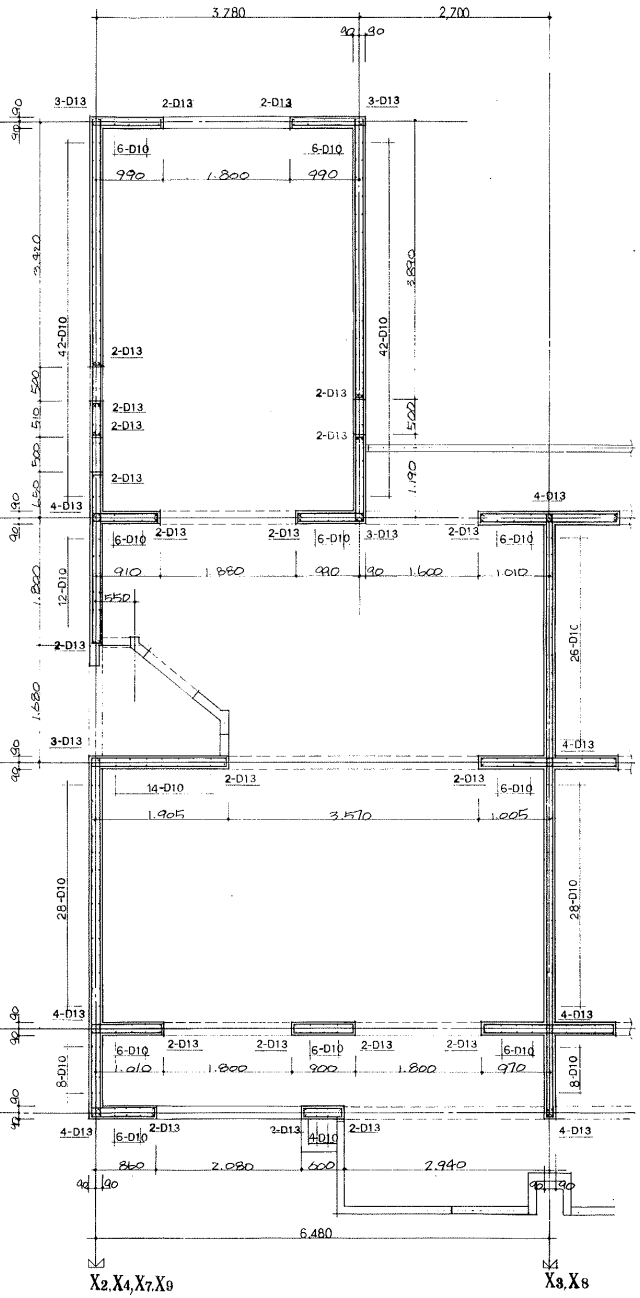
3DK-B. 1F 壁平面配筋図 1/40



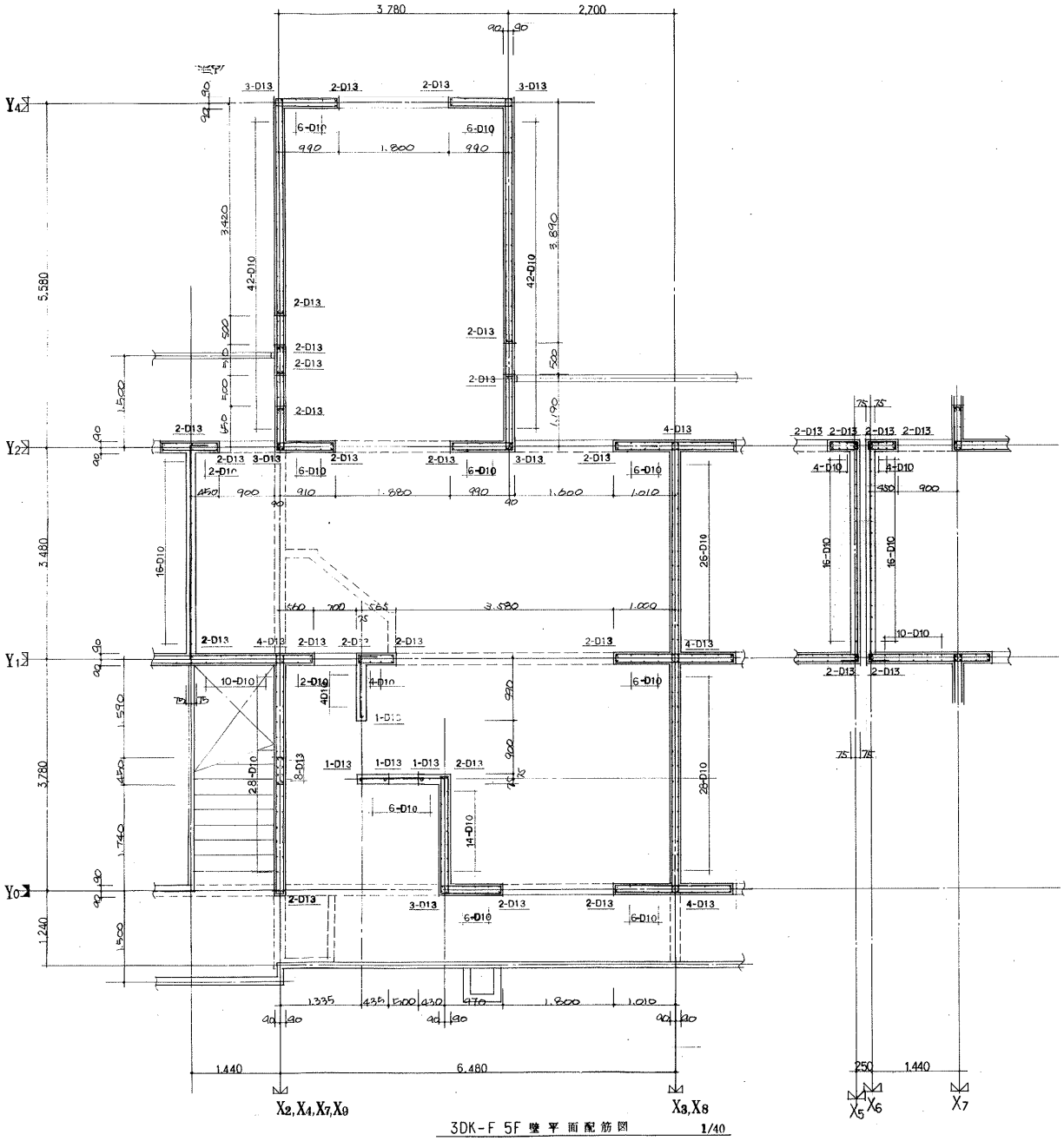
3DK-B. 2F 壁平面配筋図 1/40



3DK-D. 3F 壁 平 面 配 筋 図　　1/40

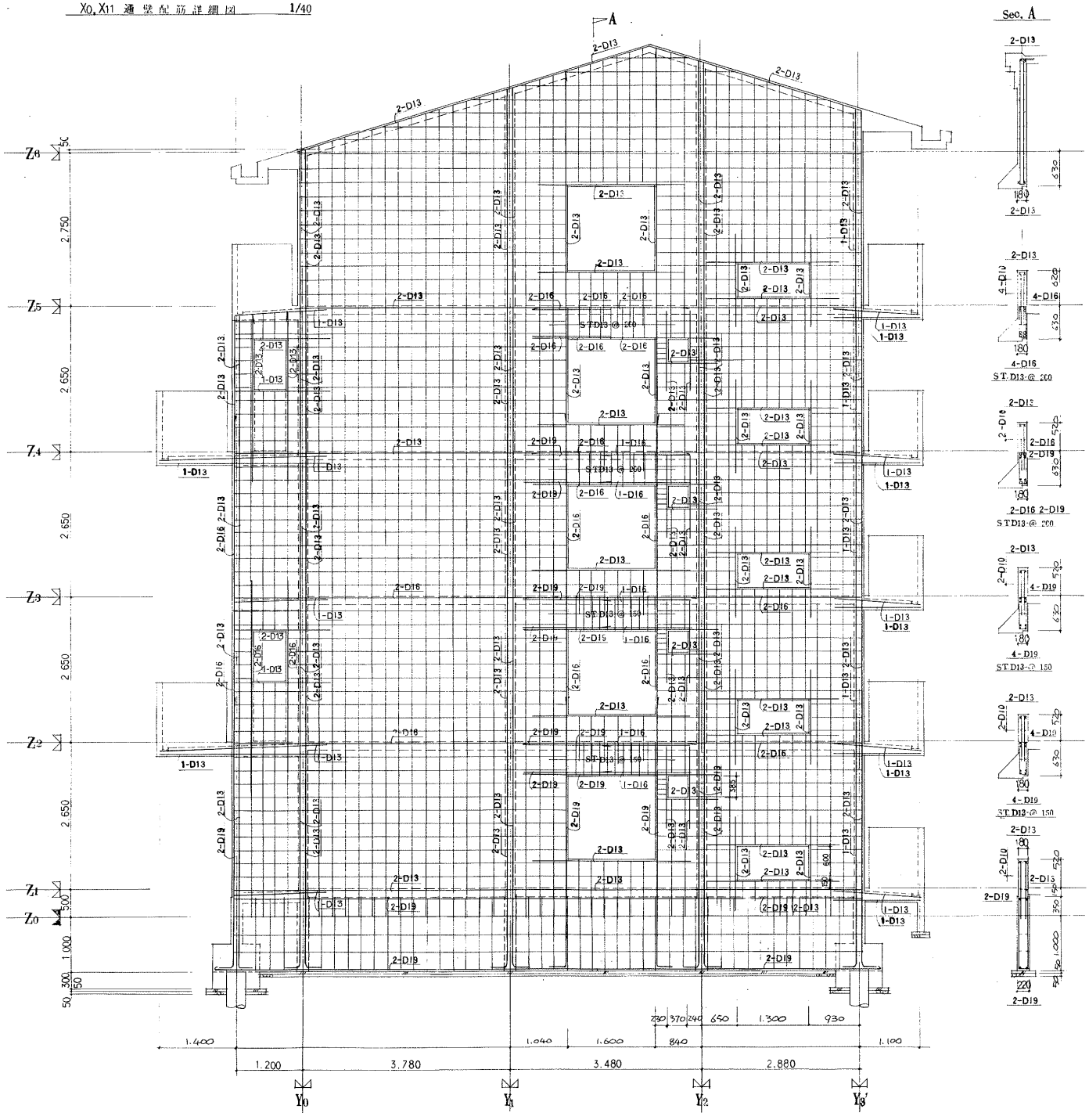


3DK-D. 4F 壁 平 面 配 筋 図　　1/40



3DK-F 5F 壁 平 面 配 筋 図　1/40

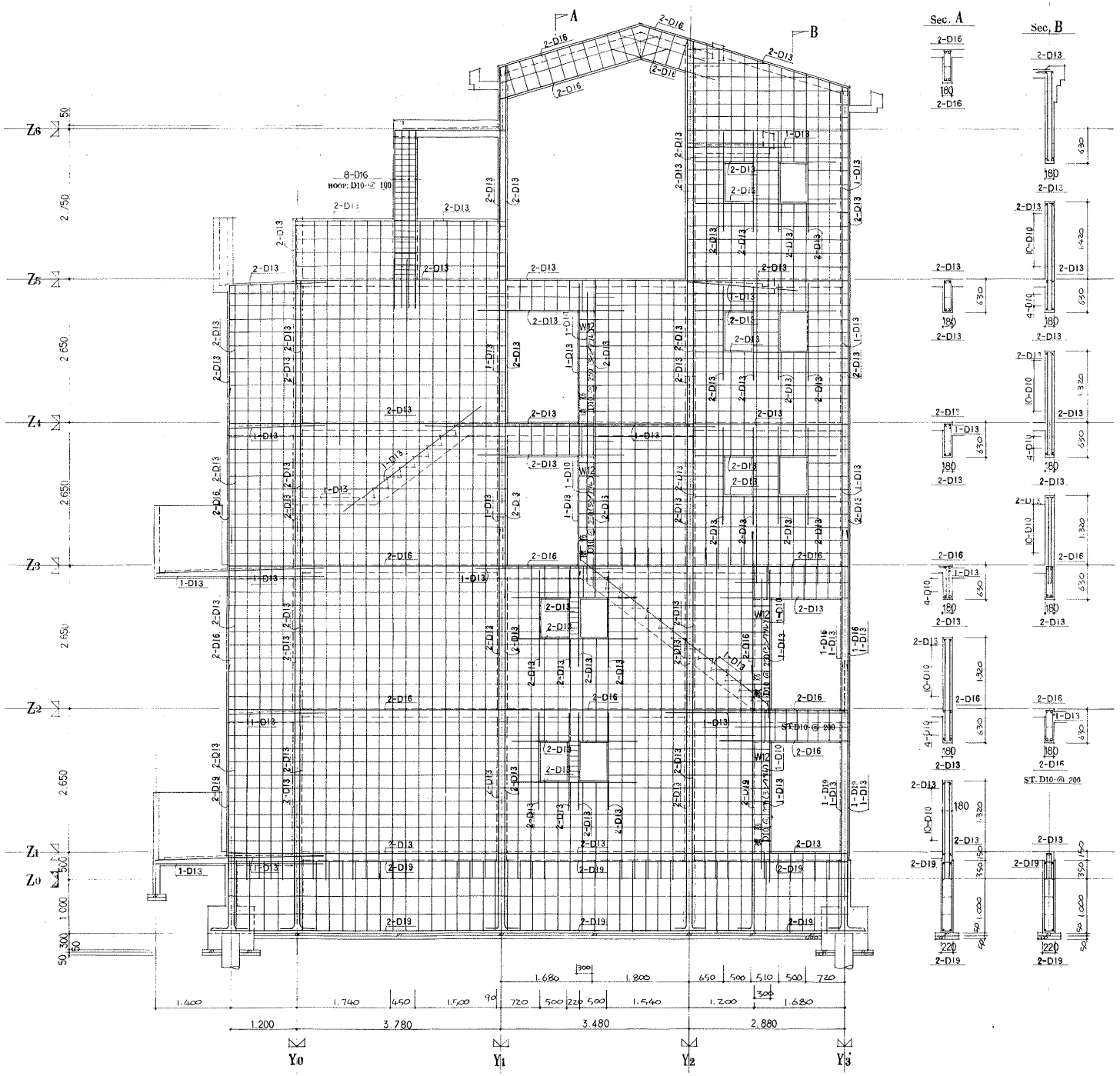
X0, X11 通壁配筋詳細図　1/40



Sec. A

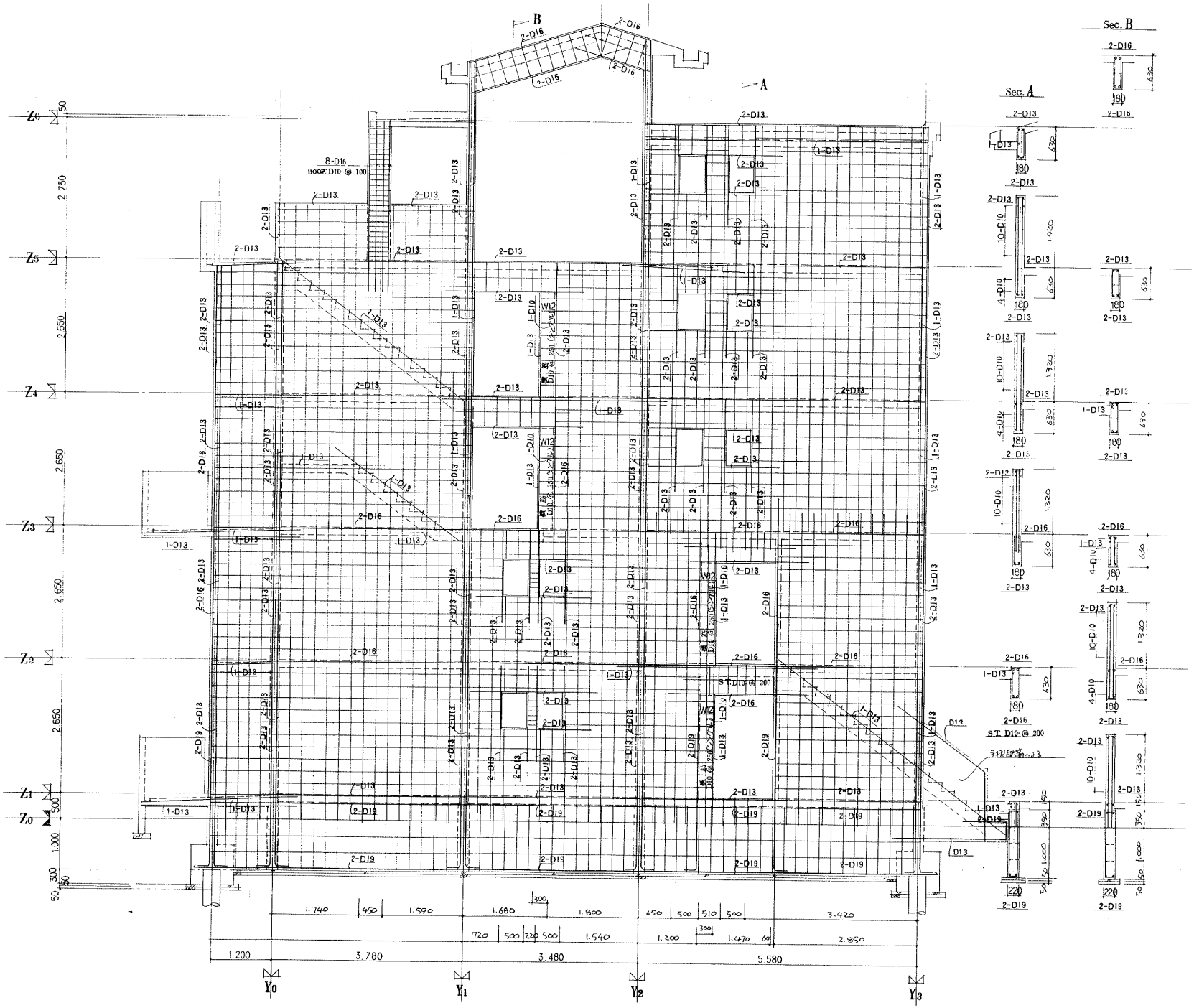
共通事項		
特記を除き	壁	V-13
	壁筋	D13-@250(ダブル)
	スターラップ	壁梁 D13-@250
		地中梁 D10-@250
	腹筋	D10
	中止メ筋	壁 D10-1ヶ所
		壁梁 D10-@ST.3ヶ所
		地中梁 D10-@ST.3ヶ所

X1, X10通 壁配筋詳細図　1/40



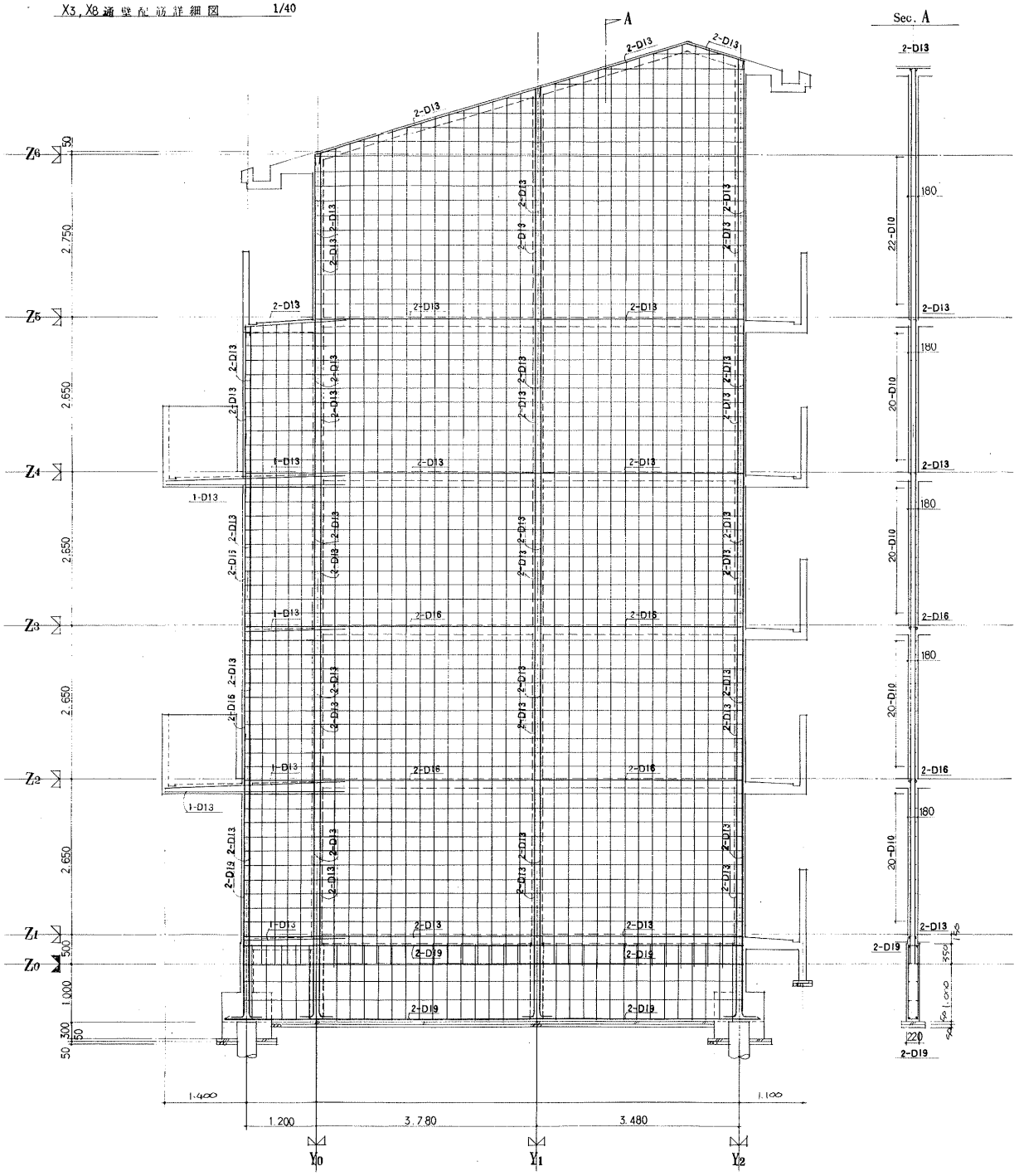
共通事項			
特記を除き	壁		W1,2
	壁	筋	横筋　D13-@250(ダブル)
	スターラップ		縦筋　D10-@250
			地中梁　D10-@250
	腹筋		D10
	串止メ筋		壁　D10- 1ヶ所
			壁梁　D10-@ST. 3本/各
			地中梁　D10-@ST. 3本/各

X2,X7,X9 通壁配筋詳細図　1/40



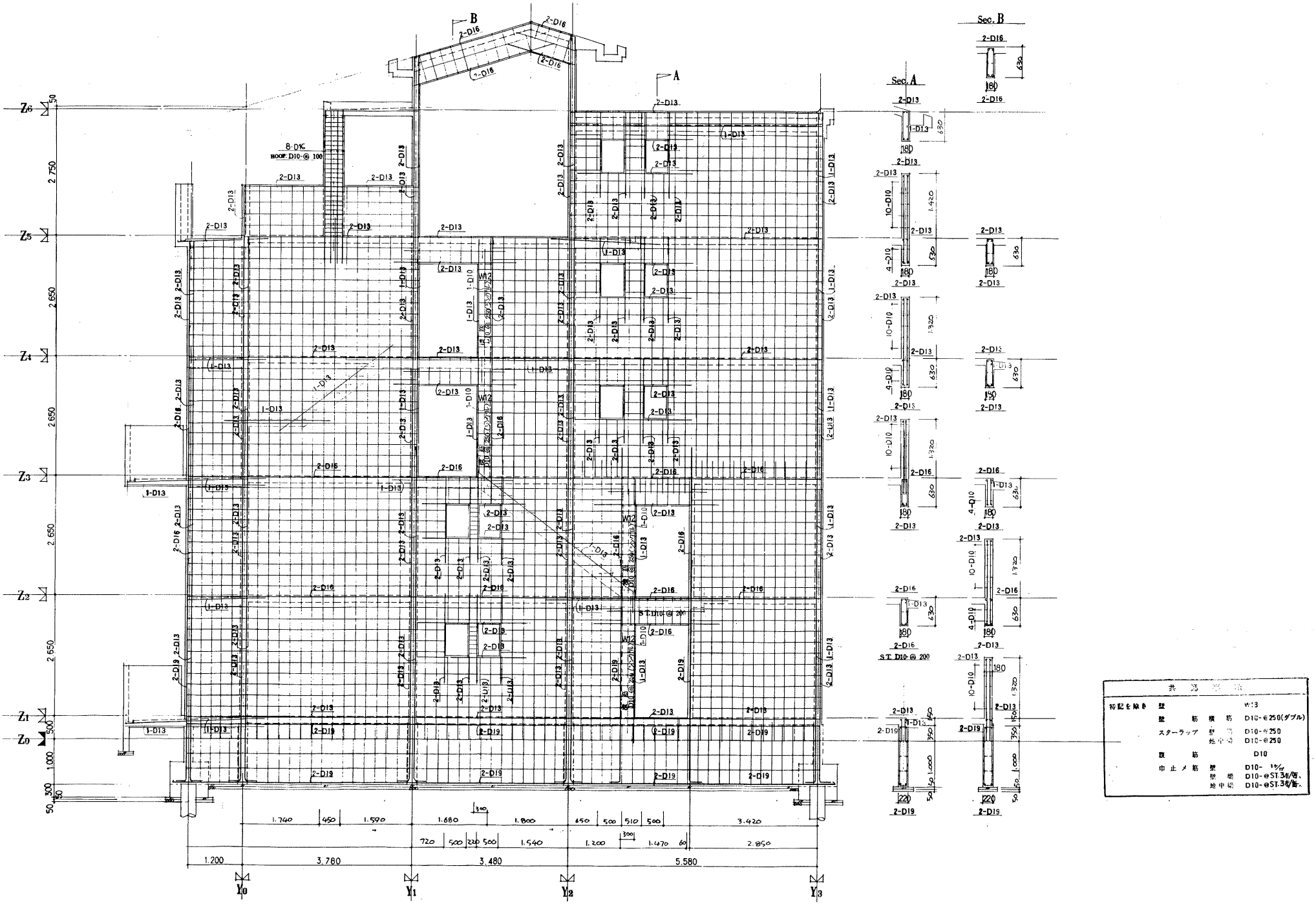
共通事項		
特記を除き	壁	W:3
	壁筋	横筋 D10-@250(ダブル)
	スターラップ	壁筋 D10-@250
		地中梁 D10-@250
	腹筋	D10
	巾止メ筋	壁 D10- 1ヶ所
		壁梁 D10-@ST.3ヶ所
		地中梁 D10-@ST.3ヶ所

X3, X8通壁配筋詳細図　1/40



共通事項		
特記を除き	壁	W18
	壁筋 横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ 壁筋	D10-@250
	地中梁	D10-@250
	腹筋	D10
	巾止メ筋 壁	D10-@ST.3本/㎡
	壁梁	D10-@ST.3本/箇
	地中梁	D10-@ST.3本/箇

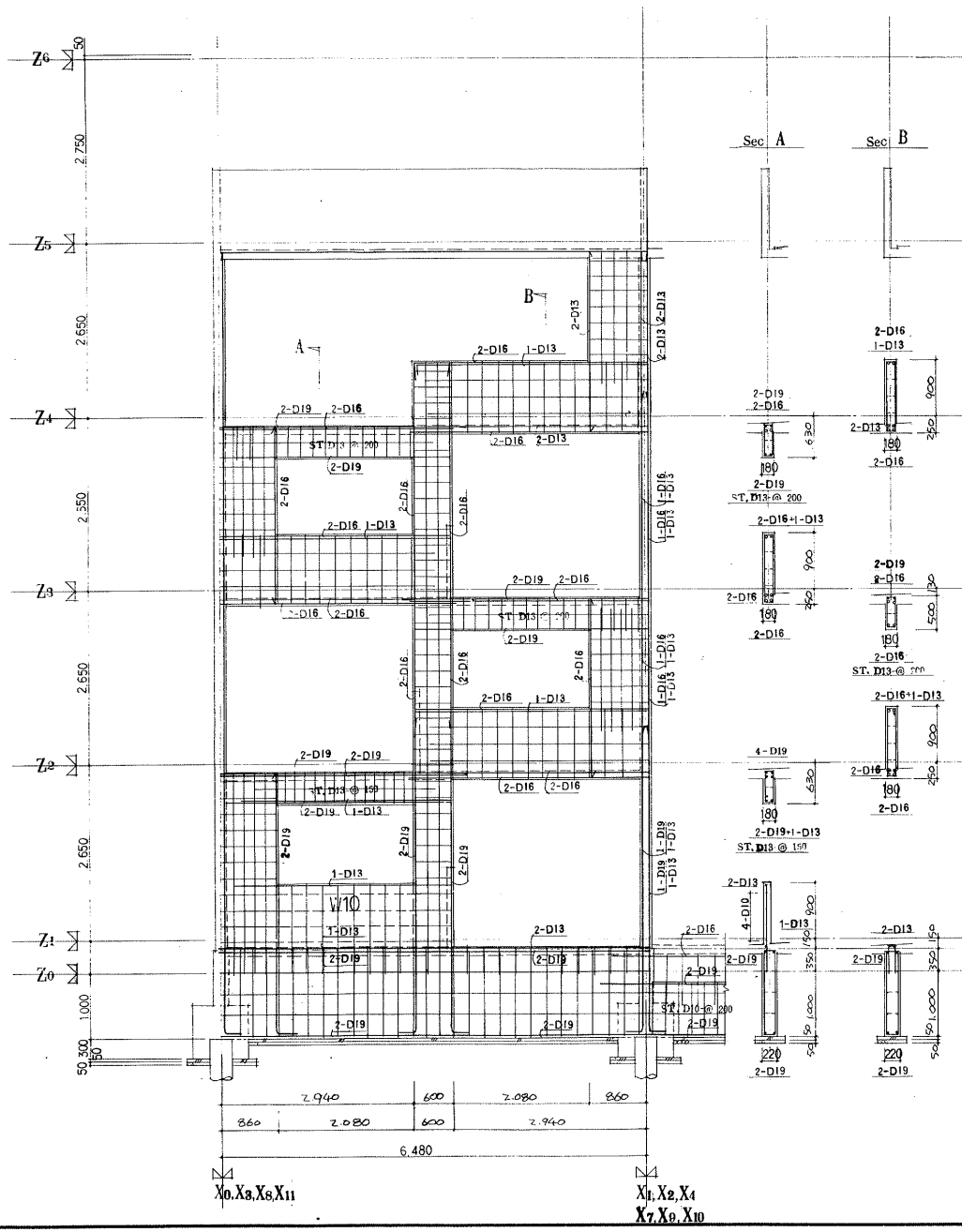
X4通壁配筋詳細図　1/40



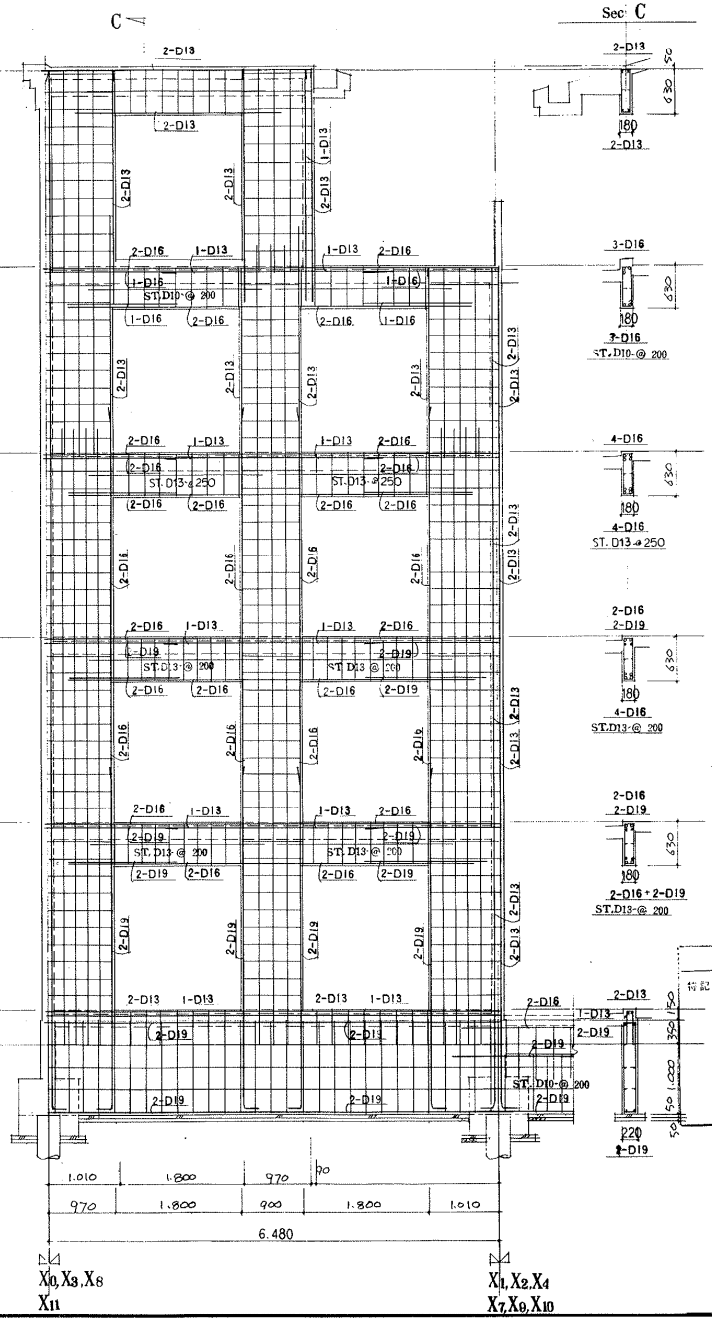
共通事項

特記を除き	壁		W13
	壁筋	横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ	壁	D10-@250
		地中梁	D10-@250
	腹筋		D10
	中止メ筋	壁	D10- 1ヶ/㎡
		壁梁	D10-@ST.3ヶ/箇所
		地中梁	D10-@ST.3ヶ/箇所

Y0-1.2 通壁配筋詳細図 1/40



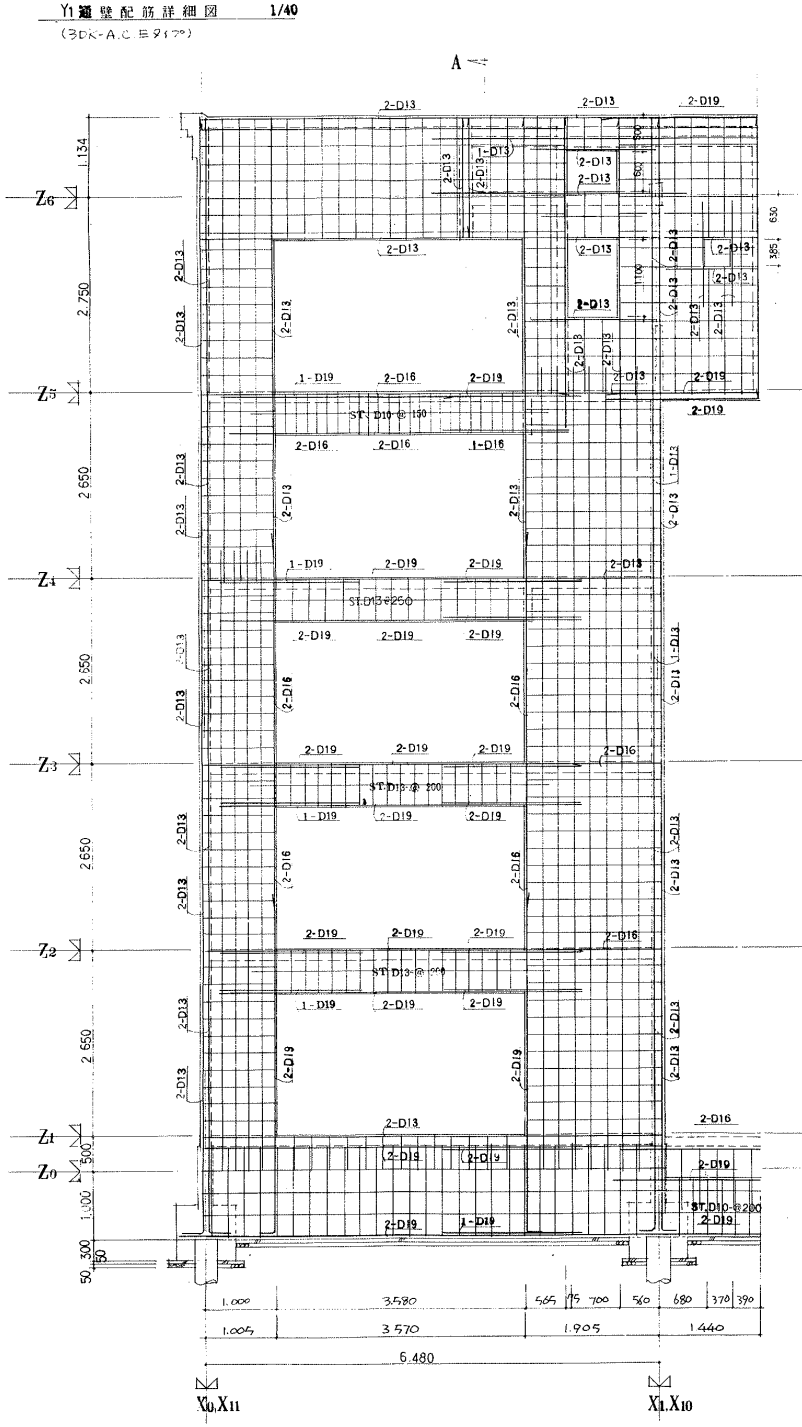
Y0 通壁配筋詳細図 1/40

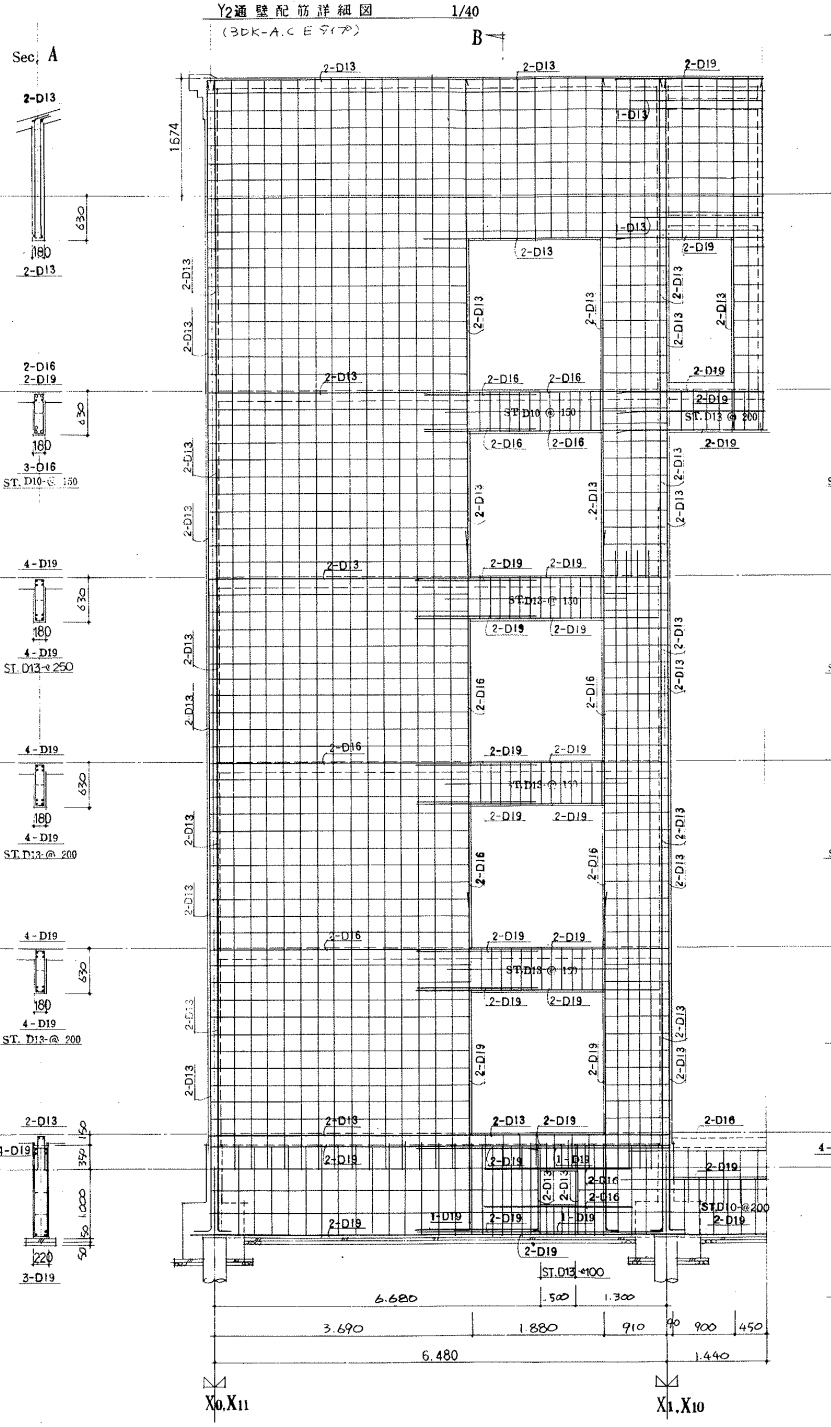


凡 例			
特記を除き	壁		W10
	壁筋	横筋	D10-@250(ダブル)
スターラップ	壁梁		D10-@250
	地中梁		D10-@250
腹筋			D10
中止メ筋	壁		D10- 1/2
	壁梁		D10-@ST.3/6
	地中梁		D10-@ST.3/6

Y1通 壁配筋詳細図 1/40

(3DK-A.C Bタイプ)



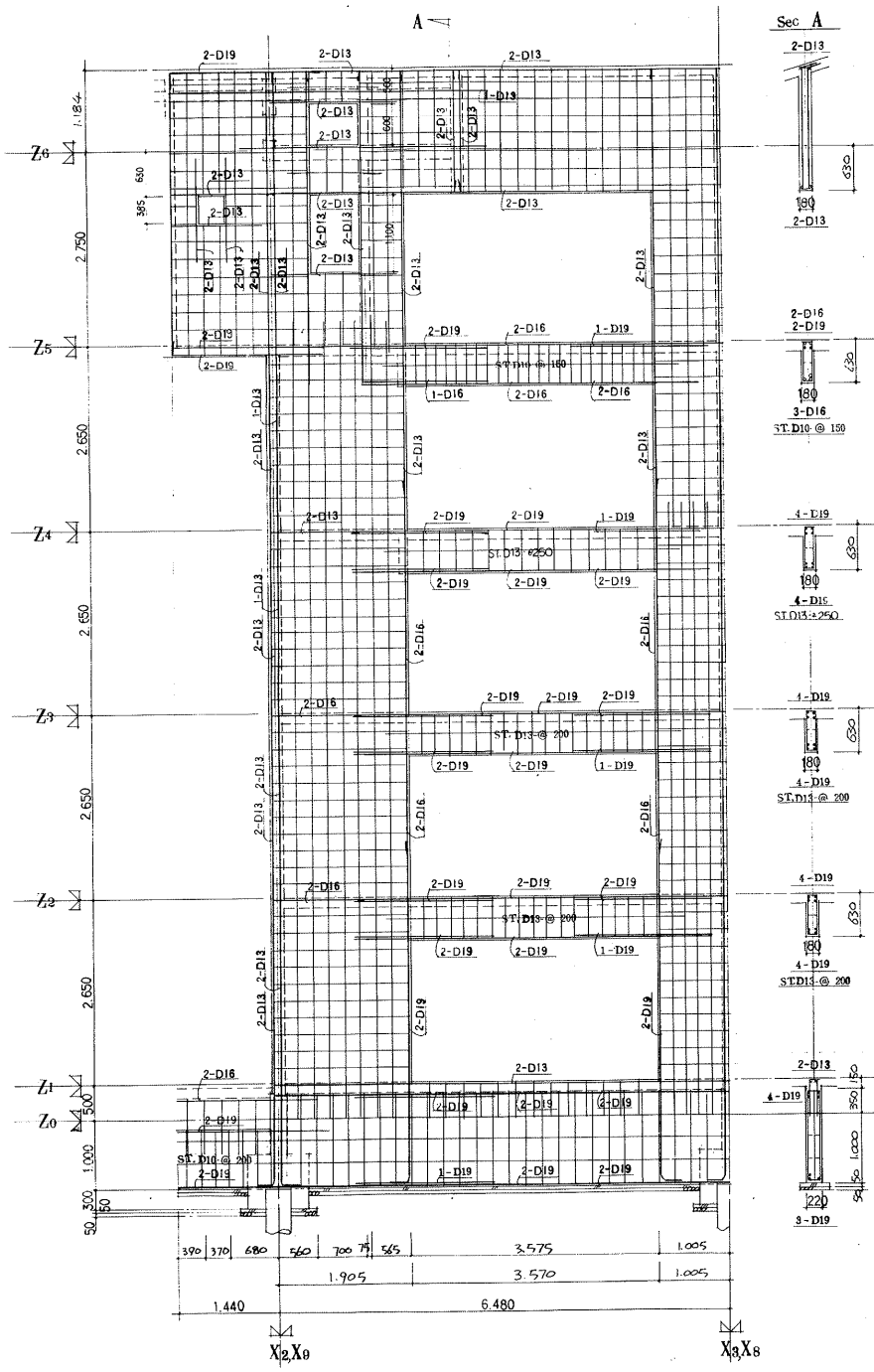


Y2通 壁配筋詳細図 1/40

(3DK-A.C Eタイプ)

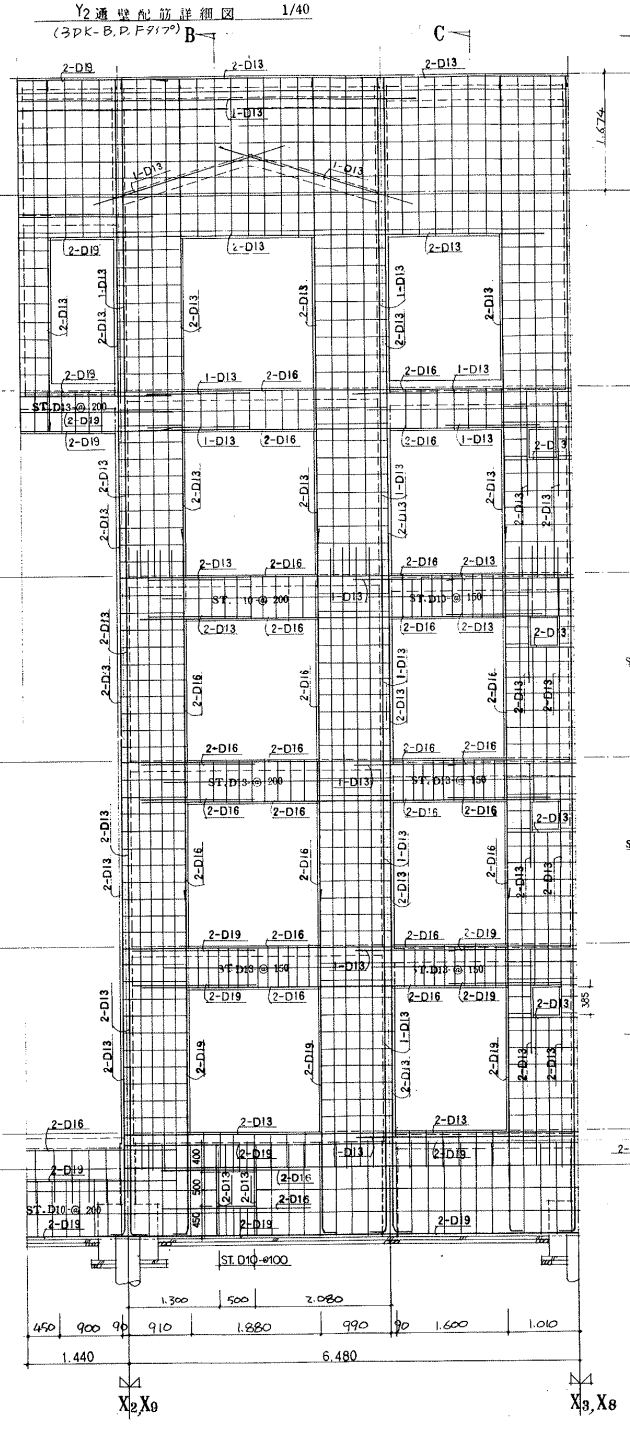
共通事項		
特記を除き	壁	W18
	壁筋 横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ 壁	D10-@250
	地中梁	D10-@250
	腹筋	D10
	巾止メ筋 壁	D10- 1ヶ所
	壁梁	D10-@ST.3ヶ所
	地中梁	D10-@ST.3ヶ所

Y1 通壁配筋詳細図 1/40
(3DK-B,D,F タイプ)

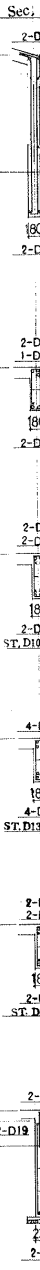


Sec A

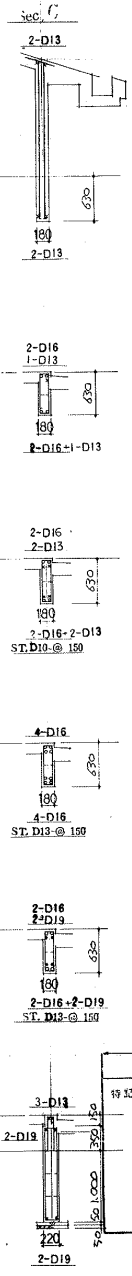
Y2 通壁配筋詳細図 1/40
(3DK-B,D,F タイプ)



Sec B



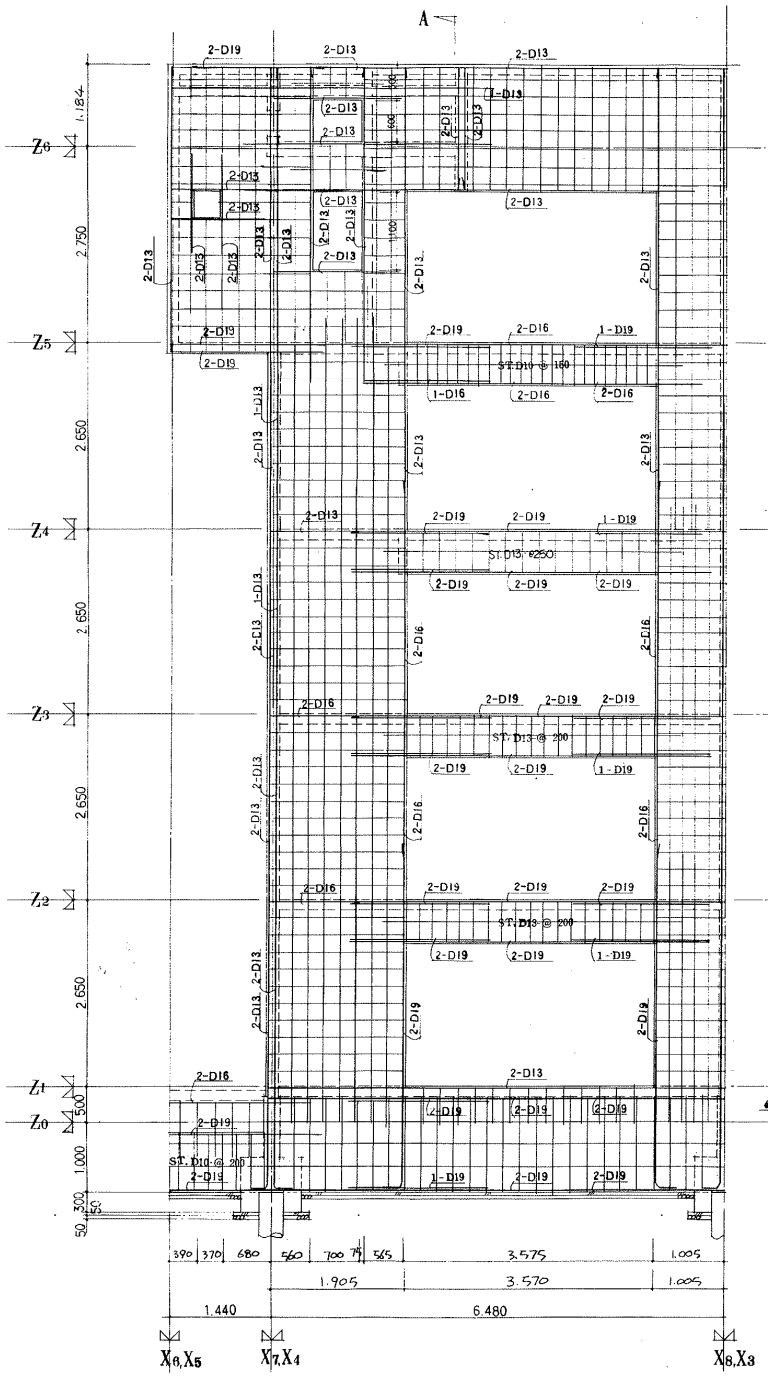
Sec C

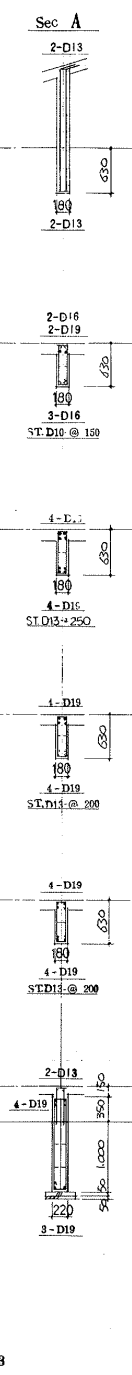


共通事項

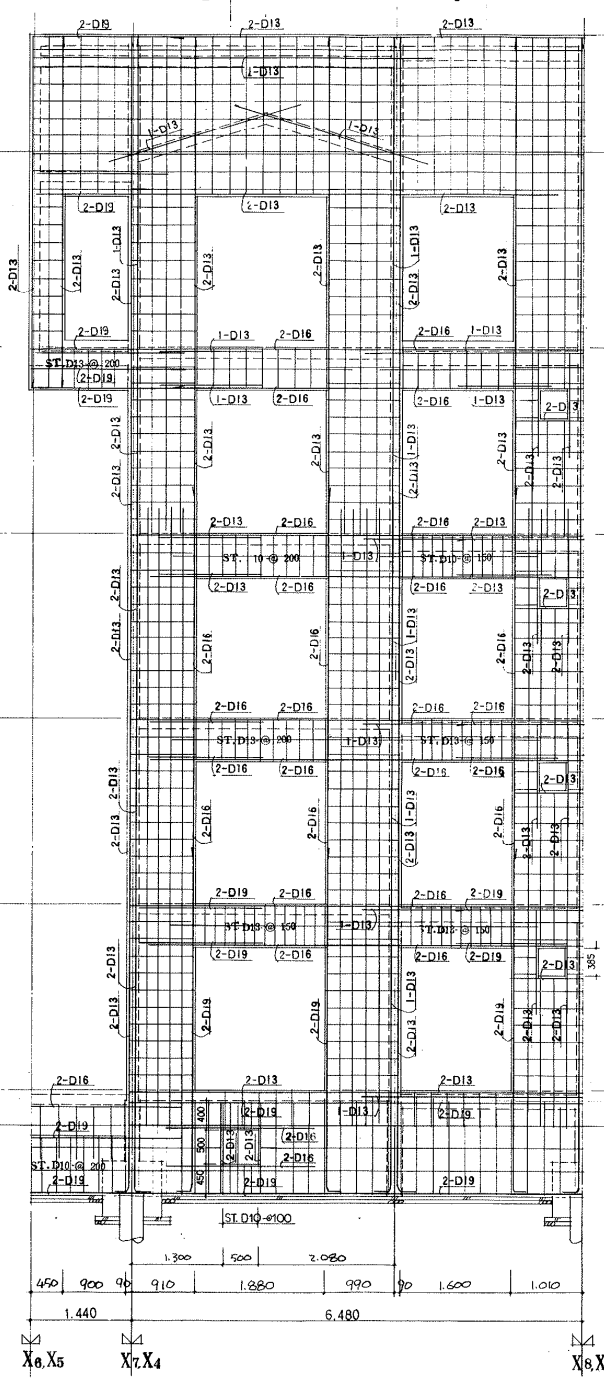
特記を除き	誌	W18
	壁筋 横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ 壁筋	D10-@250
	地中梁	D10-@250
	腹筋	D10
	巾止メ筋 壁	D10- 1ヶ所
	壁梁	D10-@ST.3ヶ所
	地中梁	D10-@ST.3ヶ所

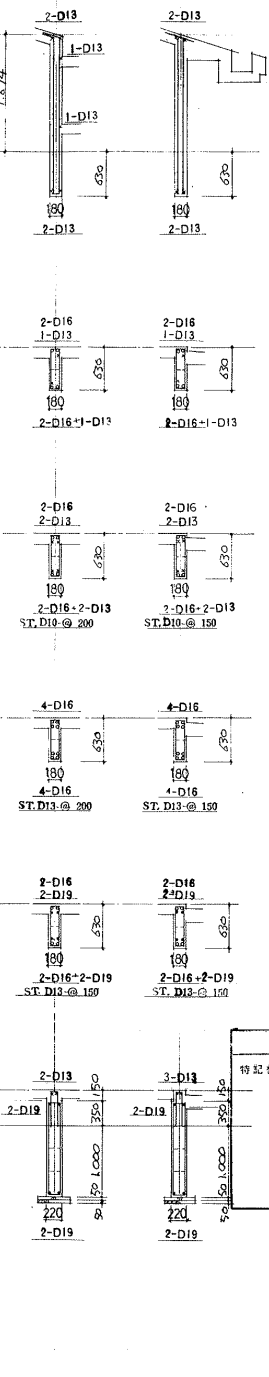
Y1 通壁配筋詳細図 1/40
(3DK-B,D,F タイプ)





Y2 通壁配筋詳細図 1/40
(3DK-B,D,F タイプ)



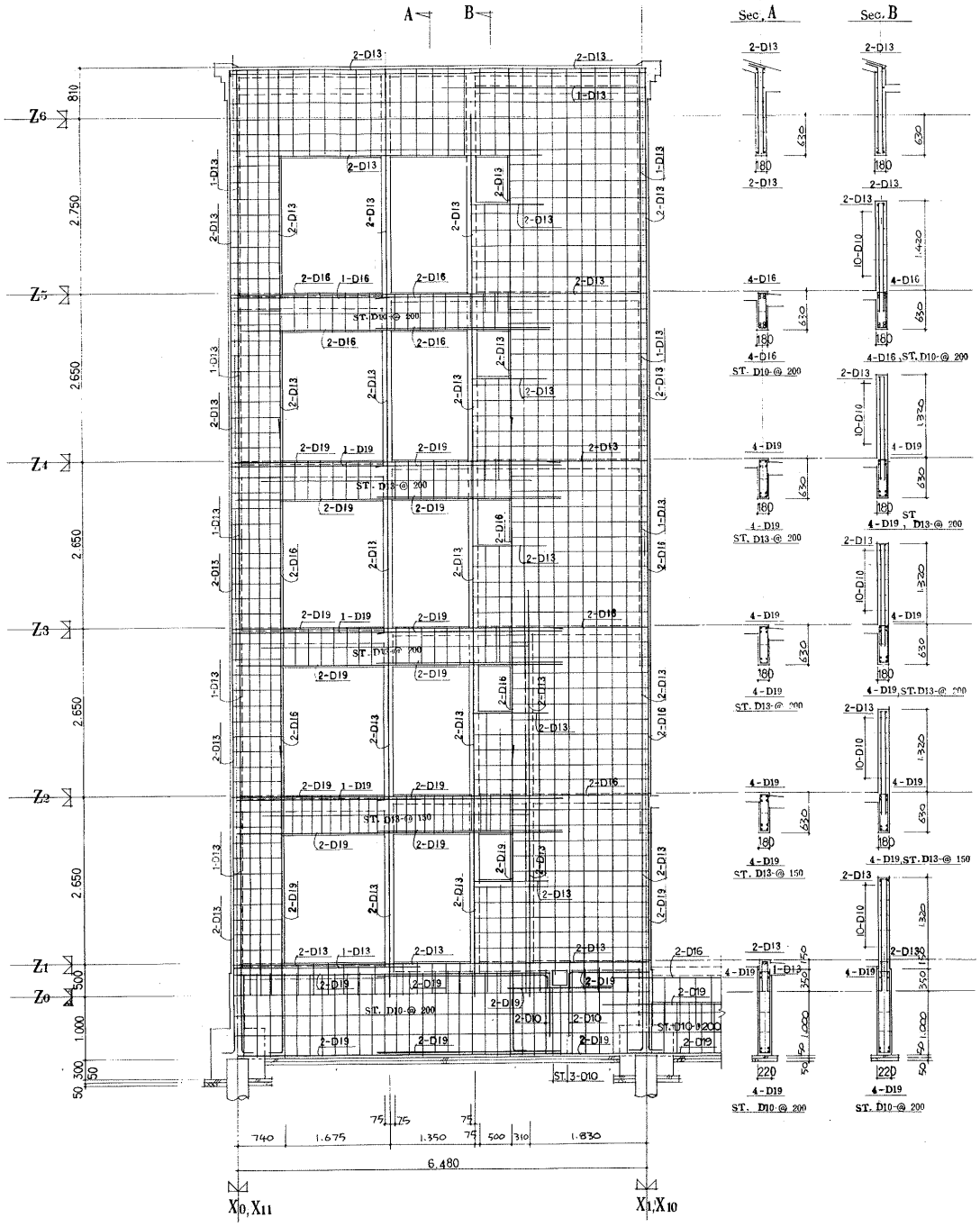


共通事項

特記を除き 壁 W13
壁筋 横筋 D10-@250(ダブル)
スターラップ 壁筋 D10-@250
地中梁 D10-@250
腹筋 D10
中止メ筋 壁 D10-1ヶ/
壁梁 D10-@ST.3ヶ/
地中梁 D10-@ST.3ヶ/

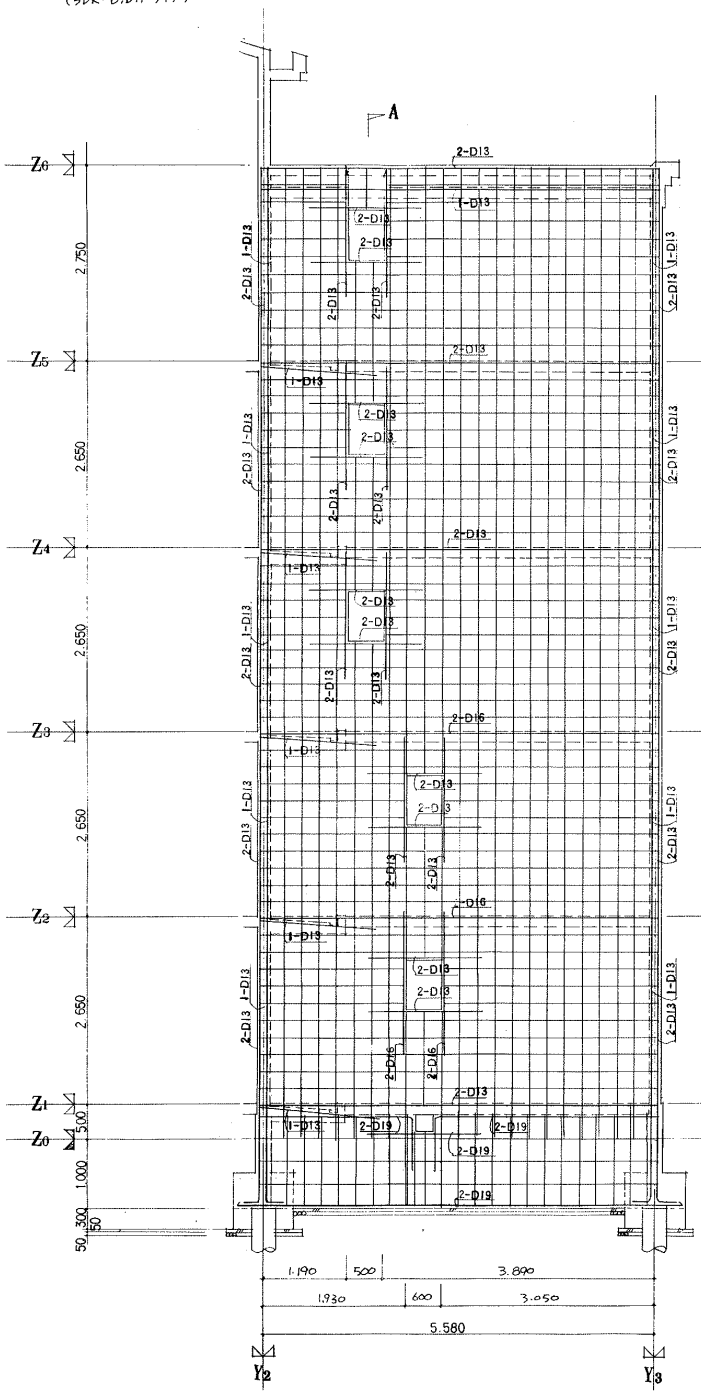
Y3通壁配筋詳細図　1/40

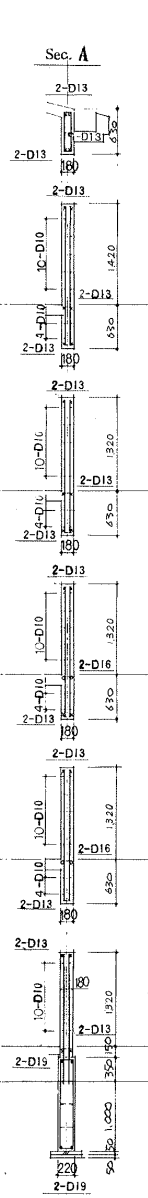
(3ヒ-Aヒ三9470)



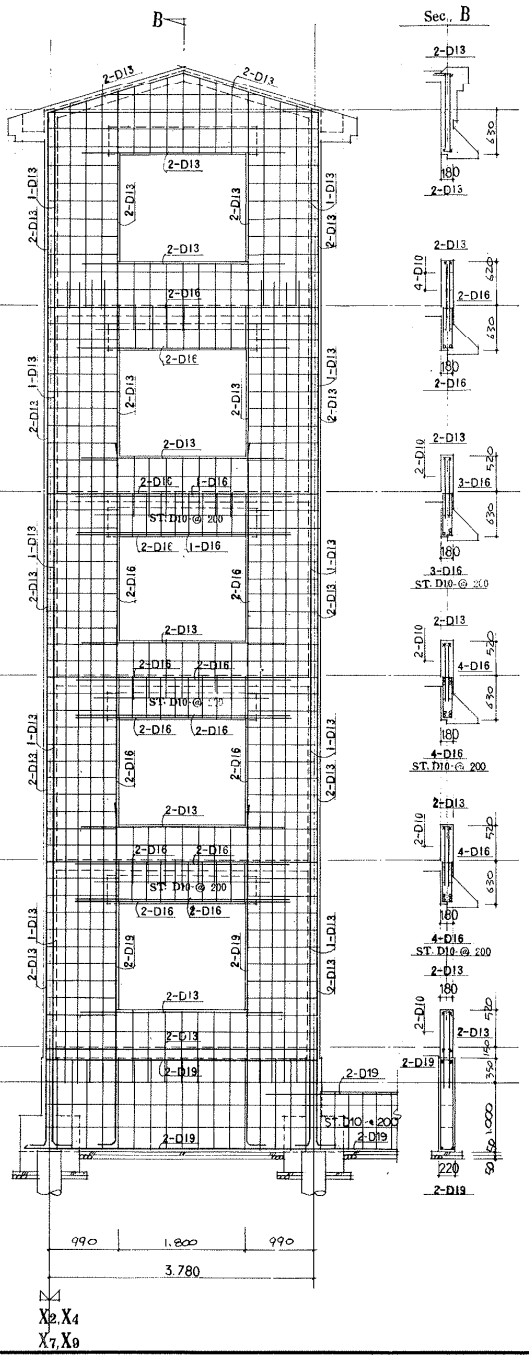
共通事項		
特記を除き	壁	W18
	壁筋	横筋 D10-@250(ダブル)
	スターラップ	壁梁 D10-@250
		地中梁 D10-@250
	腹筋	D10
	中止メ筋	壁 D10-1½m
		壁梁 D10-@
		地中梁 D10-@

X3±2700,X8±2700 通壁配筋詳細図 1/40
(3DK-B,D,F タイプ)

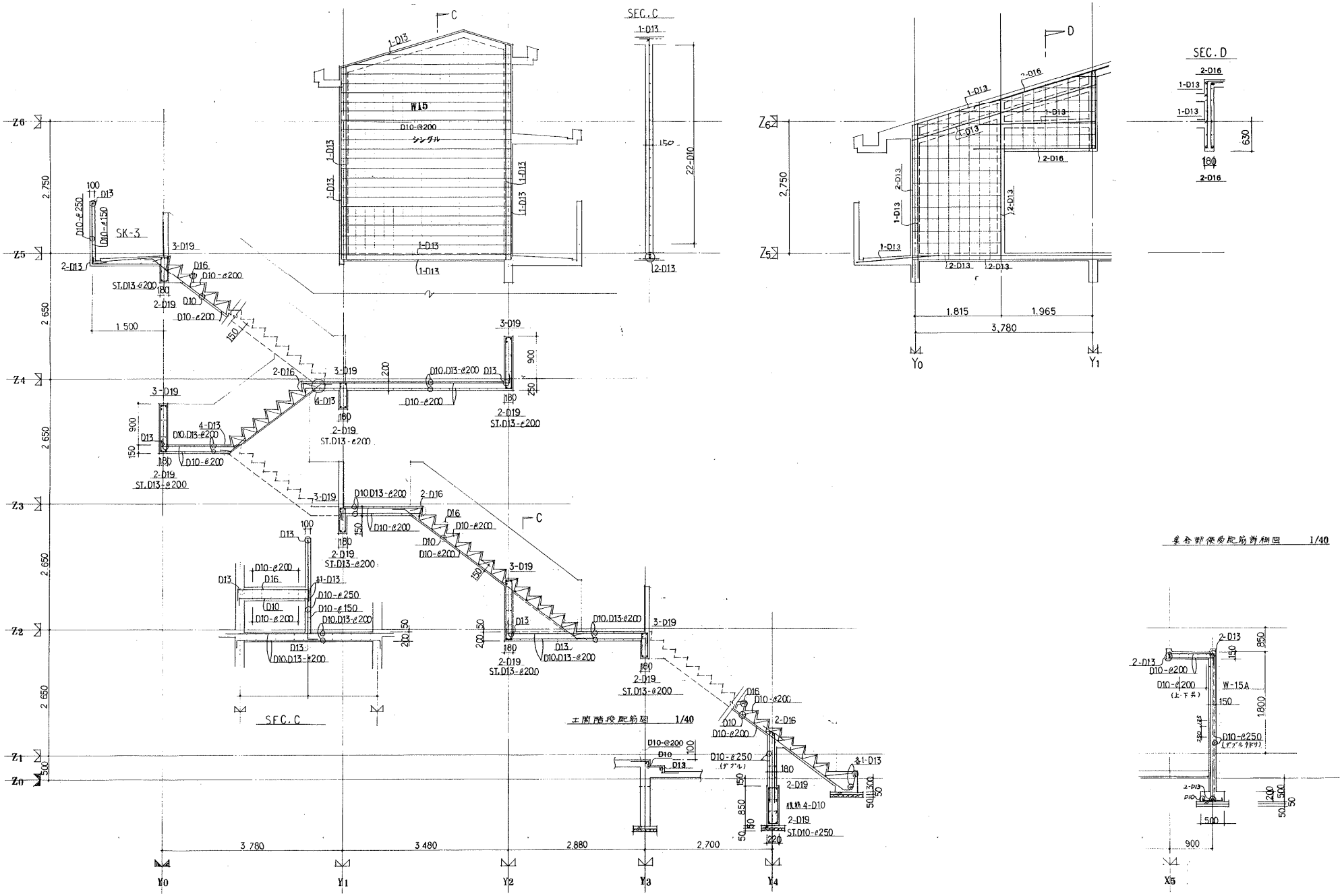


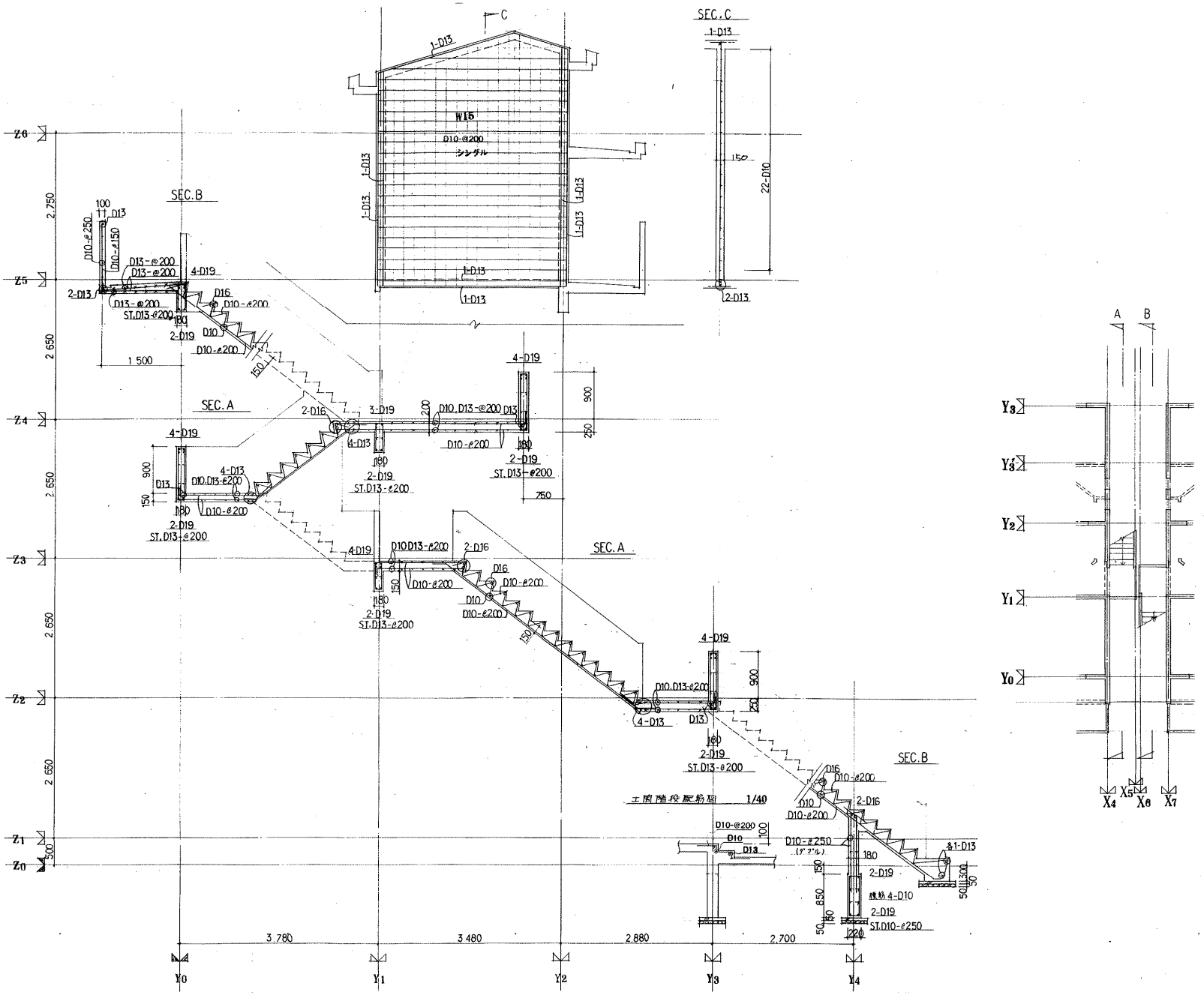


Y3通壁配筋詳細図 1/40
(3DK-B,D,F タイプ)



共通事項			
特記を除き	壁		W18
	壁筋	横筋	D10-@250(ダブル)
	スターラップ	壁梁	D10-@250
		地中梁	D10-@250
	腹筋		D10
	巾止メ筋	壁	D10- 1本/m
		壁梁	D10-@ST.3本/箇
		地中梁	D10-@ST.3本/箇


SEC.C
SEC.D
W15
D10-@200
シングル
SK-3
Z6
Z5
Z4
Z3
Z2
Z1
Z0
Y0
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
3,780
3,480
2,880
2,700
1,815
1,965
階段配筋詳細図 1/40
特記を除き 鉄筋は D10
エ関階段配筋図 1/40
集合郵便受配筋詳細図 1/40


SEC.C
SEC.B
SEC.A
SEC.A
SEC.B
W15
D10-@200
シングル
1-D13
22-D10
150
2-D13
100
D10-@250
D10-@150
D13-@200
4-D19
D16
D10-@200
ST.D13-@200
2-D19
D10
1,500
2-D16
3-D19
200
D10.D13-@200
900
250
4-D13
180
750
D10D13-@200
150
3,780
3,480
2,880
2,700
Z0
Z1
Z2
Z3
Z4
Z5
Z6
2,750
2,650
300
Y0
Y1
Y2
Y3
Y4
工周階段配筋図 1/40
D10-@200
100
D10-@250
(ダブル)
1-D13
2-D16
180
2-D19
補助4-D10
ST.D10-@250
220
300
50
850
階段配筋詳細図 1/40
特記なき限り筋は D10

A
B
Y3
Y3'
Y2
Y1
Y0
X4
X5
X6
X7

公営住宅２種中耐平和団地
10号棟　電気工事

図　面　目　録

図面番号	図　面　名　称	縮　尺
1	タイトル	
2	図面目録	
3	特記仕様書	
4	配置図・外構図・附近見取図	1:300
5	凡例表	
6	10号棟　系　統　図　1	
7	10号棟　系　統　図　2	
8	10号棟　1階・2階　幹線その他設備平面図	1:100
9	10号棟　3階・4階　幹線その他設備平面図	1:100
10	10号棟　5階　幹線その他設備平面図	1:100
11	10号棟　1階・2階　弱電　設備平面図	1:100
12	10号棟　3階・4階　弱電　設備平面図	1:100
13	10号棟　5階・屋上　弱電　設備平面図	1:100
14	照明器具姿図・分電盤結線図	
15	住戸　平面詳細図　（3DK－A）	1:30
16	住戸　平面詳細図　（3DK－B）	1:30
17	住戸　平面詳細図　（3DK－C）	1:30
18	住戸　平面詳細図　（3DK－D）	1:30
19	住戸　平面詳細図　（3DK－E）	1:30
20	住戸　平面詳細図　（3DK－F）	1:30
21	詳細図	

図面番号 2/21

鹿屋市	設計番号
設計年月	昭和　61年　6月
工事名	公営住宅第2種中野平和団地10号棟　電気工事
種別	特記仕様書
縮尺	
検印	課長 / 係長 / 設計

特記仕様書

Ⅰ　一般事項

1. 本工事は、本特記仕様書によるほか、建設大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事共通仕様書（昭和60年版）建設省住宅局監修の公共住宅建設工事共通仕様書（昭和　年版）（以下共通仕様書という）による。
2. 本工事の使用設材の品質、規格、種別等は下記による。
   (1) 特記事項に○印をつけたものを適用する。
   (2) ○印のないものは×印をつけたものを適用する。
   (3) ○印および×印が共にある場合は、○印のあるものを適用する。
3. 特記事項に記載の（　）内表示事項は、共通仕様書に記載の当該項目および当該図の番号を示す。
4. 施工計画書は、着工に先だち、別に定める様式により作成し、監督員に提出する。
5. 本工事の施工に必要な官公署等への手続に要する費用は、請負金額の範囲内とする。
6. 本工事の受電の日から完成引渡（手直し完了まで）の日までに種別または基本料は請負金額の範囲内とする。
7. 本工事で、特記事項に定める「立会検査を要する施工工程」に達するとき、事前に監督員に連絡して、立会検査をしくは指示に従うこと。
8. 設計図面に明記なくとも関係法令とまたは機器の機能上当然必要となるものについては、原則として請負金額の範囲内で施工する。ただし、報酬なものに限るものとする。
9. 発注材の処置については、監督員の指示によること。

Ⅱ　特記事項

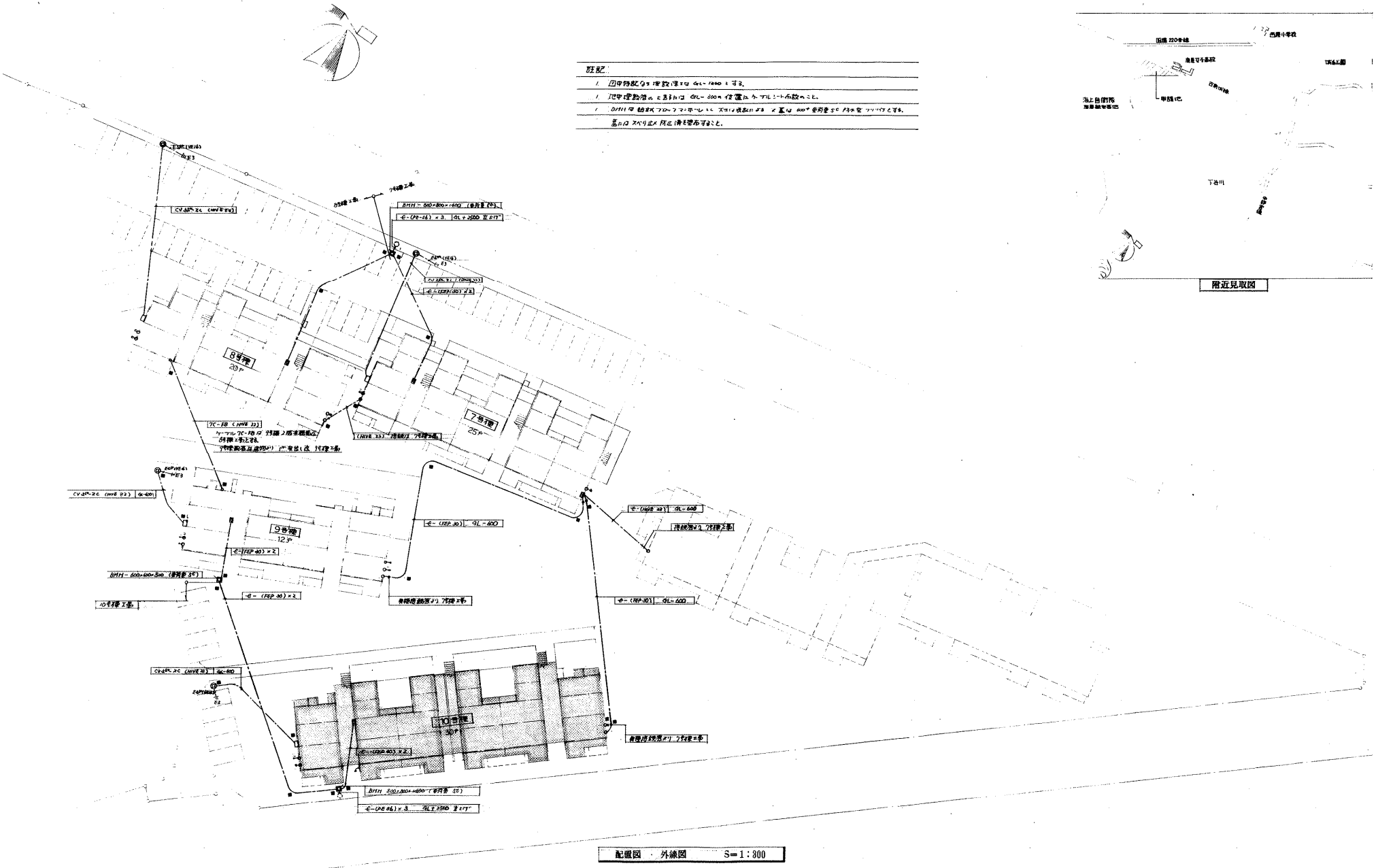
区分	項目	特記事項
共通事項	① 使用資材の製造所	設計図書等に記載されているもの以外は特記による。
	② 特殊な材料と工法	共通仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承認を得ること。なお、特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。
	③ 建築工事との取合	壁面、天井面等に機器取付のため必要な開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。
	④ 別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進ちょくを図るものとし、疑問が生じたら監督員の指示によること。
	⑤ 施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、監督員と充分に打合せを行ない、指導を受けること。
	⑥ 工事写真	工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、出来高報告書と共に一部作成提出して監督員の確認を得た後、請負者にて保管する。 完成写真は、工事完成時に撮影し、一部作成して工程写真と共に提出する。 写真カラー写真（E版）とすること。 工程写真 分類：スラブ　内容：各階工程配管 壁・柱　〃 天井いんぺい　〃 地中埋設物：配管　各工程配管（スケール付） ケーブル　名　工　程（　〃　） 掘削箇所：埋戻箇所　名　称（　〃　） マンホール：基礎　1　基ごと（　〃　） 内部　1　基ごと 外部　1　基ごと 配管挿入出の防水処理状況 入線：工事種別ごと 盤：機器材料ごと 完成写真：全工事および全景 その他監督員の指示した箇所
	⑦ 製作図その他	下記機器については製作図を提出し監督員の承認を得ること。 (1) 各種開閉器具、管様、安定器、換気扇 (2) 受配電盤、分電盤、操作盤、キュービクル (3) ブロックマンホール (4) フロアダクト、ラインダクト、ケーブルラック、バスダクト (5) 変圧器、高圧進相コンデンサ、リアクトル、アレスター (6) しゃ断器、高圧開閉器 (7) 電圧調整器、予備電源、発電装置 (8) 電気料計装置、監視装置、非常放送装置 表示装置、インターホン装置、テレビ共聴受信装置 火災報知装置、自動開錠装置、非常警報装置、ガス漏れ警報装置 (9) 昇降機 (10) その他監督員の指示するもの
	⑧ 立会検査を要する施工工程	コンクリート埋込配管……RC打込前 いんぺい配管……配管完了前 地中埋設配管……配管完了埋戻し前 入線配線……入線配線施工時 機器材料……現場搬入時 機器取付……取付又は据付施工時 上記以外する工程に達するとき、一般事項7により事前に監督員に連絡すること。
	⑨ 工事報告	工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月末の見込み出来高を当月25日までに監督員へ提出する。（工程写真添付のこと）
	⑩ 完成図	設計図記入済1部を施工現場と一致するよう必要な訂正をした後、監督員の承認を得て、青写真に製写し5～5版サイズに製本したもの（学校関係2部、庁舎・共所関係3部）二分折1部、マイラーベース（アセテート系）

区分	項目	特記事項
共通事項	⑪ 試験成績書	下記事項の試験成績書は下検査の時点までに監督員に提出する。 (1) 絶縁抵抗測定結果表……3部 （電線相互間及び電線と大地間） (2) 接地抵抗測定値表……3部 （接地種別、接地種別ごと） (3) 高圧保護継電器性能試験結果表……3部 (4) 高圧機器（ケーブル耐圧試験結果……2部 上記(1)～(4)については、検査年月日、天候、測定者氏名および測定器具番号機別を記入する。 (5) 消防法関係設備合格証明書……3部 (6) その他監督員の指示するもの……3部 上記について該当なきは不要とする。
	⑫ 申請書類	本工事の施工に必要な官公署等への申請書類はその写しを3部づつ作成し、完成図と一緒に提出する。
	⑬ 保守指導書内容	本工事の電気設備について保守管理上必要な案内書をタイプ版写にて3部作成し、完成図と一緒に提出する。
	⑭ 接地標示及びケーブル埋設標示	(1) 接地標示 ア 標示方法　※標示板　標柱 イ 標示位置…標示板によるときは接地極直近の記外の見やすい位置。 標柱によるときは接地極の真上の位置に設ける。 ウ 標示板および標柱の寸法等は下表の数値以上とする。 標示板：材質 寸法 厚さ　標柱：材質 寸法 埋1種（避雷針用）：黒板製：150×100×50mm：ワッシュ貼り：90×90×600 埋2種：〃：150×100×150：〃：〃 第2種：〃：〃：〃：〃 第3種：〃：〃：〃：〃 特別3種：〃：〃：〃：〃 (2) ケーブル埋設標示 ア 標示方法 原則として標示板、標柱およびケーブルシートによる。 イ 標示位置 ケーブルシートは、地表下30cmの深さでケーブルの直上に布設し、ケーブルの埋設幅以上の幅を有すること。 標示板は、ケーブルが地中へ出る位置で屋外の見やすい位置に設ける。 標柱は、地中線路の曲折箇所、直線横断箇所、直線部分2設け、最長部分では30m毎に、30m に満たないときは、その間に1箇設ける。 ウ 標示板および標柱の寸法等は下記の数値以上とする。 材質 寸法(mm) 標示板：黒鋼板：150×100×150 標柱：コンクリート：90×90×600 (3) 警表示ピン 別に定める「接地標示等基準」による。
	⑮ マンホール	(1) 現場打ちマンホールは、下記による。 ア 構造……鉄筋コンクリート造とする。 詳細は別に定めるマンホール基準による。 イ 寸法……下記の数値以上とする。 型名 仕上げ内法寸法(mm) 壁厚(mm) 重ヶ法 A型 1100×1100×1500 100 600ø B－1型 900× 900×1500 100 600ø B－2型 900× 900×1200 100 600ø C型 850× 850× 900 100 500ø D型 700× 700× 700 100 450ø ウ 重の構造　※鋳鉄製、鋼板製、グラタイル製　完全防水、※普通防水 エ 重の耐荷重 重の耐荷重は安全荷重を表示する。耐荷重試験はHASS－209によるを基準とし、安全荷重の4倍の荷重に耐えるものであること。なお、図面仕様に明記ないときは下記による。 種荷重（0.5t）　※普荷重（5t） オ 重の表示 マンホール重には、下記により表示文字を鋳込みもしくは刻印する。 (7) 種別表示…中央部に「電」とする。 (イ) 所有者表示…周辺部に「建設局長」とする。 カ 防水および水抜 (ア) マンホールの防水については別に定めるマンホール基準の（注）1および2による。 (イ) マンホール内のパイプ挿入箇所は完全な防水処置をする。 (ウ) 水抜は監督員の指示による。 (2) ブロックマンホールは、下記による。 ア 構造 鉄筋コンクリート製（設計強度210 kg/cm²）とする。 イ 寸法 図面記入寸法により監督員の承認をうること。

区分	項目	特記事項
共通事項	⑯ プレート	配線器具等のプレートは下記による。ただし、接地端は除く。 個別　新金属　WB、※ステンレス
電力設備工事	① 電線の色別	ビル電線の色別は下記による。ただし、接地端は緑色又は緑ノ黄とする。 なお、ビル電線以外でも、準用できる場合は、この色別を準用する。 (1) 幹線及び分岐回路 電圧種別：配線方式：第1相：中性相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (2) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (3) 制御回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (4) 計装回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (5) 弱電回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (6) 電灯回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (7) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (8) 電灯回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (9) 弱電回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (10) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (11) 電灯回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (12) 弱電回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (13) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (14) 計装回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (15) 弱電回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (16) 電灯回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (17) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (18) 弱電回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (19) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (20) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (21) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (22) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (23) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (24) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (25) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (26) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (27) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (28) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (29) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (30) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (31) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (32) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (33) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (34) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (35) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (36) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (37) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (38) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (39) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (40) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (41) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (42) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (43) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (44) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (45) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (46) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (47) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (48) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (49) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (50) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (51) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (52) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (53) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (54) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (55) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (56) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (57) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (58) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (59) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (60) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (61) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (62) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (63) 動力回路 電圧種別：配線方式：第1相：第2相：第3相 高圧：三相3線式：赤：白又は灰：青 低圧：単相2線式：赤：白又は灰：黒（接地極）白又は灰 単相3線式：赤：白又は灰：黒：（接地極）白又は灰：青 三相3線式：赤：白又は灰：黒：青 三相4線式：赤：白又は灰：黒：青 直流：赤（正極）：黒（負極） (64

注記

1. 図中特記なき埋設深さは GL-1200 とする。
2. 地中埋設管のところには GL-300 の位置に ケーブルシート布設のこと。
3. 8M1H 型 組立式フロータンホール は、天ロス 内径 φ3 × 高さ 600 で 蓋荷重 25t 用 を 標準とする。
   蓋は ボルト止め 防止 溝を 設置すること。



配置図 · 外線図　　S=1:300

附近見取図

		図面番号 4-21

凡例表

記号	名称	備考
S	引込開閉器箱	別紙結線図参照
	分岐開閉器箱	〃
四	電力量計取付板	1φ 3W用 樹脂プレート取付
	各戸分電盤	別紙結線図参照
	蛍光灯照明器具	別紙姿図参照
	〃	〃
	外灯	〃
●	天井連用スイッチ 1P 15A x 1	ステンレスプレート (WPは防水型
$●_3$	〃 3W 15A x 1	〃 〃
$●_4$	〃 4W 15A x 1	〃 〃
$●_{AS}$	自動点滅器 100V 3A	プラグイン
	保安器収納箱	別紙姿図参照
	端子箱	〃
⊖	壁結用アウトレット	角型 ノズルプレート 別記付
⊙	〃	丸型 ノズルプレート 別記付
	テレビアンテナ	特記仕様参照
	テレビ機器収納箱	別紙姿図参照
⊖	直列ユニット	UV-SU-37-7
$⊖_R$	〃	UV-SU-37-R
⊘	角型引掛シーリング	
○	白熱灯照明器具	別紙姿図参照
	蛍光灯照明器具	〃
$⊘_A$	コンセント付引掛ローゼット	
●	天井連用スイッチ 1P 15A x 1	樹脂プレート
$●_P$	〃 1P 15A x 1	〃 位置表示灯付
$●_L$	〃 1P 4A x 1	〃 確認表示灯付
$⊖_2$	天井連用コンセント 2P 15A x 2	〃
$⊖_E$	〃 2P 15A x 1 E付	〃
$⊖_{2E}$	〃 2P 15A x 2 E付	〃
■	玄関チャイム用押釦スイッチ	10A 300V 防水型
◪	玄関チャイム	100V 2音打 音響調整付
⊖	換気扇 25cm	金属製・電動式シャッター付、樹脂製ウェザーカバー付
◇	回路番号	
○	ボックス番号	ボックス番号表参照
⊠	プルボックス	特記仕様参照
ロ ⊗ ト	ジョイントボックス	08太深C付、 WPは防水パッキン付
■	埋設標柱	コンクリート製
——	天井いんぺい配線	配管・配線
——	床 〃 〃	〃
—·—	地中埋設配線	〃
———	ケーブルこうがし配線	〃
	立ヒロダ・裏通し・立下り	
$⏚_{E3}$	接地工事	第3種
⊡	ハンドホール	特記無照

ボックス番号表

ボックス記号	名称	備考
①	コンクリートボックス	8角 75mm (浸代カバー付)
②	アウトレットボックス	4角中深 44mm (〃)
③	〃	〃 中深 54 〃 (〃)
④	〃	〃 大深 44 〃 (〃)
⑤	〃	〃 大深 54 〃 (〃)
⑥	スイッチボックス	1ヶ用 44 〃 (〃)
⑦	〃	5ヶ用 54 〃 (〃)
$◯^{-1}$	8ボックス + 樹脂プレート	角型
$◯^{-2}$	〃 + ノズルプレート	角型
$◯^{-3}$	〃 + 蓋プレート	丸型 (但しスピーカー用は角型)

注記

1 住戸内配線器具用プレートは又角プレート(樹脂製)とする。又共用部分のジョイントボックス用蓋プレートはステンレス製とし、雨線外取付部分に限りてはゴムパッキン付とする。

2 空配管には呼線を挿入し、行先表示をすること。
屋内 1.2mm ビニール被覆鉄線
屋外 1.6mm IV線 (黒色)

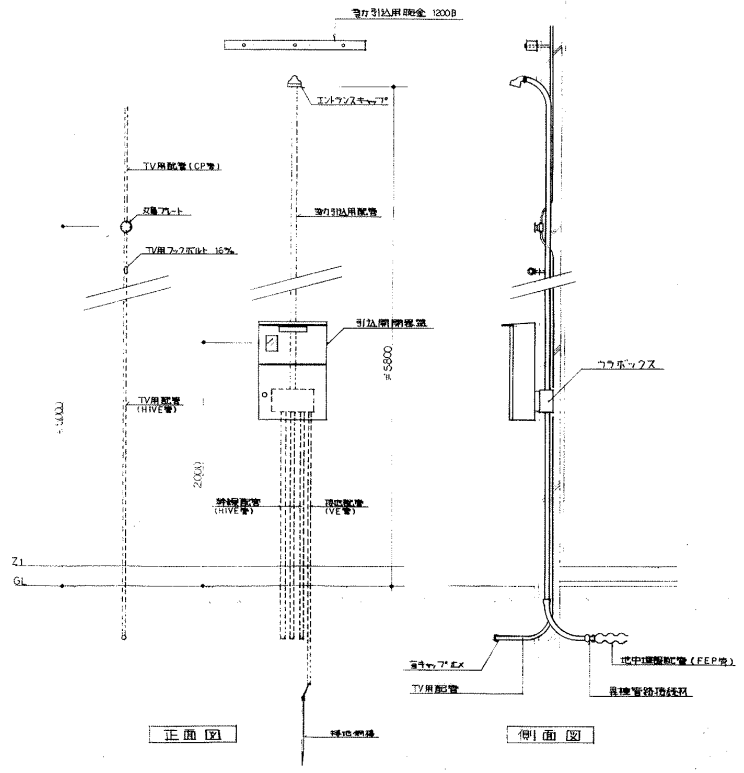
3 図面壁に取付ける配線器具については詳細図参照のこと。

4 特記なき配線サイズは下記の通りとする。
—— 1.6×2 (19) —— VVF 1.6 - 2C
—— 1.6×3 (19) —— VVF 1.6 - 3C
—— 1.6×4 (25)
尚、) 内配管は別途パネル工事とする。

5 器具取付高さは和室に於ては 2Fより上、その他は床より 最ボックス中心までを示し特記なきは仕様書による。 コンセント = 200、 スイッチ = 1300

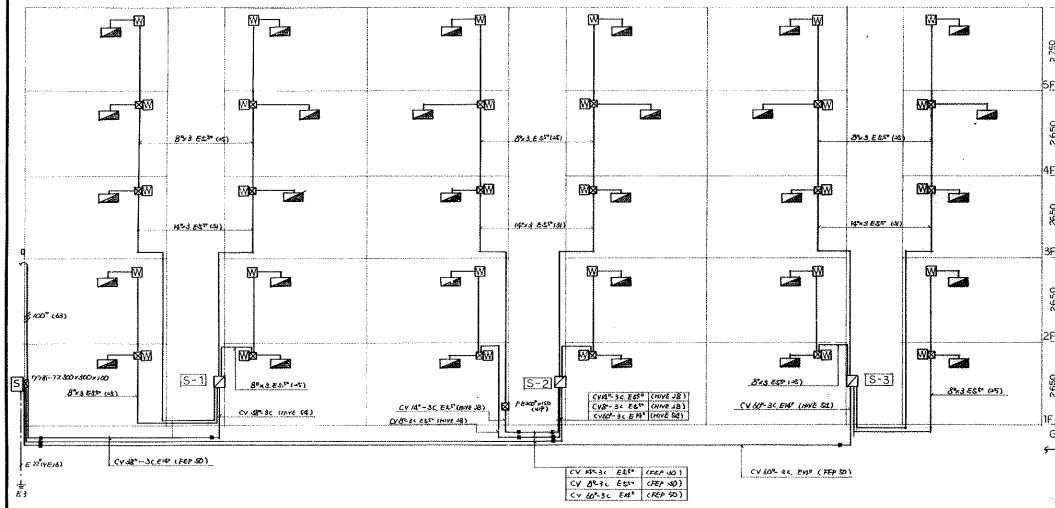
6 図中 ※ 印は部分詳細図参照のこと。

7 ——3—— 受け出し 3m 又より受け出し配管 (19)-3-(25)とする。

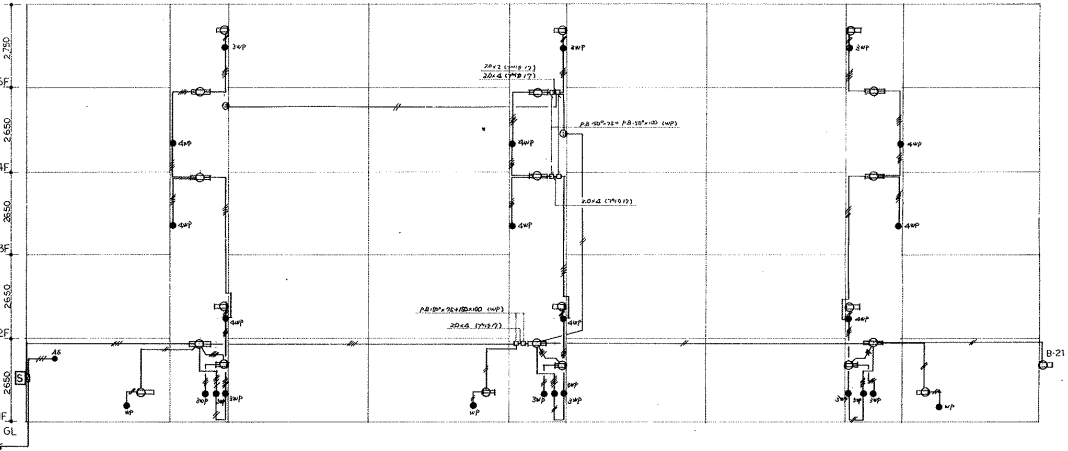


電力引込詳細図

		図面番号 5 / 21



幹線設備系統図

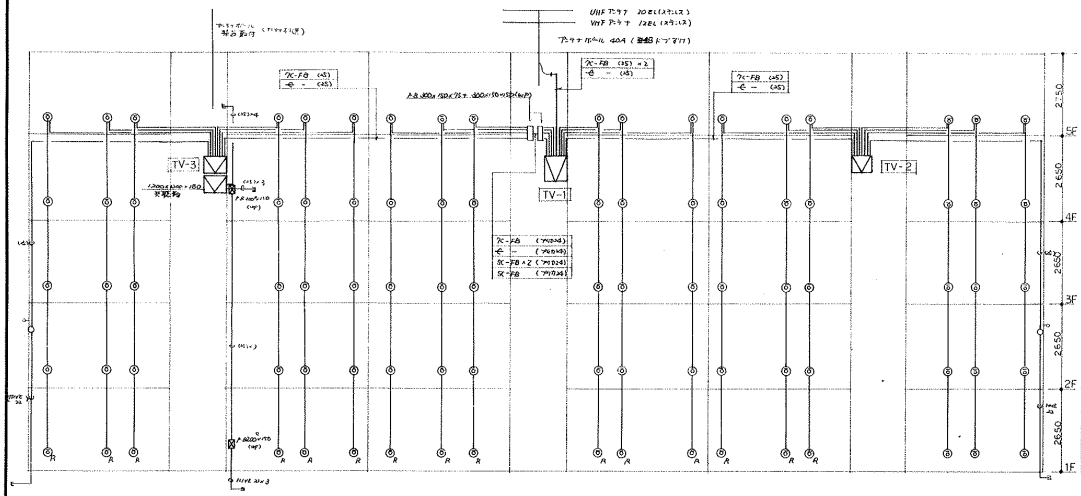


共用灯設備系統図

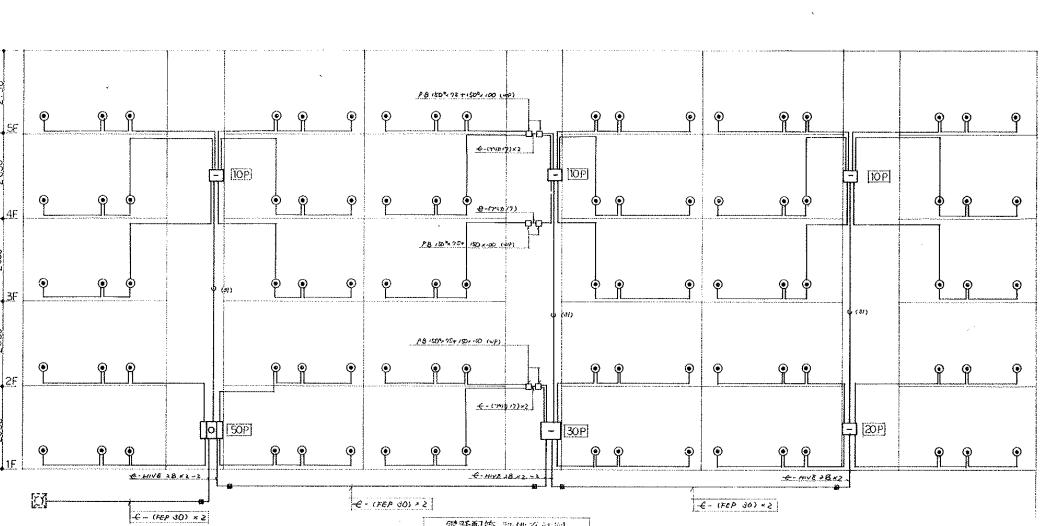
- 特記なき配線は IV とする。
- ■印部防火区画貫通処置とする。
- 特記なきプルボックスは 300×300×100 とする。

- 特記なき配線は IV とする。
- 特記なき接地線は G とする。
- 特記なき鋼材は SS400 とする。

図面番号
6
21

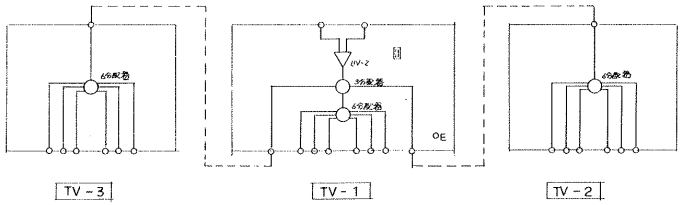


テレビ共聴 設備系統図

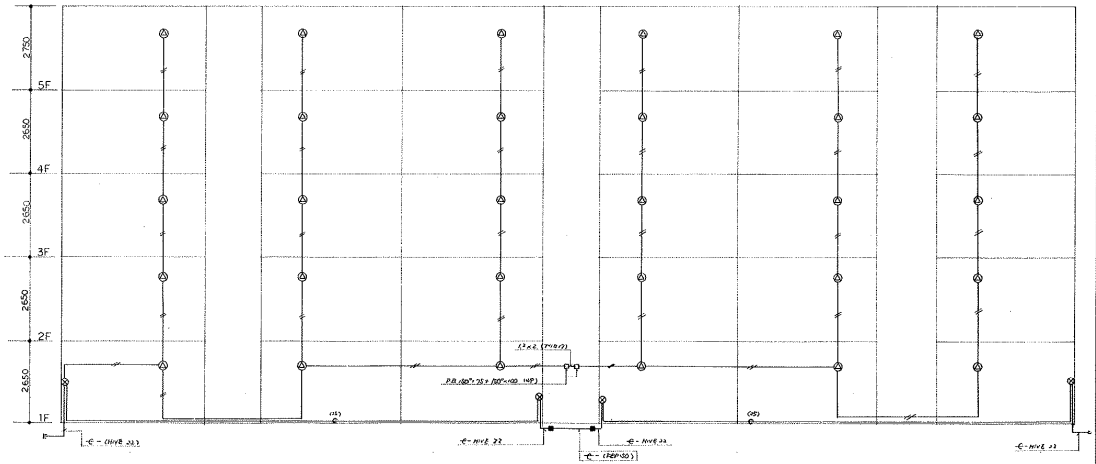


電話配管 設備系統図

- 図中隠配なき配線は 8C-FB (9) とする。
- 特配なき配線は (8・10) とする
- ■ 印記号は 埋込箱は鉄材にて 枠とすること。
- 配管は 吹抜 スパン と 挿入のこと。



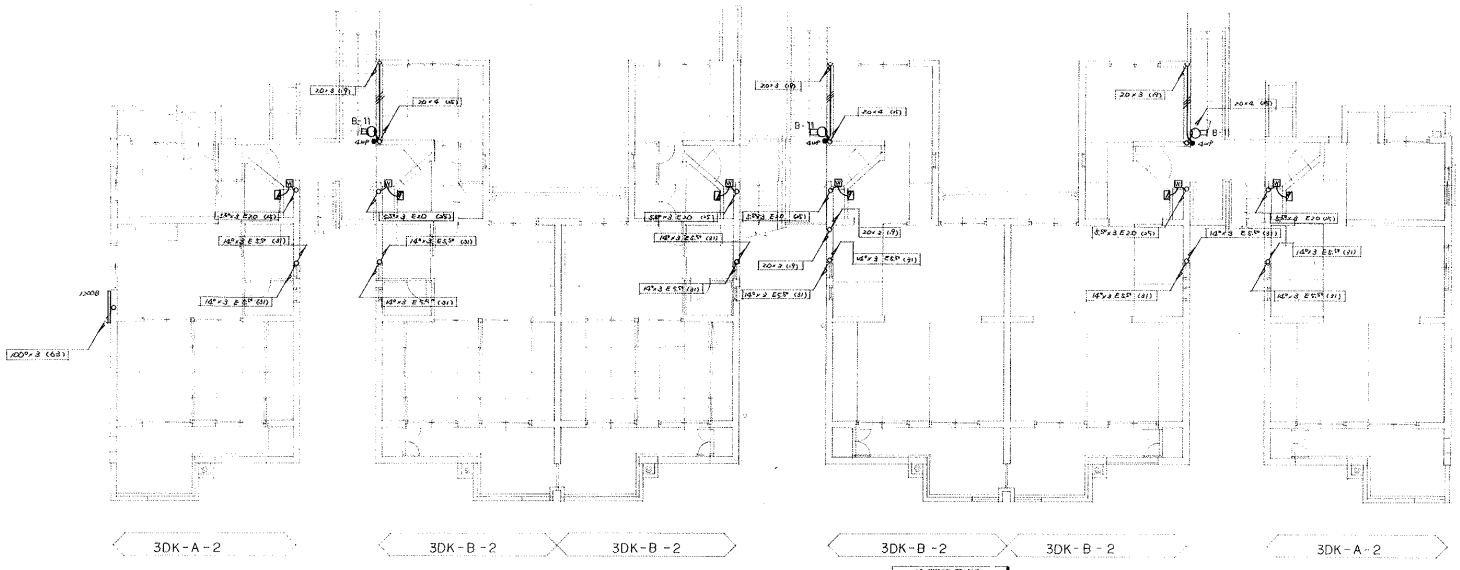
機器収納箱 詳細 図



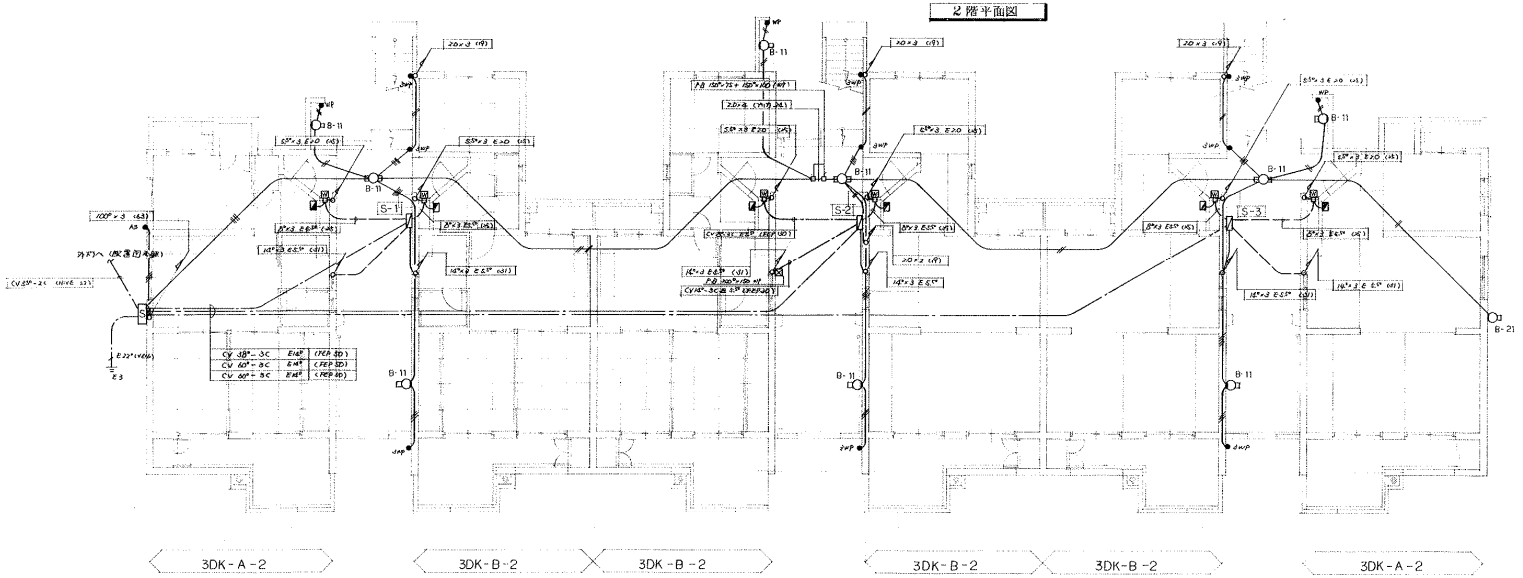
有線放送 設備系統図

- 特配なき配線は 2ケ×2 (19) とする。
- Ⓢ スピーカー は 天井 及び カベ に 埋 込 とする。

図面番号
7
21



2階平面図



1階平面図

注記

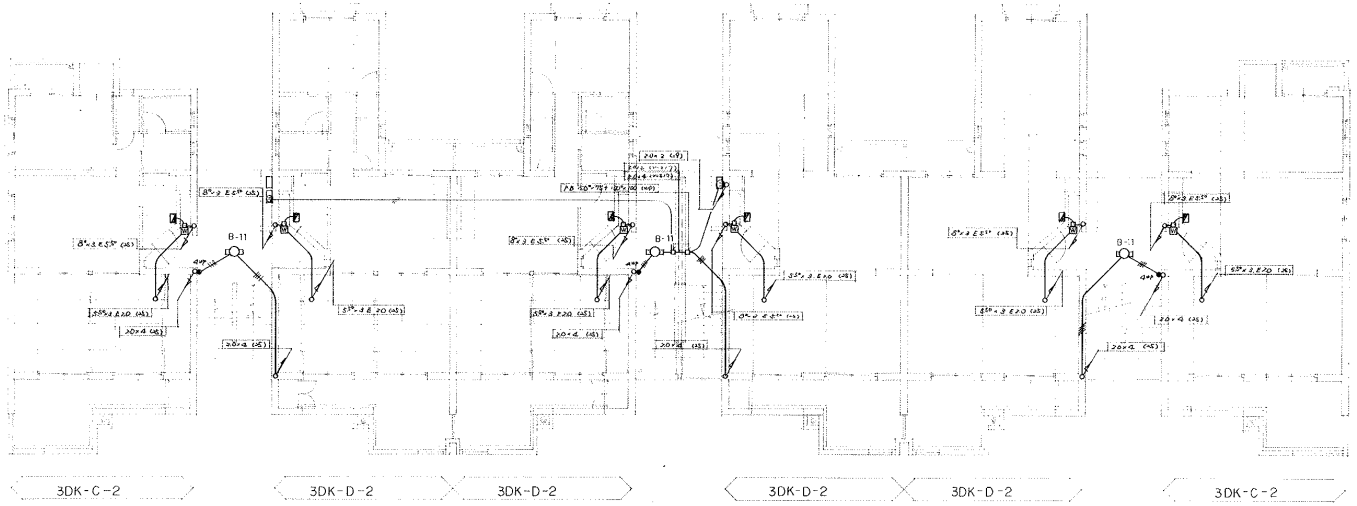
1 図中特記なき配管 配線は次の通りとする。

幹線 ——— 35×3 E20 (45)

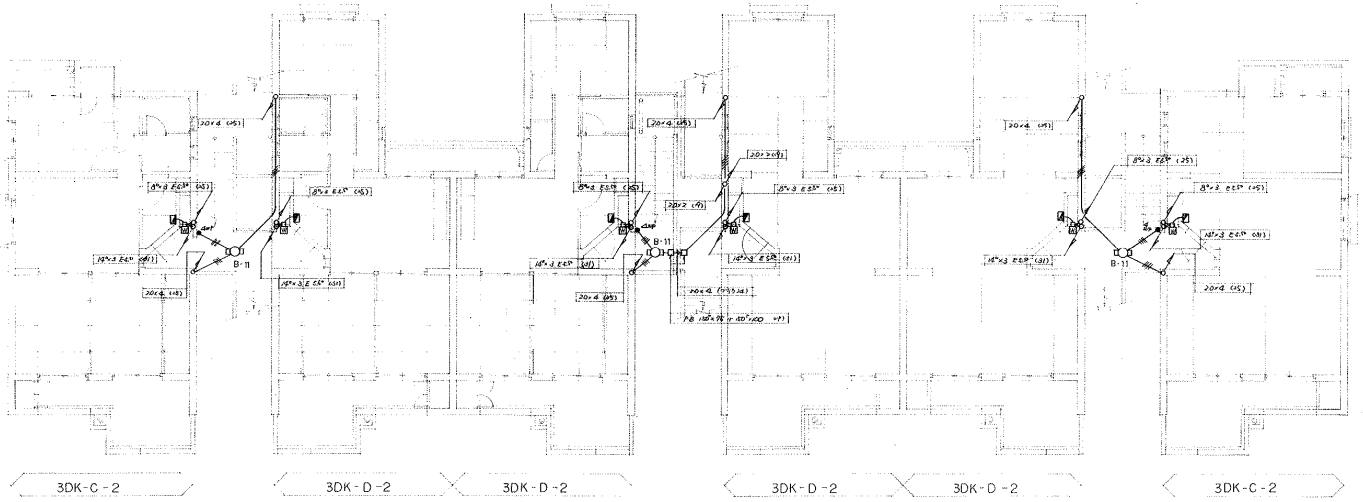
共用灯 ——— 20×2 (19) ——— 20×3 (19)

——— 20×4 (45) ——— 20×5 (45)

図面番号 8-21

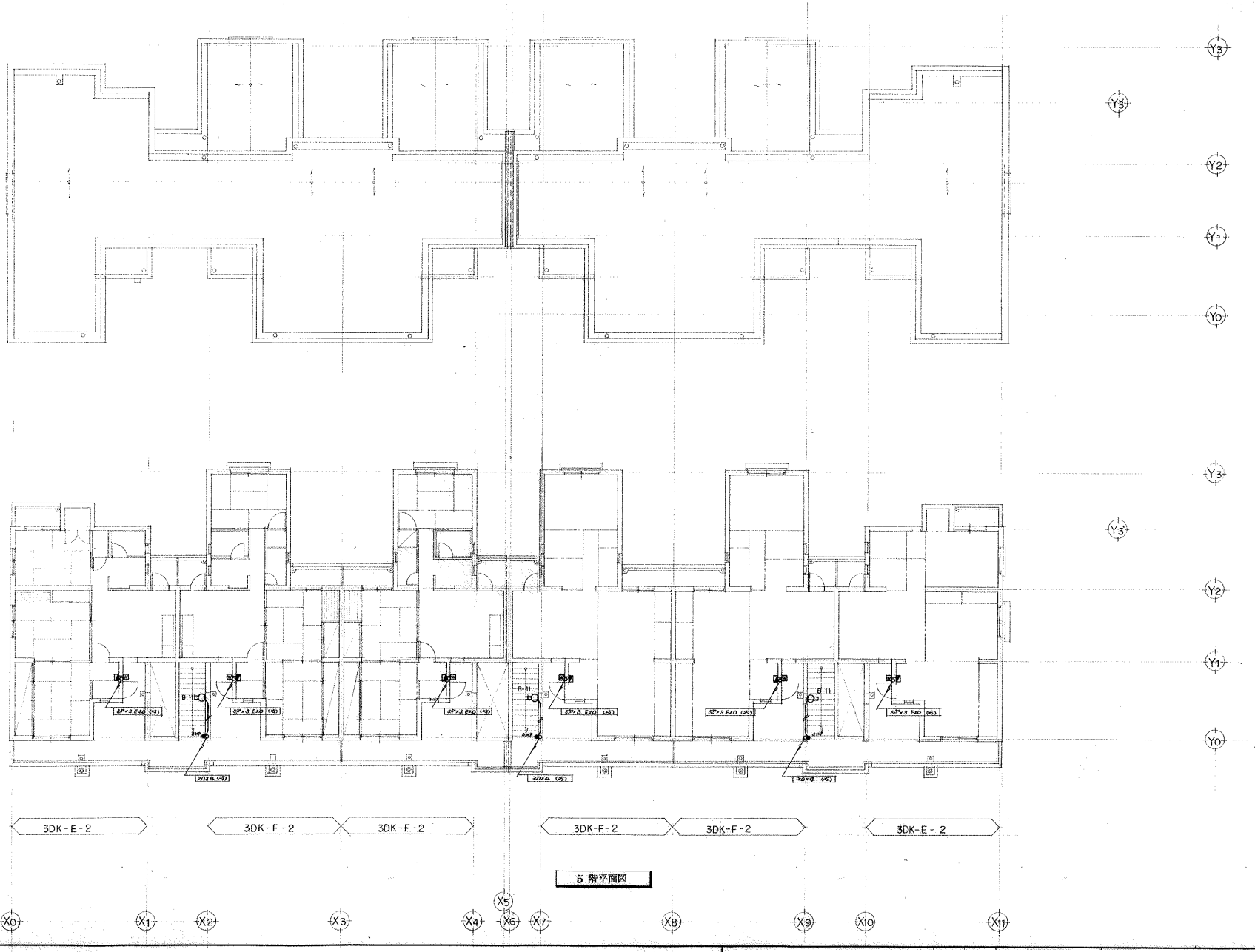


4階平面図



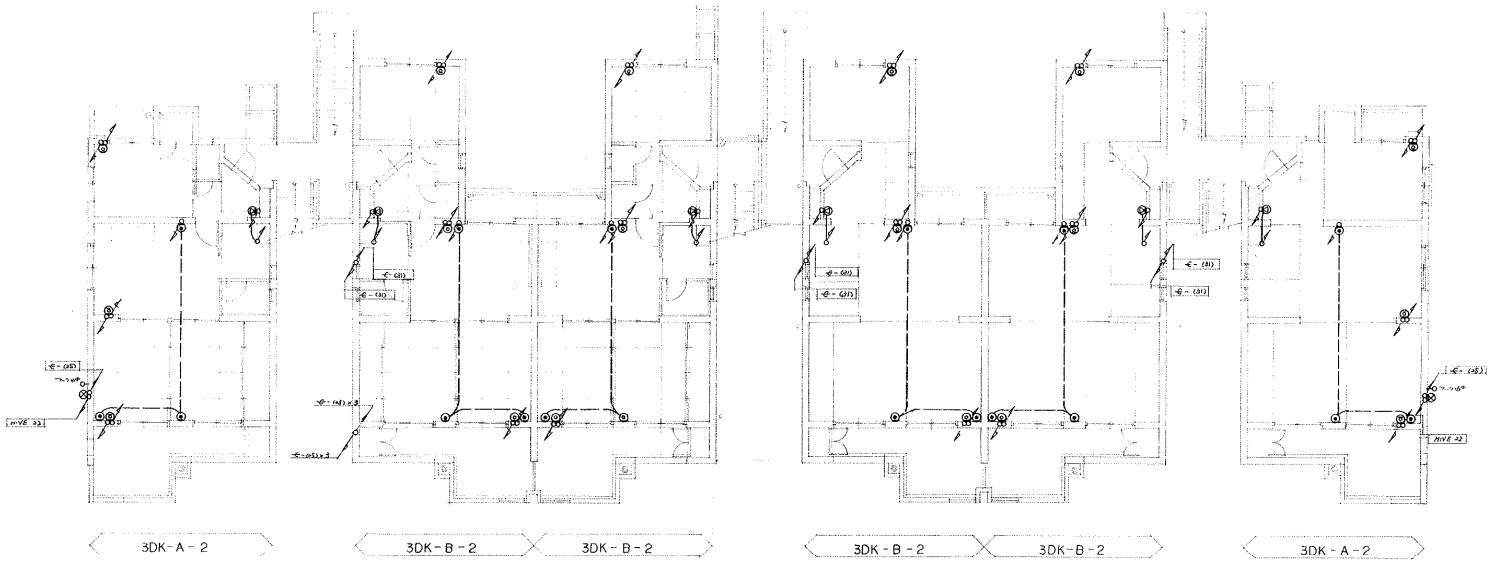
3階平面図

		図面番号 9 / 21

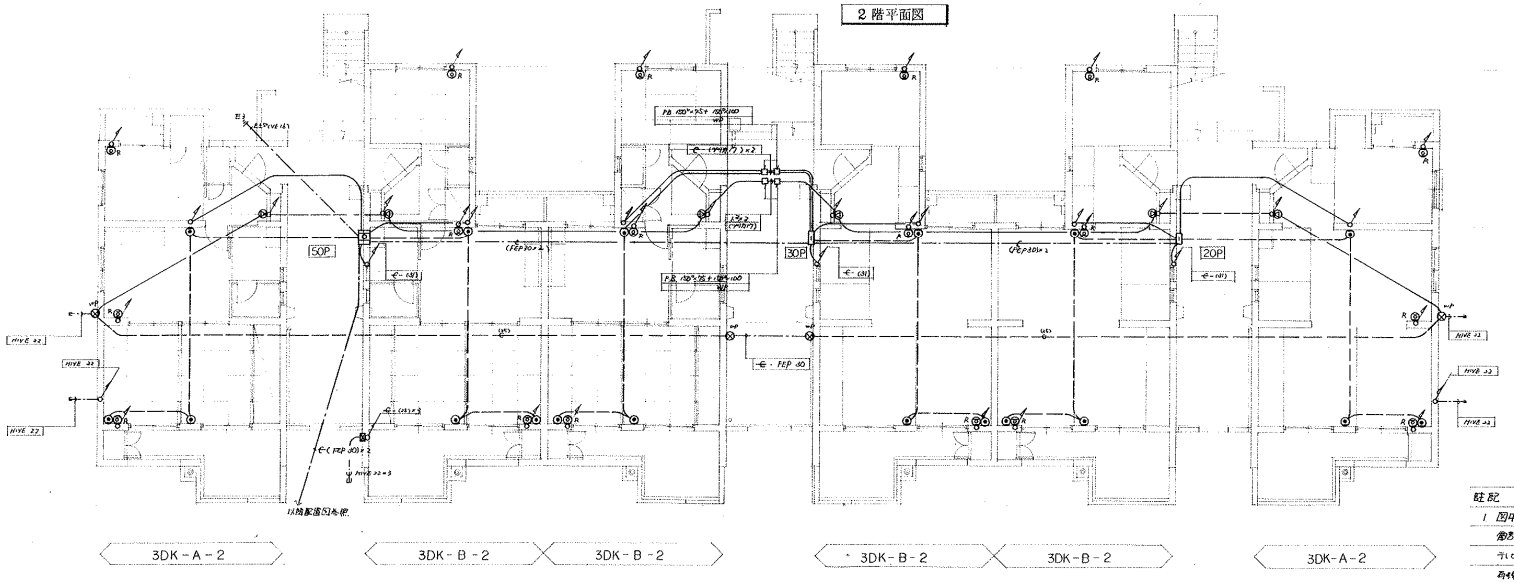


5 階平面図

図面番号
10
21



2 階平面図



1 階平面図

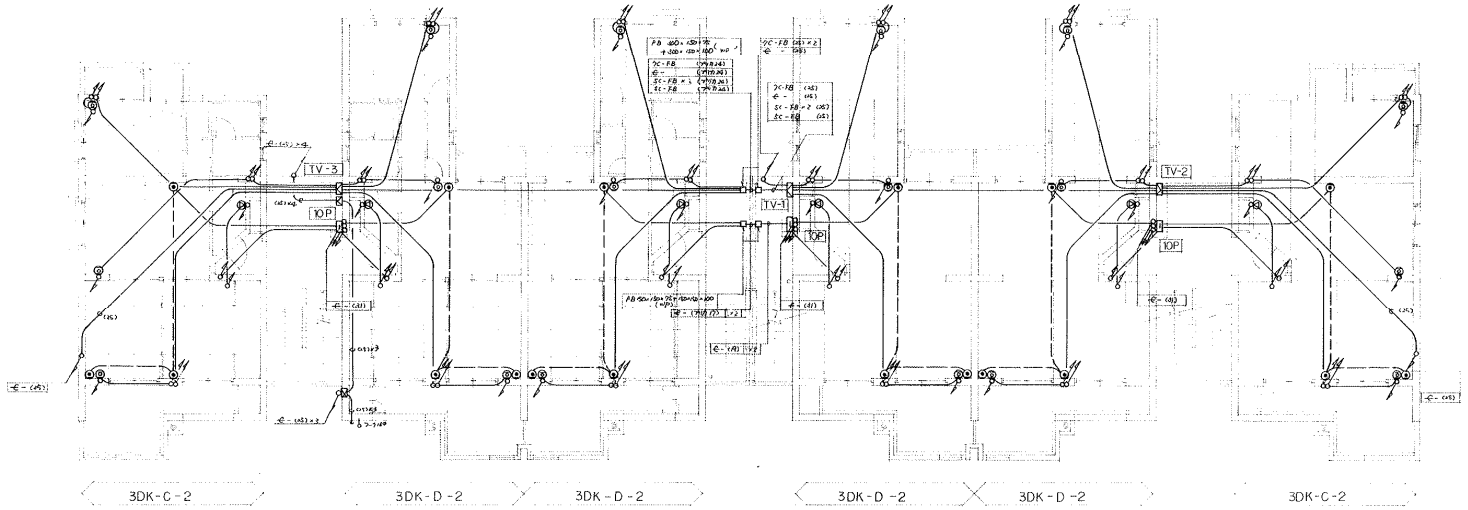
注記

1 図中特記なき配管 配線の下記の通りとする。

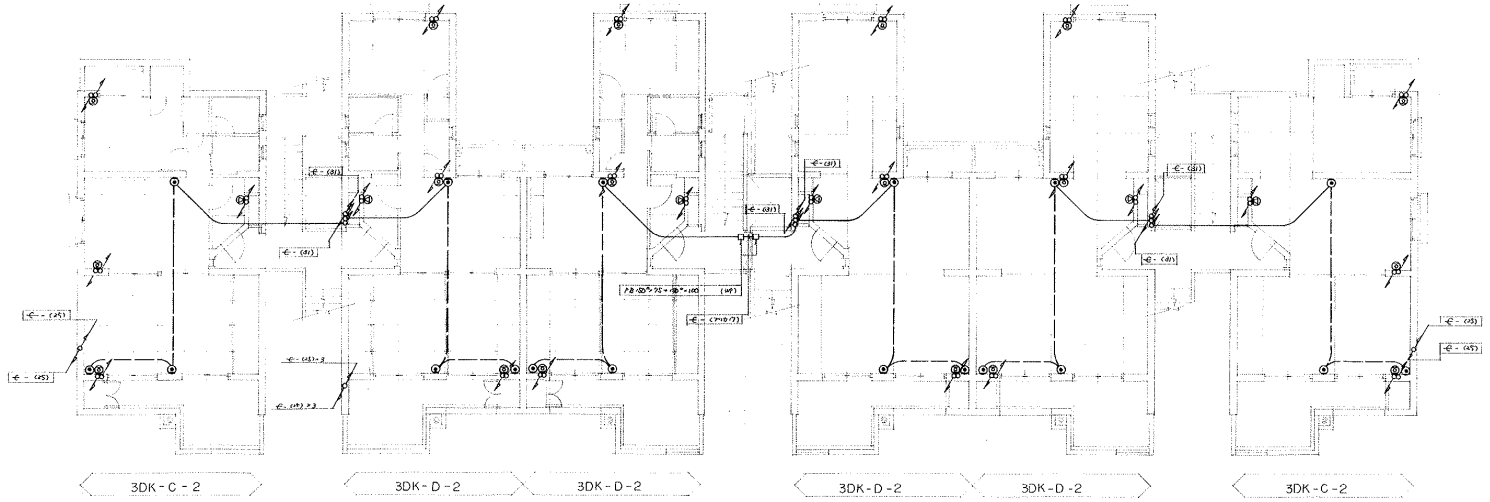
給排水	———	——— ——— (A)
汚水排水	———	——— ——— (A)
衛生	———	——— ——— (A)

② アウトレットボックス 角型プレート取付不要とする。

図面番号
11
21

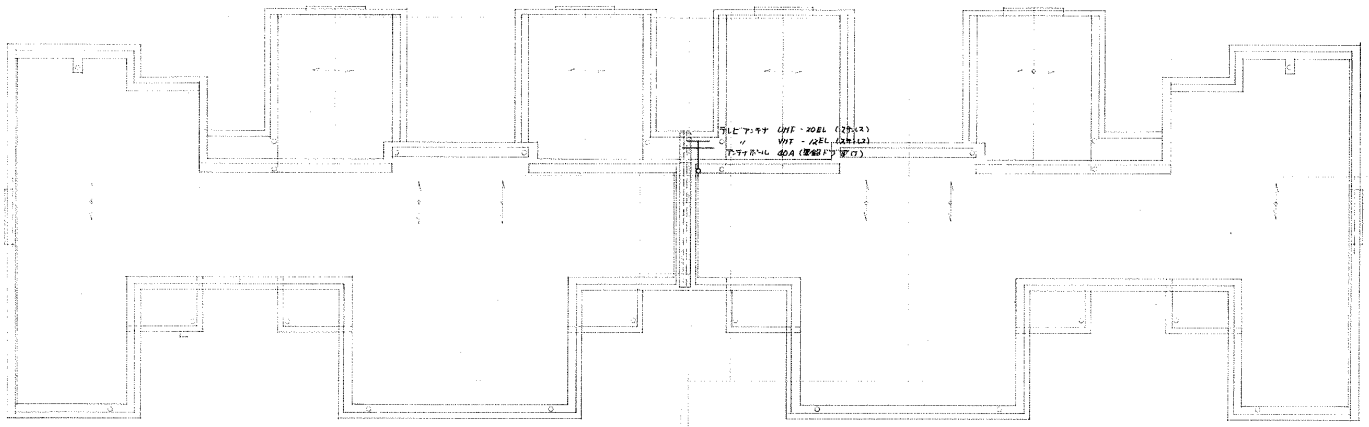


4 階平面図

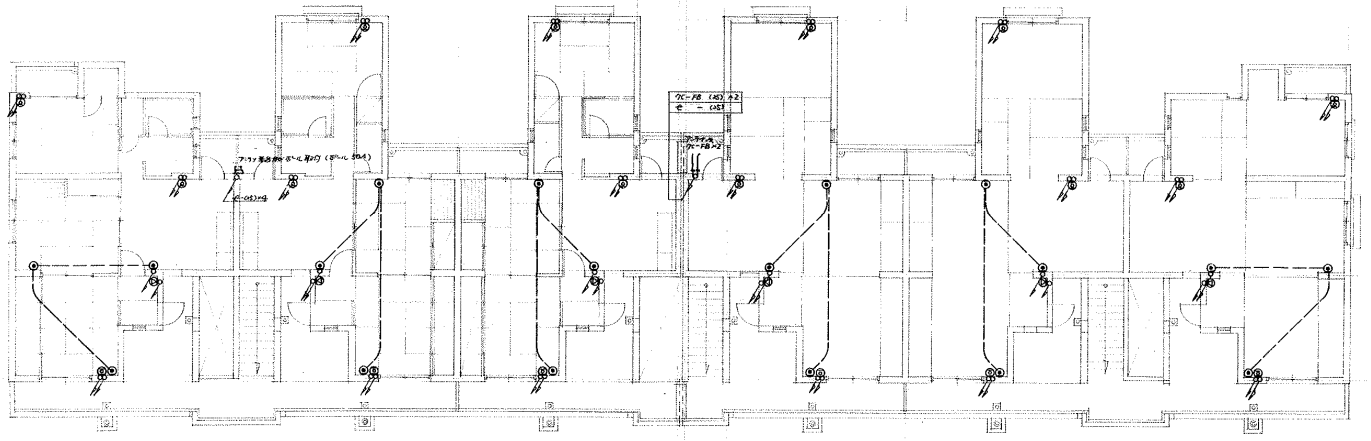


3 階平面図

図面番号 12/21



R階平面図

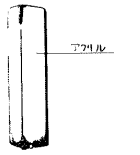


5階平面図

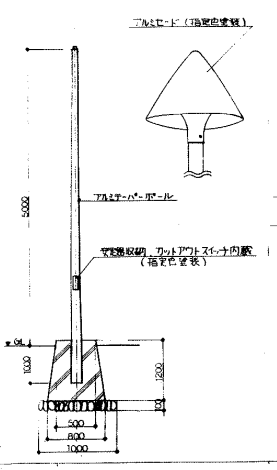
図面番号
13
21

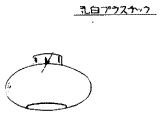


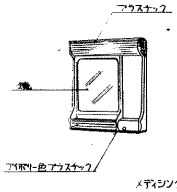
	a	IL 60W x 1 （防水型）	d IL 40W x 1
B-11	FL 10W x 1（防水型）FBC1RP-101		
B-21	FL 20W x 1（防水型）FBC1RP-201	a' IL 60W x 1 （防水型）	e FL 15W x 1









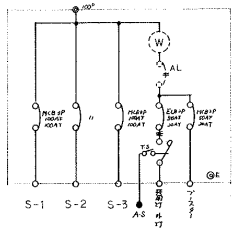


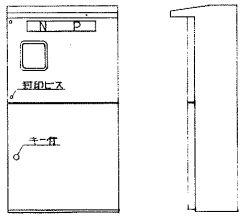
メディシングキャビネット

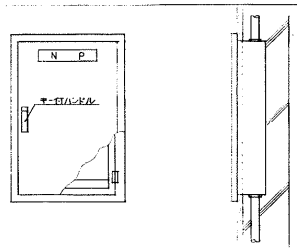
	b IL 60W x 1	f FL 10W x 1 （スイッチ・コンセント付）
外灯 NF 180W x 1 （高調波安定器）	C IL 40W x 1	



- 台所天井 は コンセント付引掛 ローゼット とする。（ ⊖A の記号 ）
- 和室天井灯は角型引掛シーリング（アダプター共）ハンガー 付とする。



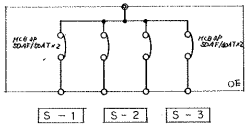


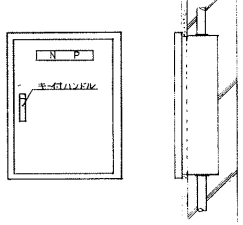


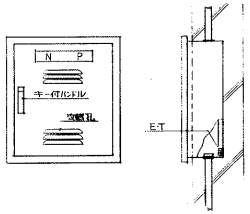
引込開閉器盤 姿図 Box 結線図 （屋外 防水型）

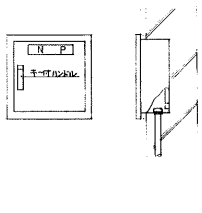
種名	盤名	収納	対	数	盤寸法
10	保安器盤	50P			800 × 600 × 140
	端子盤	30P			600 × 600 × 140
	〃	20P			600 × 500 × 140
	〃	10P			600 × 400 × 140

着脱用保安器収納箱・端子盤 姿図 （屋外 防水型）





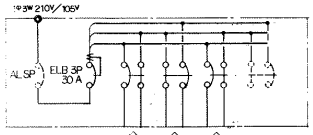




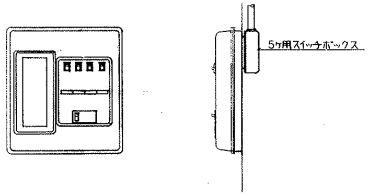
盤名	収納機器	盤寸法
TV-1	UV ﾌﾟﾗｽﾞﾏ(BL) + 1分2 + 6分2分	800 × 700 × 150
TV-2	1分2 + 6分2分	600 × 300 × 120
TV-3	6分2分	600 × 300 × 120

分岐開閉器盤 姿図 Box 結線図 （屋外 防水型）

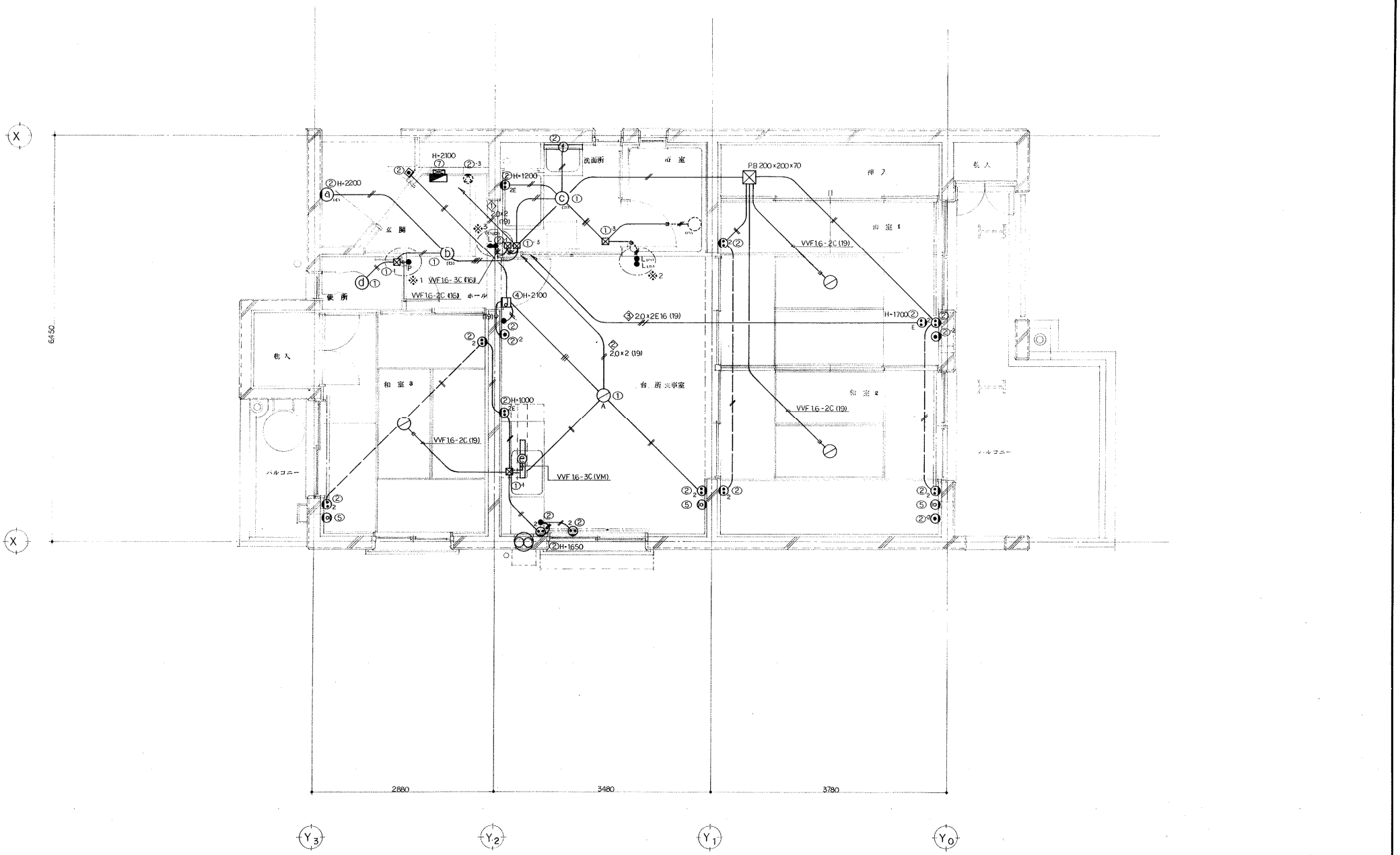
テレビ機器収納箱 姿図 ・



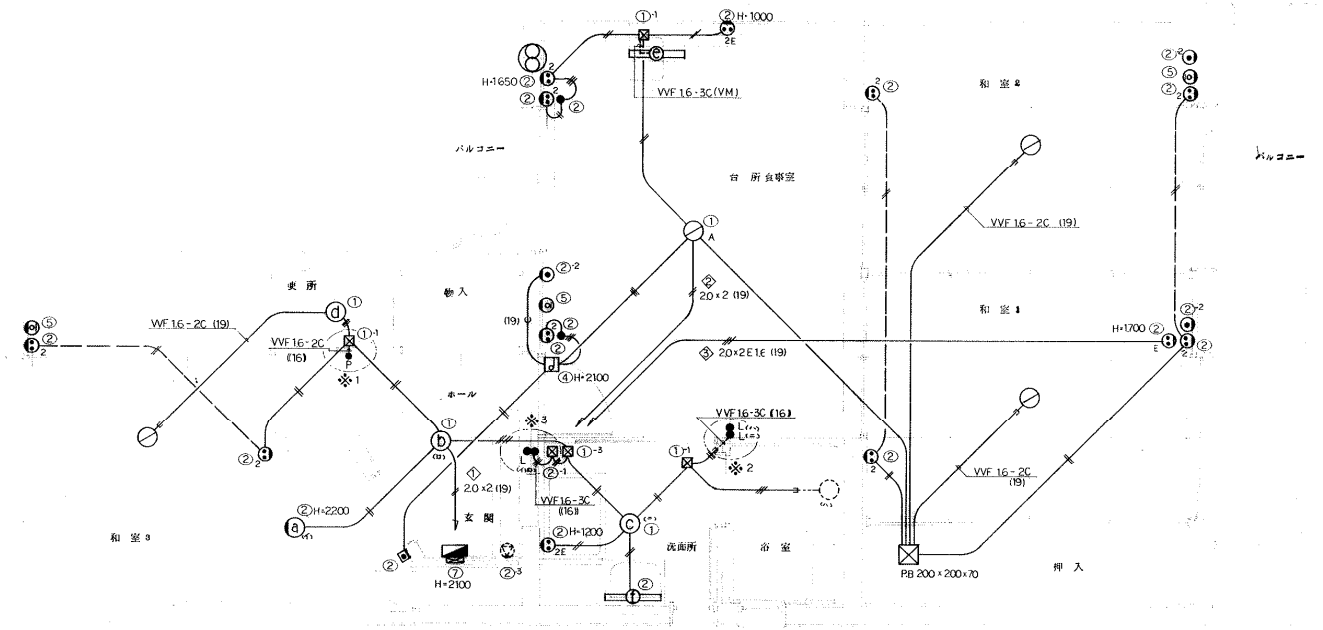
SB(漏全ブレーカー) 2P1E 20A x 3 (200V切替可能1回路)



住戸分電盤 姿図 Box 結線図 （キャビネットは合成樹脂製(自消性)とする。）


X
X
6450
H-2100
H-2200
H-1200
H-2100
H-1000
H-1650
H-1700
PB 200×200×70
VVF1.6-2C (19)
VVF1.6-3C (16)
VVF1.6-2C (16)
2.0×2E16 (19)
2.0×2 (19)
VVF1.6-3C (VM)
玄関
便所
洗面所
ホール
和室3
和室1
和室2
台所兼事室
押入
乾入
バルコニー
2880
3480
3780
Y3
Y2
Y1
Y0

	図面番号 15/21



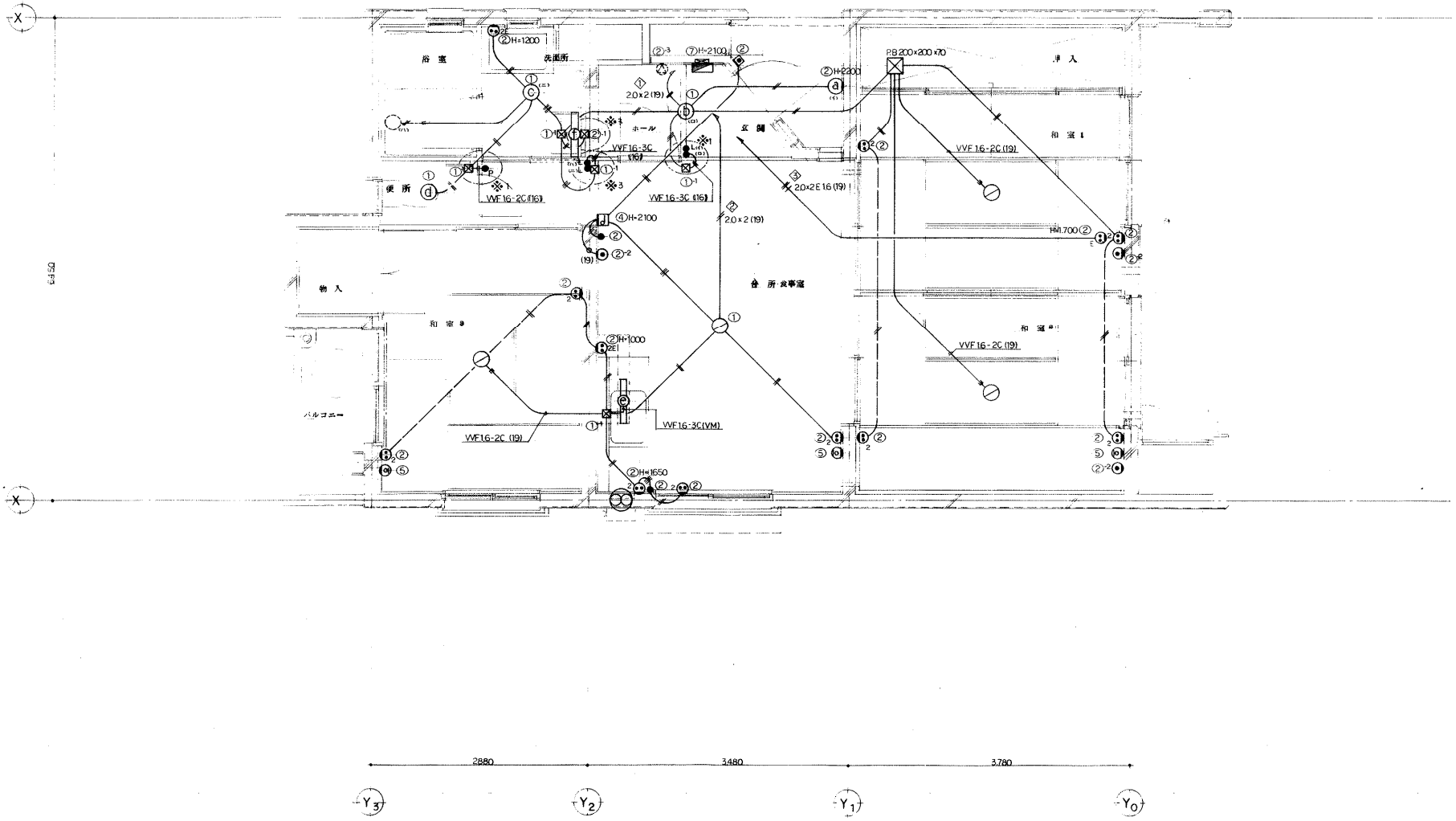
2880 2830 3480 3780

Y_4 Y_3 Y_2 Y_1 Y_0

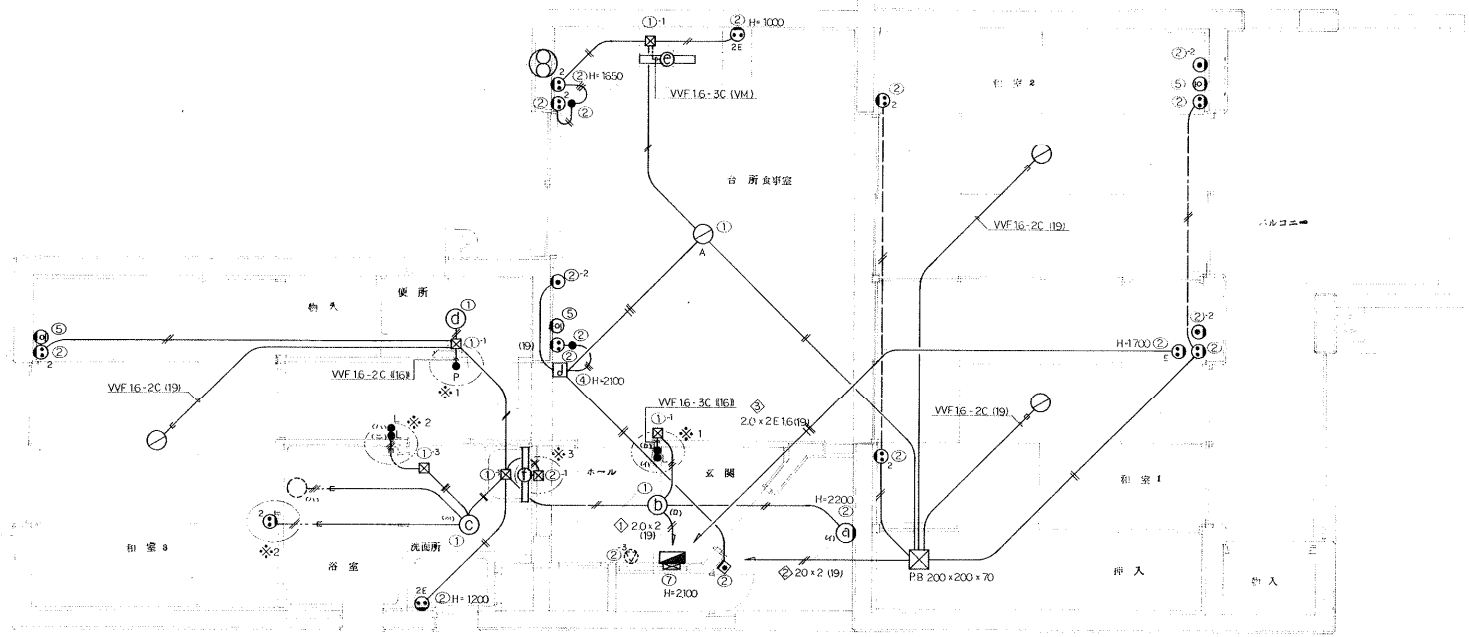
2700

3780

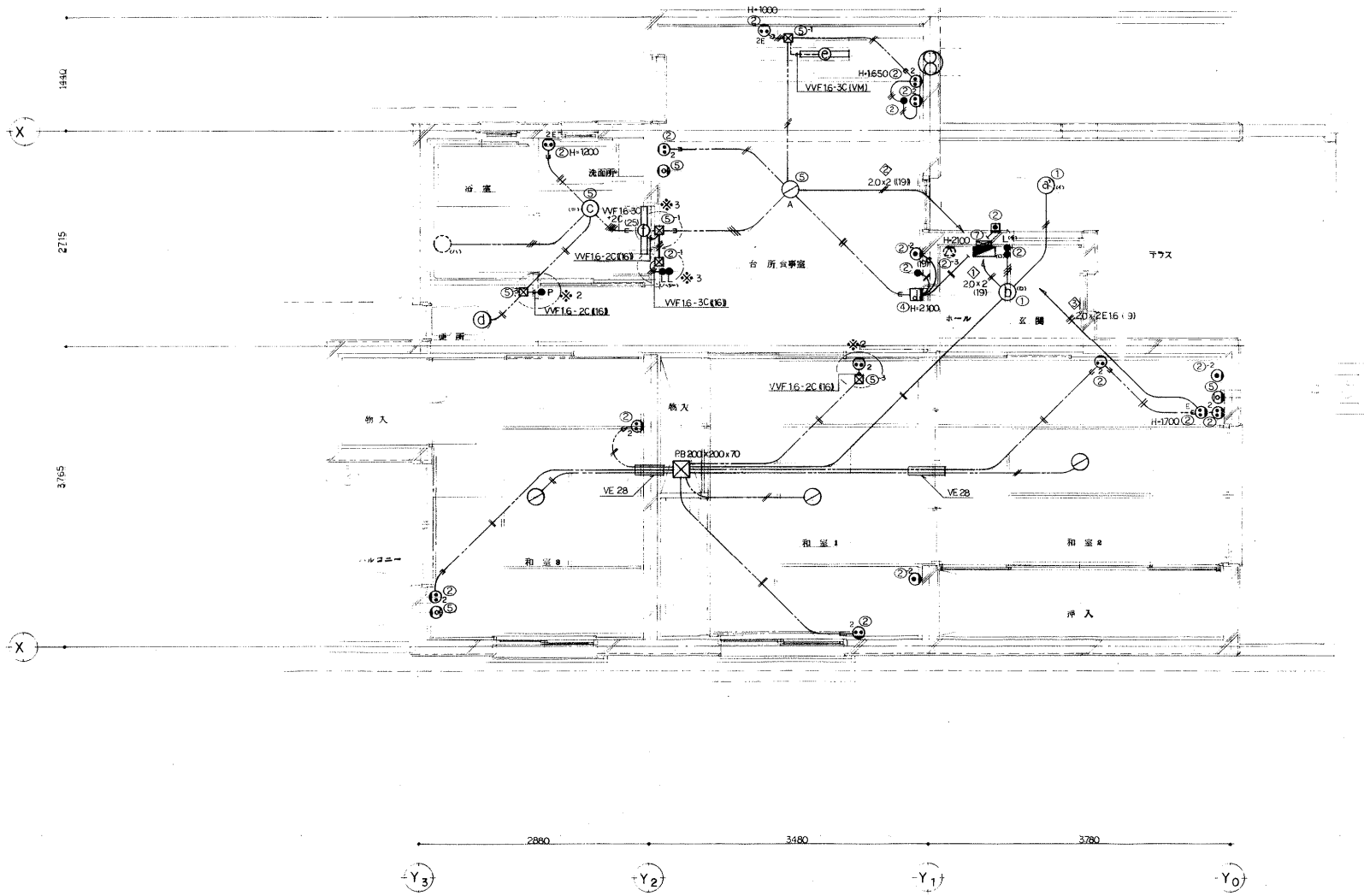
図面番号	16
	21


浴室
洗面所
ホール
玄関
押入
和室1
便所
物入
和室3
台所・食事室
和室2
バルコニー
PB 200×200×70
VVF 1.6-2C (16)
VVF 1.6-3C (16)
VVF 1.6-3C (VM)
VVF 1.6-2C (19)
2.0×2 (19)
2.0×2E 1.6 (19)
H=2100
H=2200
H=1700
H=1000
H=1650
5450
2880
3480
3780
Y3
Y2
Y1
Y0

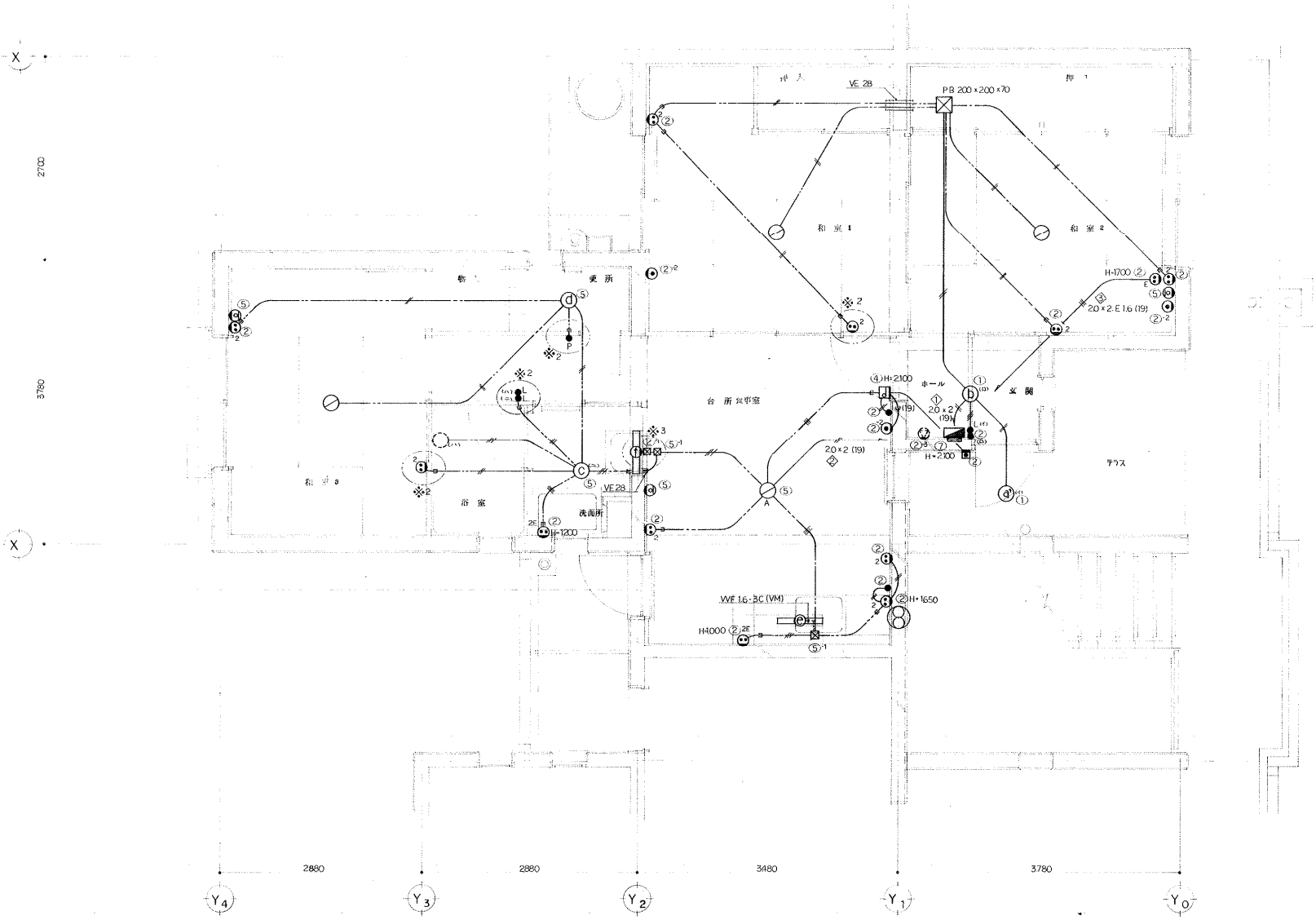
		図面番号 17/21


VVF 1.6 - 3C (VM)
H=1000
H=1650
H=2100
VVF 1.6 - 2C (19)
VVF 1.6 - 2C (16)
VVF 1.6 - 3C (16)
2.0 × 2E 1.6 (19)
2.0 × 2 (19)
H=2200
H=1700
H=1200
PB 200 × 200 × 70
台 所 食事室
便 所
洗面所
浴 室
和 室 8
和 室 1
ホール
玄 関
押 入
バルコニー
2700
3780
2880
2880
3480
3780
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
X
X

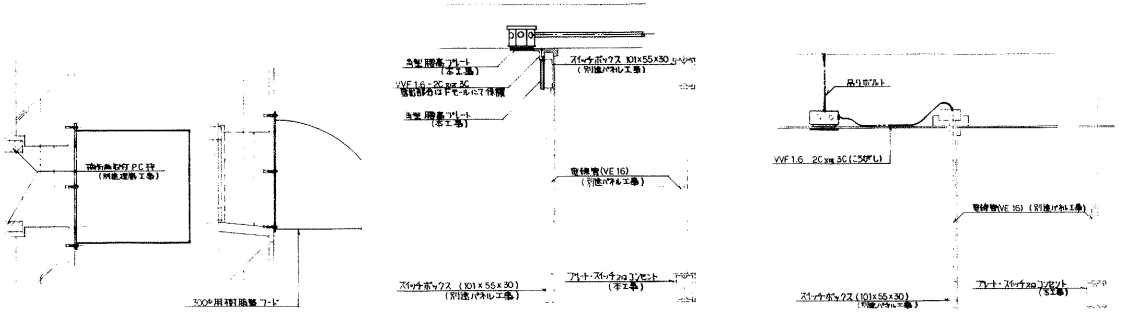
		図面番号
		18
		21

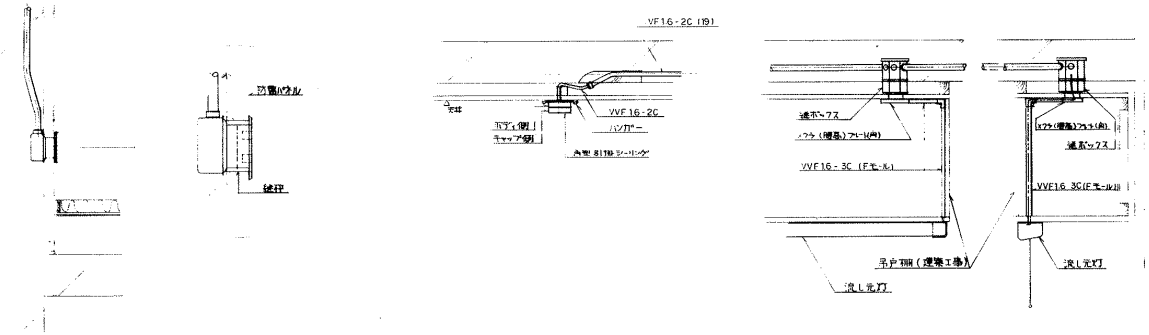

H-1000
H-1650
VVF16-3C(VM)
H-1200
洗面所
浴室
VVF16-3C
VVF16-2C(16)
台所,食事室
VVF16-3C(16)
VVF16-2C(16)
2.0×2(19)
H-2100
H-2100
テラス
ホール
玄関
2.0×2E16(19)
便所
VVF16-2C(16)
物入
物入
H-1700
PB200×200×70
VE28
VE28
和室1
和室2
和室3
バルコニー
押入
1440
2715
3765
2880
3480
3780
X
X
Y3
Y2
Y1
Y0

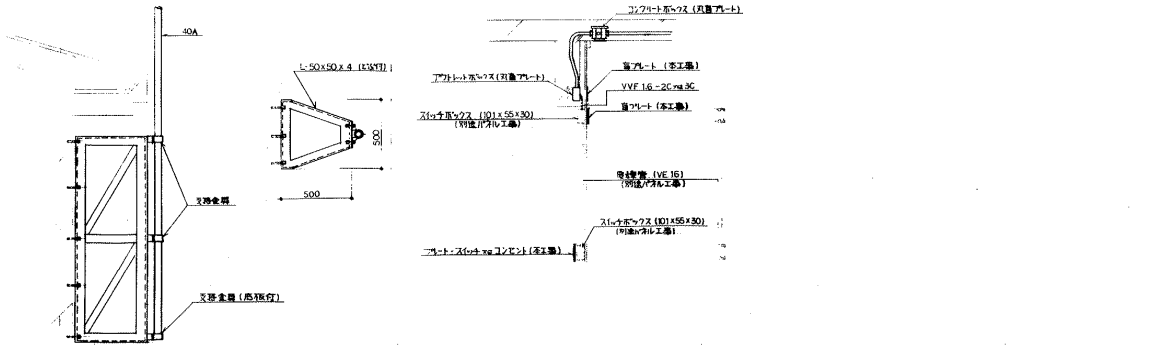
図面番号
19
21

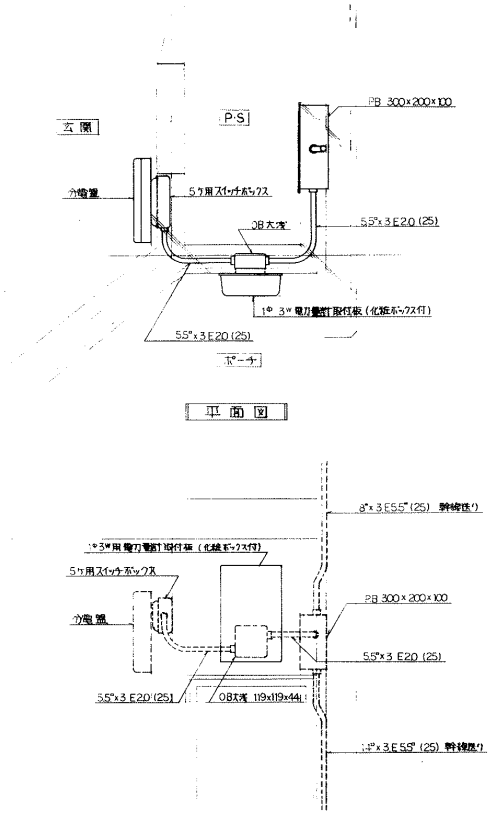

VE 28
PB 200×200×70
和室1
和室2
便所
台所食事室
ホール
玄関
テラス
浴室
洗面所
和室3
H=1700
20×2 E 1.6 (19)
H=2100
20×2 (19)
H=2100
H=1200
VE 28
VVF 1.6-3C (VM)
H=1650
H=1000
2700
3780
2880
2880
3480
3780
X
X
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0

図面番号
20
21









メーター廻り詳細図 1：10

図面番号
21
21

公営住宅２種中耐平和団地
10号棟　給排水衛生工事

図　面　目　録

図面番号	図　面　名　称	縮　尺
1	タイトル	
2	図面目録	
3	特記仕様書	
4	全体配置図，凡　例	1 : 500
5	配置図，汚リスト	1 : 300
6	系統図，器具表	
7	1，2 階平面図	1 : 100
8	3，4 階平面図	1 : 100
9	5，R 階平面図	1 : 100
10	住戸　平面詳細図　3DK－A－2	1 : 30
11	住戸　平面詳細図　3DK－B－2	1 : 30
12	住戸　平面詳細図　3DK－C－2	1 : 30
13	住戸　平面詳細図　3DK－D－2	1 : 30
14	住戸　平面詳細図　3DK－E－2	1 : 30
15	住戸　平面詳細図　3DK－F－2	1 : 30
16	便所　廻り　断面詳細図	1 : 10
17	洗面所　廻り　断面詳細図	1 : 10
18	浴　室　廻り　断面詳細図	1 : 10
19	流し　廻り　断面詳細図	1 : 10
20	メーターボックス　詳細図（1）	1 : 10
21	メーターボックス　詳細図（3）	1 : 10
22	メーターボックス　詳細図（4）	1 : 10
	~~メーターボックス　詳細図~~	

図面番号	
設計年月日	昭和 61 年 6 月 日
工事名称	公営住宅第 種中耐平和団地10号棟 給排水衛生工事
種別	特記仕様書

検印	課長		補佐		係長		設計	

特記仕様書

給排水衛生工事	空気調和工事
● 衛生器具工事	○ 空気調和工事
● 給水工事	○ ボイラー及び付属機器
● 屋内給水	○ 冷凍機
● 屋外給水	○ 空気調和機器
● 排水工事（含通気）	○ 風　道
● 屋内排水	○ 配　管
● 屋外排水	○ 自動制御
○ 給湯工事	○ 総合調整
○ 消火工事	○ 換気工事
○ 屋内消火	○ 換　気
○ 屋外消火	○ 風　道
● ガス工事	○ 排煙工事
● 屋内ガス	○ 機　器
● 屋外ガス	○ 風　道
○ 浄化槽工事	○
○ 厨房器具工事	● 運搬費
○	● 仮設費
○	● 諸経費

① 一般事項

1. 本工事は、本特記仕様書によるほか、建設大臣官房庁営繕部監修の機械設備工事共通仕様書（昭和60年版）又は、建設省住宅局監修の公共住宅建設工事共通仕様書（昭和57年版）（以下共通仕様書という）による。
2. 本工事の使用資材の品質、規格、種別等は本特記による。
3. 本工事に必要な工事用電力、水及び端子盤等の費用はすべて請負業者の負担とする。
4. 施工計画書は、着工に先だち、別に定める様式により作成し、監督員に提出する。
5. 本工事に下記の当該職別技能士を適用させる。（但し◎印のみ）（P－7　1.5.2）（共仕・標図の参考頁）

・配管技能士　・ダクト板金技能士
・熱絶縁施工技能士　・冷凍、空気調和機器施工技能士

6. 本工事で、特記事項に定める「立会検査を要する施工工程」に達するときは、事前に監督員に連絡して立会検査をしくは指示に従うこと。（P－7　1.5.4）
7. 設計図書に明記なくとも関係法令上または機器の機能上当然必要となるものについては、原則として請負金の範囲内で施工する。
8. 発生材の処置については、監督員の指示によること。
9. 本工事の施工に伴う既設建物の破損箇所は従来になない復旧する。

② 特記事項

区分	項目	特記事項
共通事項	1. 特殊な材料と工法	共通仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。なお、特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。
	2. 建設工事との関合	壁面、天井面等に機器取付のために必要な開口部等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に明記のない場合は監督員の指示によること。
	3. 別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進ちょくを図るものとし、疑問点生じたら監督員の指示によること。
	4. 施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、支庁、土木事務所建築課長（又は担当建築技師）と常に打合せを行い、指導を受けること。
	5. 完成図	設計図様を施工現場と一致するよう必要な訂正をした後、青写真に被写し B－5版サイズに製本したもの学校2部、庁舎3部、および検印マイラーベース（アセテート系）B－4版1部を提出する。訂正した箇所は監督員に返納する。 完成図の提出期限は、工事契約期間の終了する日以内とする。（P－8　1.6.2）
	6. 試験成績書	都市ガス設備、液化石油ガス設備は、ガス供給事業者の指定するガス製造試験成績書を2部提出する。県指定様式による。その他の試験成績書は監督員の指示による。（P－7　1.5.6）（P－8　1.6.1）
	7. 申請書類	本工事の施工に必要な官公署等への申請書類は原本または、そのうしを2部づつ作成し、完成図と一緒に提出する。（P－1　1.1.7）
	8. 保守指導上の内容	本工事の機械設備について保守管理上必要な事項をタイプ製写にて2部作成し、完成図と一緒に提出する。
	9. 工事報告	工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月末現在の出来高等を当月の25日までに監督員に提出する。
	10. 工事写真	完成写真は、工事完成時に撮影し、一部作成して工程写真と共に提出する。（写真はすべてカラーとする）施工された設備の全部もしくは一部が地中又は水中に埋没、隠ぺいされるいはコンクリートに埋込まれる設備は写真で確認できる様にすること。なお、必要に応じスケール写し込みとする。（P－8　1.6.1）

③ 特記仕様（下記項目および特記事項中●印を付けたものを本工事に適用）

項目	特記事項

① 衛生器具設備　（P 79. 2 1. 1.）

①	大便器用自動洗浄弁	○洗ホームブレーカー付フラッシュバルブ（ソノホールディング機構付）●ロータンク（防露型）洗浄管は固定。（P－45～114）（P－80）
2.	小便器自動洗浄方式	○フラッシュバルブ　○ハイタンク　○水栓
③	器具表示板	陶器製とし、取付けは大便器および小便器各1箇とする。 （参）大使用A 21L 6，小使用A 21L 3（大人），A 21L 9（生徒）
④	汚物入	プラスチック製とし、大便器1箇に1箇とする。
⑤	紙巻器	クロームメッキ製とする。（P－44）
⑥	水栓類	原則としてJIS規格、JWWA規格（日水協）適合品とし、節水こまとする。（P－45　1.1.3）

② 屋内給水設備

①	給水方式	○公設水道直結式　●重力（高置水槽）方式　○圧力水槽方式　○加圧送水方式
②	管種	○水道用亜鉛鉄鋼管　●塩ビライニング鋼管（◎黒●白）○内外面塩ビライニング鋼管（専用継手を使用）（P－67．P－83）
③	弁	水槽以降の配管には5 kg／㎠ 型とし、その他は10kg／㎠ 型とする。（ＪＩＳ規格） 逆止弁は呼び径50以下の揚水ポンプ付属逆止弁もバイパス弁付きでよい。 呼び径65以上の仕切弁、逆止弁はライニング弁とする。（P－71　1.7.2）
4.	高置水槽	FRP製（○一体型○組立型○単板構造○保温構造）設計用水平震度は1.0Gとする。2㎡以上は内外ハシゴ付。（P－62）
5.	ポンプ電動機	全閉防まつ形とする。（P－39）
6.	ボールタップフロート（定水位子弁含）	○銅板製　○ポリエチレン製（P－72）

③ 屋外給水設備

①	管種	○水道用亜鉛鉄鋼管　○内外面塩ビライニング鋼管（専用継手を使用）　●ＨＩＶＰ　○ＳＧＰ－ＶＢ。（P－67．P－83）
②	継手材	専用継手とレタ部にコンパウンド、継手受口隙間に専用テープを使用すること。
③	仕切弁	呼び径32まではVC－1（180×180×550ＨフタＢ1），呼び径40～65まではVC－3（300×300×700ＨフタＢ2－Ａ）とする。呼び径80からはVC－5（450×450×1200ＨフタＢ2－Ｂ）とする。（図P－58．機材33）（図P－59．機材34）
④	量水器	検針デジタル型　親メータ（○貸与　●買取り）　子メータ（●貸与　○買取り）
⑤	量水器枡	呼び径32まではMC－1（430×310×550ＨフタＭＢ－1），呼び径40～75まではMC－2（710×510×750ＨフタＭＢ－2）とする。呼び径100からはMC－3（1100×710×750ＨフタＭＢ－3）とする。（図P61．機材36）
⑥	標準埋設深さ	ビル管（一般450Ｈ・車路900Ｈ）　鋳管（一般300Ｈ・車路750Ｈ）
⑦	伸縮ジョイント	鋼管とビニル管の接続箇所には、エラス（又はフリー）ジョイントを使用する。

④ 屋内排水設備　（P 88）

①	汚水管	○排水用鋳鉄管（メカニカルジョイント型）　●硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
②	雑排水管	●配管用炭素鋼ろ管（白）　●硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
③	洗面器等の排水管	洗面器および手洗器に直結する排水立管寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする。
④	床上掃除口直下の曲管	汚水系統に取り付ける床上掃除口直下の曲管は90°長曲管とする。
⑤	器具との接続	鋳管、ＭＹジョイント接続とする。（手洗い、洗面器の配管接続はハンダ付とする） 流し等の排水接続は配管接続とする。（ジャバラは不可）
⑥	通気金物	●アルミ（耐熱製）　●ビニル製
⑦	排水金物	ネジ込型（掃除口は差込型とする）

⑤ 屋外排水設備　（P 77）

①	管種	○ヒューム管（外圧1種Ｂ）　●硬質塩化ビニル管（●ＶＰ　○ＶＵ）　○ＨＩＶＰ　○陶管
②	マンホールふた	●鋳鉄製（●ＭＨＡ形．●ＭＨＢ形　名称入り，蓋網付とする。
③	汚水・雑排水桝	既製コンクリート桝使用可。深さ1ｍ以上の桝には足掛金物（ゆ＝150鋳型付）を取り付けること。（図P64　機材39）

⑥ 給湯設備　（P 51．P 91）

1.	管種	○鋼管　○水道用炭素鋼鋼管　○耐熱塩ビライニング鋼管（黒）　○被覆銅管　○耐熱ビニル管
2.	貯湯槽の材質	○ステンレス鋼板製（電気防食鋼管付）　○ステンレスクラッド鋼板製（電気防食鋼管付）　○鋼板製
3.	膨張水槽の保温	ロックウール2号　50t，外装はステンレス鋼板（0.3ｔ）

⑦ 消火設備　（P 57．P 93）

1.	管種	○配管用炭素鋼ろ管（白）　○外面ライニング鋼管（白）　○ＨＩＶＰ
2.	屋内消火栓箱	ホース掛型とする。鋼製1－1.6 m／m 断面0.7 m² 以上　但し連結送水管用放水口併設0.8 m² 以上 操作方法表示灯
3.	弁	10kg／㎠ 型とする。（ＪＩＳ規格）　○並型　○定圧定流量型
4.	ポンプ電動機	全閉防まつ型とし、出力11ＫＷ以上（スターデルタ起動）の場合は端子ボックス （参　200×200×100Ｈ）を取り付けること。

⑧ ガス設備　（P 191～201，図P 120．P 121）

①	種類	○都市ガス（発熱量　　Kcal／㎥）　●液化石油ガス（プロパン）発熱量 12,000 Kcal／kg
②	管種	●配管用炭素鋼ろ管（白）　○鋼管　●外面塩ビライニング鋼管（黒）
③	ガスメータ	●貸与品　○買取り
④	接合材	ガス専用接合材を使用すること。
⑤	継手材	専用継手とレタ部にコンパウンド、継手受口隙間に専用テープを使用すること。
⑥	転倒防止具	本工事に含む。
⑦	絶縁継手	外部から建物内への配管部に絶縁継手を設ける。
⑧	塗装	有効塗布の責任施工とする。

9. 屋屎浄化槽設備　（P 207～218）

1.	型式	建設省告示1292号に指定する構造とする。（　　） 処理対象人員（　　）人　処理水量（　　）㎥／日
	○ 単独処理	○分離接触ばっき方式　○分離ばっき方式　○散水濾床方式
	○ 合併処理	○接触ばっき方式　○散水濾床方式　○回転板接触方式　○長時間ばっき方式　○標準活性汚泥方式
2.	マンホールふた	○ＭＨＡ型　○ＭＨＢ型　○ＲＣ型　○鋳鋼板（4.5ｔ）
3.	放流水質（BOD）	○30mg／ℓ　○60mg／ℓ　○80mg／ℓ　○他（　　）mg／ℓ
4.	金物類	支持金物、ボルトナット、その他すべてステンレス鋼製とする。（P－215　2.1.24）
5.	水質検査（合併処理）	浄化槽使用開始後6～8ヶ月内に1回放水水質検査を行い報告書を監督員に提出する。 （浄化槽法第7条に基づく8項目＋大腸菌群数）

10. 暖房、冷房、空気調和、換気設備

1.	方式	○直接暖房　○蒸気　○温水 ○冷暖房　○空冷冷房専用　○空冷ヒートポンプ ○空気調和（　　）
2.	設計条件	外気：温度（DB）℃ 湿度（RH）％　夏季　冬季 室内 一般系統：温度（DB）℃ 湿度（RH）％　夏季　冬季 室内：温度（DB）℃ 湿度（RH）％　夏季　冬季
3.	機器付属の制御盤	共通仕様書第1編2.9.3による。 運転制御機の主制御盤は熱源機器とする。
4.	ボイラ	燃料（○灯油　○A重油　○B重油　○ガス）
5.	温度計	○取付る。電極はパーチ電極（2ヵ所）側より取出すものとして配管配線を含む。（P－100　1.1.9）
6.	はいじん量測定孔	○使薄の直線部に径150＃の孔
7.	煙道	鋼板厚3.2㎜（P－100　1.1.8）
8.	風道	風速（○低速　○高速）（P－143～145） フランジ部のダクト端折り返しは5㎜以上とし、ダクト折り返し部の四隅にはシールを施す。（P－161） 厨房、防虫などの多量箇所の排気風道は、その経由及び継手を外面よりシール材でシールを施すか、又はふんだ付けれ施し、必要により水抜管を設ける。（P－160～166） ●シール材　シリコンゴム系又はニトリルゴム系を基材としたもので、風道材質に悪影響を与えないものとする。 （P－144　シール材）
9.	フレキシブルダクト	継続基準法施行令第108条の2の規定により、不燃材料の認定を受けたもので、十分な可撓性と耐圧強度及び耐食性を有するものとし、厨房内に用いる場合は熱絶縁性の優れたものとする。（P－145　1.11.4）
10.	風量測定口	取付箇所（○送風機に近接した部分　○外気取入付近　○取付を指示されたダンパー近接部分） ●取付辺300未満は1箇、300以上700未満は2箇、700以上は3箇とする。（P－148　1.11.17）
11.	チャンバー	内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外寸を示す。 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバ及びホッパには、管を設け最寄りに排水する。（P－145　1.11.5）
12.	防火ダンパー 防煙ダンパー 防火防煙ダンパー	共通仕様書によるほか下記による。 復帰方式（○遠隔式　○電動式、定格入力ＤＣ24Ｖ、0.5Ａ以下　○手元式） 操作方式（○瞬時通電式又は電動式、定格入力ＤＣ24Ｖ、0.5Ａ以下） 作動方式（○順送り閉鎖機構　○同時閉鎖機構） 表示用端子　○設ける ●（財）日本建築センター評定品を使用する。（P－147）
13.	配管材料	冷温水管（○配管用炭素鋼鋼管：白管　○　　） 冷却水管（○ライニング鋼管：ＶＡ　○　　） 蒸気管　配管用炭素鋼鋼管：黒管 油管　配管用炭素鋼鋼管：黒管 冷媒管　銅管 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラへの給水管は、配管用炭素鋼鋼管（白管）とする。
14.	可撓継手（鋼製フランジ付）	ステンレス製 一般配管用：管径 25以下 / 32～50 / 65～150 / 200以上；全長㎜ 300 / 500 / 800 / 1000（P－73　1.7.9） ステンレス製 油配管用：管径 25以下 / 32～40 / 50～80；全長㎜ 300 / 500 / 800（P－151　1.12.10） ゴム製：管径 40以下 / 50～80 / 100以上；全長㎜ 300 / 500 / 700
15.	防振継手	鋼製フランジ付　・振動の出る機器については防振吊りを施すこと。（P 73　1.7.9）
16.	弁類	ＪＩＳの呼び圧力5 kg／㎠とする。ただし、特記部分はＪＩＳの呼び圧力10kg／㎠とする。 65ｓ以上の冷却水配管の弁は、ライニング弁とする。 屋内貯油槽及び油サービスタンクの最高液面以下に設ける元バルブ及びドレンバルブはＪＩＳ　Ｂ2073（鋳鋼10 kg／㎠ フランジ形外ねじ仕切弁）によるものとする。
17.	サービスタンクの油面計	ゲージ式（銅圧式）（P－153　1.13.4）
18.	多翼形送風機の基礎	○標準基礎　○防振基礎（Ａ形）　○防振基礎（Ｂ形）（P－158　図P－129～130施工21～22）
19.	ポンプ基礎	○標準基礎　○防振基礎（Ａ形）　○防振基礎（Ｂ形）（P－155　図－128　施工20）
20.	遠心冷凍機の基礎	○標準基礎　●型式番号基礎（図P－131　施工23）
21.	チラーユニットの基礎	○標準基礎（Ａ形）　○標準基礎（Ｂ形）　○防振基礎（図P－132　施工24）
22.	ユニット型空気調和機の基礎	○標準基礎（Ａ形）　○標準基礎（Ｂ形）　○防振基礎（図P－132　施工24）
23.	パッケージ型空気調和機基礎	○木台（防振パット共）　○コンクリート（防振パット共）
24.	吹出口	アルミニウム製
25.	温度計	共通仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。 ○温水ボイラの温水入口　○空気調和機廻りの給気温湿、還気温湿及び外気温湿　○冷温水管寄せ（往）及び冷温水管寄せの各還り管　○膨張管取出口 ●指定用チッピングは32＃ピトー管挿量計用とする。（P－154　1.13.7）
26.	調節流量計及び流量測定口	共通仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。　○調節流量計　○流量測定口 冷凍機の冷水出口 ボイラ又は熱交換器の温水出口 冷温水管寄せの各還り管（P－148　1.11.17.） ●指定用チッピングは32＃ピトー管挿量計用とする。（P－154　1.13.7）
27.	膨張水槽の保温	ロックウール保温板（2号）50ｔを使用し、外装はステンレス鋼板0.3ｔとする。
28.	屋べい風道の保温	フランジ部は保温材2枚重ねとする。
29.	パッケージ型空調機	屋外機カバー（○要　○不要）　材質はナイロンターポリン0.34ｔとする。 耐塩処理（○要　○不要） 三菱電機－離島仕様（但し屋外機銅管銀蝕系塗装処理）、東芝－重塩害仕様 ダイキン－塩害対策形（E_1型），松下－重塩害対策仕様，日立－耐塩標準品（但し、底板を樹脂系塗装処理），三菱重工－中耐塩

⑪ 各種試験、調整

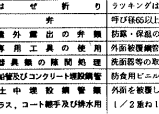
給水設備	(1)	給水装置に話当する管は、水道事業者の規定圧力。ただし、最小鋼管17.5 kg／㎠，ヒール管10 kg／㎠とする。
	(2)	揚水管は当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍の圧力。（最小7.5 kg／㎠）（P－87　2.2.4）
消火設備		消防用設備等試験結果報告書の記入にあたって行う。消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。（P－94　2.5.4）
給湯設備		給湯設備の試験に準ずる。
ガス設備	(1)	気密試験及び点火試験とする。（高圧側156 kg／㎠，低圧側840㎜Ｈ₂Ｏ）（P－197　2.2.5）
	(2)	点火試験は、ガスメーター取り付後、管内の空気を除去して行う。（P－201　3.2.5）
総合調整		各種機器調整及び風量、風速、騒音、振度、湿度の測定等。

⑫ 保温工事　（P20～38）

種別 ＼ 保温の厚さ（単位：㎜）	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300 以上	保温材仕様	区分
給水・排水・消火及び通気管		20														フォーム(P)ステレン	ア
給湯管（循環管含）				20					25			40		50		グラスウール	イ
冷温水管（循環管含）		30				40								50		グラスウール	ウ
冷却水管		30				40								50		フォーム(P)ステレン	エ
温水管（循環管含）			20					25		40		50				グラスウール	オ
蒸気管		25		30			40				50					グラスウール	カ
一般風道		屋内露出部50				屋内隠ぺい部25										グラスウール	キ
冷媒管							20									ロックウール	ク

施工箇所及び管類用途 ＼ 防露保温等施工順序	保温材（下地含）	結露テープ巻（40）	ポリエチレンフィルム	アルミフォイルラミネートフェルト	アルミフォイルラミネートフィルム	鉄網	原紙	ビニルテープ	綿布	アルミクロス	防水布	ステンレス鋼板	塗装（下地含）	プライマー	保温筒仕様区分
屋内露出	給水・消火管	筒	○					○		○				○	ア
	排水管	筒	○					○		○				○	ア
	給湯管	筒						○		○				○	イ
	冷温水管	筒		○	○			○		○				○	ウ
	冷却水管	筒						○		○				○	エ
	温水管	筒						○		○				○	オ
	蒸気管	筒						○		○				○	カ
	冷媒管	筒						○		○				○	ク
	矩形風道	板											○注2		キ
	円形風道	帯						○					○注2		キ
屋内隠ぺい	給水・消火管	筒	○						○						ア
	排水管	筒	○						○						ア
	給湯管	筒						○		○					イ
	冷温水管	筒		○	○			○		○					ウ
	冷却水管	筒						○		○					エ
	温水管	筒						○		○					オ
	蒸気管	筒						○		○					カ
	冷媒管	筒					○	○		○					ク
	矩形風道	板	○										○		キ
	円形風道	帯	○					○					○		キ
床下及び埋設内	給水・消火管	筒	○				○						○		ア
	トレンチ・ピット内の排水管	筒	○				○						○		ア
	給排管	筒					○	○					○		イ
	冷温水管	筒		○			○	○					○		ウ
	冷却水管	筒					○	○					○		エ
	温水管	筒					○	○					○		オ
	蒸気管	筒					○	○					○		カ
	冷媒管	筒					○	○					○		ク
屋外露出及び多湿箇所	給水・消火管	筒	○				○						○		ア
	排水管	筒										○			ア
	給湯管	筒					○	○					○		イ
	冷温水管	筒		○			○	○					○		ウ
	冷却水管	筒					○	○					○		エ
	温水管	筒					○	○					○		オ
	蒸気管	筒					○	○					○		カ
	冷媒管	筒					○	○					○		ク
	矩形風道	板					○						○		キ
	円形風道	帯					○	○					○		キ

参考）冷媒管の防露・保温要領



参）保温カバー（チューブ）
発泡ポリエチレン又は架橋ポリプロピレン製
軟質塩ビフィルム被覆、接着剤付
厚さ7.0～10.0㎜
施設　耐熱温度　120℃
ガス管　〃　80℃
成形に支障がある場合はロックウール保温材を成形補助材として使用する。

注）1 屋外露出の外装材には、保温内に水が浸入しないよう必要に応じてシールする。
2 屋内露出部分のステンレス鋼板は亜鉛鉄板又は着色亜鉛鉄板に読み変える。
但し、各種機械室の仕上げはアルミガラスクロスに化粧押えとする。
3 冷水管の保温筒の細目は指着順で貼合す。

⑬ 共通事項

①	機材	使用機材は、九州地方建設局営繕部設備機材製造者等指定名簿（最新版）記載品、または同等品以上のものとする。
②	防火区画貫通部	区画貫通の管類は、建築基準法に従い施工する。なお、その保温材・充填材は全てロックウールとし、共通仕様書に準じ施工する。（P－85　2.2.3(6)）P－196(41)　図P－149）
③	建物導入部の配管	管のたわみ性を利用した方法で施工する。（P－85　2.2.3(6)　P－196(41)　図P－149）
④	銀識その他	機器類・弁類・保守工具及び配管等には適宜その名称、内容及び矢印等を記入、もしくはプラスチック製札に刻印したものを指示により取付ける。必要に応じ、消防法などによる（危険物・火気厳禁他）の表示を設置する。（P－9　1.6.3．1.6.4）
⑤	配管用のスリーブ	原則として、亜鉛鋼板製とする。（P－74　1.7.13.）
⑥	防食コア	内面をライニングした管の使用にあっては、必ず管端に防食コアを装着する。
⑦	支持金物類	屋外、ピット内及び多湿箇所の支持金物類はステンレス鋼製とする。
⑧	はぜ折り	ラッキングはボタンパンチスナップはぜとする。ダクトのはぜ折りは6㎜以上とする。
⑨	弁	呼び径65以上の弁はフランジ式とする。（P－71　1.7.2）
⑩	露外露出の弁類	防蝕・保温の上ステンレス鋼板による外装を施し、弁棒はグリスアップする。
⑪	専用工具の使用	外面被覆鋼管の施工にあたっては、専用工具を使用する。（P－80　(41)）
⑫	器具類の種開処理	洗面器等の取付箇所との隙間はシリコン材でシールする。（P－79　(50)）
⑬	鉛管及びコンクリート埋設鋼管	防食用ビニルテープで1／2重ね2回巻を行なう。（P－18　(5)　P－26　7.）
⑭	土中埋設鋼管鋼エラス、コート継手及び排水用鋼管もこの項に準じる。	外面を被覆してない鋼管は、ペトロラム系ペーストを塗布のうえ、ペトロラム系防食テープ1／2重ね1回巻を行ない、さらに防食用ビニルテープ（ＪＩＳＺ1901厚さ0.4㎜）1／2重ね1回巻を行う。但し、弁、継手等の部分はペトロラム系防食シート1で包み込み、さらに防食用ビニルテープを巻く。（施工手順を撮影の上、工程写真に表わす）（P－18　(4)）
⑮	埋設管の標示テープ	下記の埋設管には、管頂部全長にわたって、高密度ポリエチレン製の標示テープを貼り付ける。 直結給水管（市水本管係統部）　<緑色>　給水管（冰機以降）　<空色> 揚水管（受水槽～高架水槽間）　<青色>　井水管　<白色> 消火管　<赤色>　ガス管　<黄色>
⑯	埋設桝	原則として、土中埋設のガス管、給水管及び消火管の分岐命引部にはアルミ製ふた無をコンクリート（200㎜×300㎜）で巻込み、配管とステンレス鋼で緊結の上設置する。（P－86　(6)　P 196(41)）
⑰	既製コンクリート桝	厚さ100㎜とする。但し、点検用桝及び300□は厚さ80㎜でよい。

図面番号
3



凡例

記号	名称	仕様
——・——	給水管	土埋線－耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 上記以外－塩化ビニルライニング鋼管(白)
——G——	ガス管	二埋設－外面ライニング鋼管(黒) 上記以外－耐食性被覆鋼管(白)
———	汚水管	硬質塩化ビニル管(VP)
———	雨水管	屋内主管－耐衝撃性硬質塩化ビニル管(白) 屋内・外 二埋設以外－硬質塩化ビニル管(VP)
- - - -	通気管	硬質塩化ビニル管(VP)
——⋈——	仕切弁	JIS 5kg/cm²

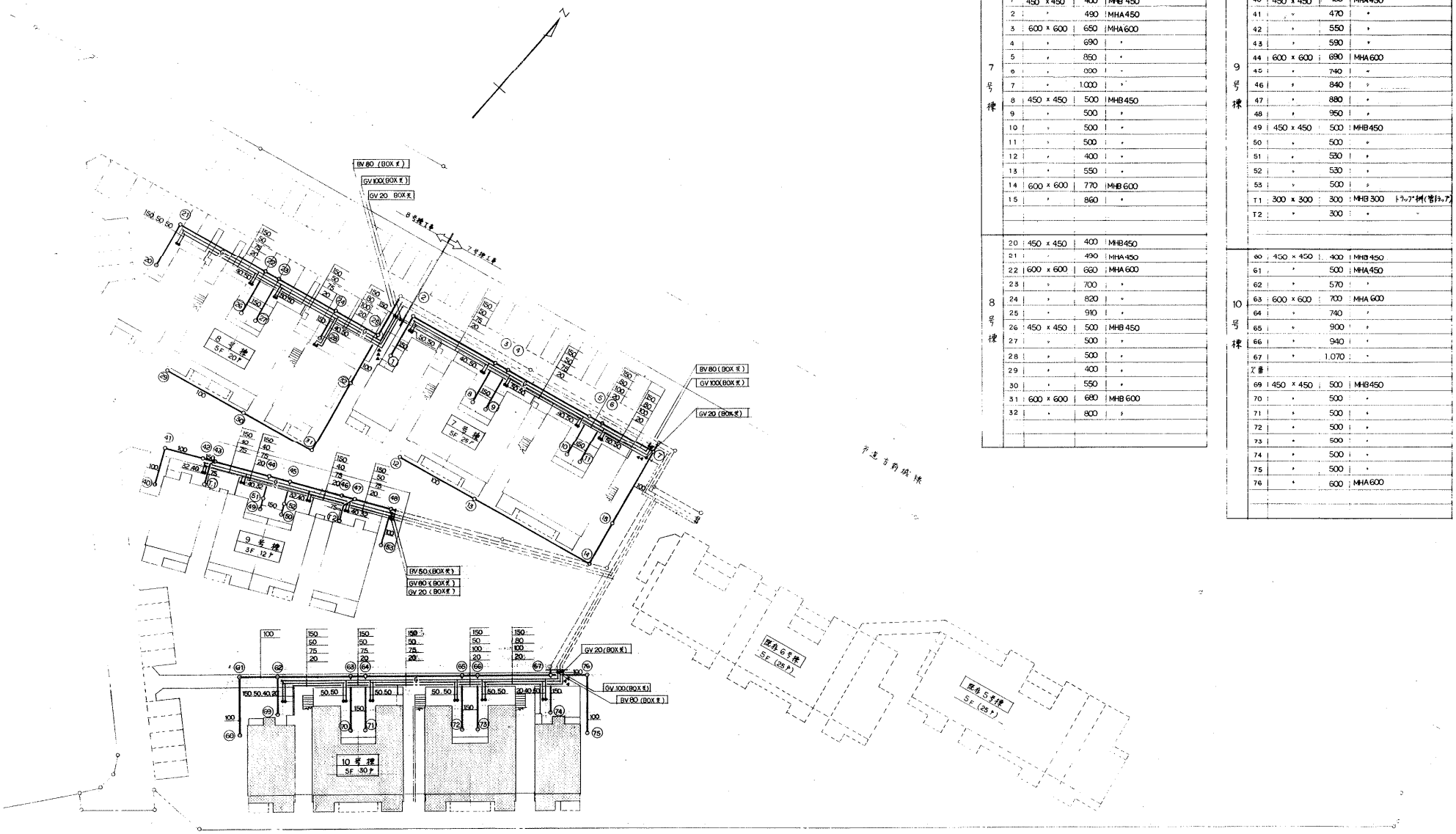
附近見取図 1:10,000

防露塗装工事

管種	区分	仕様
給水管 (鋼管)	PS内及びメーター器内	~~SGP-25 ポリエチレン被覆ポリブデン管~~
	インペイ	再現仕様書による
	立ち上り: 浴室内	保温チューブ
	コンクリート内: 立ち上り	防触テープ 1/2重巻 2回巻
	1Fピット内	防露 再現仕様書による
排水管 (鋼管横)	吊ボルト: インペイ	保温カバー
	流し管 PS内	
	土中: コンクリート内	防触テープ 1/2重巻 2回巻
	1Fピット内	防露 再現仕様書による (ビニル管共)
(ビニル管)	吊ボルト: インペイ	~~PE~~ 保温カバー ~~SP-20~~ 保温チューブ
	屋内露出	塗装のみ
	流し内	防露 塗装不要
	屋外露出	塗装のみ
通気管 (鋼管ビニル管)	屋内露出	塗装のみ
	屋外露出	
ガス管 (鋼管)	流し管: コンクリート内	防触テープ 1/2重ね 2回巻
	浴室内: ピット内	
	PS内: 天井インペイ	塗装 不要
	メーター器内	塗装のみ

注) 全体配置図は参考図であり(参考)、お引渡の有効図は図面うであり

図面番号
4



配管図 S=1:300

＋は GV.BV を示し、名記なきは別紙に依る

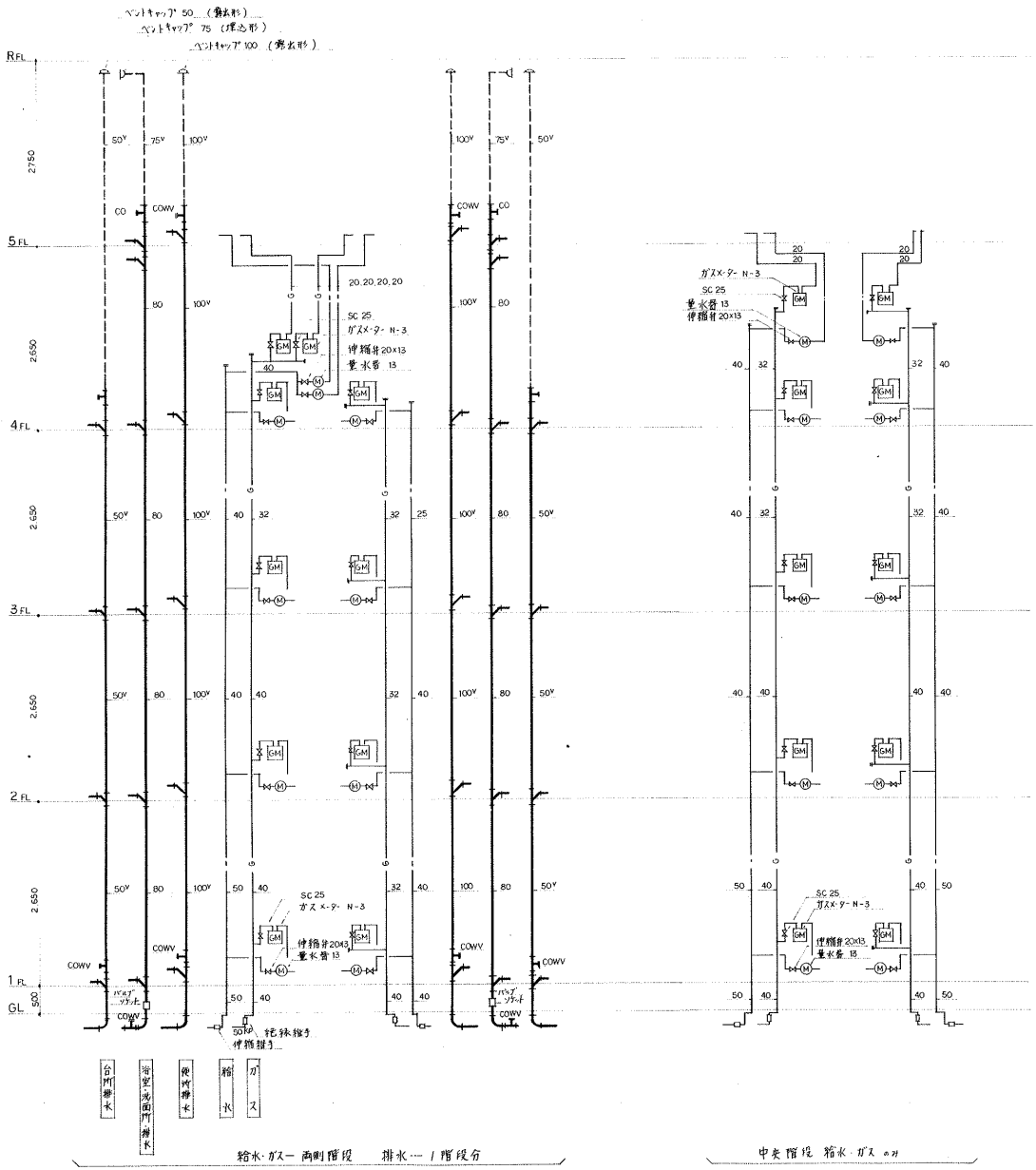
△は、埋設標を示す

桝 リ ス ト

号棟	桝NO.	大きさ	参考深さ	マンホール 及 備考
7号棟	1	450 x 450	400	MHB 450
	2	〃	490	MHA 450
	3	600 x 600	650	MHA 600
	4	〃	690	〃
	5	〃	850	〃
	6	〃	000	〃
	7	〃	1.000	〃
	8	450 x 450	500	MHB 450
	9	〃	500	〃
	10	〃	500	〃
	11	〃	500	〃
	12	〃	400	〃
	13	〃	550	〃
	14	600 x 600	770	MHB 600
	15	〃	860	〃
8号棟	20	450 x 450	400	MHB 450
	21	〃	490	MHA 450
	22	600 x 600	660	MHA 600
	23	〃	700	〃
	24	〃	820	〃
	25	〃	910	〃
	26	450 x 450	500	MHB 450
	27	〃	500	〃
	28	〃	500	〃
	29	〃	400	〃
	30	〃	550	〃
	31	600 x 600	680	MHB 600
	32	〃	800	〃

号棟	桝	大きさ	参考深さ	マンホール 及 備考
9号棟	40	450 x 450	400	MHA 450
	41	〃	470	〃
	42	〃	550	〃
	43	〃	590	〃
	44	600 x 600	690	MHA 600
	45	〃	740	〃
	46	〃	840	〃
	47	〃	880	〃
	48	〃	950	〃
	49	450 x 450	500	MHB 450
	50	〃	500	〃
	51	〃	530	〃
	52	〃	530	〃
	53	〃	500	〃
	T1	300 x 300	300	MHB 300 トラップ桝(宮ヨウア)
	T2	〃	300	〃 〃
10号棟	60	450 x 450	400	MHB 450
	61	〃	500	MHA 450
	62	〃	570	〃
	63	600 x 600	700	MHA 600
	64	〃	740	〃
	65	〃	900	〃
	66	〃	940	〃
	67	〃	1.070	〃
	欠番			
	69	450 x 450	500	MHB 450
	70	〃	500	〃
	71	〃	500	〃
	72	〃	500	〃
	73	〃	500	〃
	74	〃	500	〃
	75	〃	500	〃
	76	〃	600	MHA 600

図面番号 5

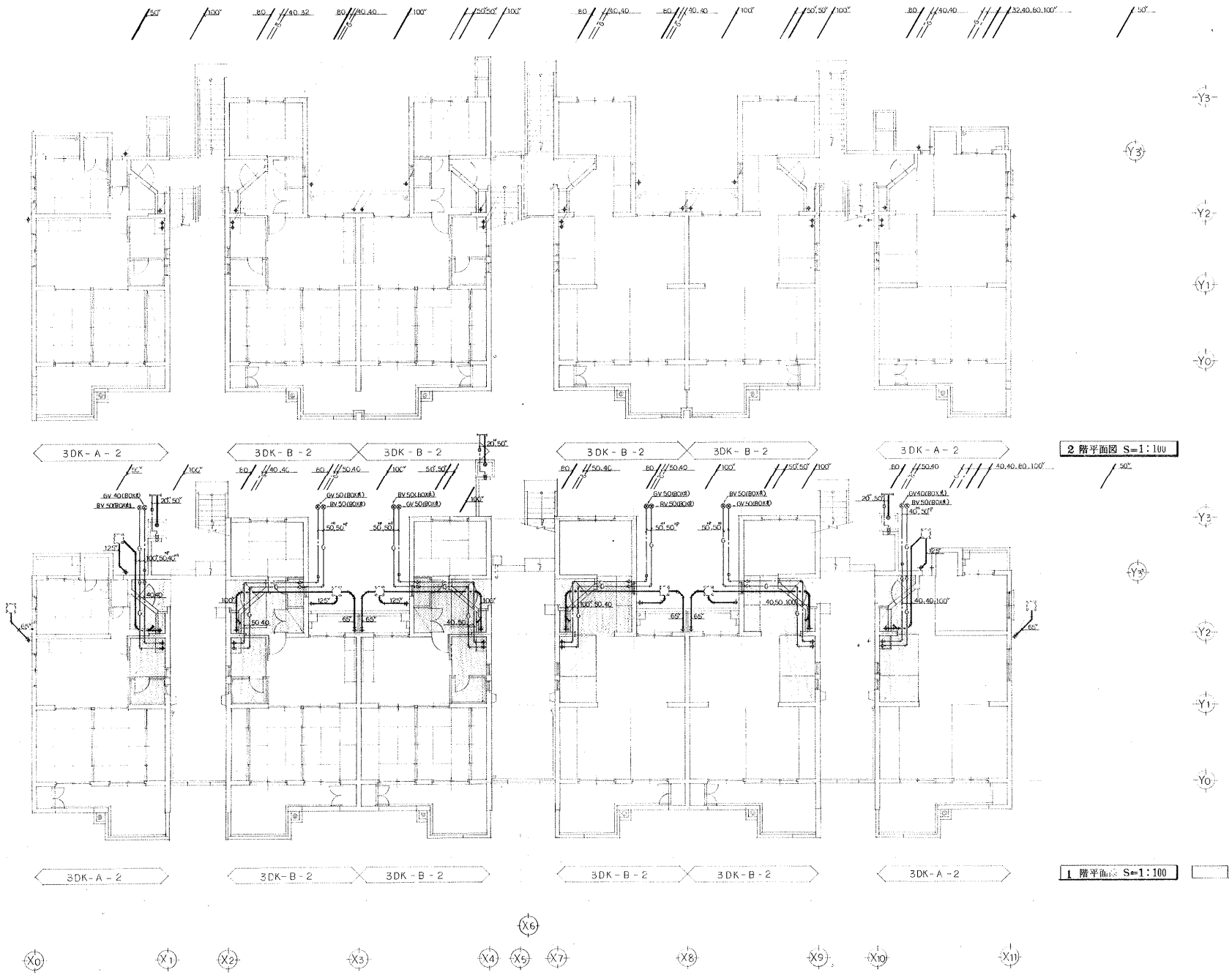


系　統　図

器　具　表

器具名称	型番	住戸当	10号棟（30戸） 3DK A-2	3DK B-2	3DK C-2	3DK D-2	3DK E-2	3DK F-2	合計	備考
洋風便器	BL製品	1	4	8	4	8	2	4	30	節水型、密結ロータンク(防露式) 手洗付
洗面器	VL 630	1	4	8	4	8	2	4	30	Sトラップ、止水栓(アングル型、ハイ型)
洗濯機パン	900×640×85H	1	4	8	4	8	2	4	30	横引きトラップ、止め金具付
自在水栓	T 30AR 13	1	4	8	4	8	2	4	30	浴室用
〃	T31S13 ⊕TN52A13	1	4	8	4	8	2	4	30	台所用
万能ホーム水栓	T200BS 13	1	4	8	4	8	2	4	30	洗濯機パン用
アングル形止水栓	T4A	1	4	8	4	8	2	4	30	浴室バランス釜用
クロムメッキプラグ	15A	1	4	8	4	8	2	4	30	台所湯沸器用(W文字入)
〃	15A	1	4	8	4	8	2	4	30	〃 (G文字入)
ヒューズホースコック	L-185 (Y型)	1	4	8	4	8	2	4	30	台所レンジ用
ヒューズコンセントコック	L-194 (LA型)	1	4	8	4	8	2	4	30	台所炊飯器用
可とう管コック	N-144A (L型)	1	4	8	4	8	2	4	30	浴室バランス釜用
量水器	13㎜ (貸与品)	1	4	8	4	8	2	4	30	
伸縮弁	20×13	1	4	8	4	8	2	4	30	
ガスメーター	N-3 (貸与品)	1	4	8	4	8	2	4	30	
サービスコック	SC 25	1	4	8	4	8	2	4	30	ロック装置付
キー付胴長水栓水栓	T200BCS								3	足洗場用
排水目皿	50A								3	〃

図面番号 6

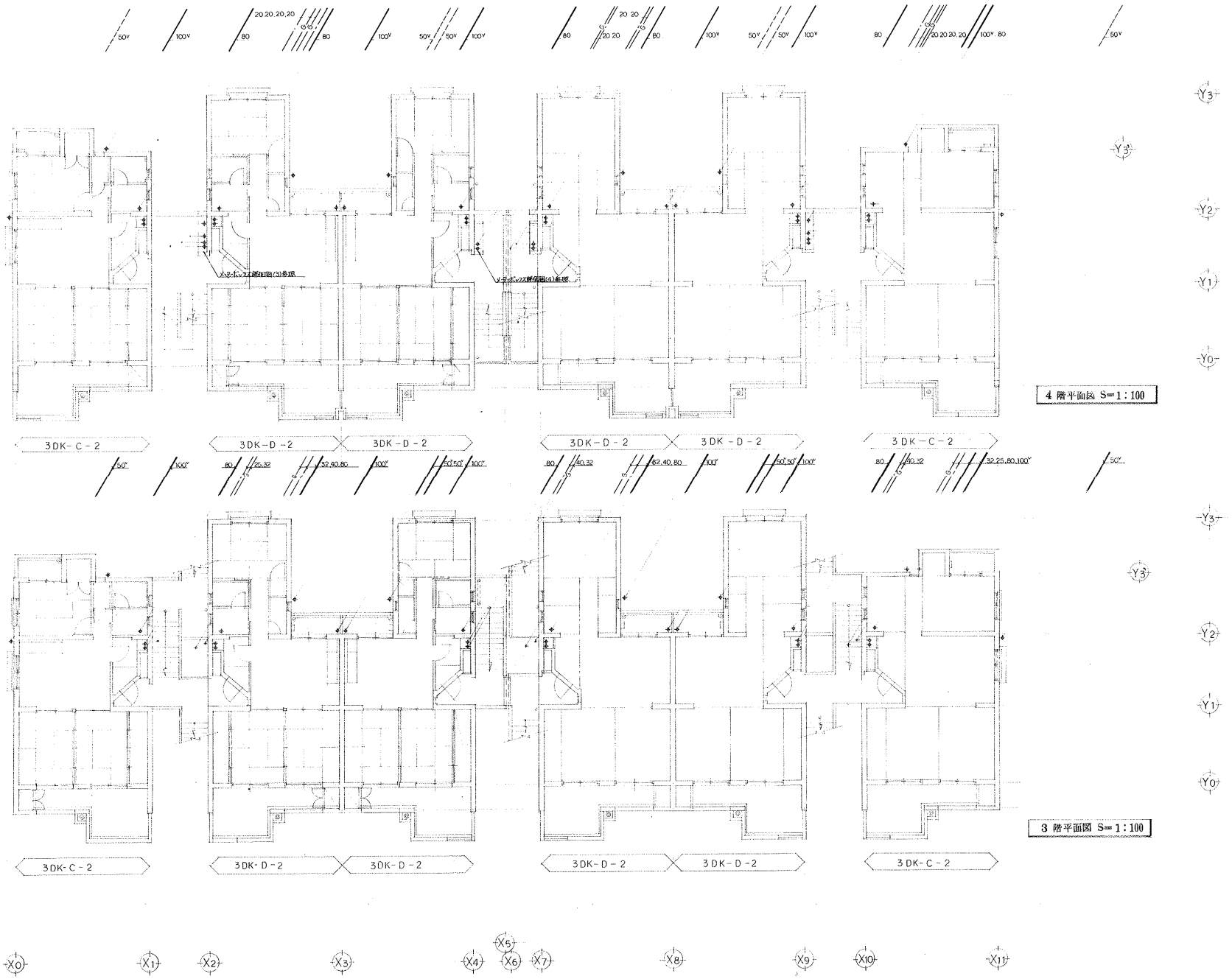


2 階平面図 S=1:100

1 階平面図 S=1:100

□はピットを示す

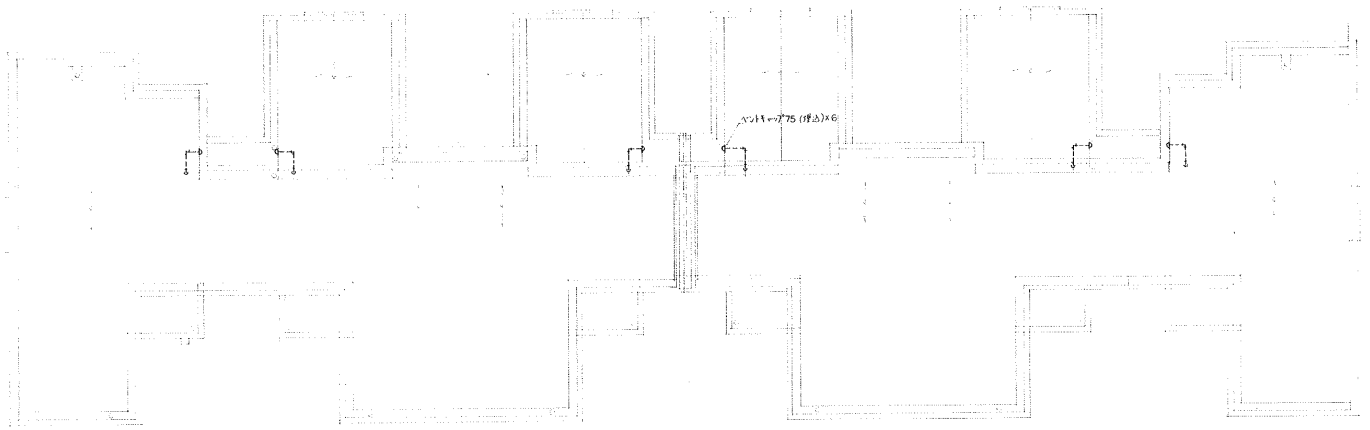
図面番号
7



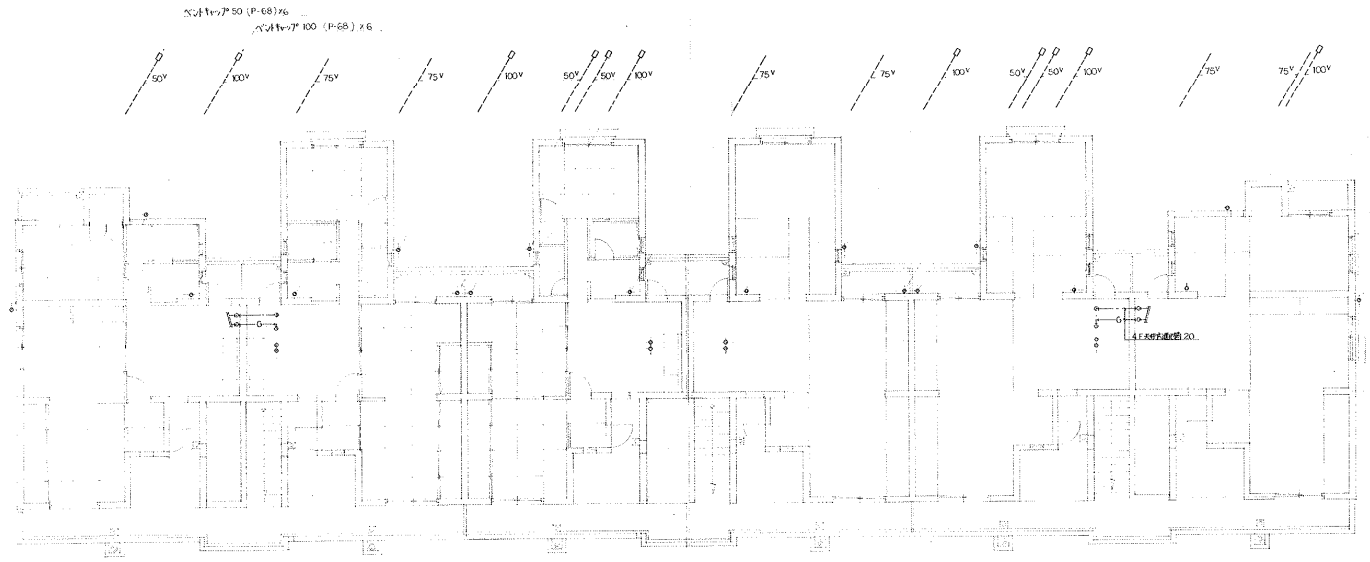
4 階平面図 S=1:100

3 階平面図 S=1:100

図面番号
8



R 階平面図 S= 1 : 100



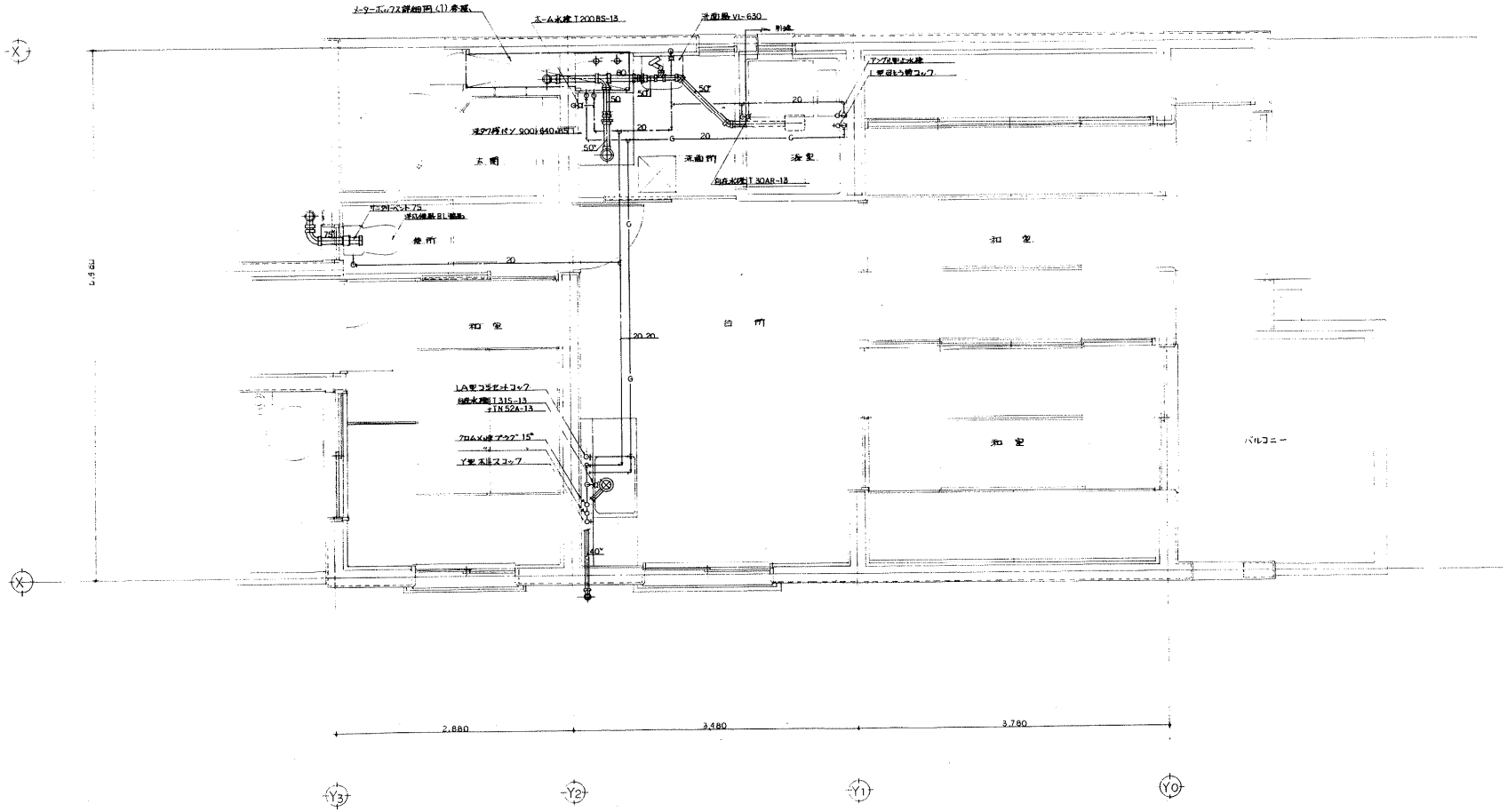
5 階平面図 S= 1 : 100

3DK-E-2 | 3DK-F-2 | 3DK-F-2 | 3DK-F-2 | 3DK-F-2 | 3DK-E-2

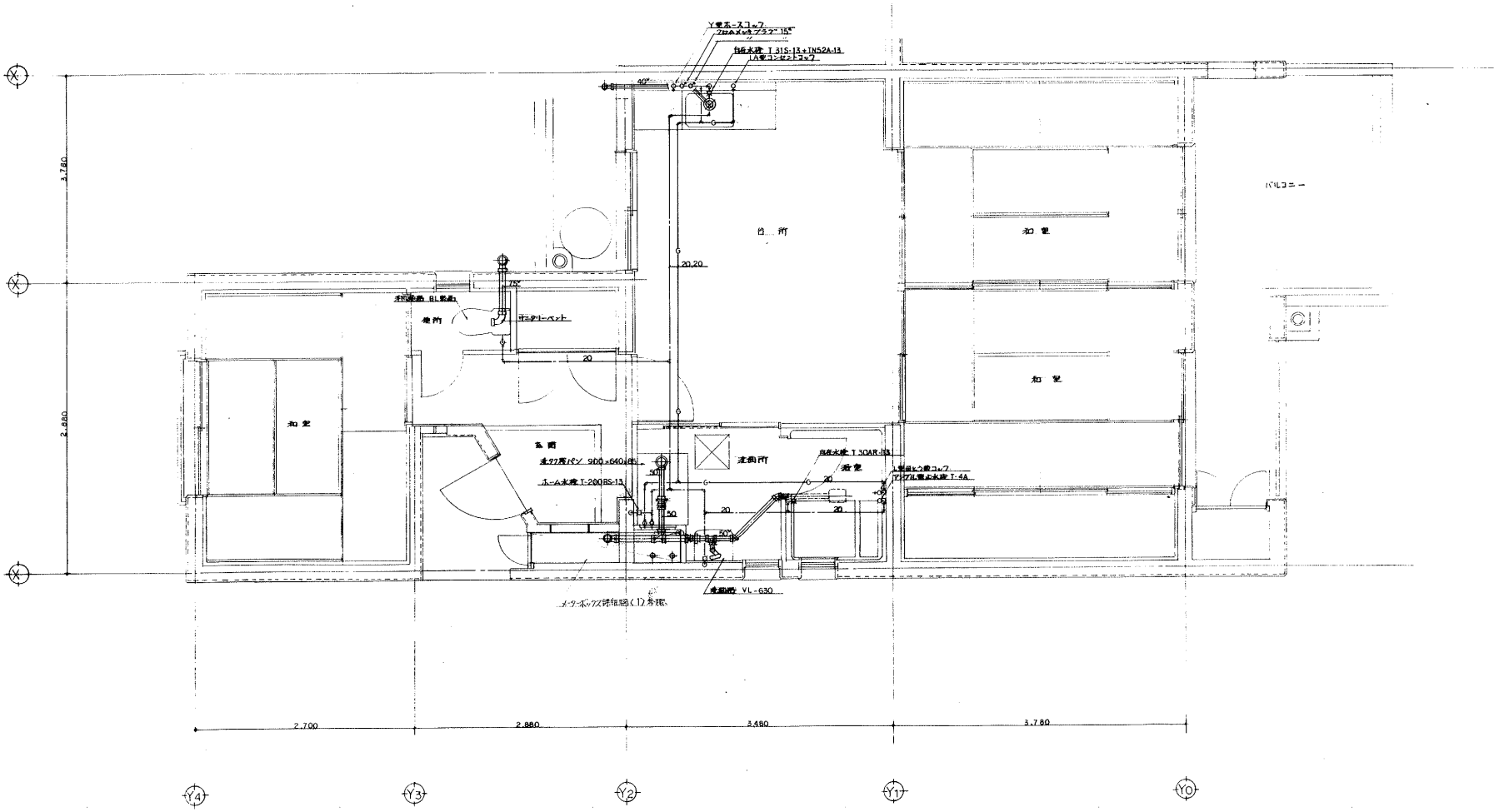
X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11

Y3 Y2 Y1 Y0

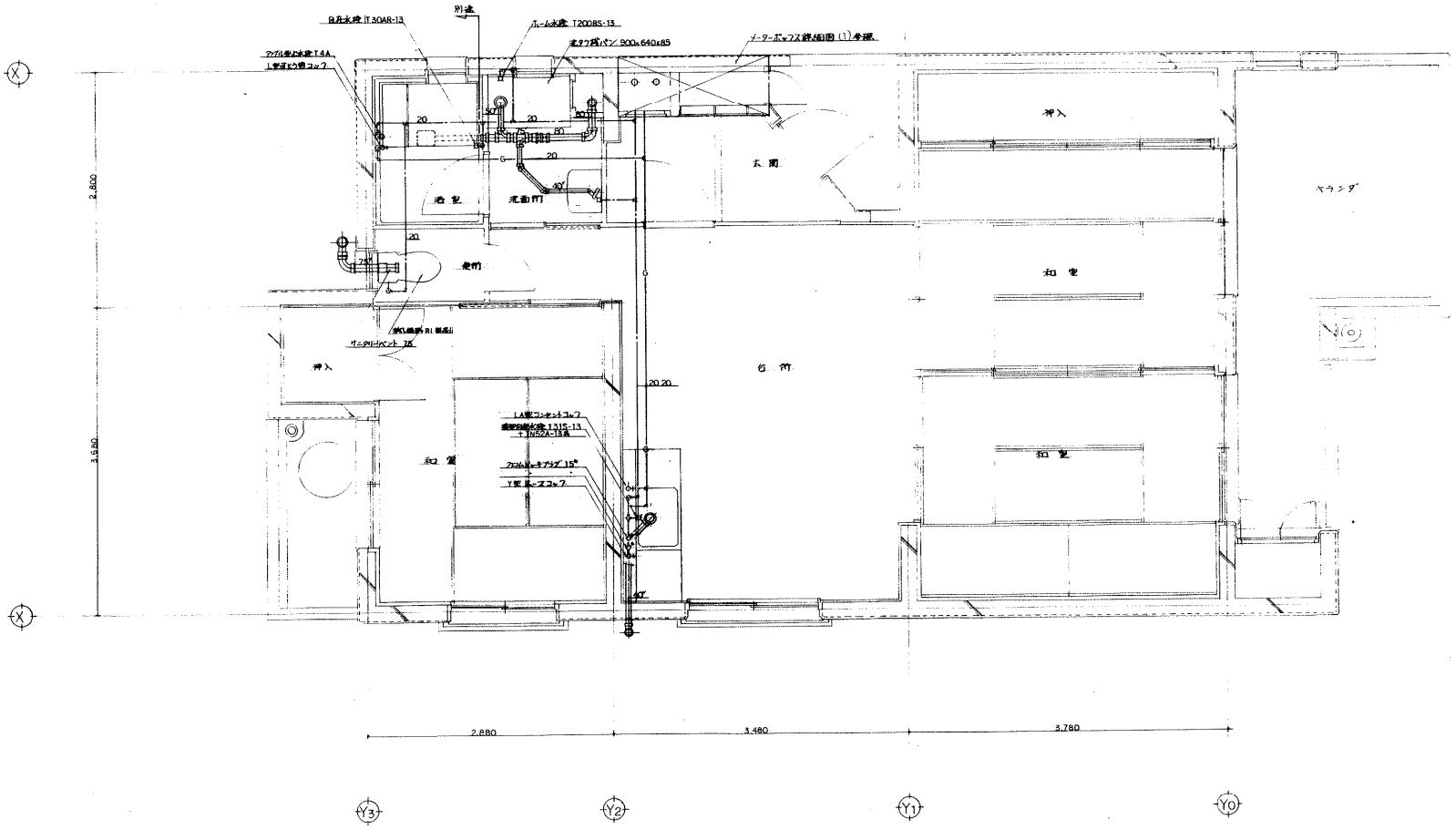
図面番号 9


メーターボックス詳細図(1)参照
ホーム水栓 T200BS-13
洗面器 YL-630
排水
アングル形止水栓
L型ほうき掛コック
ボタン押バソ 900×640 RSET
50°
20
G
洗面所
洗面器 T30AR-13
サニタリー
和室
台所
LA型コランセットコック
自在水栓 T315-13
+TN52A-13
クロスヘッドブック 15°
Y型ホースコック
40°
バルコニー
2,880
3,480
3,780
Y3
Y2
Y1
Y0
X
X

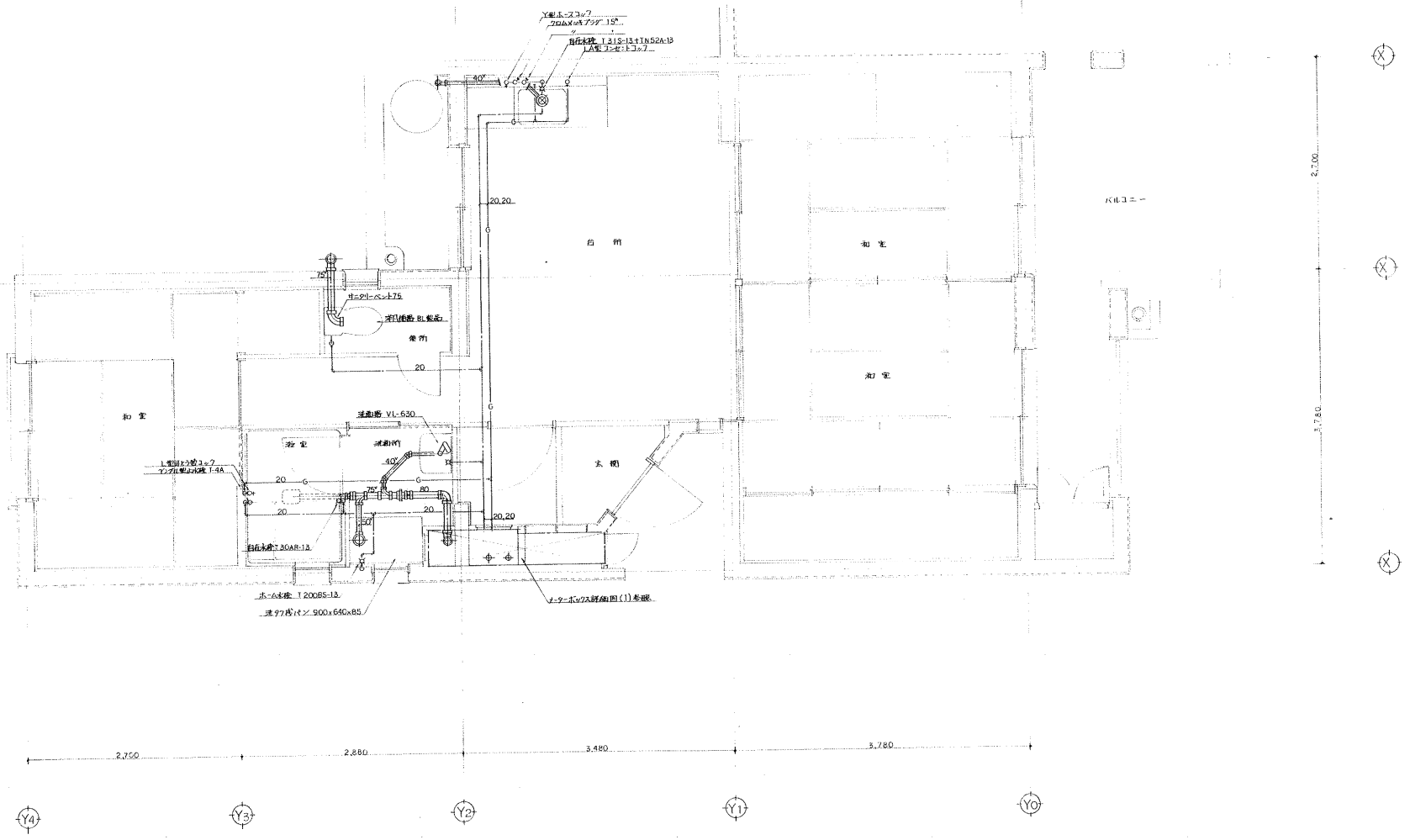
図面番号
10


Y型ホースコック
ZDAメッキプラグ 15
自給水栓 T 315-13+TN52A-13
LA型ワンゼントコック
40
浴室
20,20
75
ホテリーベント
洗面所
20
和室
和室
和室
バルコニー
2,880
3,780
洗面
床下点検口 BL製品
床下点検口
洗濯パン 900×640
ホーム水栓 T-200BS-13
50
20
自給水栓 T 30AR-13
給湯
20
20
20
管継ぎ VL-630
メーターボックス詳細図(1)参照
2,700
2,880
3,480
3,780
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0

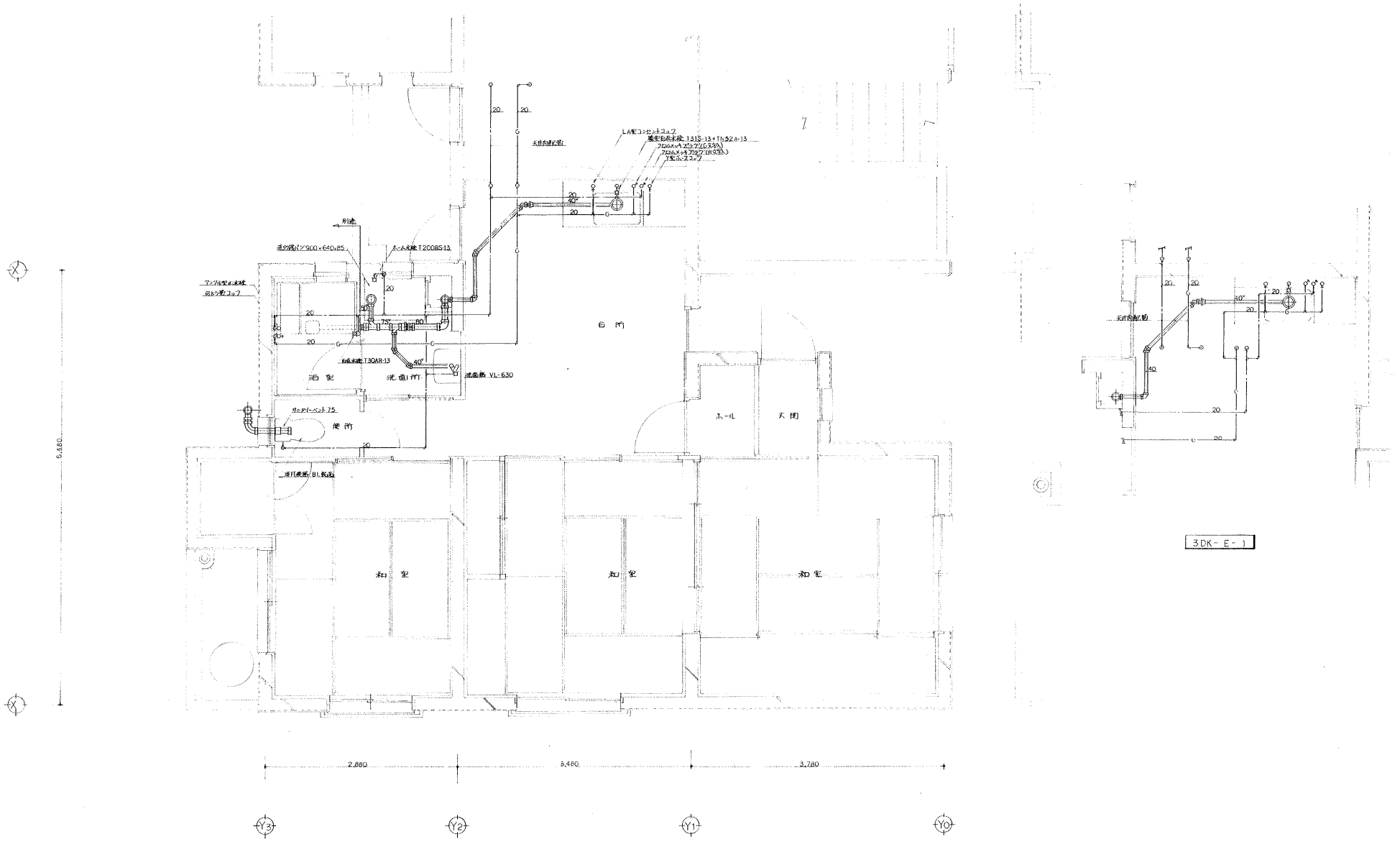
図面番号
11


別途
自在水栓 JT30AR-13
ホーム水栓 T20085-13
ヌタフ床パン 900x640x85
ソーラーポップ2 建築図面 (1) 参照
アングル型水栓 T4A
L型ほうき掛コック
20
50
80
40
75
浴室
洗面所
便所
玄関
押入
和室
ベランダ
サニタリーパット 25
LA型コンセントコック
接地端子板 T315-13
+ N52A-13黄
フロムレッキアダプ 15°
Y型ホースコック
2,880
3,480
3,780
2,800
3,680
Y3
Y2
Y1
Y0
X
X

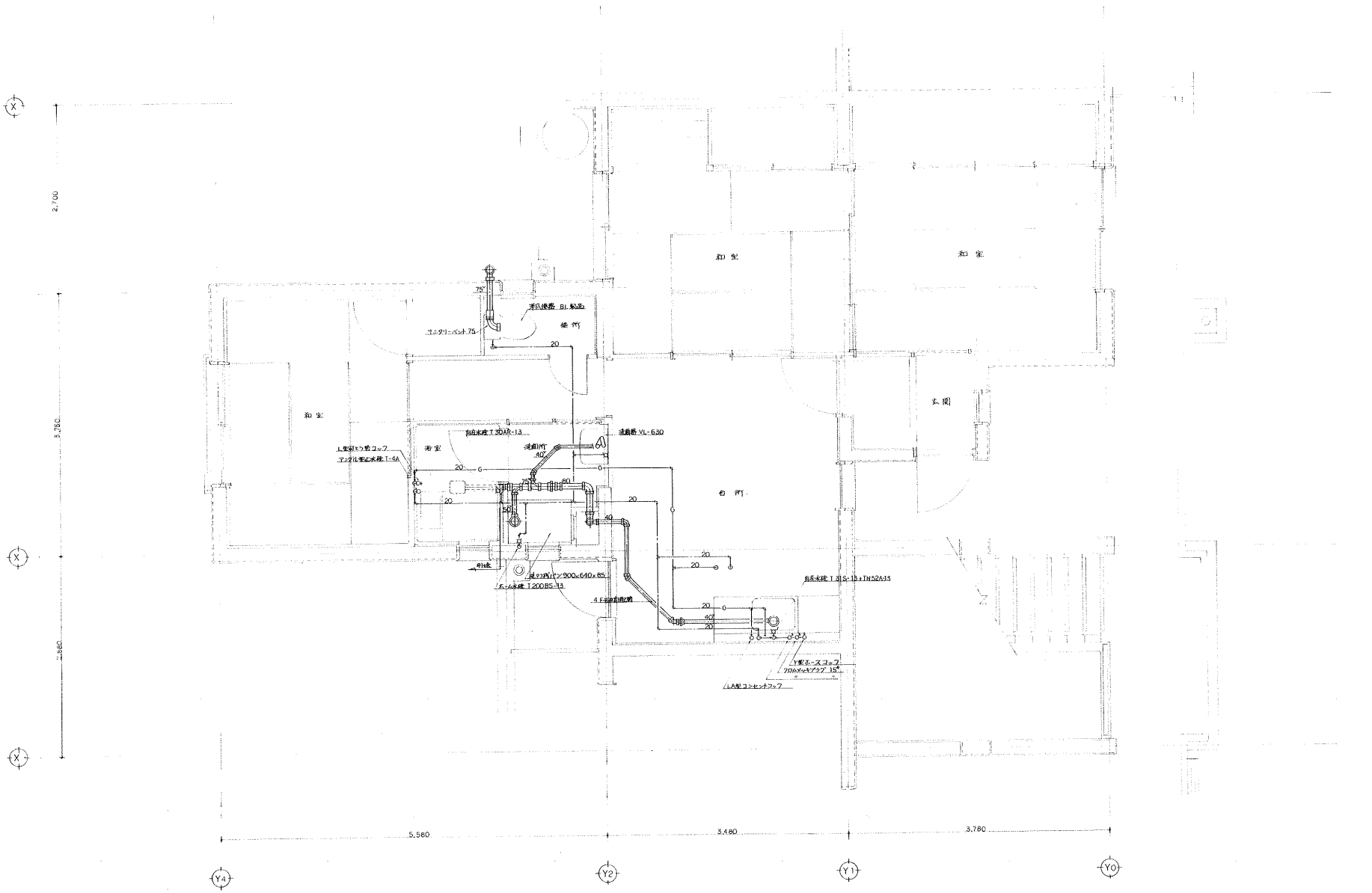
		図面番号 12


Y型ホースコック
クロムメッキプラグ 15A
自在水栓 T31S-13+TN52A-13
L型 ユニセトコック
40A
20,20
G
白 所
和 室
和 室
バルコニー
2,700
3,780
75
サニタリーベント75
洗濯機 BL製品
脱衣所
20
和 室
浴 室
洗面所
洗濯機 VL-630
1.電回り管 1-2
アングル製ホルダー 1-4A
40A
15
20
G
75
80
20
50
20,20
玄 関
自在水栓 T30AR-13
ホースE式栓 T200BS-13
洗濯パン 900x640x85
メーターボックス詳細図(1)参照
2,700
2,880
3,480
3,780
Y4
Y3
Y2
Y1
Y0
X
X
X

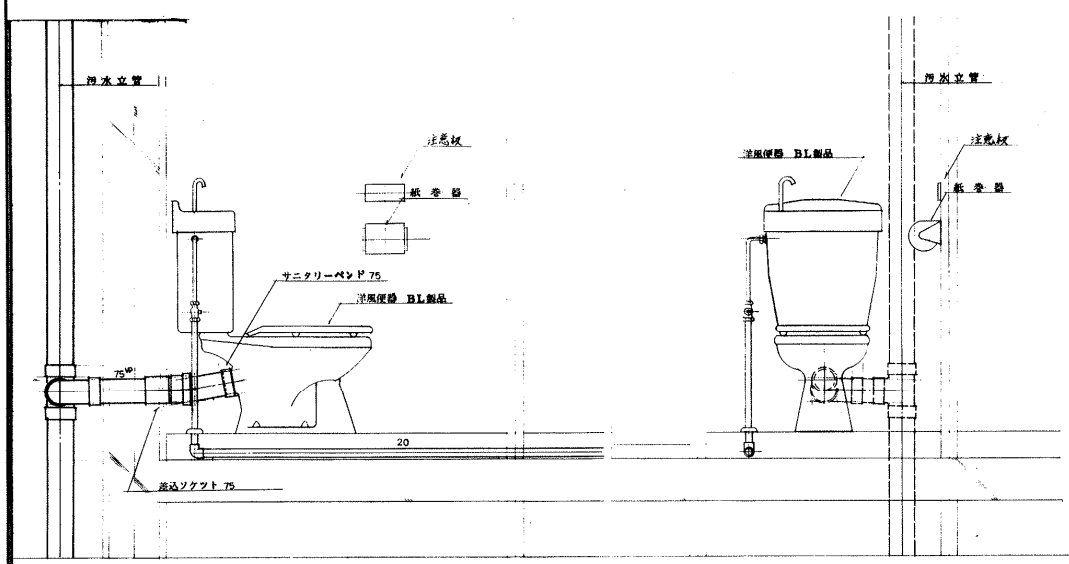
図面番号
13


天井内配管
L形コンセントユニ
複型自在継手 T31S-13+T152A-13
フロムホースA 25ラク(0.33M)
フロムホースB 25ラク(0.33M)
T型ホースユニ
別途
ボウ風パン900×640×85
ホース水栓 T200BS13
アングル型ホース水栓
ヨロシク型ユニ
75°
80°
20
40°
自在継手 T30AR-13
減圧弁 VL-630
洗面所
洗面パン
サニタリーベント 75
便所
浴室
自閉
ホール
玄関
和室
和室
和室
5,460
2,880
5,460
3,780
Y3
Y2
Y1
Y0
X
X
天井内配管
3DK-E-1

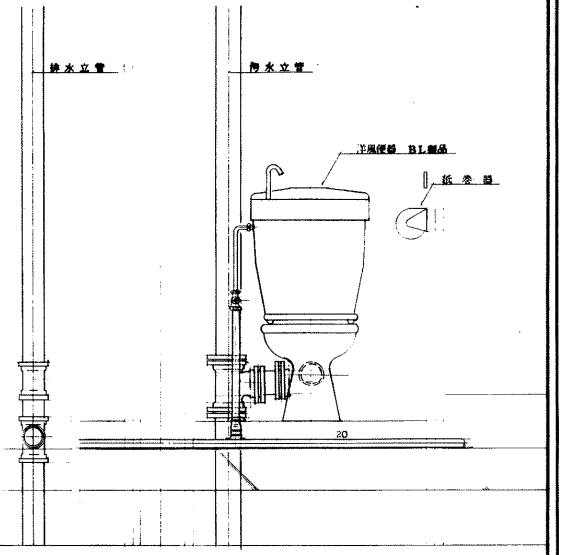
	図面番号 14

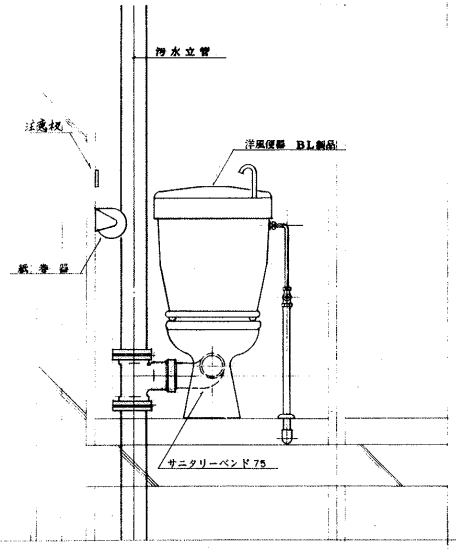

和室
和室
和室
玄関
便所
浴室
洗面所
押入
手洗器 B1 給湯
リニアリーベント75
自在水栓 T 30AR-13
L型給水栓コック
アングル型止水栓 T-4A
通風器 VL-630
洗濯パン 900×640×85
ホース水栓 T 200B5-13
4 F 給湯配管
自在水栓 T 31S-13+TN52A33
Y型ホースコック
フロムメッキプラグ 15°
LA型コンセントコック
2,700
3,250
2,680
5,580
3,480
3,780
X
Y4
Y2
Y1
Y0

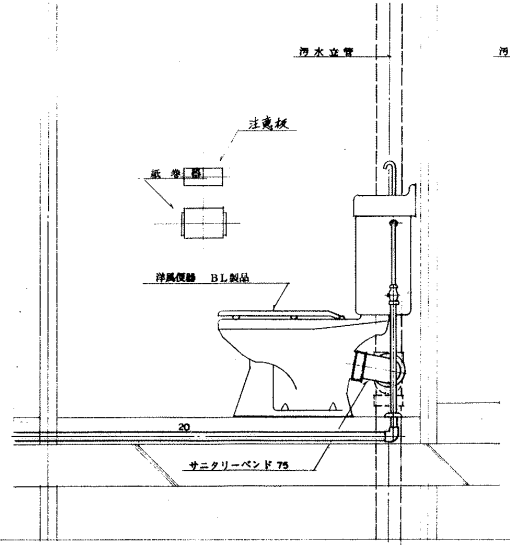
図面番号
15

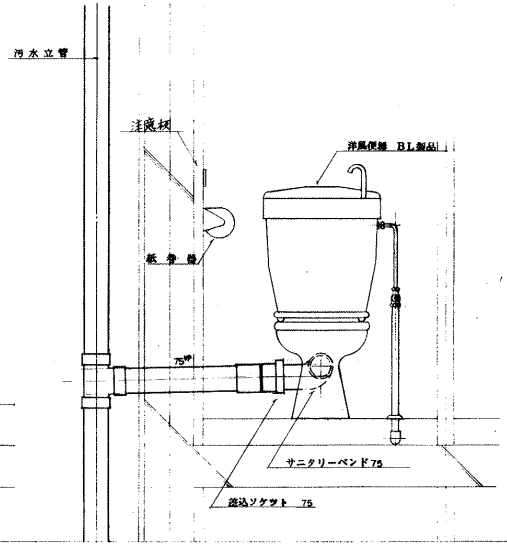


2DK-A.B.C　　3DK—A·C·E



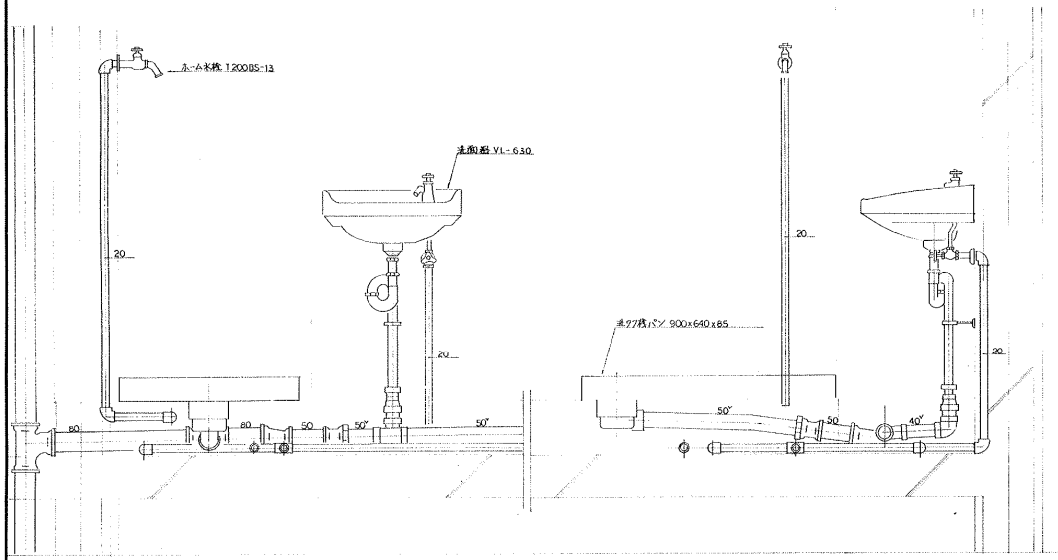




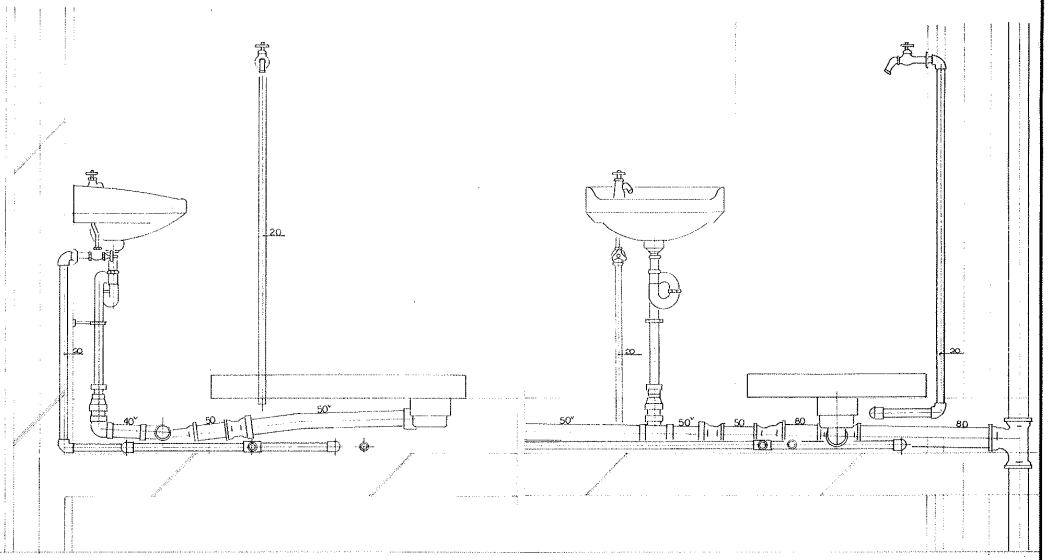


2DK—F　　，3DK—B.D.F.J

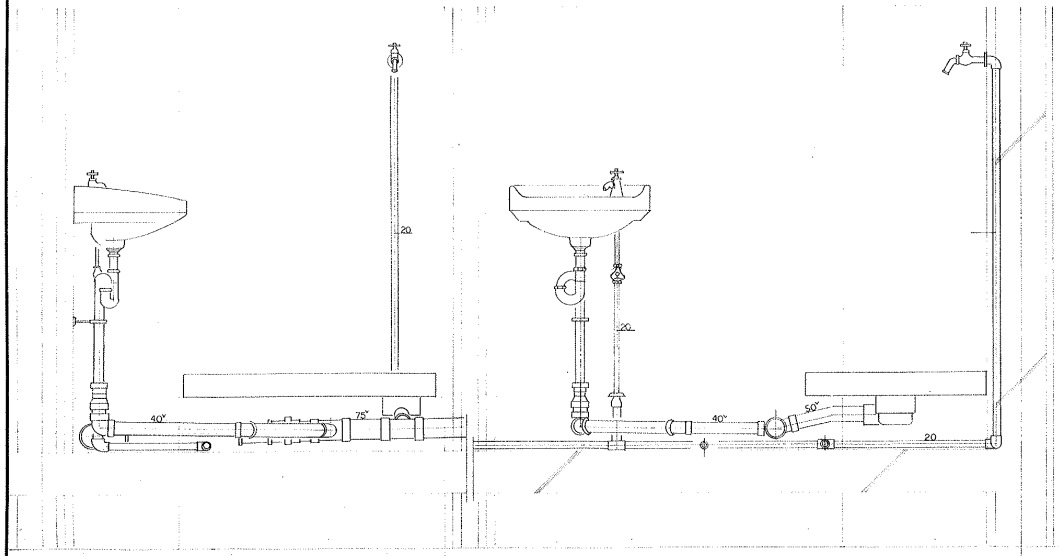
図面番号
16



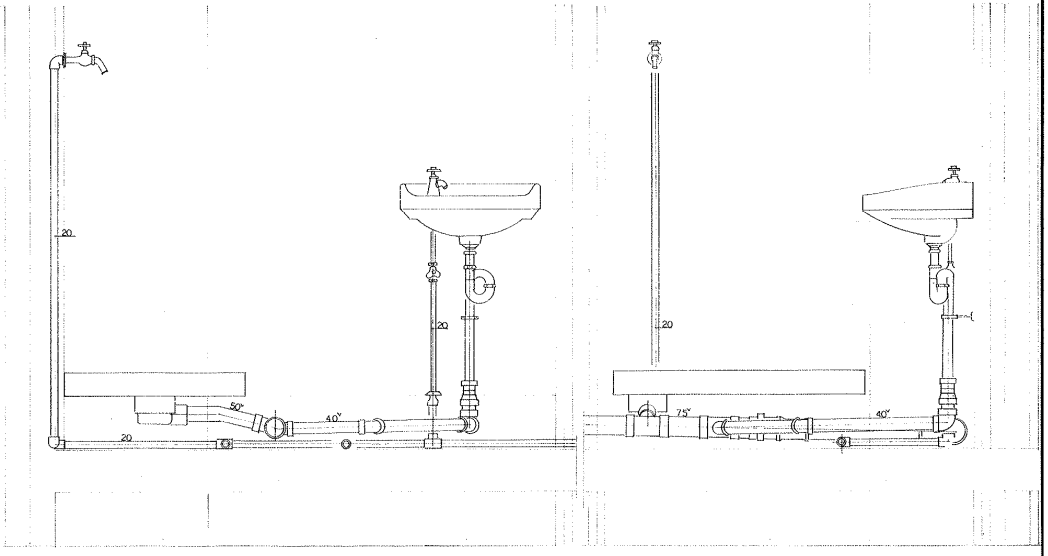
3DK-A-2.



3DK-B-2.

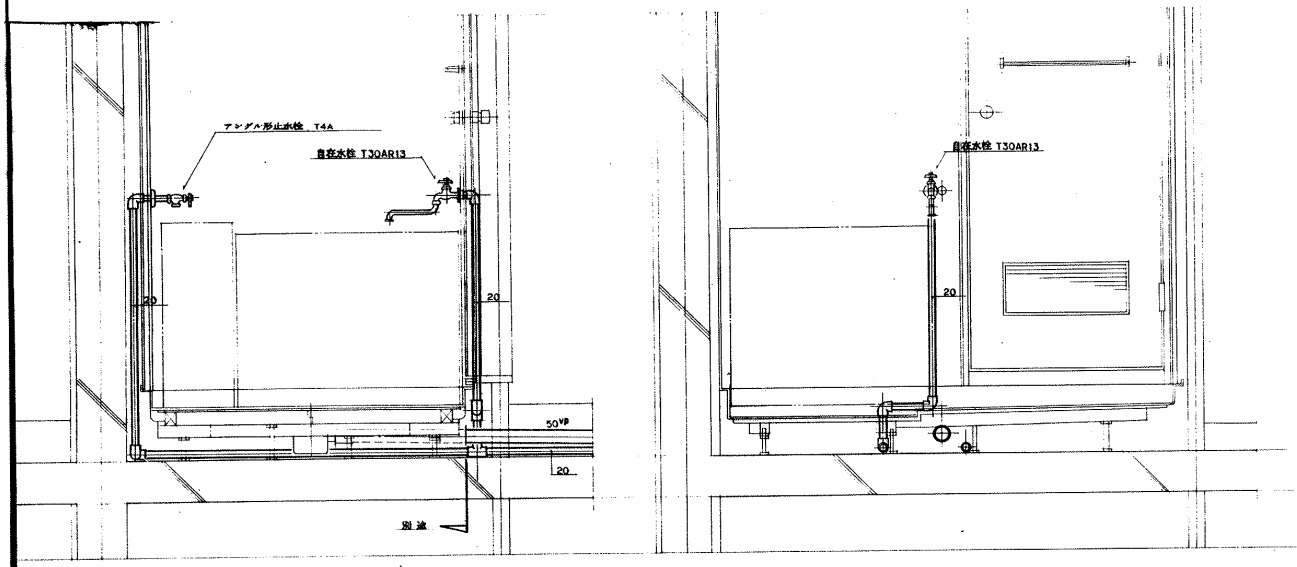


3DK-D-2. F-2

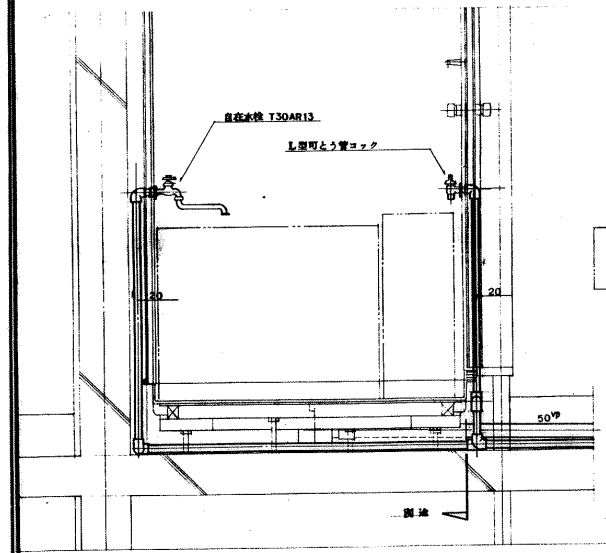


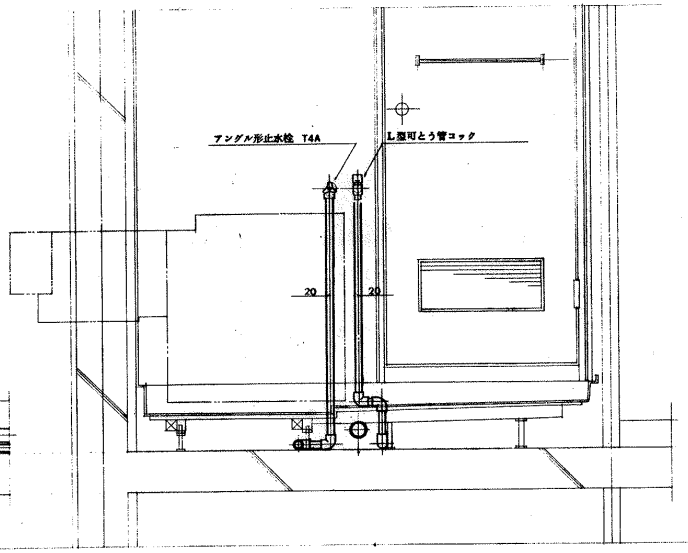
3DK-C-2. E-2

		図面番号 17

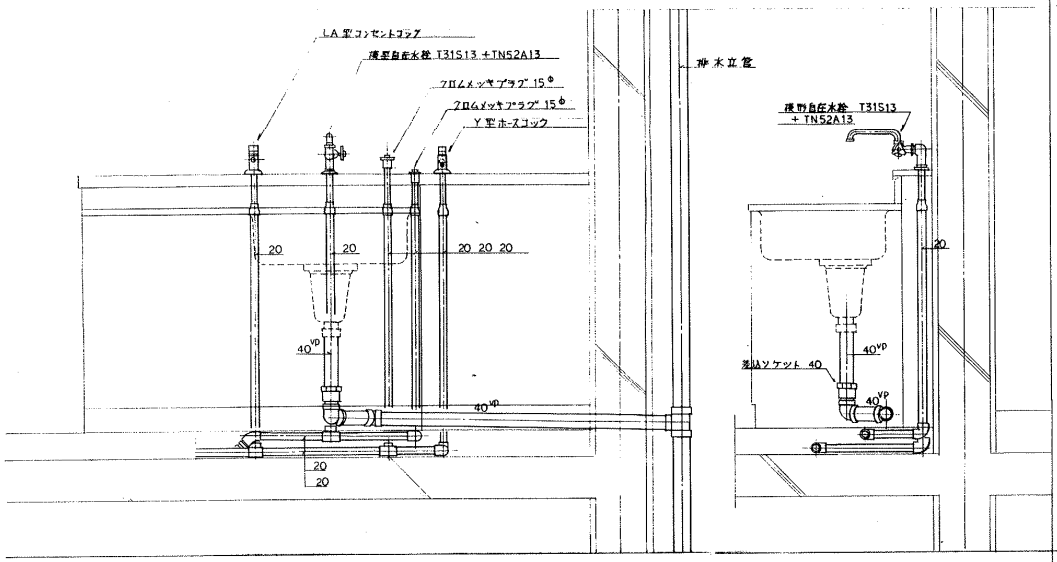


全タイプ共通

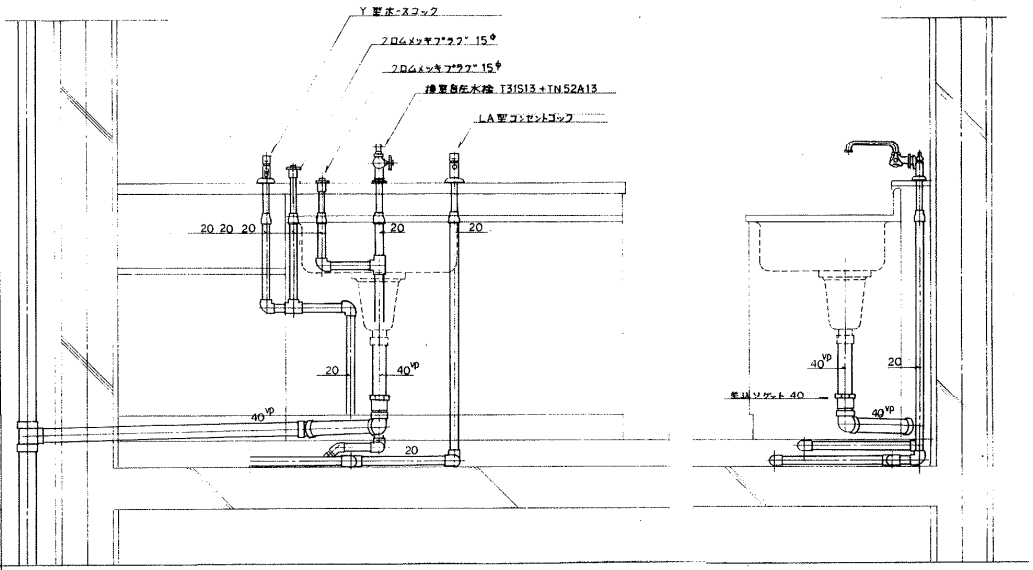




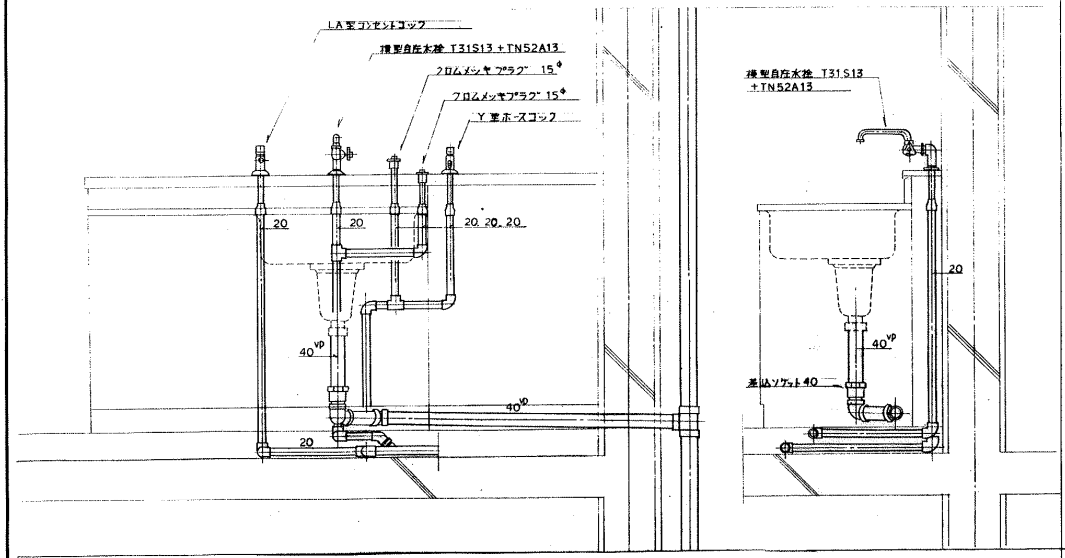
図面番号
18

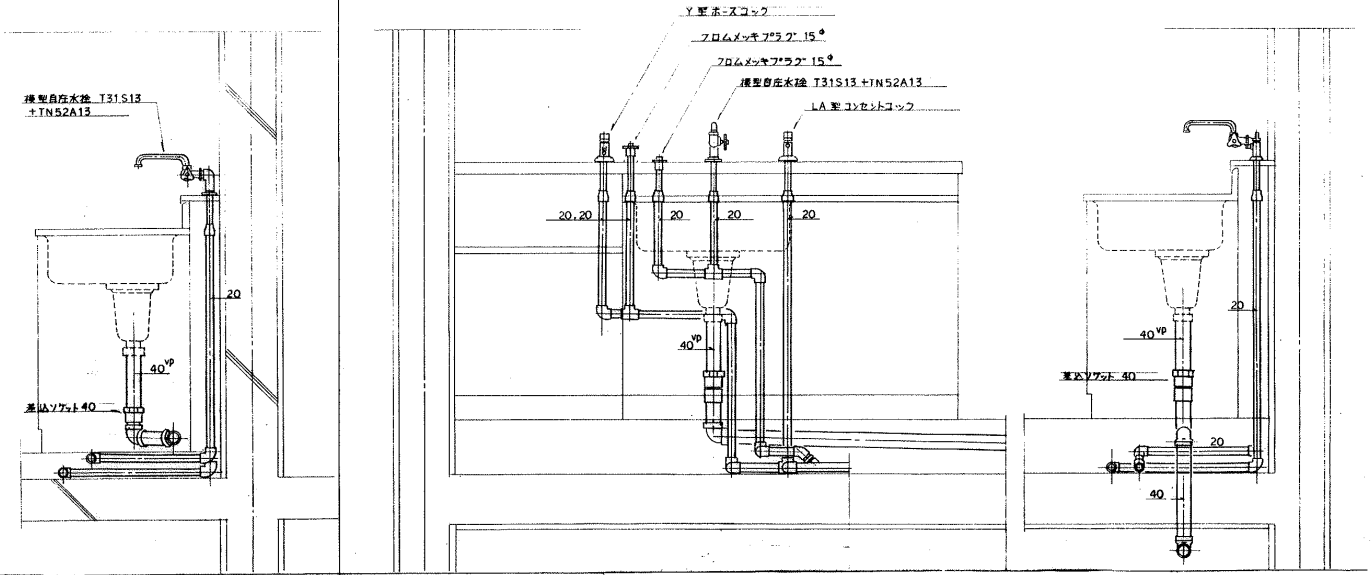


3DK-E-1.2.E'-1(排水管は3DK-Aに準ずる)



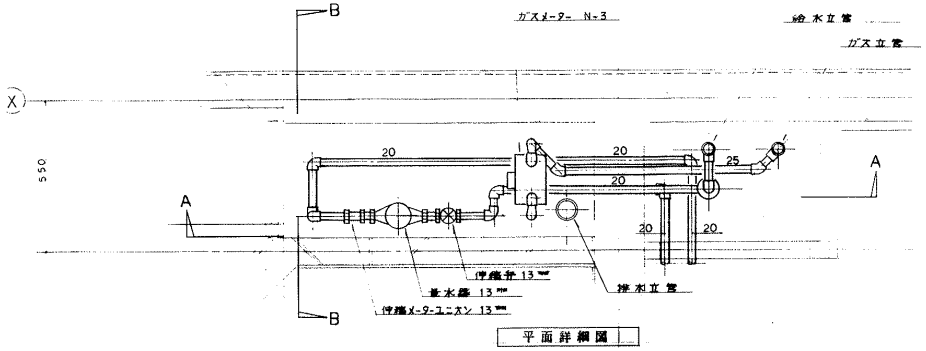
3DK-B-2.D-2.F-2 (Fタイプの排水管は3DK-Aに準ずる)



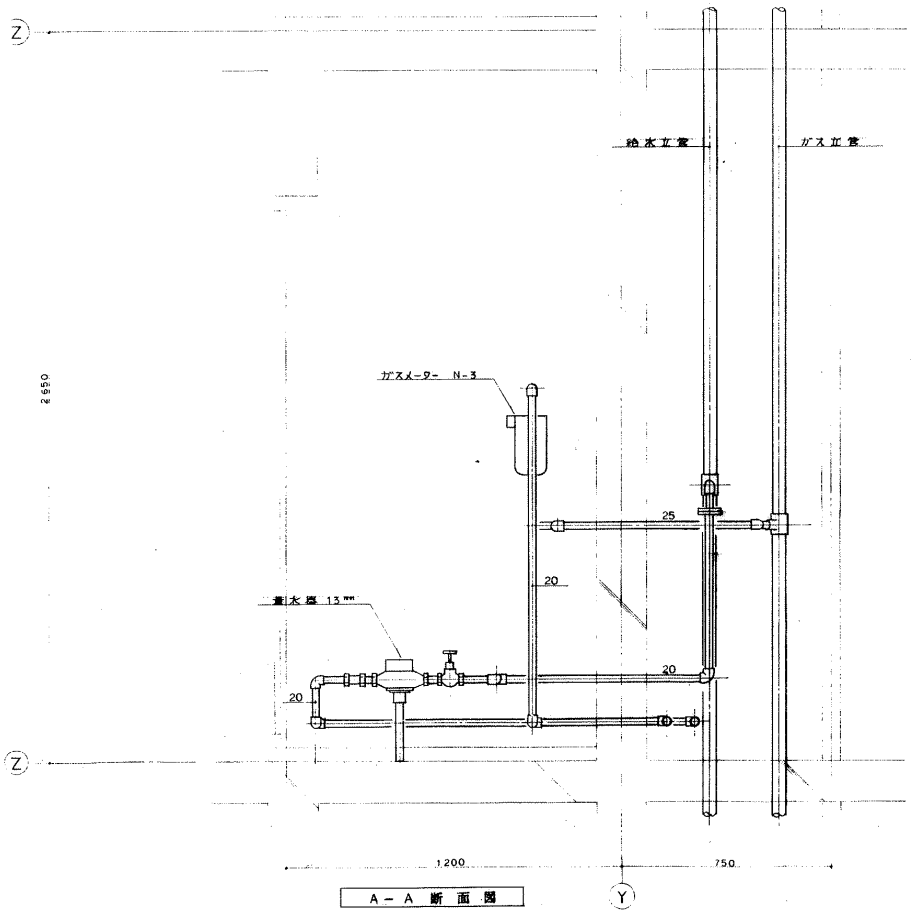


3DK-A-2.C-2 (排水管は3DK-Bに準ずる)

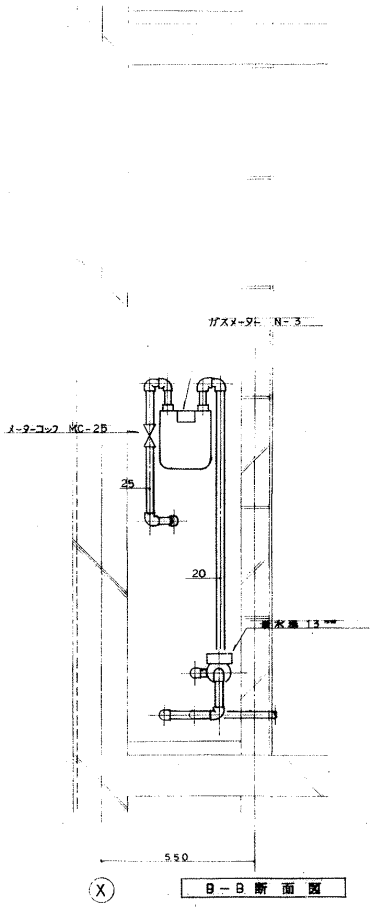
図面番号
19



平面詳細図

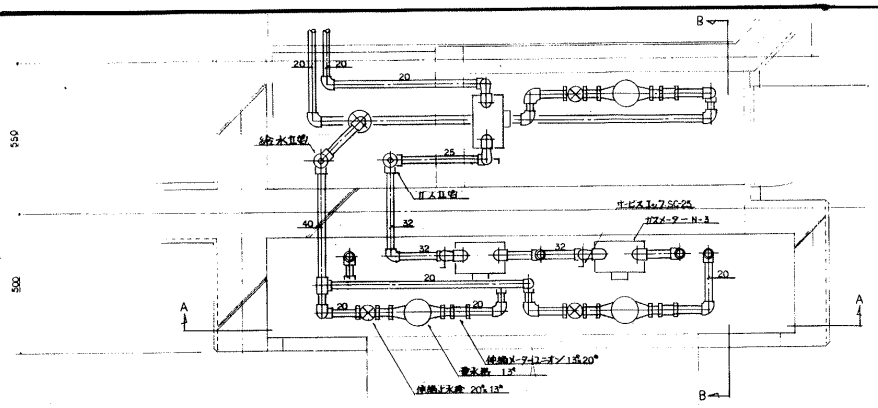


A－A 断面図

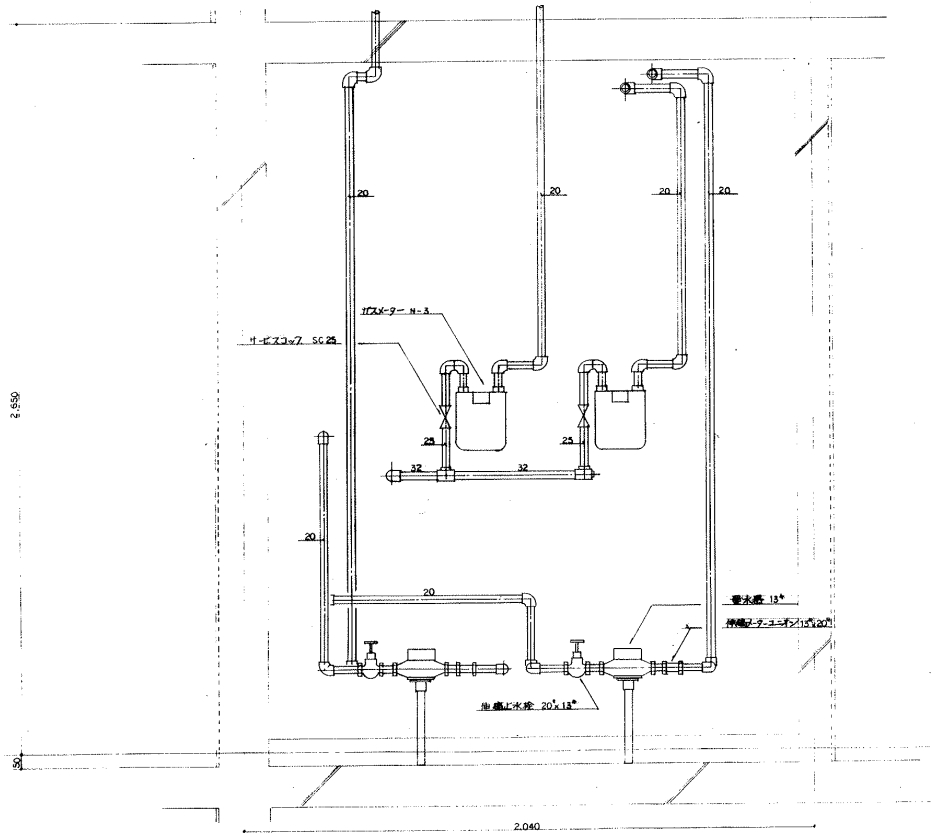


B－B 断面図

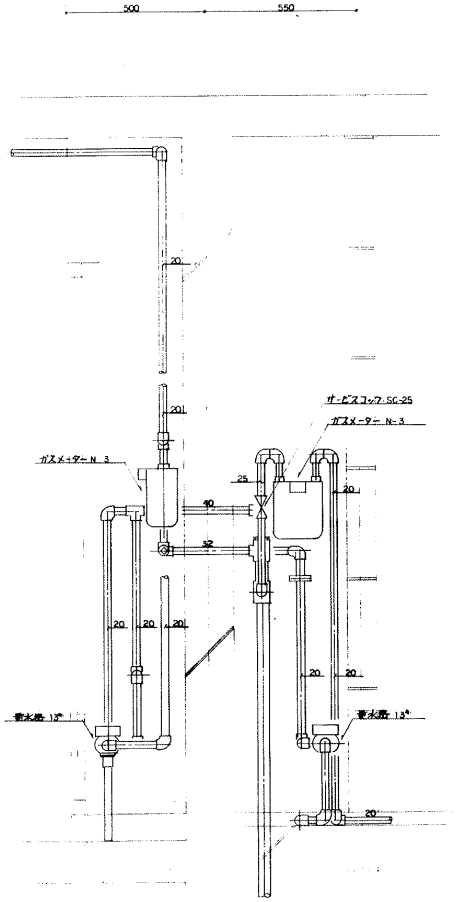
		図面番号 20



平面詳細図

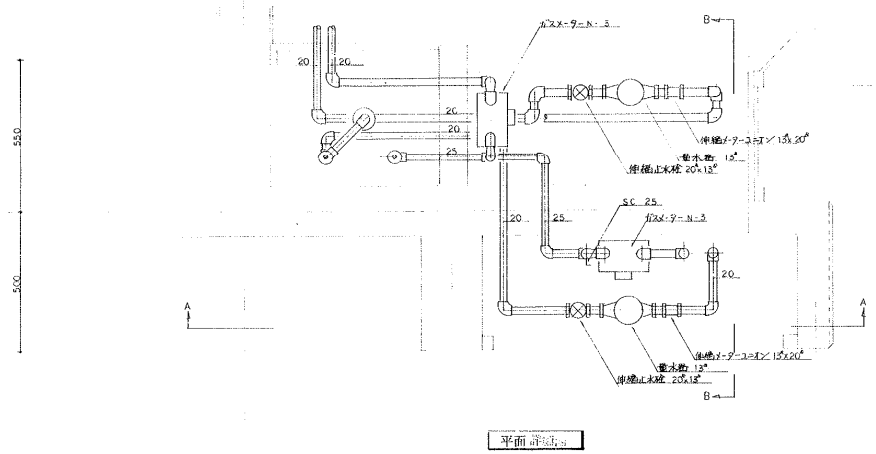


A-A 断面図

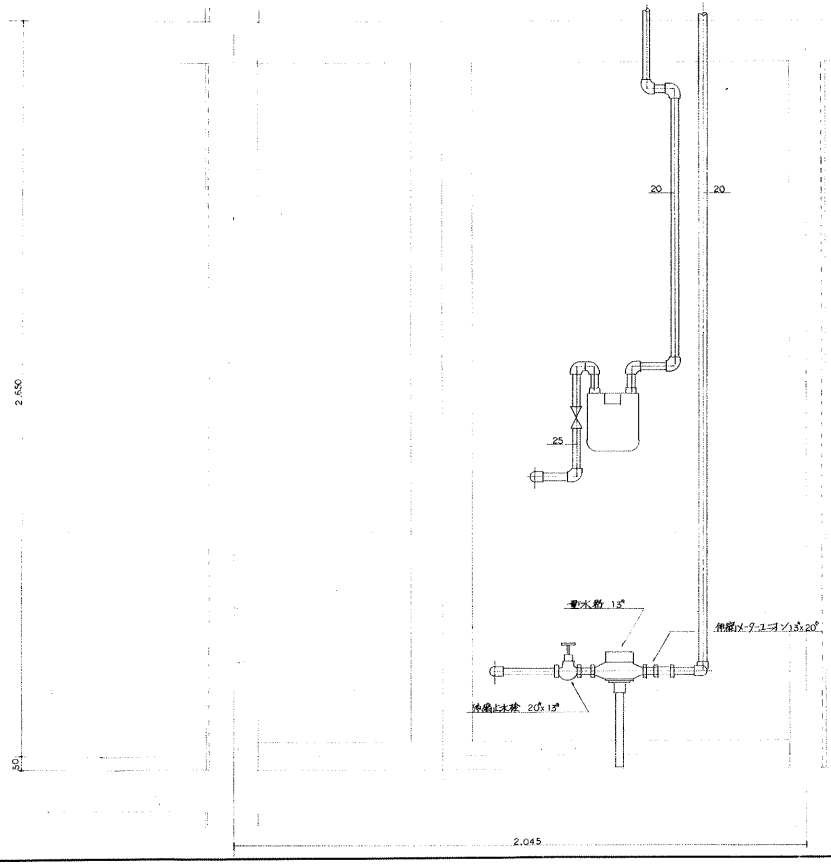


B-B 断面図

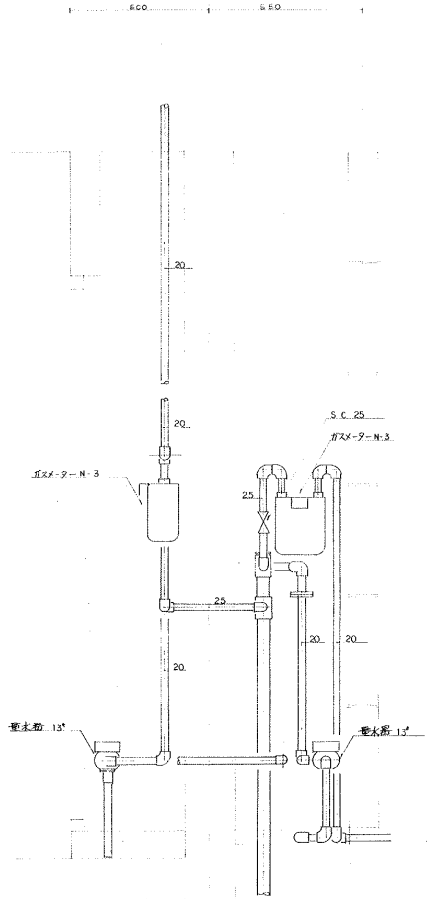
図面番号
21



平面詳細図



A-A 断面図



B-B 断面図

図面番号 22